

第5章 縄文時代～弥生時代(3面)の遺構と遺物

1 概要

本章で報告するのは、As-C軽石及びAs-C軽石混土層の下で、灰黄褐色土及びにぶい黄褐色土を確認面とした遺構であり、3面として調査を行った。主に、弥生時代の集落を中心とした面である。縄文時代の遺物は出土したが、同時代の遺構は確認できなかった。本調査面の遺構は鴨上I遺跡A区及び鴨上I遺跡B区において存在し、調査区西部の丘陵地帯の南東方向へ下る緩やかな傾斜地に立地する住居群を調査した。遺構の多くは弥生時代後期に属する。谷を隔てた東部丘陵地帯の西斜面に位置する。茅畑遺跡では、縄文時代～弥生時代の遺構は確認できなかった。

2 茅畑遺跡の遺構と遺物

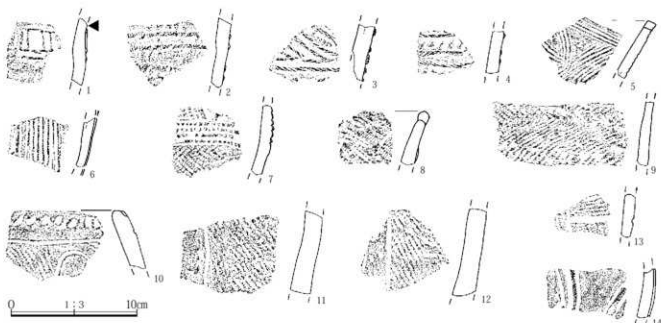
本遺跡においては、縄文～弥生時代に属する遺構及び遺構に伴う遺物は確認できなかった。調査区の埋没土から縄文時代中期から後期の土器及び石器等の遺物が出土するのみで、明確な遺構は認められなかった。

茅畑遺跡は、谷を挟んだ東側丘陵地帯の西面に位置しており、鴨上I遺跡に比して傾斜が急な土地環境にある。

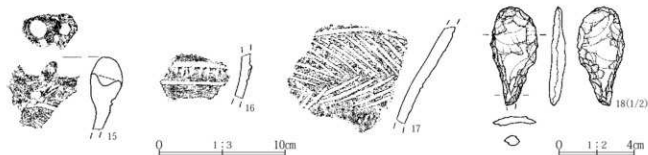
集落を形成するのに適した地形には恵まれていない。ただし、時を経て古代になると困難な地形を克服することにより積極的な集落の形成が見られるようになる。

(1) 遺構外出土の遺物(第150・151図 PL.82・83)

茅畑遺跡3面の調査中に、遺構に伴わない形で遺物が出土した。ここでは出土した遺物のうち、縄文土器17点(深鉢1～13・15～17、注口土器14)、剥片石器1点(石錘18)を掲載した。これらの遺物は埋没土、表探からのものである。図示した以外に、茅畑遺跡西部では縄文土器(縄文前期末20片275g、縄文中期後半6片236g、加曾利B 2式2片18.7g、諸磯b式14片191.2g、諸磯c式1片10.3g)、弥生土器(弥生後期1片13.9g)が出土しており、茅畑遺跡東部では縄文土器(縄文前期末3片68.7g、中期後半2片39.8g、中期後半～後期前半2片35g、加曾利E 4式2片37g、加曾利E 3式5片105g、諸磯b式6片92.3g)が出土している。**所見(帰属時期)**: 縄文時代前期末、中期、後期の土器が万遍なく出土していることから、当時、この地域には人々の営みがあったと推察される。



第150図 茅畑遺跡3面 遺構外出土遺物(1)



第151図 茅畑遺跡3面 遺構外出土遺物(2)

3 鳴上1遺跡A区の遺構と遺物

鳴上1遺跡A区の3面に属する遺構は、住居3軒であった。3軒の住居は互いに近接しており、集落を形成していたといえる。鳴上1遺跡B区においても、同時期と思われる住居が検出されており、同じ集落内の住居であると思われる。遺構の分布は、調査区西部から東部の傾斜地に舌状に張り出している台地上に位置している。本調査区においては、台地上の自然環境を有効に活用して、古代まで集落の形成が行われていた形跡が残る。人々の生活の痕跡は、中世以降も遺構として検出されている。遺構の確認面及び埋没土は、As-C軽石及びロームブロックを含む黒褐色土、暗褐色土である。

(1) 住居

本調査区における住居群は、同時期の共通する特徴を有する。住居の形状は、正方形に近い長方形であった。南側に出入口をもつと推察され、炉は中心から東と北の2か所に位置しており、細長い楕円礫や土器片が差し込まれて構築されていることが確認された。また、住居の隅にベッド状の高まりが1軒につき2～4か所確認できる。竪穴住居の壁際にはピットが絡むものが多い。また、壁には横穴状の掘り込みが確認された。さらに3・4号住居においては、焼失したと思われる炭化材が多数確認されるなど、特徴的な様相が認められた。



第152図 鳴上1遺跡A区3面 全体図

2号住居(第153～155図 PL.55・83)

調査区西部の住居群内にある。住居の多くが調査区域外にあり全容は確認できない。

位置：680～684・-828～-834にある。

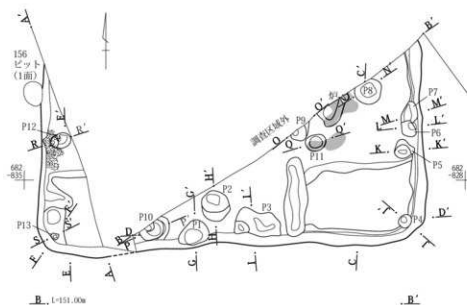
規模形状：主軸長不明、幅6.15mである。西辺、南辺、東辺は直線的である。各辺直交しており、整った方形を呈していると思われる。埋没土・壁：黒褐色土が壁際から埋没している。焼土粒、炭化物粒、ローム粒を含む。その後、ロームブロックを含む暗褐色土、ロームブロック及びAs-C軽石を含む暗褐色土で順次レンズ状に埋没しており、自然埋没であると思われる。壁高は0.19～0.59mである。方位：N-0°。面積：(7.48)㎡。床面：傾斜はほぼないが起伏が激しい。南東隅及び南西隅にベッド状遺構の高まりが確認できる。南東隅のベッド状遺構の高まりは、南北96cm、東西172cm、床面より1～10cm程高い。面積は1.51㎡である。南西隅のベッド状遺構の高まりは、南北108cm、東西不明、床面より2～6cm程高い。面積は0.49㎡である。いずれも長方形を呈している。柱穴を含むピット状の掘り込みが多数認められた。掘り方：ほぼ全面に確認できた。東壁、南壁直下には窪みが、西壁直下には高まりが確認された。埋没土は、黒褐色ブロック及びロームブロック、As-BPを含む黄褐色土であり、ロームを含む黒色土で貼床をしている。ベッド状遺構の高まりは、ローム、As-BPを主体とし黒色土が混ざる締まりのある明黄褐色土で施設している。周辺部が深い傾向にあり、深さは、4～24cm程である。壁溝：東壁、南壁の一部に認められる。幅24cm、深さ8cm程である。埋没土は不明である。ピット(柱穴)：13基を確認した。位置よりP9は、規則的な主柱穴配置のうちの1つと認められる。P7・6・5・4・1・10・13・12は、壁柱穴と思われる。また、P3は、出入口施設のための柱穴であると考えられる。各柱穴の規模及び埋没土の傾向は次の通りである。

(長径×短径×深さcm)

P 1	50×36×38	P 2	49×48×36
P 3	72×39×17	P 4	23×20×41
P 5	34×30×26	P 6	28×21×64
P 7	(38)×24×11	P 8	(42)×41×35
P 9	(39)×(25)×58	P 10	(40)×(39)×30
P 11	33×26×22	P 12	32×24×26

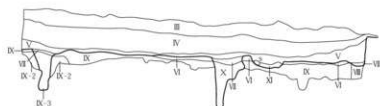
P13 12×11×22

主柱穴のP9は、褐色土で埋没しており、壁柱穴のP7・6・5・4・1・10・13・12は、黒褐色土、暗褐色土、褐色土等で埋没している。また、出入口施設のP3は、黒褐色土で埋没している。壁柱穴、出入口施設それぞれに関わるピットの埋没土が類似しており、ロームブロックや白色軽石、一部に炭化粒子や焼土等、混入物にも共通性が認められることから、埋没が同時期であった可能性が高い。貯蔵穴：認められない。炉：住居東寄りに位置する。埋没土は、炭化物を含む明赤褐色土である。使用面は硬く焼けている。規模は長径(62)cm、短径(38)cm、深さ14cmである。重複遺構：なし。遺物：弥生土器18点(高杯6点、甕3点、甌壺1点、台付甕2点、蓋1点、壺4点、紡輪1点)を図示した。調査した住居南部においては、万遍なく遺物が出土した。甕(1・2)、甌壺(8)、高杯(13・16)、壺(7・9)、紡輪(18)は床面上からの出土であり、本住居に伴うものと考えられる。高杯(15)は床上10cm、台付甕(5)はP3床上12cm、壺(6)は床上9cm浮いた位置からの出土であり、本住居に伴うものか明瞭でない。台付甕(3)、高杯(11)、壺(10)は住居埋没土から、高杯(12・14)はP1埋没土から、蓋(17)はP3埋没土から、甕(4)はP5埋没土からの出土であり、本住居に伴うものであるか明瞭でない。図示した以外に、弥生土器(弥生後期216片2733.8g)、縄文土器(加曾利E2式1片、26.5g有尾式2片58.1g)が出土している。所見(縄属時期)：樽式土器の出土が多い。口縁部から頸部にかけての櫛描波状文を2～3帯施した土器を主体としており、後期後葉の住居であると考えられる。



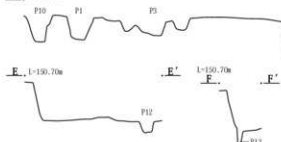
B, 1:151.00m

B'



D, 1:130.20m

D'



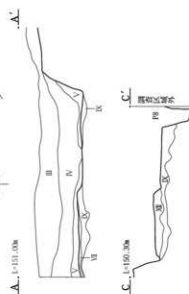
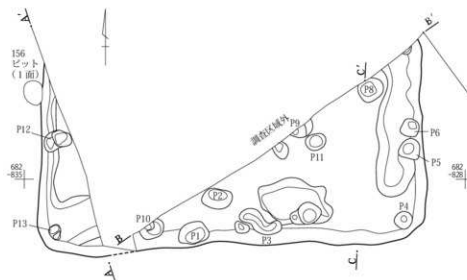
E, 1:130.70m

E'

F, 1:130.70m

F'

掘り方



A, 1:151.00m

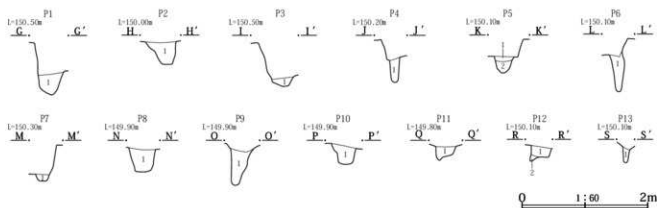
C, 1:130.30m

- 2号住居 A-A'・B-B'・C-C'
- III 暗褐色土(10YR3/4) 径2～10mmのAs-Cを1%程度と径5mmのロームブロックが僅かに混入する。
- IV 暗褐色土(10YR4/4) 径10～50mmのロームブロックが20%程度混入する。
- V 黒褐色土(10YR3/2) 径1～2mmの焼土粒、炭化物粒、ローム粒を含む。
- VI 黒色土(10YR2/1) 僅かにローム粒を含む。粘床。
- VII 黒色土(10YR1/7) やや軟質土。
- VIII 暗褐色土(10YR3/3) ロームブロック粒を含む軟質土。
- IX 黄褐色土(10YR5/6) 黒色土ブロックとロームブロックを多く含む。As-SPを混入する。床下、掘り方土上。
- IX-2 黄褐色土(10YR5/6) 少量の黒色土ブロックと多量のロームブロックを含む。As-SPを混入する。床下、掘り方土上。
- IX-3 黄褐色土(10YR5/6) 少量の黒色土ブロックと多量のロームブロックを含む。As-SPを混入する。床下、掘り方土上。軟質土。
- X 薄い黄褐色土(10YR4/3) 多量のローム粒と少量のロームブロックが混入する。軟質土。
- XI 明赤褐色土(5YR5/8) 砂跡。焼土が主であり、炭化物を含み硬く焼けている。
- XII 明黄褐色土(10YR6/6) IX層に類似するがハードロームとAs-SPが主であり、黒色土が少量混じる。硬く締まる。

0 1:60 2m

第153図 鴨上1遺跡A区3面 2号住居

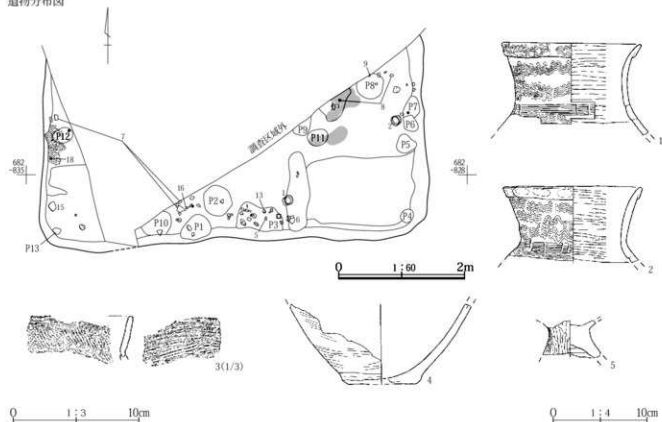
第5章 縄文時代～弥生時代(3面)の遺構と遺物



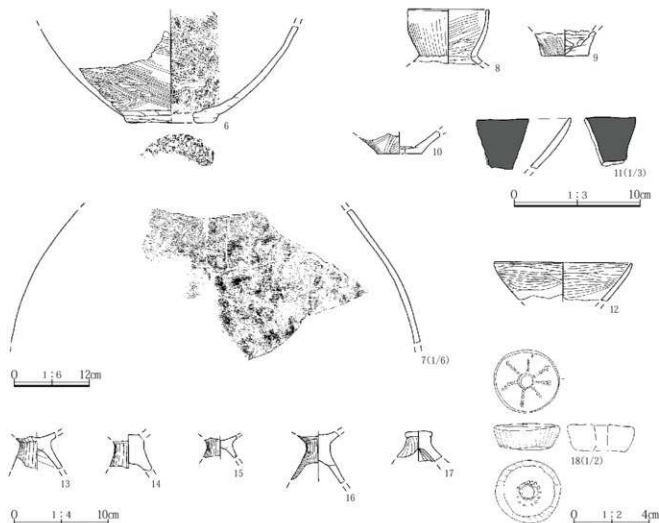
- 2号住居 P1・4・6・8 G-G'・J-J'・L-L'・N-N'
- 1 黒褐色土(10YR2/3) 径1mmの白色鉱物粒と径5～10mmのロームブロックを少量含む。やや粘性を帯びる。
- 2号住居 P2 H-H'
- 1 黒褐色土(10YR2/3) 径1mmの白色鉱物粒とP1より大きめのロームブロックと径5mmの炭化物を少量含む。やや粘性を帯びる。
- 2号住居 P3・7 I-I'・M-M'
- 1 黒褐色土(10YR2/3) 径1mmの白色鉱物粒を少量含む。ローム粒子と径5～10mmのロームブロックを30%程度含む。やや粘性を帯びる。
- 2号住居 P5 K-K'
- 1 暗褐色土(10YR3/4) 炭化物粒、焼土粒を含む。締まりのある上。
 - 2 黄褐色土(10YR5/8) 径10mmの焼土ブロック少量と径1～30mmのローム粒及びロームブロックを50%程度含む。締まりのある上。

- 2号住居 P9 O-O'
- 1 褐色土(10YR4/4) ローム粒が多く含まれ、径10mmの焼土とロームブロックが少量含まれる。軟質上。
- 2号住居 P10 P-P'
- 1 にふい黄褐色土(10YR5/4) 粘性が強い。掘り方調査で確認できた。
- 2号住居 P11 Q-Q'
- 1 暗褐色土(10YR3/3) 白色鉱物粒と赤褐色土鉱物粒を少量と径5～30mmのロームブロックを5%含む。締まりのある上。
- 2号住居 P12 R-R'
- 1 暗褐色土(10YR3/3) 径2～10mmのロームブロックを2%程度と炭化物粒を僅かに含む。軟質上。
 - 2 褐色土(10YR4/4) ローム粒とロームブロックを含む。粘性上。
- 2号住居 P13 S-S'
- 1 暗褐色土(10YR3/3) 径30mmのロームブロックを含む。粘性上。

遺物分布図



第154図 鳴上1遺跡A区3面 2号住居、出土遺物(1)



第155図 鴨上1遺跡A区3面 2号住居出土遺物(2)

3号住居(第156～161図 PL.56・57・83・84)

調査区西部の住居群内にある。残存状態は良好である。

位置：674～682・815～822にある。

規模形状：各辺直線的であり、互いに直交している。南北に長い整った長方形を呈している。主軸長7.36m、幅6.14mである。**埋没土・壁**：黒褐色土及び暗褐色土が、壁側から交互に埋没している。その後、黒褐色土、灰褐色軽石粒、にぶい黄褐色土がレンズ状に埋没している。自然堆積であると思われる。壁高は0.23～0.91mである。**方位**：N-4°-W **面積**：39.24㎡ **床面**：北東方向へ僅かに傾斜している。高低差は4cm程である。床面は平坦である。四隅にそれぞれベッド状遺構の高まりが確認できる。北東隅のベッド状遺構の高まりは、南北156cm、東西90cm、高さ2～13cm程である。面積は1.41㎡である。南東隅のベッド状遺構の高まりは、南

北108cm、東西152cm、高さ1～3cm程である。面積は1.78㎡である。南西隅のベッド状遺構の高まりは、南北106cm、東西148cm、高さ7～13cm程である。面積は1.63㎡である。北西隅のベッド状遺構の高まりは、南北176cm、東西102cm、高さ14～16cm程である。面積は1.69㎡である。いずれも長方形を呈している。北側の2つは南北に長く、南側の2つは東西に長い。住居北東部と南部を中心に、炭化材が複数出土している。**掘り方**：ほぼ全面に広がり、埋没土は、黒色土ブロック、ロームブロック、As-BPを含む黄褐色土である。その上に、ローム粒を含む貼床を施している。ベッド状遺構の高まりは、ローム粒を主体とし黒色土が混ざる締まりのある黄褐色土で施設している。深さは、3～14cm程である。中央部は浅く、周辺部が深い傾向にある。**壁溝**：東壁から南壁の一部まで認められる。幅25cm、深さ10cm、埋没土は、

暗褐色土で、ロームブロック中量含む。ピット(柱穴): 23基を確認した。位置、規模及び深さ、埋没土より、P 4・5・2・3が、規則的な主柱穴配置による柱穴であると思われる。P 13は、P 3に関連した柱穴であると思われる。さらに、P 9・17・18・19・10・1・7・8は、位置、規模、埋没土から、壁柱穴であると思われる。P 6は、出入口施設のための柱穴であると考えられる。各柱穴の規模及び埋没土の傾向は次の通りである。

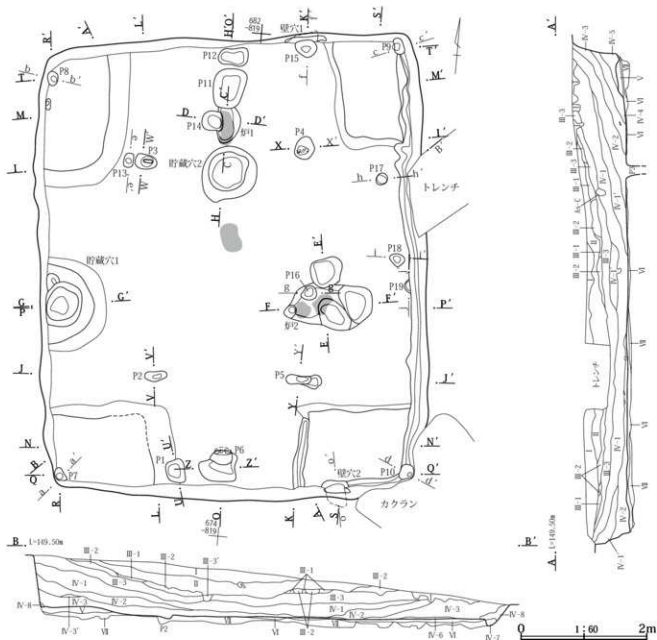
(長径×短径×深さcm)

P 1	36×29×10	P 2	36×15×67
P 3	34×23×84	P 4	36×31×67
P 5	57×16×88	P 6	57×50×20
P 7	24×14×62	P 8	24×16×31
P 9	26×16×59	P 10	26×23×71
P 11	63×49×19	P 12	48×29×12
P 13	22×16×21	P 14	33×31×12
P 15	34×28×16	P 16	23×23×12
P 17	20×18×10	P 18	24×22×18
P 19	22×計測不能×20		
P 20	24×24×18	P 21	20×18×22
P 22	20×18×26	P 23	36×25×43

主柱穴のP 4・5・2・3は、にぶい黄褐色土、黄褐色土、明黄褐色土で埋没しており、類似性が見られる。壁柱穴のP 9・17・18・19・10・1・7・8は、褐色土、暗褐色土、黒褐色土で埋没しており、類似性が見られる。出入口施設のP 6は、暗褐色土で埋没している。主柱穴と壁柱穴には、それぞれ共通性がみられることから、各々の埋没時期が近い可能性がある。壁穴: 北壁と南壁の東寄りに位置する。壁穴1は、長径66cm、短径36cm、深さ14cmである。壁穴2は、長径42cm、短径26cm、深さ34cmである。埋没土が異なり、時期差は明確でない。

貯蔵穴: 住居中央北側と西壁直下にそれぞれ窪みを確認する。位置と規模より貯蔵穴と思われる。貯蔵穴1は、As-BPを含む明黄褐色土の後、ローム粒・ブロックを含む褐色土で埋没している。長径71cm、短径56cm、深さ61cmである。20～40cm幅の高まりで囲まれており、蓋などの施設があった可能性がある。貯蔵穴2は、As-BP、炭化物、焼土粒が混入した締まりのある暗褐色土の後、As-BPを含む軟性の灰黄褐色土が流れ込み、最後にAs-BP、焼土粒、炭化物粒を含む締まりのある黒褐色土

で埋没している。長径86cm、短径84cm、深さ73cmである。確認面に炭化材が載っていた。炉: 住居中央北部貯蔵穴2の北側及び住居東部に焼土を伴う窪みを確認する。位置、規模、埋没土などの様相から炉であると思われる。炉1は、炭化物が主で焼土粒が混入した締まりのある黒褐色土の後、焼土、炭化物、As-BPを含む締まりのある暗褐色土が埋没している。床面の掘り込みが南北2つある。推測長径66cm、推測短径36cm、深さ6cm程である。炉2は、ロームブロックとAs-YPを含む黒褐色土で埋没している。東西に掘り込みが2つあり、炉の中心が移動した経緯がみてとれる。長径136cm、短径72cm、深さ9cm程である。炉の中部やや西寄りに細長い亜円礫の枕石が確認できた。長さ17cm、幅8cm、厚さ4cm程である。掘り方は、ローム粒・ロームブロックを含む粘性のある暗褐色土で埋没している。重複遺構: なし。遺物: 弥生土器25点(高杯7点、甕7点、台付甕1点、壺7点、鉢1点、器台1点、勾玉1点)、須恵器1点(杯蓋)、石製品1点(砥石)を図示した。住居北東部及び西部中心に散在するように多量の遺物が出土した。甕(5・6・7)、高杯(17・19・21)、器台(24)、壺(10)、鉢(16)は床直上から、高杯(18)はベッド状遺構床直上からの出土であり、本住居に伴うものと考えられる。壺(9)はP 6床直上17cm、甕(2)はベッド状遺構床直上6～19cm、甕(4)は床直上6cm、甕(3)はベッド状遺構床直上43cm、壺(11・12)はP 6床直上14～19cm、壺(15)は床直上14cm、高杯(23)は床直上23cm、高杯(20)はベッド状遺構床直上14～44cm、台付甕(8)はベッド状遺構床直上9cm浮いた位置から出土しており、甕(1)、壺(13・14)、高杯(22)、勾玉(25)は、埋没土からの出土であり、本住居に伴うものであるか明瞭でない。砥石(27)は床直上8cmからの出土である。須恵器、杯蓋(26)は、表土からの出土であり9世紀前半に比定される。これは、上層からの混入の可能性があり、本住居に伴うものではない。図示した以外に、弥生土器(弥生後期542片5405.4gその中で赤彩4片)、縄文土器(縄文中期後半以降3片55.5g、加曾利E 2式1片62.3g、阿玉台式1片17.7g)が出土している。所見(帰属時期): 樽式土器の出土が多い。口縁部から頸部にかけての櫛形波状文を複数帯した土器を主体としており、後期後葉の住居であるとする。



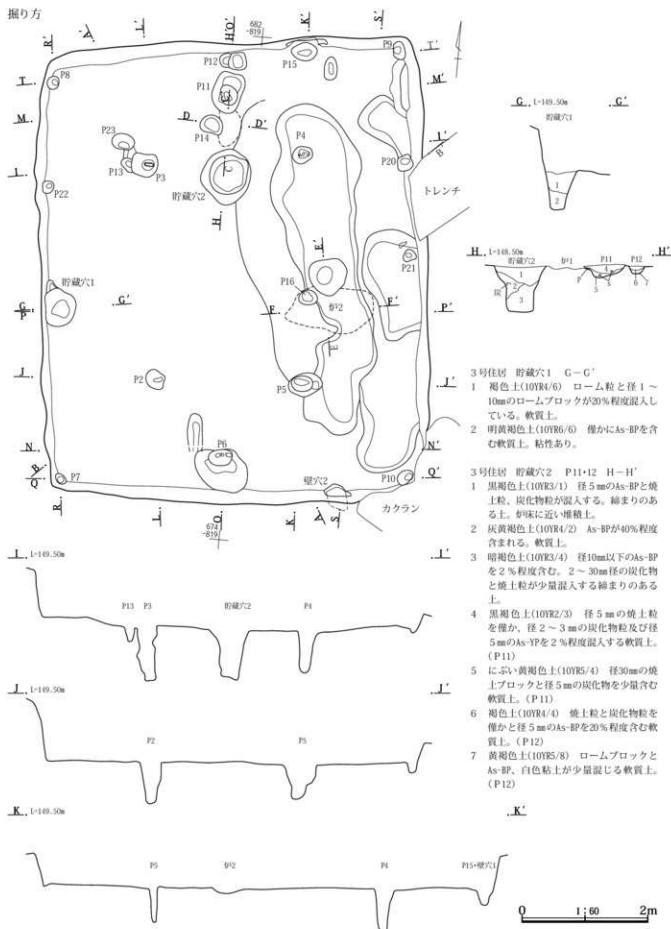
3号住居 A-A'・B-B'・M-M'・N-N'・O-O'・P-P'

- I 濃い黄褐色土(10YR4/3) 径2～10mmのAs-Cが10%程度混入する。
 II 黒褐色土(10YR3/1) 径1～30mmのAs-Cが30%程度混入する。上層からの剥片を多少受けている。
 III-1 濃い黄褐色土(10YR4/3) 径1～10mmのAs-Cが混入する。軟質土。
 III-2 灰褐色軽粒(10YR8/1) 径1～10mmのAs-Cである。軽石はよく発露している物が多い。
 III-3 黒褐色土(10YR3/2) As-Cと赤褐色土粒を少量含む。
 III-3' 黒褐色土(10YR3/2) III-3に準ずる。As-Cを多量に含む。
 IV-1 暗褐色土(10YR3/4) ローム粒と径50mmのロームブロックが20%程度混入する。
 IV-1' 黒褐色土(10YR2/3) 炭化物粒と焼土ブロックを少量及びローム粒と径2～10mmのロームブロックを5%程度含む。
 IV-2 暗褐色土(10YR3/3) ローム粒～径70mmのロームブロックを10%程度と径1～50mmの炭化物を少量含む。
 IV-3 黒褐色土(10YR2/3) 炭化物粒を少量と径2mmのロームブロック20%程度含む。
 IV-3' 黒褐色土(10YR2/3) IV-3に準ずる。炭化物含む。
 IV-4 褐色土(10YR4/4) ローム粒と径5mmのロームブロックを多く含む

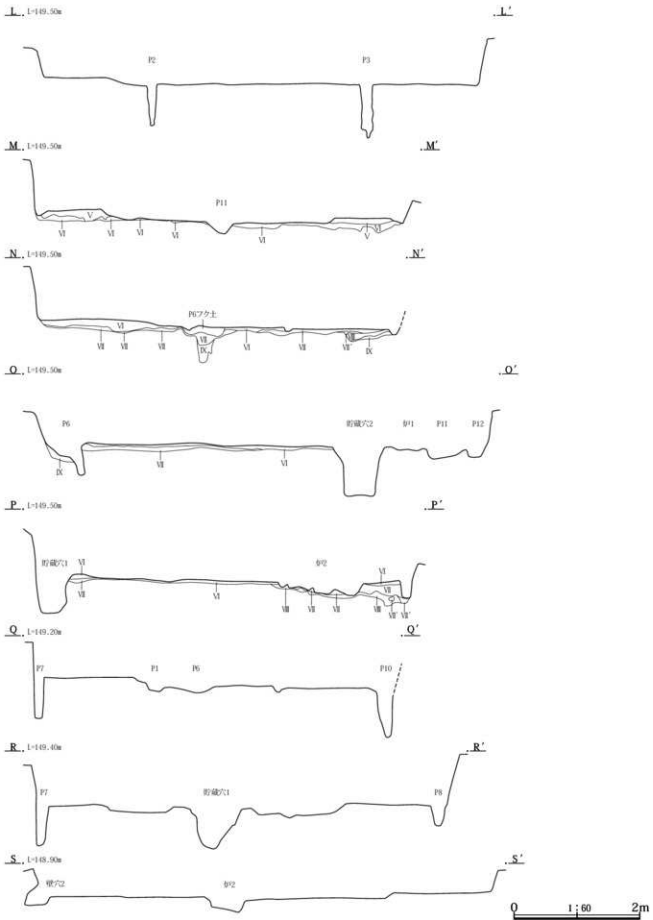
軟質土。

- IV-5 黒褐色土(10YR2/2) ローム粒を多く、ロームブロックを少量含む軟質土。
 IV-6 黒褐色土(10YR2/3) 炭化物粒を少量と径2mmのロームブロック20%程度含む。締まりのある土。
 IV-7 暗褐色土(10YR3/3) ロームブロックを25%程度含む壁溝内覆土。
 IV-8 黒褐色土(10YR3/2) 径5mmのロームブロックを50%程度含む積込土。
 V 黄褐色土(10YR5/6) ローム粒を主体とし、黒色土が僅かに混じった締まりのある土。(ベッド状遺構高まり部分)
 VI 黒色土(10YR2/1) 僅かにローム粒を含む。貼床。
 VII 黄褐色土(10YR5/6) 黒色土ブロックとロームブロックを多く含む。As-BPを混入する。床下、掘り方土上。
 VIII 黄褐色土(10YR5/6) VII層に準ずる。色が明るい。
 IX 黄褐色土(10YR5/6) 少量の黒色土ブロックと多量のロームブロックを含む。As-BPを混入する。床下、掘り方土上。軟質土。

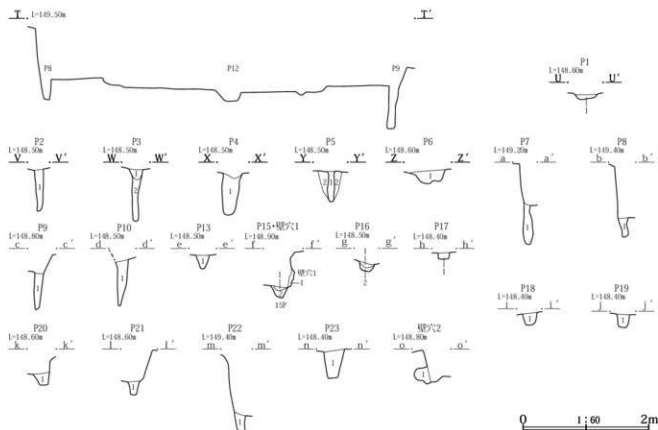
第156図 鴨上1遺跡A区3面 3号住居



第157図 嶋上1遺跡A区3面 3号住居掘り方



第158図 鴨上1遺跡A区3面 3号住居断面(1)



第159図 嶋上I遺跡A区3面 3号住居断面(2)

3号住居 P1 U-U'

1 褐色土(10YR4/4) 僅かにローム粒を含む。軟質土。

3号住居 P2・3 V-V'・W-W'

1 にぶい黄褐色土(10YR4/3) 径5mm前後のAs-YPが3%程度含まれる。軟質土。

2 黄褐色土(10YR5/8) ローム粒と径5～20mmのロームブロックからなる軟質粘性土。

3号住居 P4・5 X-X'・Y-Y'

1 にぶい黄褐色土(10YR4/3) 径5mm前後のAs-YPが3%程度含まれる。軟質土。底面付近には炭化物が混じる。

2 明黄褐色土(10YR7/6) 柱を埋めて押さえたロームブロックとローム粒及びAs-YPの混土層。

3号住居 P6 Z-Z'

1 暗褐色土(10YR3/4) 径50mm前後のロームブロックを30%と径5mm前後のAs-YPを50%程度、炭化物を少量含む軟質粘性土。

3号住居 P7 a-a'

1 暗褐色土(10YR3/3) 径5mmのロームブロック粒を少量含む。粘性土。

3号住居 P8 b-b'

1 暗褐色土(10YR3/3) As-YPを少量含む。軟質土。

3号住居 P9 c-c'

1 暗褐色土(10YR3/3) 径5mmのロームブロック粒を少量含む。粘質土。

3号住居 P10 d-d'

1 暗褐色土(10YR3/3) 僅かにローム粒を含む。軟質土。粘性あり。

3号住居 P13 e-e'

1 暗褐色土(10YR3/4) 径10～20mmのロームブロックと径5mmの

As-YP、径2～5mmの炭化物粒と焼土ブロックを含む軟質土。

3号住居 壁穴1・P15 f-f'

1 黒褐色土(10YR3/1) ローム粒と径5～10mmのAs-YPを2～3%程度含む軟質土。

2 明黄褐色土(10YR6/6) ローム粒と径5mm前後のAs-YP及び黒褐色土が混入している。軟質土。

3号住居 P16 g-g'

1 黒褐色土(10YR3/1) 径5～10mmのAs-YPを3%程度と焼土粒と炭化物粒を少量含む軟質土。

2 褐色土(10YR4/4) 径2～20mmのロームブロックを3%程度含む軟質土。

3号住居 P17・18 h-h'・i-i'

1 黒褐色土(10YR2/2) ロームブロックを5%程度とAs-YPを少量含む。粘質土。

3号住居 P19 j-j'

1 暗褐色土(10YR3/3) 径2～5mmのロームブロックを5%程度含む。粘質土。

3号住居 P20・21 k-k'・l-l'

1 黒褐色土(10YR2/2) ロームブロック、As-YPを少量含む。

3号住居 P22 m-m'

1 暗褐色土(10YR3/3) As-YPを少量含む。

3号住居 P23 n-n'

1 暗褐色土(10YR3/4) ロームブロック、As-YP、炭化物、焼土粒を少量含む。

3号住居 壁穴2 o-o'

1 暗褐色土(10YR3/3) 径1～5mmのAs-YP含む。軟質土。

図2

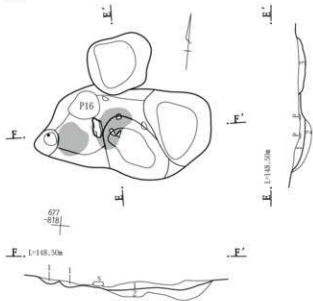


図2掘り方

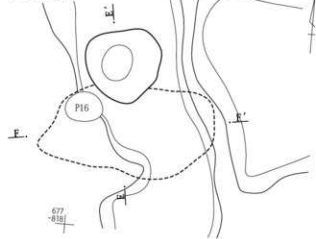
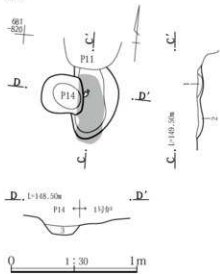
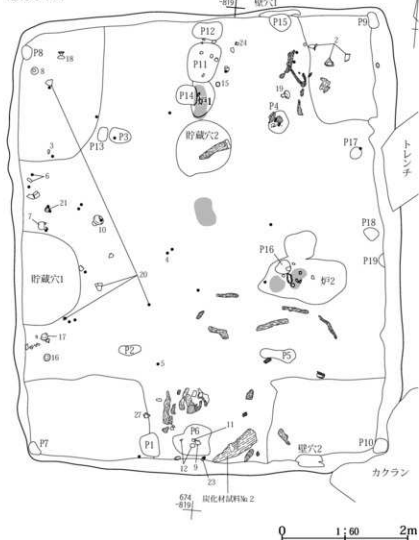


図1



遺物分布図



3号住居 図1, P14 C-C'・D-D'

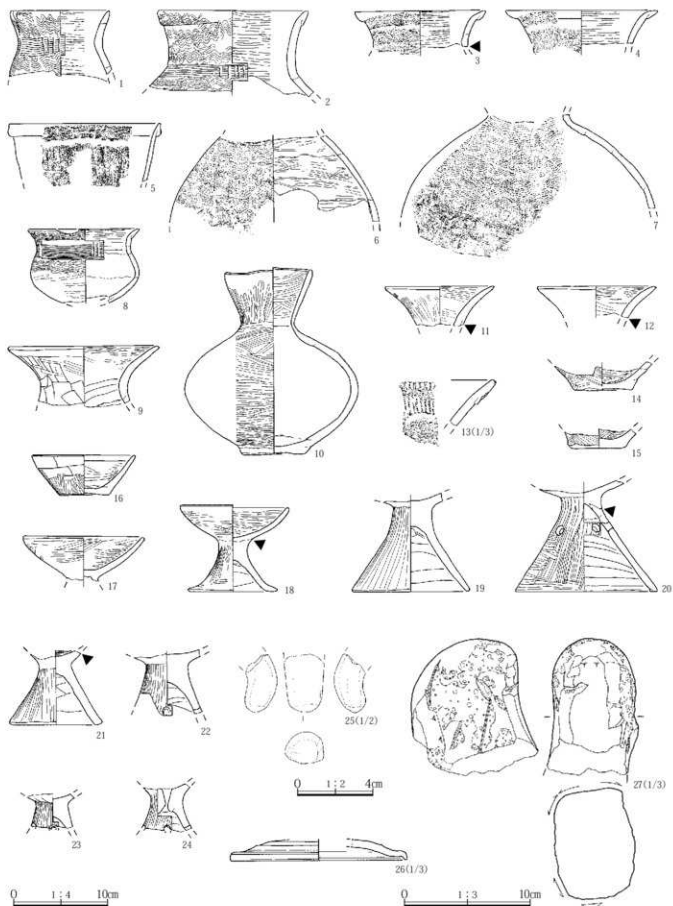
- 1 暗褐色土(10YR3/3) 僅かに焼土、炭化物、As-IP含む。締まりのある土。
- 2 黒色土(10YR2/1) 炭化物が主であり、焼土粒が混じる。締まりのある土。
- 3 褐色土(10YR4/6) 僅かに焼土粒と炭化物を含む軟質粘性土。(P14)

3号住居 図2 E-E'・F-F'

- 1 黒褐色土(10YR2/3) 径1~50mmのロームブロックと径5~10mmのAs-IPを含む。
- 2 暗褐色土(10YR3/3) ローム粒と径3mmのロームブロックを10%程度含む。やや粘性的のある軟質土。
- 3 暗褐色土(10YR3/4) ローム粒と径5mmのロームブロックを10%程度含む。粘性土。

第160図 嶋上1遺跡A区3面 3号住居図、遺物分布図

第5章 縄文時代～弥生時代(3面)の遺構と遺物



第161図 鴨上1遺跡A区3面 3号住居出土遺物

4号住居(第162～166図 PL.58・59・84)

調査区西部の住居群内にある。住居の西部が調査区域外にあり、全容は確認できない。

位置：650～656・-821～-826にある。

規模形状：主軸長(4.86)m、幅4.44mである。東辺、南辺は直線的である。北辺は外側に膨らみながら歪んでいる。全体としては、東西に長い長方形を呈していると推察される。埋没土・壁：黒褐色土及び暗褐色土が、壁側から埋没している。その後、黒褐色土、灰褐色軽石粒、にぶい黄褐色土、黒褐色土がレンズ状に埋没している。自然堆積であると思われる。壁高は0.11～0.86mである。方位：N-73°-W 面積：(16.57)㎡ 床面：北東方向へ僅かに傾斜している。高低差は3cm程である。床面は平坦である。北東隅及び南東隅にベッド状遺構の高まりが確認できる。北東隅ベッド状遺構の高まりは、南北172cm、東西258cm、高さ3～5cm程である。面積は4.05㎡である。南東隅の高まりは、南北94cm、東西136cm、高さ3～12cm程である。面積は1.31㎡である。いずれも長方形を呈している。ベッド状遺構の高まりは、ローム粒を主体とし黒土が混ざる締まりのある黄褐色土で施設している。ベッド状遺構の下に構築前の床面が存在する。床面全体に炭化材が分布している。特に、東壁際に著しい。掘り方：ほぼ全面に広がり、埋没土は、ロームとAs-BPが主体であり、黒土が少量混入した締まりの強い明黄褐色土である。表面に炭化物を多く含む黒土を貼床として施設している。掘り方の深さは、3～22cm程である。北部が浅く、南部ほど深い傾向にある。壁溝：認められない。ピット(柱穴)：25基を確認した。位置、規模及び深さより、P25・19・23が、規則的な主柱穴配置による柱穴であると思われる。調査区域外にはもう一つの柱穴があると思われる。P15・17は、出入口施設のための柱穴であると考えられる。さらに、P1・3・5・7・9・10・11・12・14は、位置、規模、埋没土より、壁柱穴であると思われる。P9・10を掘っていくと壁の中に入っていく。壁は固く焼け焼土化しているところがあり、炭化材がある。掘り方の壁際にP9・10の壁柱穴があり、木材の壁押さえがあった可能性がある。壁のみが固く床から下は軟質である。P4は、ベッド状遺構の一部が落ち込んでレンズ堆積している。P6の2層は、ベッド状遺構の西端部分が落ち込んでいる。P13は、

ベッド状遺構の上から床面を掘り抜いている。P4・6・13は、それぞれベッド状遺構構築と大きく関わっていると考えられる。各柱穴の規模及び埋没土の傾向は次の通りである。

(長径×短径×深さcm)

P 1	14×13×25	P 2	24×18×32
P 3	23×21×43	P 4	99×66×68
P 5	22×18×21	P 6	78×75×71
P 7	(28)×24×17	P 8	20×18×18
P 9	14×12×21	P 10	20×(18)×21
P 11	20×18×21	P 12	20×16×44
P 13	66×56×72	P 14	18×16×53
P 15	42×26×30	P 16	28×24×46
P 17	(62)×(37)×60	P 18	(40)×(26)×26
P 19	32×19×76	P 20	54×50×67
P 21	30×30×20	P 22	16×15×24
P 23	24×18×82	P 24	40×29×36
P 25	(20)×18×57		

主柱穴のP19・23は、黒褐色土と黄褐色土、にぶい黄褐色土等で埋没しており類似性が見られない。出入口施設のP15・17は、黒褐色土が共通するものの、P17はにぶい黄褐色土、黄褐色土等で埋没しており類似性がない。壁柱穴のP1・3・5・7・9・10・11・12・14は、暗褐色土、褐色土、黒褐色土等で埋没しており、As-YP、ロームブロック、白色軽石等混入物も共通している部分があり類似性が見られる。ベッド状遺構と関わりのあるP4・6・13は、明黄褐色土、暗褐色土、褐色土、黒土、黒褐色土、黒土等で層状に埋没しており類似性が認められる。

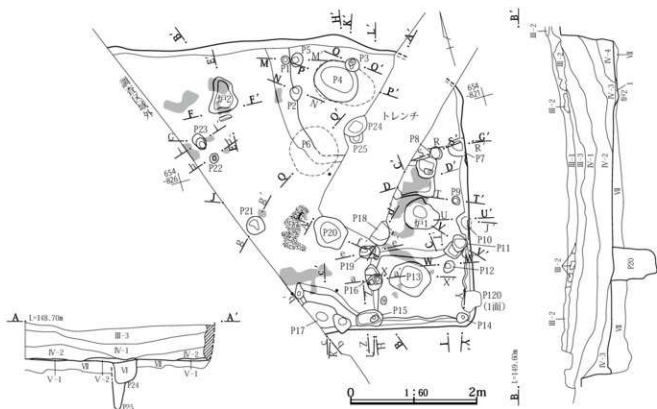
ベッド状遺構に関連した施設：P13として、南東部のベッド状遺構に掘り込みが確認できる。位置と規模より貯蔵穴とも推察できるが、明瞭でない。P13は、ベッド状遺構の上から床面を掘り抜いている。上部は締まっている。ベッド状遺構構築後に意図的に開設された施設であると推察される。P4として、北東部ベッド状遺構の下層に掘り込みが確認できる。位置と規模より床下土坑とも思われるが明瞭でない。P4は、ベッド状遺構を施設する段階では埋められており、ベッド状遺構使用段階で徐々に沈み込んでいる。上層はベッド状遺構使用時の床面である。P6として、中央やや北よりに掘り込みが確認さ

れた。P 6は、ベッド状遺構を施設する段階では埋められており、ベッド状遺構使用段階で徐々に沈み込んでいる。ベッド状遺構構築の土が2層に落ち込んだものである。1層はベッド状遺構の床面であり締まっている。ベッド状遺構構築前にP 4・6は意図的に廃絶されている。

貯蔵穴: 認められない。 **床下土坑:** 認められない。

炉: 住居中央東部及び北西部に焼土を伴う窪みを確認する。位置、規模、埋没土などの様相から炉であるとと思われる。炉1は、北部の施設がローム粒、白色・赤褐色鉱物粒が混入する軟性の明黄褐色土で埋没しており、下層のロームが赤色に焼けて締まりが強い。南部の土坑状

の施設は、ロームブロックを含む軟性の暗褐色土で厚く埋没しており、表面には、炭化物を含む軟性の黒色土の後、焼土、炭化物を含む締まりのある暗褐色土が埋没している。枕石のある北部の施設で燃焼させ、南部の施設を補助的に使用していたと思われる。炉2の規模は、長径(95)cm、短径(65)cm、北部深さ9cm、南部深さ36cm程である。炉2の北部に細長い垂円礫の枕石が確認できた。長さ18cm、幅9cm、厚さ7cm程である。掘り方があり、ロームブロックを含み、焼土化している。炉2は、炭化物を多く含む暗褐色土で埋没している。強く焼けた枕石付近にロームブロックを多く確認する。焼土ブロックが斑に



4号住居 A-A'・B-B'・C-C'・D-D'・E-E'・F-F'・G-G'・H-H'・I-I'・J-J'・K-K'・L-L'

III-1 にふい黄褐色土(10YR4/3) 径1～10mmのAs-Cが混入する。軟質土。

III-2 灰褐色軽石粒(10YR8/1) 径1～10mmのAs-Cである。軽石はよく発泡している物が多い。

III-3 黒褐色土(10YR3/2) As-Cと赤褐色土粒を少量含む。

IV-1 暗褐色土(10YR3/4) ローム粒～径50mmのロームブロックを20%程度混入している。

IV-2 暗褐色土(10YR3/3) ローム粒～径70mmのロームブロックを10%程度と径1～50mmの炭化物を少量含む。

IV-3 黒褐色土(10YR2/3) 炭化物粒を少量と径2mmのロームブロックを20%程度含む。

IV-4 黒褐色土(10YR2/3) 炭化物粒、ロームブロックを少量含む。

V-1 黒色土(10YR2/1) 炭化物を多く含む。貼床。

V-2 黄褐色土(10YR5/6) ロームの二次堆積土。

VI 灰黄褐色土(10YR4/2) ローム粒と径5mmのロームブロック、炭化物粒、焼土粒を含む軟質土。(P24層上)

VII 明黄褐色土(10YR6/6) ハードロームとAs-BPが主であり、黒色土が少量混じり硬く締まっている。掘り方難土。

1 暗褐色土(10YR3/4) 炭化物を多く含む。(炉2)

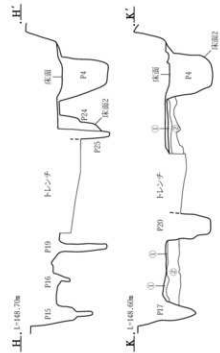
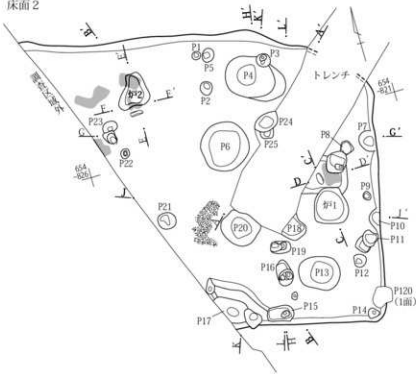
① 黄褐色土(10YR5/6) ローム粒を主体とし、黒色土が僅かに混じる締まりのある土。(ベッド状遺構高まり部分)

② 黒色土(10YR2/1) 僅かにローム粒を含む。貼床。

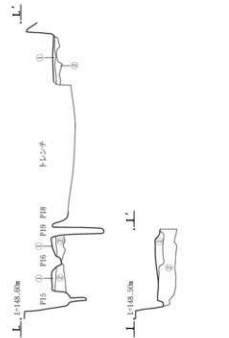
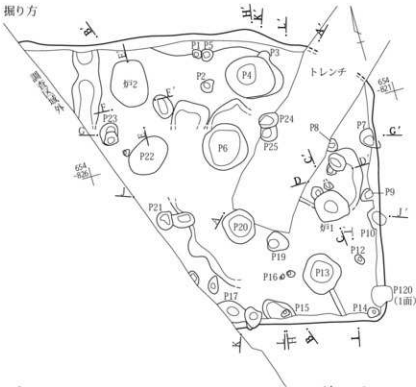
③ 黄褐色土(10YR5/6) 黒色土ブロックとロームブロックを多く含む。As-BPを混入する。床下、掘り方難土。

第162図 鳴上1遺跡A区3面 4号住居

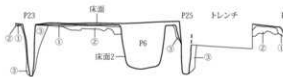
床面2



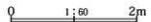
掘り方



G, 1-148.60m

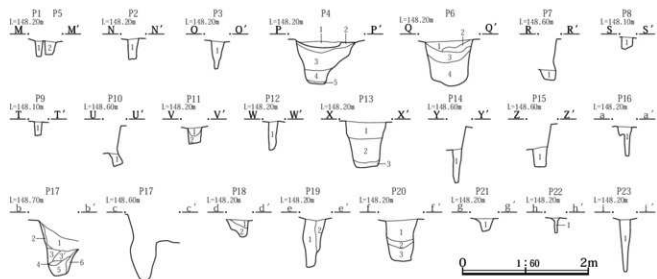


J, 1-148.50m



第163図 鴨上1遺跡A区3面 4号住居掘り方

第5章 縄文時代～弥生時代(3面)の遺構と遺物



4号住居 P1・5 M-M'

1 暗褐色土(10YR3/4) 径5mmのAs-YPとロームブロック、白色鉱物粒と赤褐色鉱物粒を含むやや軟質土。(P1)

2 褐色土(10YR4/6) ローム粒を多く含む。軟質土。(P5)

4号住居 P2 N-N'

1 暗褐色土(10YR3/4) 径5mmのAs-YPとロームブロック、白色鉱物粒と赤褐色鉱物粒と僅かに炭化物を含む軟質土。

4号住居 P3 O-O'

1 暗褐色土(10YR3/4) 径5mmのAs-YPとロームブロック、白色鉱物粒と赤褐色鉱物粒を含む軟質土。

4号住居 P4 P-P'

- 1 明黄褐色土(10YR6/8) ロームの二次利用。
- 2 明黄褐色土(10YR6/6) 黒色土とハンドローム及びAs-BPが混じり硬く締まっている。1層がレンズ状に落ちた際には2層があらわれる。
- 3 明黄褐色土(10YR7/6) ローム土を80%は埋め込んでおり、黒褐色土ブロックを含む締まりのある土。
- 4 暗褐色土(10YR3/4) 径5mm以下のロームブロックを20%程度含む軟質土。白色鉱物粒と赤褐色鉱物粒を含む。やや軟質土。
- 5 褐色土(10YR4/6) ローム粒を多量に含む。軟質土。

4号住居 P6 Q-Q'

- 1 暗褐色土(10YR3/4) 径5～30mmのロームブロック、径2mm前後の白色鉱物粒、炭化物を少量含む。締まりのある土。
- 2 明黄褐色土(10YR6/8) ロームの二次利用。
- 3 黒色土(10YR2/1) 径5mm以下のAs-BPとロームブロックが20%程度混じっている。軟質土。
- 4 黒褐色土(10YR3/2) ローム粒とロームブロックが多量に入った粘性土。

4号住居 P7・8 R-R'・S-S'

1 暗褐色土(10YR3/4) 径5mmのAs-YPとロームブロック、白色鉱物粒と赤褐色鉱物粒を含むやや軟質土。

4号住居 P9 T-T'

1 黒褐色土(10YR3/2) 白色鉱物粒と赤褐色鉱物粒を少量と径5mm以下のAs-YP及びロームブロックと炭化物を少量含む軟質土。

4号住居 P10 U-U'

1 黒褐色土(10YR3/1) 径5mm前後のAs-YPと白色鉱物粒と赤褐色鉱物粒及び炭化物粒を少量含む。締まりあり。

4号住居 P11 V-V'

1 黒褐色土(10YR3/2) As-BPと白色鉱物粒を含む。上位に炭化物が入る。軟質土。

2 黄褐色土(10YR5/6) 径3mm以下のAs-BPを多量に含む。軟質土。

4号住居 P12 W-W'

1 黒褐色土(10YR3/1) 径5mm前後のAs-YPと白色鉱物粒と赤褐色鉱物粒及び炭化物粒を少量含む。軟質土。

4号住居 P13 X-X'

1 黒褐色土(10YR3/1) 径5mmのAs-YPと径2～20mmのロームブロック、赤褐色鉱物粒を含む。締まり強い。

2 褐色土(10YR4/6) As-YPとロームブロック及びローム粒の混土層。軟質土。

3 黒色土(10YR2/1) ロームが混じる。

4号住居 P14 Y-Y'

1 暗褐色土(10YR4/4) 径2～5mmロームブロックとローム粒土50%を含む軟質土。

4号住居 P15 Z-Z'

1 黒褐色土(10YR3/1) 径2～50mmロームブロックとローム粒土25%。白色鉱物粒を含む。やや軟質土。中に小ビットがあり炭化物が入る。

4号住居 P16 a-a'

1 黒褐色土(10YR3/2) As-BPと白色鉱物粒を含む。上位に炭化物が入る。軟質土。ベッド状遺構の落際に位置する。

4号住居 P17 b-b'

- 1 黒褐色土(10YR2/3) 炭化物粒を少量と径2mmのロームブロック20%程度含む。
- 2 にぶい黄褐色土(10YR4/3) 径5mm以下のAs-YPをまばらに含む。堅く締まりのある土。
- 3 黒褐色土(10YR3/2) 僅かに白色鉱物粒と径5mm前後のAs-YPを含む軟質土。
- 3' 黒褐色土(10YR3/2) 僅かに赤褐色鉱物粒とローム粒土を含む軟質土。

4 暗褐色土(10YR3/4) ロームブロックを50%程度含む。

5 黒褐色土(10YR3/2) ローム粒と径20mm以下のロームブロック含むやや粘性のある土。

6 黄褐色土(10YR7/8) ロームの流入土。軟質土。

4号住居 P18 d-d'

1 黒褐色土(10YR3/2) 白色鉱物粒と赤褐色鉱物粒を少量と径5mm以下のAs-YP及び炭化物を含む軟質土。

2 暗褐色土(10YR3/3) ロームブロックを10%程度と白色鉱物粒、赤褐色鉱物粒を少量と径5mm以下のAs-YP及び炭化物を含む。締まりのある土。

4号住居 P19 e-e'

1 黒褐色土(10YR3/2) 白色鉱物粒と赤褐色鉱物粒を少量と径2mmのAs-YPを含む軟質土。

2 黄褐色土(10YR4/6) ロームブロックとAs-YPを多量に含む。1層が2層を明している。軟質土。

4号住居 P20 f-f'

1 黒褐色土(10YR2/2) 径5mm前後のAs-YPとロームブロックを含む。白色鉱物粒と赤褐色鉱物粒を少量含む軟質土。

2 黒色土(10YR1/7) 径5mm前後のAs-YPとロームブロック、白色鉱物粒と赤褐色鉱物粒をごく少量含む締まりのある土。

3 黒色土(10YR2/1) 径5mm以下のAs-BPとロームブロックが20%程度混じっている。軟質土。

4号住居 P21・22 g-g'・h-h'

1 黒褐色土(10YR3/2) 白色鉱物粒と赤褐色鉱物粒を少量と径5mm以下のAs-YP及びロームブロックを少量含む軟質土。

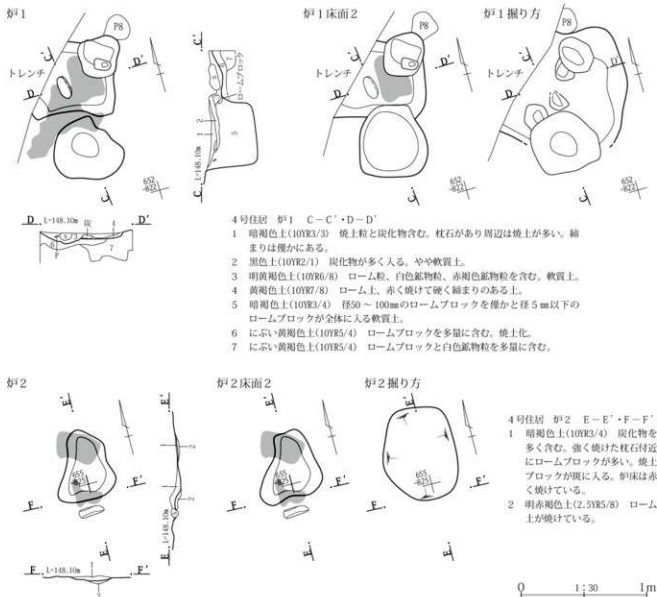
4号住居 P23 i-i'

1 にぶい黄褐色土(10YR4/3) 軟質土。ビット上位の床面付近は焼土と炭化物を含む。

第164図 鴨上1遺跡A区3面 4号住居断面

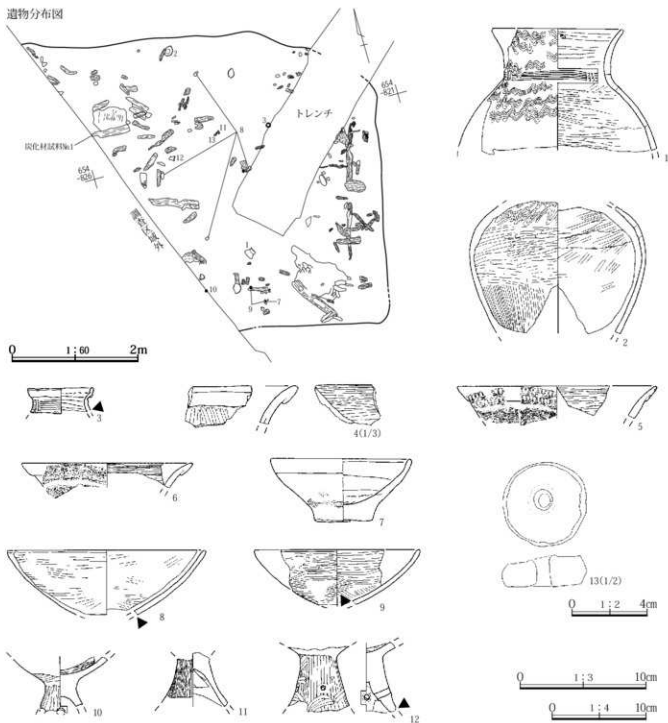
混入している。炉床は、ロームが焼けた明赤褐色土である。炉の規模は、長径75cm、短径39cm、深さ7cm程である。炉の南側に細長い垂円形の枕石が確認できた。長さ20cm、幅7cm、厚さ6cm程である。掘り方があり、炭化物を含んでいる。重複遺構：なし。遺物：弥生土器13点(高杯5点、甕4点、壺2点、鉢1点、紡輪1点)を図示した。住居中央部に南北に、万遍なく遺物が出土した。甕(2)、高杯(8・9)は床直上からの出土であり、本住居に伴うものであると考える。甕(1)は床上6cm、鉢(7)は床上12cm、高杯(12)は床上19cm、高杯(10)は床上13cm、甕(3)はP24床上15cm、高杯(11)はP6床上20cm、紡輪(13)は

P6床上24cm浮いた位置からの出土であり、本住居に伴うものか明瞭でない。壺(4)は住居埋没土から、甕(6)は炉1埋没土から、壺(5)はP6埋没土からの出土であり、本住居に伴うものであるか明瞭でない。図示した以外に、弥生土器(弥生後期149片1666.1g、弥生中期後半以降1片6g)、縄文土器(阿玉台Ⅱ式1片33.6g、勝坂2式1片9.3g)、鉄製品1点が出土している。所見(帰属時期)：樽式土器の出土が多い。口縁部から頸部及び胴部にかけての櫛描波状文を複数帯施した土器を主体としており、後期後葉の住居であると考える。



第165図 嶋上1遺跡A区3面 4号住居炉

遺物分布図



第166図 嶋上1遺跡A区3面 4号住居出土遺物

(2) 遺構外出土の遺物

概要：嶋上1遺跡A区3面の調査中に、遺構に伴わない形で遺物を出土したが、図示するには至らなかった。出土した土器は、縄文土器(加曾利E3式1片13.2g)、弥

生土器5片(41g)であった。

所見：遺物は、表土、遺構確認面、及び埋没土から出土した。

4 鳴上1遺跡B区の遺構と遺物

鳴上1遺跡B区の3面に属する遺構は、住居12軒であった。12軒の住居は傾斜に沿って互いに近接しており、集落を形成していたと考えられる。鳴上1遺跡A区にも同時期と思われる住居が検出されており、同じ集落内の住居であると思われる。遺構は、調査区中央部から東部にかけて帯状に分布しており、南東に傾斜している緩斜面上にある。本調査区においては、鳴上1遺跡A区と同様に良好な自然地形を有効に活用して、古代まで集落の形成が行われていた。人々の生活の痕跡は、中世以降も掘立柱建物や柱穴列等の遺構として検出されている。遺構の確認面及び埋没土は、As-C軽石及びロームブロックを含む黒褐色土、暗褐色土などの褐色土である。

(1) 住居

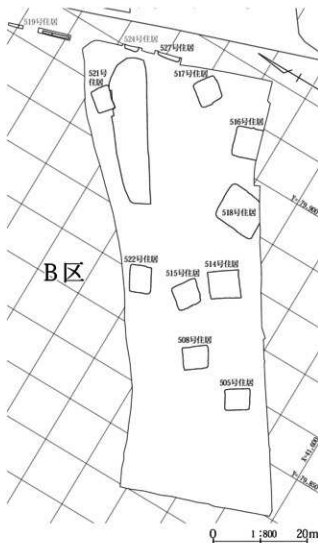
本調査区における住居群は、同時期の共通する特徴を有するものが多かった。住居の形状は、主に正方形に近い長方形であった。遺構面の削平が進んでいるものもあったが、残存状態の良い住居も見られた。住居の南側に出入口をもつ傾向にあると考えられる。炉は住居の東と北の2か所に位置することが多く、枕石と思われる細長い楕円礫や土器片が差し込まれて構築されている傾向にあった。また、ベッド状遺構を伴う住居も検出された。1軒につき1～5か所確認できた。竪穴住居の壁にはピットが絡むものが多く、壁には横穴状の掘り込みが確認された。また、炭化材が多く確認された。特に518号住居は大型で、炭化材の検出が顕著であった。特徴的な様相が多数認められた住居群である。

505号住居(第168～171図 PL.60・61・84)

調査区住居群の西にある。北壁を506号住居(2面)に、南壁を504号住居(2面)に壊されている。

位置：616～623・-888～-895にある。

規模形状：主軸長5.28m、幅4.46mである。各辺直線のである。南東隅のみやや鋭角に交わる。西辺に対して東辺が若干長い。全体としては、南北に長い整った長方形を呈している。埋没土・壁：褐色土が壁際から埋没し、その後、暗褐色土、黒褐色土が埋没している。壁側から埋もれており、自然堆積と思われる。壁高は0.13～



第167図 鳴上1遺跡B区3面 全体図

0.44mある。方位：N-32°-W 面積：20.61㎡ 床面：住居隅のベッド状遺構の高まりは確認できなかった。南に傾斜している。高低差は10cm程と大きい。緩やかな起伏を伴う。住居中央から西寄り及び南部に炭化材が散見できる。中央部には焼土が見られる。南壁には、出入口施設があったと思われる。掘り方：調査したほぼ全面に掘り方が認められる。深さは2～18cm程である。中央部が浅く、北西部と南西部がやや深い。埋没土は、黄褐色土である。黒褐色土を少量含み、締まりがある。貼床である。壁溝：北壁の東寄りの一部及び東壁から南

壁にかけて確認できる。北壁のものは、褐色土で埋没しており、ロームブロックを少量含む。住居埋没土に準ずる。幅6～11cm、深さ2cm程である。東壁のものは、暗褐色土で埋没しており、ロームブロックを少量含む。幅5～17cm、深さ8cm程である。南壁にかけてのものは、幅6～10cm程、深さ及び埋没土は不明である。 **ピット(柱穴)**：19基を確認した。位置、規模及び深さより、P1・2・3・4が、規則的な主柱穴配置による柱穴であると思われる。さらに、P5・6・7・8・9・10・11・14・15・19は、位置、規模、埋没土より、壁柱穴であると思われる。P12・13は、出入口施設に関するものであると思われる。各柱穴の規模及び埋没土の傾向は次の通りである。

(長径×短径×深さcm)

P1	40×34×70	P2	34×27×68
P3	64×58×104	P4	44×30×54
P5	21×12×20	P6	16×14×34
P7	17×16×22	P8	36×23×38
P9	34×33×48	P10	16×16×18
P11	38×36×50	P12	22×20×17
P13	32×25×18	P14	(44)×41×18
P15	16×14×19	P16	20×18×17
P17	23×22×25	P18	30×(12)×8
P19	22×18×36		

主柱穴のP1・2・3・4は、黒褐色土、黒色土、暗褐色土、褐色土で埋没しておりローム粒子の混入など共通するところがある。壁柱穴のP5・6・7・8・9・10・11・14・15・19は、灰黄褐色土、暗褐色土、黒褐色土、にぶい黄褐色土等で埋没しており類似性は認められない。出入口施設のP12・13は、埋没土及び混入物ともに共通しており、同時期の埋没であると思われる。

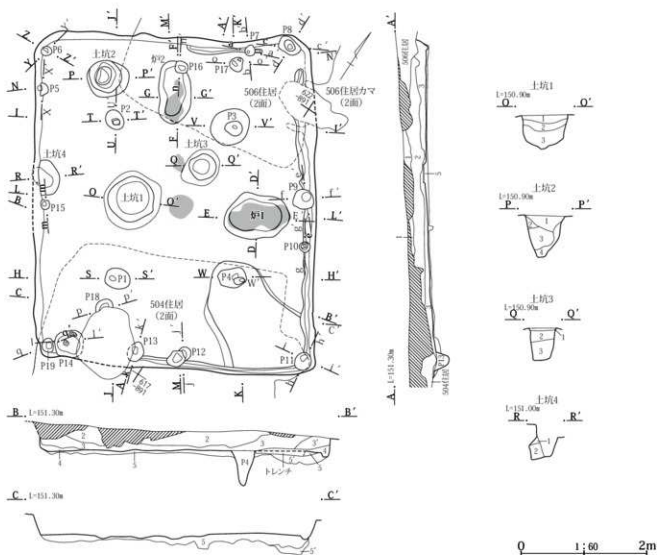
貯蔵穴：認められない。 **土坑**：土坑を4基確認した。各土坑の規模及び埋没土の傾向は次の通りである。

(長径×短径×深さcm)

土坑1	73×72×53	土坑2	68×58×66
土坑3	44×40×51	土坑4	55×33×36

埋没土は、暗褐色土、にぶい黄褐色土、褐色土であり、類似性はない。混入物は、ロームブロック及びローム粒子、炭化物、黄白色軽石など、若干共通するものもある。同時期の埋没であるか明瞭でない。

炉：炉1は、住居中央東側に位置する。燃焼部に焼土が堆積している。土器片が確認される。埋没土は、褐色土である。ローム粒子を少量含み、締まりがある。掘り方は、全面に確認できる。埋没土は、黄褐色土で貼床をした後、赤褐色土の焼土が埋没している。深さは9cm前後である。炉の規模は、長径105cm、短径70cm、深さ8cmである。炉2は、住居中央北側に位置する。燃焼部には焼土を観察する。埋没土は、褐色土である。ローム粒子を少量含み、締まりがある。掘り方は、全面に確認できる。埋没土は、黄褐色土で貼床をした後、赤褐色土の焼土で埋没している。深さは、3cm前後である。炉の規模は、長径101cm、短径49cm、深さ6cmである。 **重複遺構**：504・506号住居(2面)より古い。 **遺物**：弥生土器9点(高杯2点、甕3点、小型台付甕1点、壺3点)、須恵器4点(杯2点、鉢1点、長頸壺1点)を図示した。住居中央部東西に、遺物が散見されるように出土した。小型台付甕(4)、甕(2)は床直上から、甕(1)は炉1床直上からの出土であり、本住居に伴うものであると考える。壺(5)は床上8～23cm、壺(6)は床上27cm、壺(7)は床上21cm、甕(3)は床上10cm、高杯(8)は床上14cm、高杯(9)はP9床上44cm浮いた位置からの出土であり、本住居に伴うものか明瞭でない。また、図示した須恵器、杯(10・11)、鉢(12)、長頸壺(13)は埋没土から出土した。いずれも9世紀後半のものであり、上層からの混入であると思われる。図示した以外に、弥生土器(弥生後期土器片1465.7g)、及び上層からの混入である須恵器(杯類5片)が出土している。 **所見(帰属時期)**：樽式土器の出土が多い。口縁部から頸部及び胴部にかけての櫛描波状文を複数帯施した土器を主体としており、後期後葉の住居であると考えられる。



505号住居 A-A'・B-B'・C-C'

- 1 黒褐色土(10YR2/3) As-C軽石をブロックで含む。締まりややあり、粘性あまりなし。
- 2 暗褐色土(10YR3/4) ローム粒子含まない。締まりややあり、粘性あまりなし。
- 3 褐色土(10YR4/6) ローム粒子少量(5~10%)含む。締まりややあり、粘性あまりなし。
- 3' 褐色土(10YR4/6) ロームブロック少量(5~10%)含む。締まりややあり、粘性あまりなし。
- 4 暗褐色土(10YR3/3) ローム粒子、ロームブロック少量(5~10%)含む。締まりあまりなく、粘性ややあり。
- 5 黄褐色土(10YR5/6) 黒褐色土を少量(5~10%)含む。締まりややあり、粘性あまりなし。
- 5' 褐色土(10YR4/4) 黒褐色土を大量(30~50%)に含む。締まりややあり、粘性あまりなし。(東側貼床にみられる色調しい上層)

505号住居 土坑1 O-O'

- 1 暗褐色土(10YR3/4) 1cm大の炭片、黄白色軽石を若干(1~3%)含む。硬土ブロックを塊で含む。締まりややあり、粘性あまりなし。
- 2 にぶい黄褐色土(10YR5/4) ロームブロック及びローム粒子溶け込み大量(30~50%)に含む。締まり、粘性ともにあまりなし。
- 3 暗褐色土(10YR3/4) ロームブロック少量(5~10%)含む。均質土。締まり、粘性あまりなし。

505号住居 土坑2 P-P'

- 1 暗褐色土(10YR3/4) 黄白色軽石を多量(15~25%)に含む。不均質。締まりややあり、粘性あまりなし。
- 2 黒褐色土(10YR3/1) ローム粒子の溶け込み若干(1~3%)含む。締まり欠き、粘性あまりなし。
- 3 暗褐色土(10YR3/4) ローム粒子溶け込み多量(15~25%)に含む。黄白色軽石を若干(1~3%)含む。締まり欠き、粘性あまりなし。
- 4 にぶい黄褐色土(10YR4/3) ローム粒子溶け込み大量(30~50%)に含む。地山ロームの前落か?締まり欠き、粘性あまりなし。

505号住居 土坑3 Q-Q'

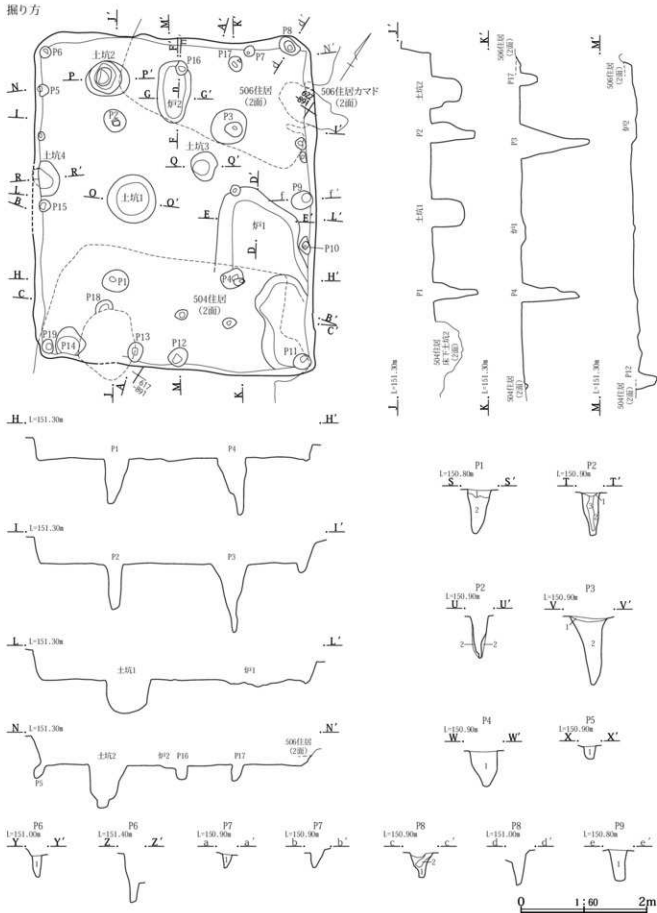
- 1 暗褐色土(10YR3/4) 1cm大の炭を若干(1~3%)含む。締まりややあり、粘性あまりなし。
- 2 にぶい黄褐色土(10YR5/4) 締まり粘性ともにあまりなし。
- 3 にぶい黄褐色土(10YR5/4) ローム溶け込み多量(15~25%)に含む。締まり粘性ともにあまりなし。

505号住居 土坑4 R-R'

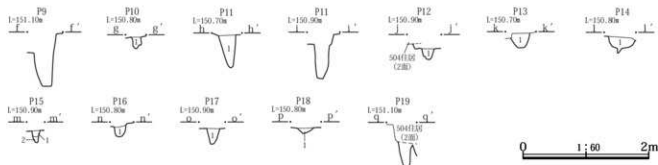
- 1 褐色土(10YR4/1) As-Y軽石若干(1~3%)含む。締まりあまりなく、粘性ややあり。
- 2 褐色土(10YR4/4) ローム溶け込み大量(30~50%)に含む。締まりあまりなく、粘性ややあり。

第168図 船上1遺跡B区3面 505号住居

掘り方



第169図 鴨上1遺跡B区3面 505号住居掘り方、断面(1)



505号住居 P1 S-S'

1 暗褐色土(10YR3/4) 1cm大の炭片、黄白色軽石を若干(1~3%)含む。締まりややあり、粘性あまりなし。

2 褐色土(10YR4/4) ローム粒子溶け込み多量(15~25%)含む。締まり粘性ともにあまりなし。

505号住居 P2 T-T'・U-U'

1 暗褐色土(10YR3/4) 1cm大の炭片、黄白色軽石を若干(1~3%)含む。締まりややあり、粘性あまりなし。

2 褐色土(10YR4/4) ローム粒子溶け込み多量(15~25%)含む。締まり、粘性ともにあまりなし。

3 黒色土(10YR2/1) 締まり欠き粘性あまりなし。(柱痕と考えられる。)

505号住居 P3 V-V'

1 暗褐色土(10YR3/4) ローム粒子溶け込み大量(30~50%)を含む。締まりややあり、粘性あまりなし。

2 褐色土(10YR4/4) 黄白色軽石を若干(1~3%)含む。締まり欠き、粘性ややあり。

505号住居 P4 W-W'

1 褐色土(10YR4/4) ローム粒子溶け込み大量(30~50%)含む均質。締まり欠き、粘性あまりなし。

505号住居 P5 X-X'

1 灰黄褐色土(10YR4/2) 黄白色軽石を少量(5~10%)含む。締まり粘性ともにあまりなし。

505号住居 P6 Y-Y'

1 灰黄褐色土(10YR4/2) 黄白色軽石を僅かに含む。締まり粘性ともにあまりなし。

505号住居 P7・9・10 a-a'・e-e'・g-g'

1 灰黄褐色土(10YR4/2) ローム粒子の溶け込み若干(1~3%)含む。締まり粘性ともにあまりなし。

505号住居 P8 c-c'

1 暗褐色土(10YR3/3) 締まり、粘性ともにあまりなし。

2 灰黄褐色土(10YR6/8) 地山崩落ブロック。

505号住居 P11 h-h'

1 灰黄褐色土(10YR4/2) ロームブロック少量(5~10%)含む。締まり粘性ともにあまりなし。

505号住居 P12 j-j'

1 黒褐色土(10YR3/1) ロームブロック少量(5~10%)含む。締まり粘性ともにあまりなし。

505号住居 P13 k-k'

1 黒色土(10YR2/1) ロームブロック若干(1~3%)含む。締まり粘性ともにあまりなし。

505号住居 P14・16 l-l'・n-n'

1 黒褐色土(10YR3/1) 1cm大の炭、軽石若干(1~3%)含む。締まりややあり、粘性あまりなし。

505号住居 P15 m-m'

1 暗褐色土(10YR3/4) 締まりややあり、粘性あまりなし。

2 にぶい黄褐色土(10YR4/3) ローム粒子溶け込み少量(5~10%)含む。締まり粘性ともにあまりなし。

505号住居 P17 o-o'

1 黒褐色土(10YR3/1) ロームブロック僅かに含む。締まり粘性ともにあまりなし。

505号住居 P18 p-p'

1 灰黄褐色土(10YR4/2) ロームブロック少量(5~10%)含む。締まり粘性ともにあまりなし。

図1

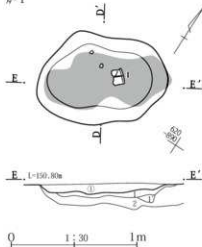
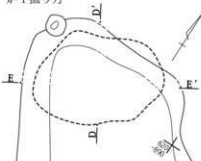


図1掘り方



505号住居 図1 D-D'・E-E'

① 褐色土(10YR4/6) ローム粒子少量(5~10%)含む。締まりややあり、粘性あまりなし。

1 赤褐色土(2.5YR4/6) 締まりややあり、粘性あまりなし。良好な焼土。

1' 赤褐色土(2.5YR4/6) 締まり欠き、粘性あまりなく上層乱れる。樹痕か?

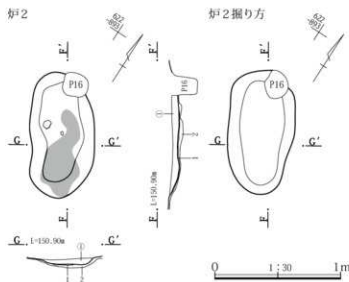
2 黄褐色土(10YR5/6) 不均質なローム臥床。締まり粘性ともにあまりなし。

第170図 鴨上1遺跡B区3面 505号住居断面(2)、図1

第5章 縄文時代～弥生時代(3面)の遺構と遺物

炉2

炉2掘り方



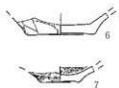
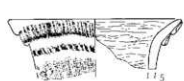
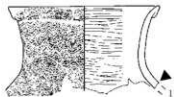
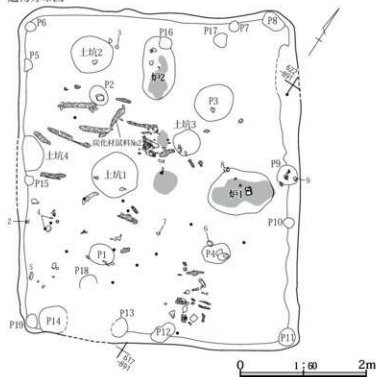
505号住居 炉2 F-F'・G-G'

① 褐色土(10YR4/6) ローム粒子少量(5～10%)含む。締まりややあり、粘性あまりなし。

1 赤褐色土(2.5YR4/6) やや不均質な焼土を含む。締まりややあり、粘性あまりなし。

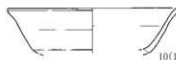
2 黄褐色土(10YR5/6) 締まり粘りともにあまりなし。白色軽石含む不均質なローム粘土。

遺物分布図



0 1:4 10cm

13(1/3)



10(1/3)



11(1/3)



12(1/3)



0 1:3 10cm

第171図 鴨上1遺跡B区3面 505号住居炉(2)、出土遺物

508号住居(第172～176図 PL.61・62・84・85)

調査区住居群の西にある。使用面の残存状態は良好である。

位置：628～635・886～892にある。

規模形状：主軸長5.40m、幅4.80mである。各辺共に直線的である。南東隅のみ鋭角に交わっている。西辺に対して東辺が若干長い。全体としては、南北に長い整った長方形を呈している。505号住居と規模形状が類似している。埋没土・壁：にぶい黄褐色土が壁際から流れ込み、その後、にぶい黄褐色土及び暗褐色土がレンズ状に埋没している。壁側から埋もれており、自然堆積と思われる。壁高は0.05～0.58mである。方位：N-35°-W

面積：20.96㎡ 床面：南東方向にやや傾斜している。高低差は3cm程で、起伏はなく平坦である。北西隅及び南東隅にベッド状遺構の高まりが確認できる。北西隅のベッド状遺構の高まりは、南北156cm、東西80cm、高さ10～12cm程である。面積は1.57㎡である。南東隅のベッド状遺構の高まりは、南北46cm、東西160cm、高さ6～10cm程である。面積は1.76㎡である。いずれも長方形を呈している。住居北寄りを中心に炭化物が散見できる。掘り方：ほぼ全面に認められる。東部及び南部がやや層が厚い。埋没土は、黄褐色土であり、締まりがある。黄白色軽石及び黒褐色土を含む。深さは4～18cm前後である。壁溝：各壁際に確認でき、ほぼ全周している。各壁溝の規模及び埋没土の傾向は次の通りである。

(幅×深さcm)

北壁の壁溝：4～12×9 東壁の壁溝：6～16×12
南壁の壁溝：8～18×12 西壁の壁溝：6～12×3

壁溝は、共通して黄褐色土で埋没している。住居埋没土に準じている。ピット(柱穴)：29基を確認した。位置、規模及び深さより、P21・22・23・24が、規則的な支柱穴配置による柱穴であると思われる。P1・2・3・4・5・6・10・11・12・13・15・16・17・18は、位置、規模、埋没土より、壁柱穴であると思われる。P19・20は出入口施設に関わるものであると思われる。各柱穴の規模及び埋没土の傾向は次の通りである。

(長径×短径×深さcm)

P1 20×16×22 P2 30×20×94
P3 34×26×34 P4 17×15×52
P5 (24)×20×21 P6 26×21×48

P10 26×18×26 P11 28×18×44
P12 23×18×19 P13 28×23×64
P15 26×25×78 P16 29×26×20
P17 (29)×22×28 P18 30×28×70
P19 42×33×18 P20 36×33×12
P21 52×52×56 P22 36×34×32
P23 38×34×46 P24 45×41×26
P25 30×20×32 P26 38×38×47
P27 32×26×35 P28 36×28×35
P29 31×28×12 P30 (56)×41×90
P31 41×(37)×48 P32 40×40×32
P33 30×22×61

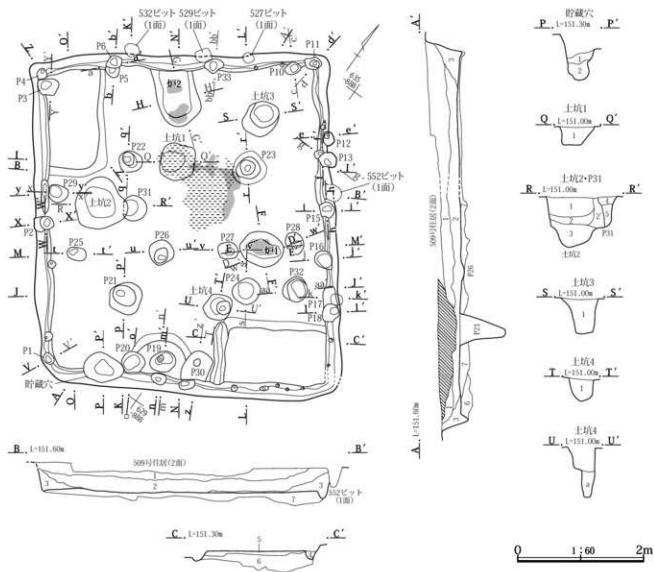
支柱穴のP21・22・23・24は、にぶい黄褐色土、黒褐色土で埋没しており、ロームブロックが混入していることから共通性があり、同時期の埋没の可能性ある。壁柱穴のP1・2・3・4・5・6・10・11・12・13・15・16・17・18は、にぶい黄褐色土、褐色土、黒褐色土で埋没しており、混入物も様々であり、類似性が見られない。同時期の埋没であるか明確でない。出入口施設のP19・20は、黒褐色土で埋没しており、ロームブロックが混入していることから共通性が多く、同時期の埋没であると思われる。貯蔵穴：南西隅に窪みが確認され、位置と規模より貯蔵穴と思われる。埋没土は、粘性のある暗褐色土及び粘性があり炭化粒を少量含む均質の黒褐色土である。長径64cm、短径48cm、深さ48cmである。土坑：中央北側に3基、中央南東部に1基、土坑を確認した。土坑4の下層は、黄褐色土で埋没しており、かつては柱穴として使用されていた可能性がある。各土坑の規模及び埋没土の傾向は次の通りである。

(長径×短径×深さcm)

土坑1：60×54×28 土坑2：84×82×80
土坑3：62×52×55 土坑4：46×42×36

おおよそ黒褐色土で埋没している。ロームブロック等混入物にも共通性が見られる。同時期の埋没の可能性が高いと考える。

炉：住居北部中央部分及び住居中央部東寄りに炉を2基確認した。双方共に燃焼部に焼土が堆積していた。炉1は、褐灰色土で埋没しており、焼土ブロックを含む赤褐色土が部分的に散見できる。中央に土器片が確認できる。長径69cm、短径55cm、深さ5cmである。炉2は、黄



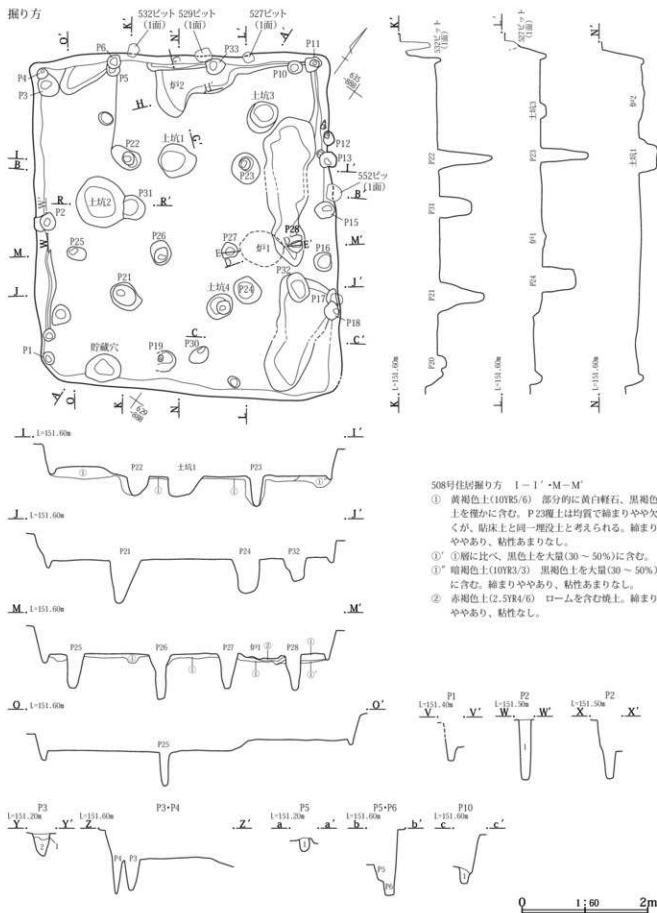
508号住居 A-A'・B-B'・C-C'

- 1 暗褐色土(10YR3/3)ロームブロック若干(1~3%)含む。締まりややあり、粘性あまりなし。
 - 2 濃い黄褐色土(10YR4/3) ローム粒子溶け込み若干、ロームブロック少量(5~10%)を含む。締まりややあり、粘性あまりなし。
 - 3 濃い黄褐色土(10YR4/3) 2層より色調暗く、ロームブロックごく少量含む。締まり、粘性ともあまりなし。
 - 4 黒褐色土(10YR3/2) ロームブロック若干(1~3%)含む。締まり、粘性ともあまりなし。(均質覆土)
 - 5 黄褐色土(10YR5/6) 黒褐色土を僅かに含む。締まりややあり、粘性あまりなし。
 - 6 暗褐色土(10YR3/3) 黒褐色土を大量(30~50%)を含む。締まりややあり、粘性あまりなし。
 - 7 黄褐色土(10YR5/6) 部分的に黄白軽石、黒褐色土を僅かに含む。締まりややあり、粘性あまりなし。
- 508号住居 貯蔵穴 P-P'
- 1 黒褐色土(10YR2/2) 炭化粒若干(1~3%)含む、均質。締まりなく、粘性ややあり。
 - 2 暗褐色土(10YR3/3) 締まりなく、粘性ややあり。
- 508号住居 土坑1 Q-Q'
- 1 黒褐色土(10YR3/2) ロームブロック不均質に少量(5~10%)含む。

炭化粒若干(1~3%)含む。締まりなく、粘性ややあり。

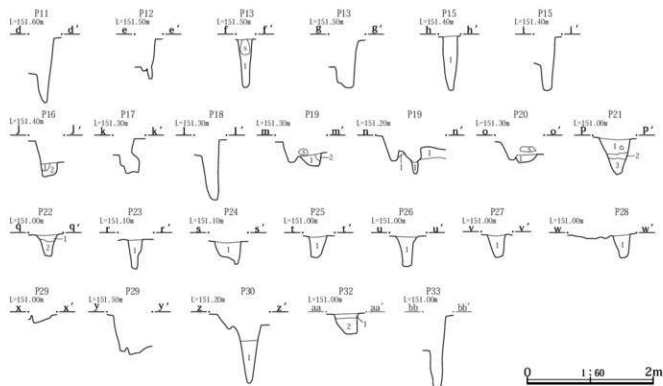
- 508号住居 土坑2・P31 R-R'
- 1 黒褐色土(10YR3/1) 均質土。締まり、粘性ともあまりなし。
 - 2 明黄褐色土(10YR6/8) ローム粒子溶け込み大量(30~50%)を含む。ロームブロック多量(15~25%)を含む。締まり、粘性ともあまりなし。地山崩落ブロックか?
 - 2' 黄褐色土(10YR5/8) ローム粒子溶け込み大量(30~50%)を含む。締まりなく、粘性あまりなし。
 - 3 褐色土(10YR6/4) 締まり、粘性ともあまりなし。
 - 4 明黄褐色土(10YR6/8) 締まり強く、粘性なし。貯床相当。(P31)
 - 5 明黄褐色土(10YR6/8) ローム溶け込み大量(30~50%)を含む均質。締まりややあり、粘性あまりなし。(P31)
- 508号住居 土坑3 S-S'
- 1 黒褐色土(10YR3/1) ローム粒子溶け込み、ロームブロック若干含む、均質。締まり、粘性ともあまりなし。
- 508号住居 土坑4 T-T'
- 1 黒褐色土(10YR3/1) 締まり、粘性ともあまりなし。均質。
- 508号住居 土坑4 U-U'
- a 黄褐色土(10YR5/6) 黄白軽石少量(5~10%)含む。締まりあまりなく、粘性ややあり。

第172図 嶋上1遺跡B区3面 508号住居



第173図 鴨上1遺跡B区3面 508号住居掘り方

第5章 縄文時代～弥生時代(3面)の遺構と遺物



508号住居 P2 W-W'

1 にぶい黄褐色土(10YR4/3) 締まりなく、粘性あまりなし。均質上。

508号住居 P3 Y-Y'

- 1 黒褐色土(10YR3/2) 不均質なロームブロック多量(15～25%)を含む。締まりなく、粘性あまりなし。
- 2 暗褐色土(10YR3/3) ローム溶け込み大量(30～50%)に含む。均質。締まりなく、粘性あまりなし。

508号住居 P5 a-a'

1 黒褐色土(10YR3/2) 不均質なロームブロック若干(1～3%)含む。締まりなく、粘性あまりなし。

508号住居 P10・15 c-c'・h-h'

1 黒褐色土(10YR3/2) 不均質なロームブロック若干(1～3%)含む。締まりなく、粘性ややあり。

508号住居 P13 f-f'

1 黒褐色土(10YR3/1) 白色軽石若干(1～3%)含む。内礫含む。締まり、粘性あまりなし。

508号住居 P16 J-J'

1 黄褐色土(10YR5/8) 乱れたロームブロック。締まりあまりなく、粘性なし。

2 黒褐色土(10YR3/2) ローム溶け込み若干(1～3%)含む。締まりなく、粘性ややあり。

508号住居 P19 m-m'・n-n'

1 黄褐色土(10YR4/6) 不均質なロームブロック。締まり、粘性ともあまりなし。

2 黒褐色土(10YR3/2) ロームブロック若干(1～3%)含む。締まり、粘性ともあまりなし。

508号住居 P20 o-o'

1 黒褐色土(10YR3/2) ロームブロック混れて大量(30～50%)を含む。炭化物若干(1～3%)含む。締まり、粘性ともあまりなし。

508号住居 P21 p-p'

- 1 黒褐色土(10YR3/2) ロームの溶け込み、ロームブロック多量(15～25%)を含む。締まり、粘性ともあまりなし。
- 2 にぶい黄褐色土(10YR4/3) 乱れたロームブロック。

3 にぶい黄褐色土(10YR4/3) 大量(30～50%)を含む。締まりあまりなく、粘性ややあり。

508号住居 P22 q-q'

- 1 黒褐色土(10YR3/2) ロームの溶け込み、ロームブロック多量(15～25%)を含む。締まり、粘性ともあまりなし。
- 2 黒褐色土(10YR3/2) 1層より均質。締まりなく、粘性あまりなし。

508号住居 P23 r-r'

1 黒褐色土(10YR3/2) ロームの溶け込み、ロームブロック多量(15～25%)を含む。締まり、粘性ともあまりなし。

508号住居 P24 s-s'

1 黒褐色土(10YR3/2) ロームブロック、炭化粒若干(1～3%)含む。締まりなく、粘性あまりなし。

508号住居 P25 t-t'

1 黒褐色土(10YR3/2) ロームブロック少量(5～10%)含む。締まり、粘性ともあまりなし。

508号住居 P26 u-u'

1 黒褐色土(10YR3/2) ロームブロック多量(15～25%)を含む。締まり、粘性ともあまりなし。

508号住居 P27 v-v'

1 黒褐色土(10YR3/2) ロームブロック若干(1～3%)含む。締まり、粘性ともあまりなし。

508号住居 P28 w-w'

1 黒褐色土(10YR3/2) ローム粒子溶け込み若干(1～3%)含む。締まり、粘性ともあまりなし。

508号住居 P30 z-z'

1 黒褐色土(10YR3/2) ロームブロック若干(1～3%)含む。締まりややあり、粘性ともあまりなし。

508号住居 P32 aa-aa'

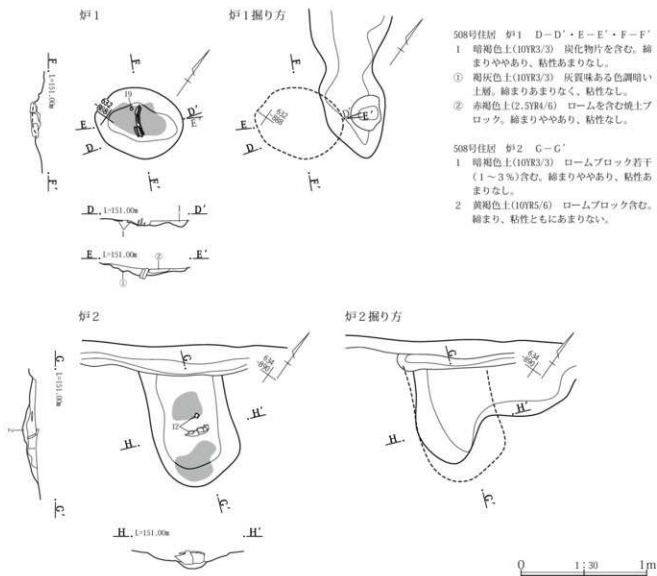
1 褐色土(10YR5/6) 締まりあり、粘性なし。貼床相当(周囲の床面より色調暗い)。

- 2 明黄褐色土(10YR6/8) ローム溶け込み大量(30～50%)に含む。均質。赤茶褐色味ある軽石を多量(15～25%)を含む。締まりややあり、粘性あまりなし。

第174図 嶋上1遺跡B区3面 508号住居断面

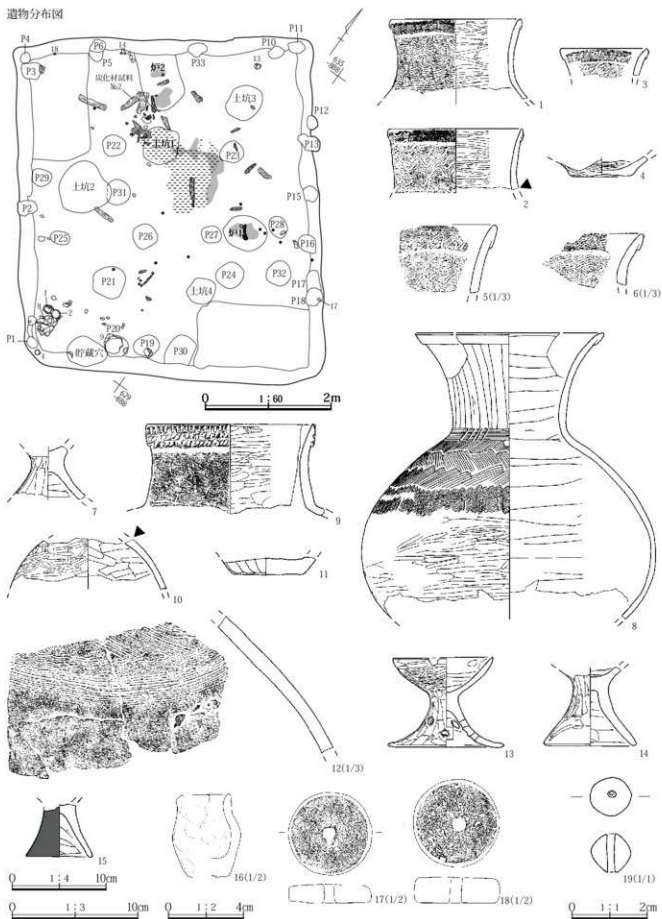
褐色土のロームブロックの上に暗褐色土が埋没している。ロームブロックを少量含み、締まりがある。中央に土器片が確認できる。長径89cm、短径65cm、深さ10cmである。双方共に掘り方から移動している。 **重複遺構**：509号住居(2面)、527・529・532・552号ピット(1面)より古い。 **遺物**：弥生土器19点(高杯3点、甕6点、台付甕1点、壺5点、ミニチュア土器1点、紡輪2点、土玉1点)を図示した。北壁、東甕、南西隅、炉1に集中して遺物が出土した。甕(1・2)、高杯(13・14)は床直上から、土玉(19)は炉1床直上から、壺(12)は炉2床直上から、紡輪(18)はベッド状遺構床直上からの出土であり、本住居に伴うものであると考えられる。甕(4)は

周溝床土10cm、壺(8)は床土7cm、壺(9)はP20床土17cm及び貯蔵穴床土39cm、紡輪(17)はP18床土57cm浮いた位置から出土しており、甕(5)、台付甕(7)は住居埋没土から、甕(3)は貯蔵穴埋没土から、高杯(15)、甕(6)、壺(10・11)、ミニチュア土器(16)は土坑2埋没土から出土している。これらの土器は本住居に伴うものであるか明瞭でない。図示した以外に、弥生土器(弥生後期218片3242.6g)、縄文土器(間山Ⅱ式2片28g、諸磯b式1片30g)、土師器(8片48g)が出土している。 **所見(縄属時期)**：樽式土器の出土が多い。口縁部から頸部にかけての櫛描波状文を複数帯施した土器を主体としており、後期後葉の住居であると考えられる。



第175図 鴨上1遺跡B区3面 508号住居炉

遺物分布図



第176図 嶋上I遺跡B区3面 508号住居出土遺物

514号住居(第177～179図 PL.63・64・85)

調査区中央部の住居群内、515号住居の南側に位置する。残存状態は良好でない。

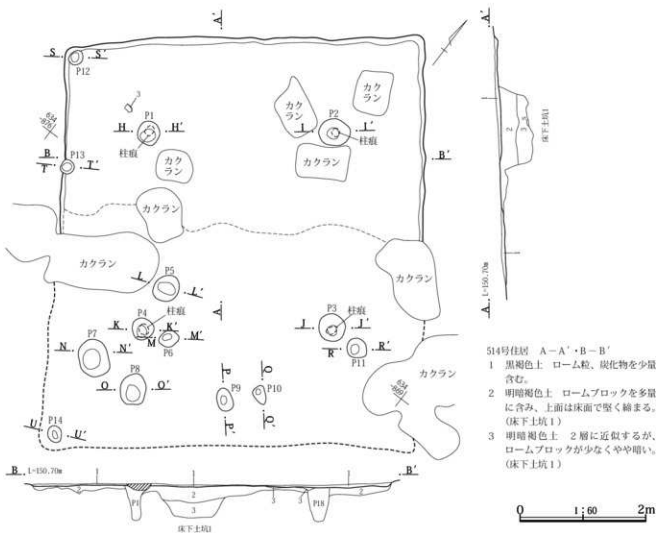
位置：630～639・868～877にある。

規模形状：主軸長(6.50)m、幅5.73mである。各辺直線的である。北辺に対して南辺が若干長い。全体としては、南北にやや長い整った長方形を呈している。埋没土・壁：黒褐色土で埋没している。ローム粒、炭化物を少量含む。残存状態が良好でなく自然堆積であるか明瞭でない。壁高は0.02～0.07mである。方位：N-35°-W
面積：(36.03)m² 床面：南に傾斜している。高低差は、北辺から住居中央までで既に14cmを測る。緩やかな起伏を伴うが、ほぼ平坦である。住居南部は、ほぼ削平を受けており、使用面が確認できない。南辺付近に、出入口施設があると思われる。掘り方：北部で確認できた。深さは12～18cm程である。中央部が深く、西側と東側

が浅い。埋没土は、明暗褐色土である。ロームブロックを多量に含み、上面は締まりが強い。壁溝：認められない。ピット(柱穴)：18基を確認した。位置、規模及び深さより、P1・2・3・4が、規則的な主柱穴配置による柱穴であると思われる。P12・13・14は、位置、規模、埋没土より、壁柱穴であると考えられる。さらに、P9・10は出入口施設に関わるものであると思われる。各柱穴の規模及び埋没土の傾向は次の通りである。

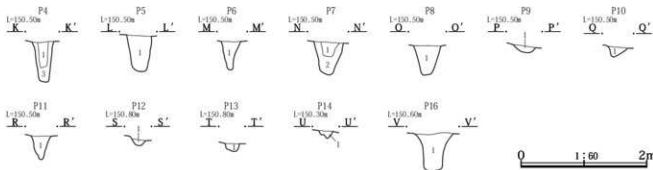
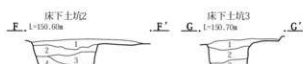
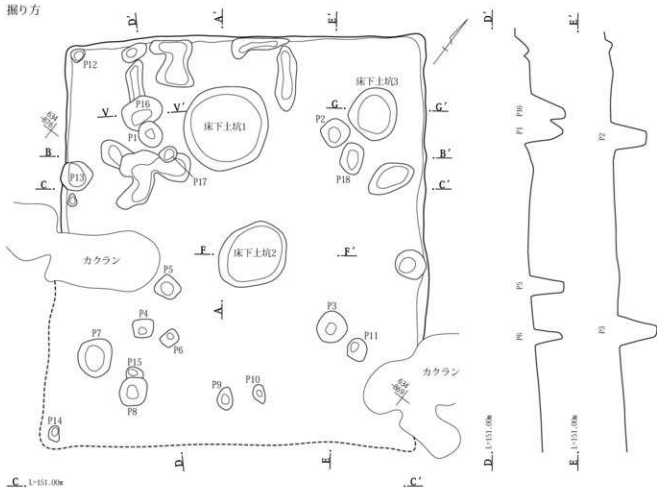
(長径×短径×深さcm)

P 1	38×34×64	P 2	50×43×58
P 3	44×42×62	P 4	34×34×63
P 5	45×40×58	P 6	32×26×45
P 7	60×45×52	P 8	48×41×46
P 9	36×24×11	P 10	30×20×16
P 11	31×31×37	P 12	26×22×10
P 13	23×20×12	P 14	27×22×12



第177図 嶋上1遺跡B区3面 514号住居

掘り方



514号住居 床下土坑2 F-F'

- 1 暗褐色土 As-YP、ローム小ブロックを少量含む。
- 2 明暗褐色土 ローム小ブロック・粒を多量に混在。
- 3 暗褐色土 ローム大ブロックを少量含む。
- 4 明暗褐色土 ローム粒を多量に含む。

514号住居 床下土坑3 G-G'

- 1 明暗褐色土 ロームブロックを多量に含み、上面は床面で強く締まる。(掘り方覆土)
- 2 明赤褐色土 焼土粒を多量に含む。
- 3 暗褐色土 ローム粒を少量含む。やや粘質。

0 1:60 2m

第178図 嶋上I遺跡B区3面 514号住居掘り方

514号住居 P1・2・3・4 H-H'・1-1'・J-J'・K-K'

- 1 暗褐色土 焼上・炭化粒を少量含む、ローム大ブロックを混入。(柱直上)
 2 黄褐色土 黄褐色粘質土(ローム)ブロックを主体とし、暗褐色土を混入する。堅く締まる。(柱の根固め土)
 3 暗黄褐色土 暗褐色土と黄色ロームとの混入上で、下位ほどロームが多い。

514号住居 P5 L-L'

- 1 暗赤褐色土 ローム小ブロックを少量、焼上粒を多量含む。下位は焼上粒多い。

514号住居 P6 M-M'

- 1 暗褐色土 ローム小ブロックを少量含む。

P15 28×(16)×42 P16 64×47×59

P17 28×23×40 P18 50×35×43

主柱穴のP1・2・3・4は、柱痕土は暗褐色土、柱の埋め土は暗黄褐色土、柱の根固め土は黄褐色土が観察される。同時期の埋没であると考えられる。壁柱穴のP12・13・14は、暗褐色土で埋没しており、ロームブロックが混入していることから類似性が高い。出入り施設に関わると思われるP9・10は、暗褐色土で埋没しており、ロームブロックが混入していることから類似性が高い。いずれも同時期の埋没であると思われる。貯蔵穴：認められない。土坑：床下土坑を3基確認した。各床下土坑の規模及び埋没土の傾向は次の通りである。

(長径×短径×深さcm)

床下土坑1：134×132×50 床下土坑2：120×100×41

床下土坑3：84×78×42

床下土坑1・2は、明暗褐色土で埋没しており、ロームブロック等と混入しており共通性が高い。床下土坑3は、暗褐色土で埋没しており、他の床下土坑と同様にロー

514号住居 P7 N-N'

- 1 黒褐色土 灰色粘質土と焼上粒を含む。

- 2 明暗褐色土 ロームブロック・粒を多く含む。

514号住居 P8 O-O'

- 1 暗褐色土 上面にAs-Cを僅かに含み、下位にローム粒を多く含む。

514号住居 P9・10・11 P-P'・Q-Q'・R-R'

- 1 暗褐色土 As-YFを少量、ローム粒を含む。

514号住居 P12・13・14 S-S'・T-T'・U-U'

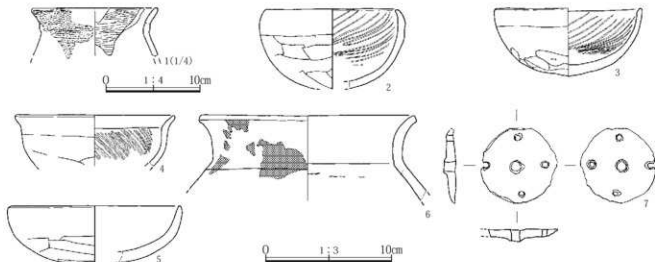
- 1 暗褐色土 ロームブロックを少量含む。

514号住居 P16 V-V'

- 1 暗褐色土 ローム小ブロックを多く含む。

ムブロック等を混入しており、共通性がある。床下土坑1・3は共に上面は締まりの強い床面である。これらのことから同時期の埋没である可能性が高いと考える。

炉：認められない。重複遺構：なし。遺物：弥生土器1点(甕1点)を図示した。削平が進んでおり住居の残存状態が良好でない。遺物の出土は少ない。甕(1)は埋没土からの出土であり、本住居に伴うものであるか明瞭でない。また、土師器5点(杯4点、甕1点)、須恵器1点(瓶)を図示した。杯(3)は床直上及び埋没土から、杯(2・4・5)、甕(6)、瓶(7)は埋没土から出土している。ただし、これらの土器は5世紀後半のものであると比定され、上層からの混入であると考えられる。図示した以外に、弥生土器(弥生後期後半15片190.5g)、及び上層からの混入である土師器(甕類17片)、羽釜1片が出土している。所見(帰属時期)：樽式土器の出土が主体である。口縁部から頸部にかけての柳描波状文を複数帯施した土器を主体としており、後期後葉の住居であると考えられる。



第179図 鴨上1遺跡B区3面 514号住居出土遺物

515号住居(第180～182図 PL.64・65・85)

調査区中央部の住居群内にある。残存状態は良好でない。

位置：636～643・875～882にある。

規模形状：主軸長(5.26)m、幅(5.31)mである。西隅以外は壁の立ち上がりが確認できなかった。各辺歪んでいるが、正方形を呈していると思われる。埋没土・壁：削平が進んでおり、西隅のみ確認された。ロームブロックや炭化物を含んだ黒色土、黒褐色土で埋没している。人為的に埋め戻されたと思われる。壁高は0.34mである。

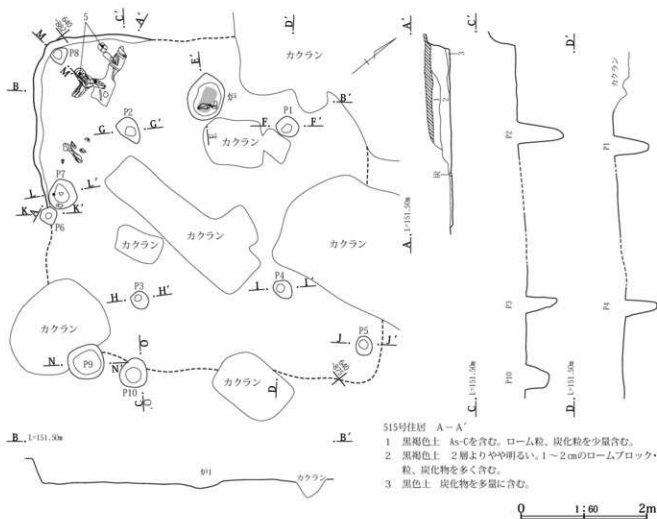
方位：N-54°-W 面積：[26.93]㎡ 床面：南に傾斜している。高低差は16cm程と大きい。起伏はほぼなく平坦である。西隅に炭化物の出土が確認できる。掘り方：ほぼ全面に認められる。深さは3cm前後である。壁溝：認められない。ピット(柱穴)：10基を確認した。位置、

規模及び深さより、P1・4・3・2が、規則的な主柱穴配置による柱穴であると思われる。P5・6・8は、位置、規模、埋没土より、壁柱穴であると思われる。P9・10は出入口施設に関わるものであると思われる。各柱穴の規模及び埋没土の傾向は次の通りである。

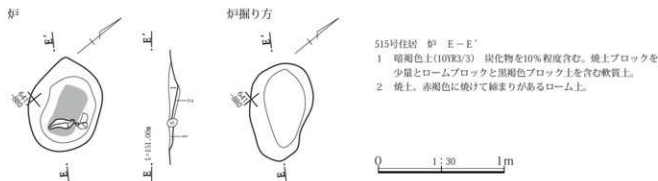
(長径×短径×深さcm)

P1	36×34×57	P2	45×31×60
P3	28×26×38	P4	36×26×33
P5	30×26×20	P6	28×26×36
P7	47×44×21	P8	28×24×32
P9	48×43×54	P10	58×54×37

主柱穴のP1・4・2は、暗褐色土で埋没しておりロームブロック等の混入物も共通である。P3は、明黄褐色土で埋没しているが、混入物は類似している。壁柱穴のP5・6は暗褐色土で、P8は明黄褐色土で埋没してい

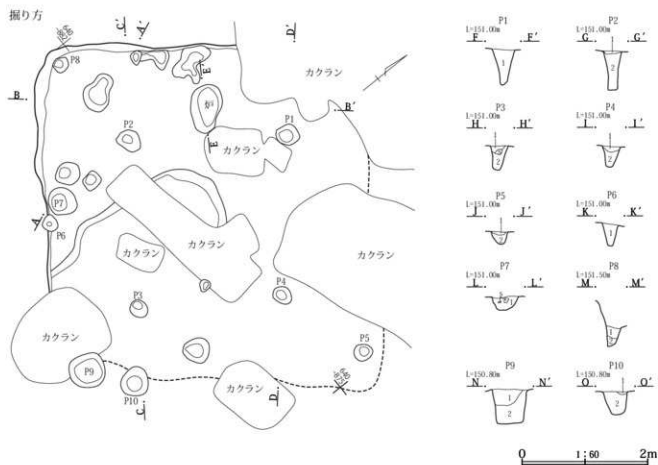


第180図 嶋上1遺跡B区3面 515号住居



515号住居 炉 E-E'

- 1 暗褐色土(10YR3/3) 炭化物を10%程度含む。焼上ブロックを少量とロームブロックと黒褐色ブロック土を含む軟質土。
- 2 焼上。赤褐色に焼けて締まりがあるローム土。



515号住居 P1 F-F'

- 1 暗褐色土(10YR3/3) ロームブロックと黒褐色ブロック土を含む軟質土。

515号住居 P2・4・5 G-G'・I-I'・J-J'

- 1 暗褐色土(10YR3/3) 炭化物と焼上ブロックを少量とロームブロックと黒褐色ブロック土を含む軟質土。

- 2 暗褐色土(10YR3/3) ロームブロックと黒褐色ブロック土を含む軟質土。

515号住居 P3 H-H'

- 1 暗褐色土(10YR3/3) ロームブロックと黒褐色ブロック土を含む軟質土。

- 2 明黄褐色土(10YR6/6) ロームブロックが入る軟質土。

515号住居 P6 K-K'

- 1 暗褐色土(10YR3/3) 炭化物と焼上ブロックを少量とロームブロックと黒褐色ブロック土を含む軟質土。

515号住居 P7 L-L'

- 1 黒褐色土(10YR2/2) ロームブロック多量と黒褐色ブロック土を含む軟質土。

515号住居 P8 M-M'

- 1 黒褐色土(10YR1/3) 炭化物を少量とロームブロックを含む軟質土。

- 2 明黄褐色土(10YR6/6) ローム粒子主体で黒褐色土ブロックを少量含む軟質土。

515号住居 P9・10 N-N'・O-O'

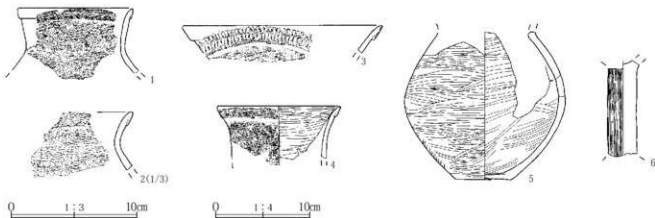
- 1 黒褐色土 ロームブロックを僅かに、炭化粒を少量含む。締まり弱い。

- 2 明暗褐色土 ローム粒・ブロックを多量に含む。

第181図 鴨上I遺跡B区3面 515号住居炉、掘り方

る。ロームブロック等の混入物は類似している。主柱穴のP1・4・2、壁柱穴のP5・6、及び主柱穴のP3と壁柱穴のP8は、同時期の埋没の可能性があると考えられる。**貯蔵穴**：認められない。**土坑**：認められない。**炉**：住居北西部壁際中央に炉を1基確認した。燃焼部に焼土が確認された。暗褐色土で埋没している。炭化物中量、焼土ブロック少量、ロームブロック、黒褐色土ブロックを含む軟質土である。掘り方には、焼土が確認できる。ローム土が赤褐色に焼けて締まりが強い。長径74cm、短径58cm、深さ8cmである。炉の南部に枕石が確認できる。長さ20cm、幅5cm、厚さ8cmである。**重複遺構**：なし。**遺物**：弥生土器6点(高杯1点、甕1点、

台付甕1点、甕3点)を図示した。住居西部を中心に遺物が出土した。甕(5)は床直上からの出土であり、本住居に伴うものであると考えられる。高杯脚部(6)は住居埋没土から、甕(1)、台付甕(2)はP7埋没土から、甕(3)はP9・10埋没土から、甕(4)はP10及び表探からの出土であり、本住居に伴うものであるか明瞭でない。図示した以外に、弥生土器(弥生後期後半41片761.5g)、及び上層からの混入である須恵器(杯類1片)が出土している。**所見(縄属時期)**：樽式土器の出土が多い。口縁部から頸部にかけての櫛描波状文を複数帯施した土器を主体としており、後期後葉の住居であると考えられる。



第182図 鴨上1遺跡B区3面 515号住居出土遺物

516号住居(第183～185図 PL.65・85・86)

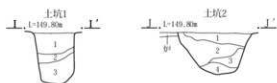
調査区東部の住居群内、518号住居の東側にある。南壁が調査区域外にある。部分的に攪乱を受けており、残存状態は良好でない。

位置：642～649・840～848にある。

規模形状：主軸長(5.58)m、幅6.51mである。各辺やや歪んでいる。全体的には、整った正方形を呈していると思われる。**埋没土・壁**：黒褐色土、暗褐色土、明暗褐色土が壁際から埋没している。各層、ロームブロックを含んでおり、人為的な埋め戻しであると思われる。壁高は0.08～0.27mである。**方位**：N-20°W **面積**：(30.56)㎡ **床面**：住居隅の高まりは確認できなかった。南東方向に傾斜している。高低差は10cm前後と大きい。緩やかな起伏を伴うが、ほぼ平坦である。住居西部及び

南東部に焼土が散見できる。**掘り方**：調査したほぼ全面に掘り方が認められる。深さは2～20cm程である。埋没土は、明暗褐色土である。ロームブロック・粒を多量に含み、上面は締まりの強い床面である。**壁溝**：北東隅の一部を除いて、ほぼ全周に確認できる。ただし、南壁際は調査対象外のため確認できていない。北壁のものは、暗褐色土で埋没しており、ロームブロックを含む粘質土である。幅9～20cm、深さ14cm程である。東壁のものは、暗褐色土で埋没しており、ロームブロック・粒を少量含む。幅8～20cm、深さ6cm程である。西壁のものは、暗褐色土で埋没しており、ロームブロックを含む粘質土である。幅10～20cm、深さ7cm程である。**ピット(柱穴)**：認められない。**貯蔵穴**：認められない。**土坑**：土坑を2基確認した。土坑1は、長径70cm、

第5章 縄文時代～弥生時代(3面)の遺構と遺物

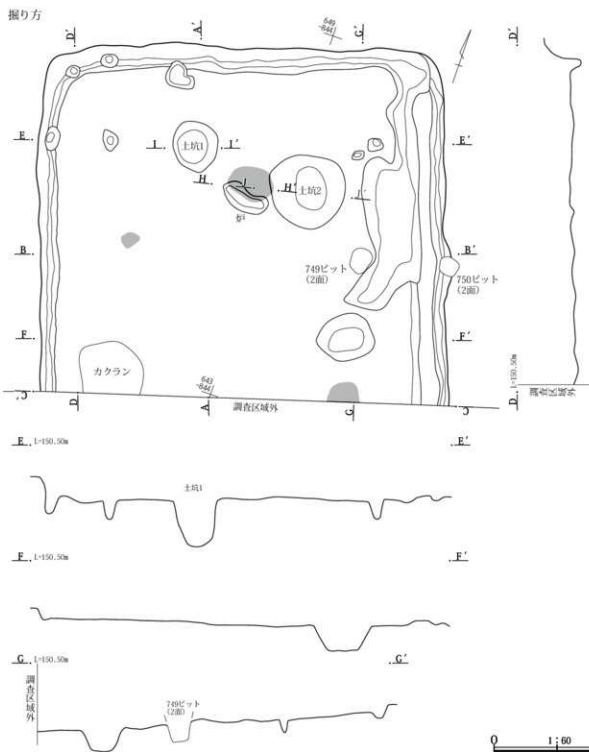


516号住居 上坑1 1-1'

- 1 明暗褐色土 炭化物を少量、ローム粒を多量に含む。締まり弱い。
- 2 暗褐色土 混入物少なく、やや粘質。
- 3 明暗褐色土 ロームブロック・粒を少量含む。

516号住居 上坑2 1-1'

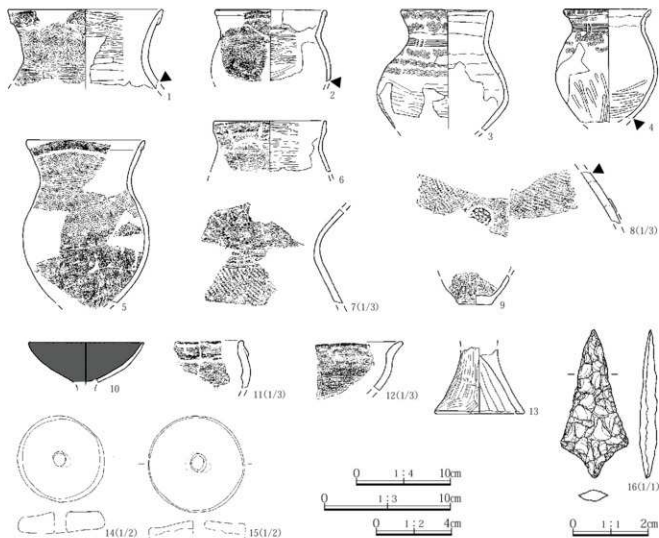
- 1 暗褐色土 ローム大ブロックを少量含み、締まりあり。(粘土?)
- 2 明暗褐色土 ローム大ブロック・粒を多量に混在。
- 3 暗褐色土 1層に類するが、やや明るい。
- 4 明暗褐色土 2層に近似するが、ロームブロックが主。



第184図 嶋上1遺跡B区3面 516号住居掘り方

短径68cm、深さ81cmである。埋没土は、明暗褐色土や暗褐色土である。ロームブロックや炭化物を含む。中層は粘質土で、上層は締まりが弱い。土坑2は、長径128cm、短径122cm、深さ65cmである。埋没土は、明暗褐色土と暗褐色土が交互に重なり、ロームブロックを含む。上部は貼床の可能性がある。 炉：住居中央北寄りに位置する。燃焼部に焼土が堆積している。土器片が確認される。埋没土は、明暗褐色土である。炭化物、焼土粒を少量、ローム粒を多量に含む、締まりは弱い。炉の規模は、長径(108)cm、短径98cm、深さ7cmである。掘り方は、南寄りに確認できた。 重複遺構：749・750号ピット(2面)に前出している。 遺物：弥生土器15点(高杯4点、甕1点、小型甕5点、壺3点、紡輪2点)、剥片石器1点

(石鏃)を图示した。住居中央、北西隅、北東隅に集中して遺物が出土した。小型甕(3・4・5・6)、高杯(13)、壺(7・8・9)、紡輪(14・15)は床直上から、高杯(10)はが床直上からの出土であり、本住居に伴うものであると考えられる。甕(1)、小型甕(2)、高杯(11・12)は住居埋没土からの出土であり、本住居に伴うものであるか明瞭でない。また、石鏃(16)が床土16cmから出土している。图示した以外に、弥生土器(弥生後期土器片3047g)、及び上層からの混入である土師器(甕類1片)、須恵器(杯類2片)が出土している。 所見(埴輪時期)：樽式土器の出土が多い。口縁部から頸部にかけての櫛描波状文を複数帯施した土器を主体としており、後期後葉の住居であると考えられる。



第185図 鴨上1遺跡B区3面 516号住居出土遺物

517号住居(第186～188図 PL.66・67・86)

調査区東部中央の住居群内東端にある。残存状態は良好である。

位置：655～662・836～843にある。

規模形状：主軸長5.52m、幅5.00mである。各辺歪んで、若干外側に張り出している。南北にやや長い長方形を呈している。埋没土・壁：粘性のある黒褐色土が壁際から埋没しており、その後、暗褐色土で全体が埋没している。ロームブロック、炭化物、焼土をそれぞれ含み、人為的な埋戻しであると思われる。壁高は0.09～0.34mである。方位：N-39°-E 面積：23.86㎡ 床面：東に傾斜している。高低差は5cm程である。若干の起伏を伴うがほぼ平坦である。床面は締まりが強い。南西隅にベッド状遺構の高まりが確認できる。高まりの規模は、南北94cm、東西176cm、高さ12～14cm程である。面積は1.55㎡である。長方形を呈している。掘り方埋没土と同じ明暗褐色土で作られており、ロームブロックが多く混在している。住居中央部を中心に、多量の炭化材が散見できる。柱穴周りに集中しており、特にP3・4間に出土している炭化材は、桁が崩落したものであると推察される。掘り方：ほぼ全面に認められる。中央部及び南部がやや層が厚い。埋没土は、明暗褐色土であり、ロームブロックを多量に含み、上面となる床面は締まりが強い。深さは6～25cm前後である。壁溝：北西隅から西壁中央にかけて、また、南西隅から南壁ベッド状遺構の南側に確認できる。西壁のものは、幅8～20cm、深さ4cm程である。南壁のものは、幅14～18cm、深さ4cm程である。埋没土は、双方とも粘性のある黒褐色土であり、住居埋没土に準じている。ピット(柱穴)：11基を確認した。位置、規模及び深さより、P3・4・1・2が、規則的な主柱穴配置による柱穴であると思われる。P7・10は、壁柱穴であると思われる。また、P11は、出入口施設に関わるものであると思われる。各柱穴の規模及び埋没土の傾向は次の通りである。

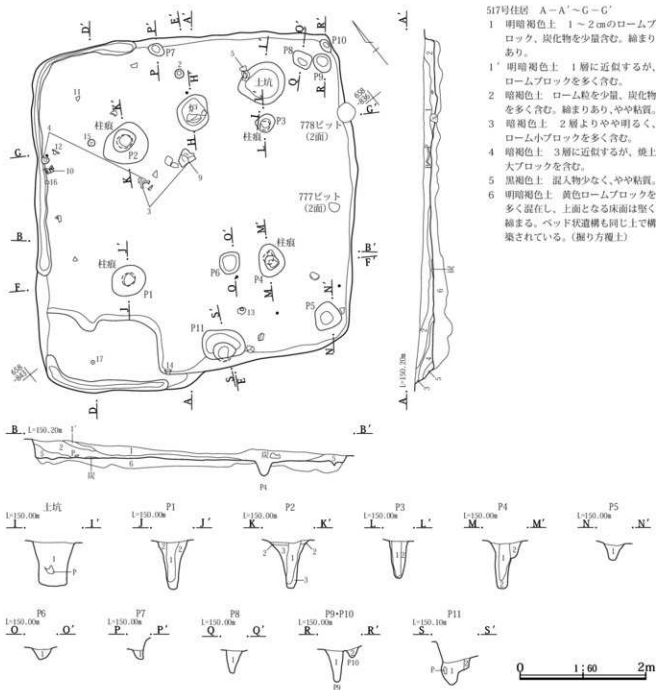
(長径×短径×深さcm)

P 1	54×48×78	P 2	70×66×74
P 3	32×28×58	P 4	52×41×74
P 5	42×42×26	P 6	35×31×18
P 7	27×18×16	P 8	32×24×36
P 9	32×26×50	P 10	23×14×14

P11 68×44×41

主柱穴のP3・4・1・2は、土層が共通している。明黄褐色土で埋没しており、混入物も共通している。上面は締まりが強く、柱の根固め土である。柱根は暗褐色土で埋没しており、混入物も類似している。同時期の埋没であると考えられる。壁柱穴のP7・10も、土層が共通しており、同時期の埋没であると考えられる。出入口施設のP11は、P7・10と土層が類似しているが、同時期の埋没であるか明瞭でない。貯蔵穴：認められない。土坑：北東部に土坑を1基確認した。規模は、長径76cm、短径65cm、深さ69cmである。埋没土は、暗褐色土で、ロームブロック・粒を含む軟質土である。炉：住居北部中央部分に位置する。燃焼部に焼土は確認されなかった。規模は、長径58cm、短径49cm、深さ3cm程である。暗褐色土で埋没しており、ロームブロックを多量に含む。枕石と思われる礫が確認できた。長さ22cm、幅12cm、厚さ10cm程である。掘り方は焼土化していた。重複遺構：777・778号ピット(2面)に前出している。遺物：弥生土器17点(高杯3点、甕5点、台付甕2点、壺2点、小型壺1点、鉢1点、器台1点、紡輪2点)を図示した。住居北部及び南西部を中心に遺物が出土した。甕(2・5)、高杯(13)、紡輪(16)は床直上から、紡輪(17)はベッド状遺構床直上からの出土であり、本住居に伴うものであると考えられる。甕(3)は床上6・14cm、壺(9)は床上6cm、壺(10)は床上20cm、小型壺(4)は床上10～17cm、鉢(11)は床上8cm、高杯(12)は床上13cm、高杯(14)は床上17cm、器台(15)は床上15cm浮いた位置から出土しており、甕(1・6)、台付甕(8)は住居埋没土から、台付甕(7)はP4埋没土からの出土であり、本住居に伴うものであるか明瞭でない。図示した以外に、弥生土器(弥生後期後半93片1305.1g)、縄文土器(阿玉台式1片10.7g)が出土している。所見(帰属時期)：樽式土器の出土が多い。口縁部から頸部にかけての櫛波状文を複数帯施した土器を主体としており、後期後葉の住居であると考えられる。

4 鴨上1遺跡B区の遺構と遺物



517号住居 A-A'~G-G'

- 1 明暗褐色土 1~2cmのロームブロック、炭化物を少量含む。締まりあり。
- 1' 明暗褐色土 1層に近似するが、ロームブロックを多く含む。
- 2 暗褐色土 ローム粒を少量、炭化物を多く含む。締まりあり、やや粘質。
- 3 暗褐色土 2層よりやや明るく、ローム小ブロックを多く含む。
- 4 暗褐色土 3層に近似するが、焼土大ブロックを含む。
- 5 黒褐色土 混入物少なく、やや粘質。
- 6 明暗褐色土 黄色ロームブロックを多く混在し、上面となる床面は堅く締まる。ベッド状遺構も同じ上で構築されている。(掘り方上)

517号住居 土坑 I-I'

- 1 暗褐色土 ロームブロック・粒を含む。やや軟質。

517号住居 P1 J-J'

- 1 暗褐色土 炭化物・ローム粒を少量含む。
- 2 明暗褐色土 黄褐色粘質土ブロックと黄色ロームブロックが多く混在し、下位はローム粒が多量。上面は堅く締まる。(柱の根固め上)

517号住居 P2 K-K'

- 1 暗褐色土 炭化物・焼土粒を上位に、ローム粒を少量含む。
- 2 黄暗褐色土 黄褐色粘質土ブロックと黄色ロームブロックが多量に混在し、堅く締まる。(柱の根固め上)
- 3 明暗褐色土 黄褐色粘質土ブロックが少量混在し、下位はローム粒を多く含む。

517号住居 P3 L-L'

- 1 暗褐色土 炭化物・ローム粒を少量含む。
- 2 明暗褐色土 黄褐色粘質土ブロックと黄色ロームブロックが多く混在し、下位はローム粒が多量。上面は堅く締まる。(柱の根固め上)

在し、下位はローム粒が多量。上面は堅く締まる。(柱の根固め上)

517号住居 P4 M-M'

- 1 暗褐色土 炭化物・ローム粒を少量含む。
- 2 明暗褐色土 黄褐色粘質土ブロックと黄色ロームブロックが多く混在し、下位はローム粒が多量。上面は堅く締まる。(柱の根固め上)

517号住居 P5 N-N'

- 1 黒褐色土 As-YP、ロームブロックを少量含む。
- 517号住居 P6・7・8 O-O'・P-P'・Q-Q'
- 1 明暗褐色土 ローム小ブロックを僅かに含む。

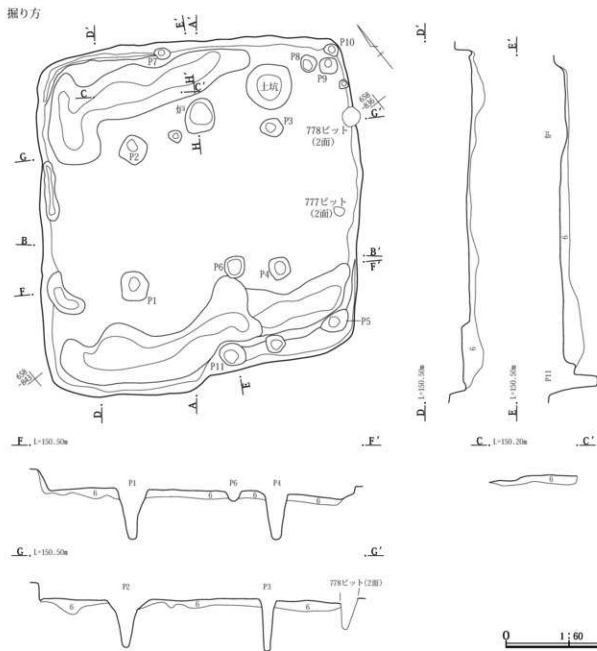
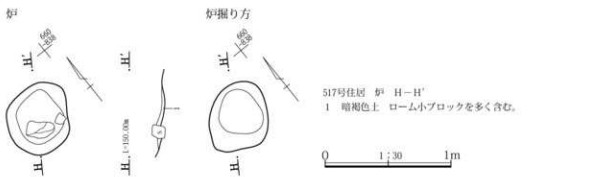
517号住居 P9・10 R-R'

- 1 黒褐色土 上位にks-YP、ローム粒を多量に含む。(P9)
- 2 黒褐色土 ローム小ブロックを僅かに含む。(P10)

517号住居 P11 S-S'

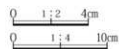
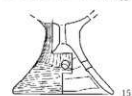
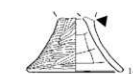
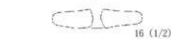
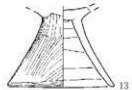
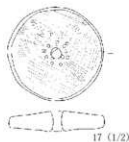
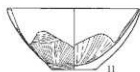
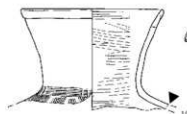
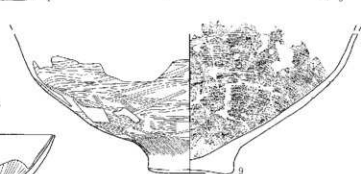
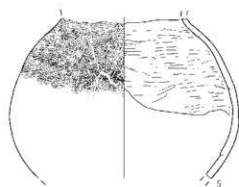
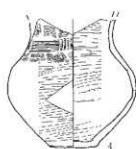
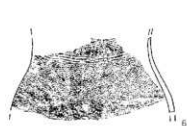
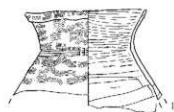
- 1 黒褐色土 混入物少なく、やや軟質。
- 2 黒褐色土 ロームブロック・炭化物を含む。

第186図 鴨上1遺跡B区3面 517号住居



第187図 鳴上I遺跡B区3面 517号住居炉、掘り方

炭化物分布図



第188図 鴨上1遺跡B区3面 517号住居出土遺物

518号住居(第189～195図 PL.68・69・70・87)

調査区東部の住居群内にある。南東隅が調査区域外である。西壁が一部攪乱を受けているが、その他の残存状態は良好である。

位置：635～644・853～862にある。

規模形状：主軸長9.36m、幅7.93mである。北辺、東辺、西辺は外側にやや張り出している。南辺は直線的である。全体としては、南北に長い整った長方形を呈している。**埋没土・壁**：壁際から黒褐色土、黄褐色土、暗褐色土が埋没している。全体的には、暗褐色土及び黒褐色土が埋没している。炭化物、焼土、ロームブロックが含まれており、床面から多量の炭化材が出土していることから、焼失後一気に埋め戻したものである。壁高は0.33～0.72mである。**方位**：N-7°-E **面積**：(63.55)㎡ **床面**：南東方向に大きく傾斜している。高低差は10～12cm程である。起伏は少なくほぼ平坦である。北西部、北東部、中央部から南東部、南西部の一部と、広大な範囲に焼土が分布している。西壁、北壁、東壁の直下に、多量の炭化材が出土している。住居が焼失する際に、住居周りの袖壁が焼け落ち、完全に燃焼しないうちに埋め戻され、その結果多量の焼土や炭化物の分布が観察されたと考えられる。また、四隅及び東壁の中央直下に5か所ベッド状遺構の高まりが確認できる。北東隅のベッド状遺構の高まりは、南北121cm、東西210cm、高さ3～6cm程である。面積は2.32㎡である。南東隅のベッド状遺構の高まりは、東部が調査区域外にある。現存している範囲で、南北88cm、東西124cm、高さ10～13cm程である。面積は(0.52)㎡である。南西隅のベッド状遺構の高まりは、南北224cm、東西98cm、高さ4～6cm程である。面積は2.08㎡である。北西隅のベッド状遺構の高まりは、南部に攪乱を受けている。現存している範囲で、南北72cm、東西84cm、高さ3～9cm程である。面積は(0.53)㎡である。東壁中央部のベッド状遺構の高まりは、南北180cm、東西77cm、高さ3～4cm程である。面積は1.33㎡である。いずれも長方形に準じた形状を呈している。南西隅、東壁中央のものは、南北に長く、北東隅と南東隅のものは、東西に長い。北西隅のものは、南北に長いと推察される。ベッド状遺構の構築土は、黄橙粘質土を主体としており、締まりが強い。**掘り方**：ほぼ全面に認められる。東部及び南部がやや層が厚い。埋

没土は、暗黄橙粘質土であり、締まりがある。貼土の構築土である。深さは5～12cm程である。**壁溝**：南西隅に一部確認できる。ただし、ベッド状遺構周りの溝と同化している。幅20～26cm、深さ5cm程である。埋没土は、不明である。**ピット(柱穴)**：7基を確認した。位置、規模及び深さより、P1・2・3・4が、規則的な主柱穴配置による柱穴であると思われる。P5・6・9は、出入口施設に関わるものであると思われる。各柱穴の規模及び埋没土の傾向は次の通りである。

(長径×短径×深さcm)

P1	46×46×77	P2	38×35×74
P3	38×36×65	P4	38×36×112
P5	46×36×13	P6	40×38×51
P9	36×30×63		

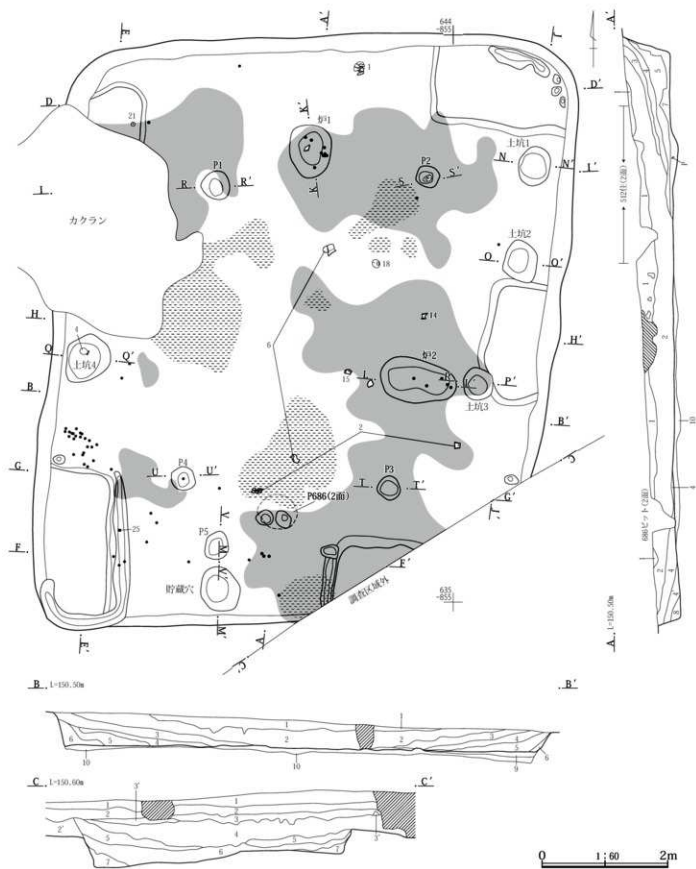
主柱穴のP1・2・3・4は、にぶい黄褐色土で埋没しており、粘質土でややもろい。上面は締まりが強い。P2は柱材の炭化物を含んでいる。同時期の埋没の可能性が高いと考える。出入口施設のP5・6・9は、にぶい黄褐色土で埋没しており、混入物も共通するものが多い。炭化物や焼土が散見できる。上面は締まりが強い。やはり、同時期の埋没の可能性が高いと考える。

貯蔵穴：南部出入口施設近くに窪みが確認された。規模及び土層より貯蔵穴と思われる。埋没土は、暗褐色土と褐色土が交互に重なる。炭化物片、ロームブロック、焼土を含む。上面は白色粒を含み締まりが強い。規模は、長径70cm、短径62cm、深さ56cmである。**土坑**：東壁直下のベッド状遺構周辺に3基、西壁中央部直下に1基、土坑を確認した。各土坑の規模及び埋没土の傾向は次の通りである。

(長径×短径×深さcm)

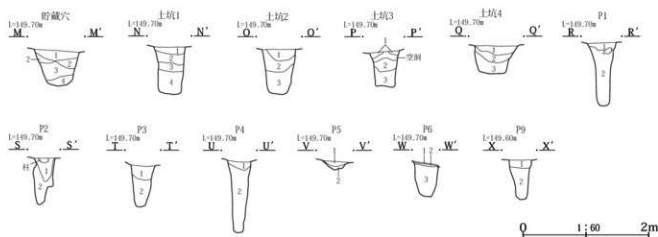
土坑1	63×50×75	土坑2	59×52×71
土坑3	52×46×54	土坑4	68×66×44

土坑1・2・3・4は、主ににぶい黄褐色土、暗褐色土・黒褐色土、褐色土の順で埋没している。土坑1・3・4の上面は締まりが強く、土坑2の上面はもろく粘性がある。土坑1・2・3は、ロームブロックあるいはローム粒子を含んでいる。土坑3の1層と2層の間が空洞となっている。2層の暗褐色土は炭化物を含んでもろく、沈下したと考えられる。埋没土は類似しており、同時期の埋没である可能性が高いと考える。また、土坑4から



第189図 鴨上1遺跡B区3面 518号住居

第5章 縄文時代～弥生時代(3面)の遺構と遺物



518号住居 A-A'～J-J'

- 1 黒褐色土(10YR2/3) 径2～5mmのAs-C軽石を多く含む。サラサラした上。
- 2 暗褐色土(10YR3/3) 僅かにロームブロックと炭化物を含む軟質上。
- 2' 暗褐色土(10YR3/3) ロームブロックを少量含む。
- 3 暗褐色土(10YR3/3) 径5cmのロームブロックとローム粒と僅かに炭化物を含む軟質上。
- 3' 3層に類似する。ロームブロックを多く含む。
- 4 黒褐色土(10YR2/2) 径2～5mmの焼土ブロックを少量とロームブロック及び炭化物を少量含む軟質上。
- 4' 黒褐色土(10YR2/2) 焼土と炭化物を多く含む軟質上。
- 5 (10YR4/6) 炭化物を10%程度と床面近くから使土ブロックが多く検出される。やや粘性あり。
- 6 黒褐色土(10YR3/2) やや粘性のある上。
- 7 黒褐色土(10YR1/3) 炭化物を多く含む軟質上。
- 8 黄褐色土(10YR5/6) ロームの二次堆積軟質上。
- 9 黄褐色粘質土 黄褐色粘質土(ローム)を主とし、堅く締まる。ベッド状遺構の構築上。
- 10 暗黄褐色粘質土 黄褐色粘質土ブロックを主とし、堅く締まる。粘床の構築上。
- 11 暗褐色土 黄褐色粘質土小ブロックと暗褐色土との混在上。

518号住居 貯蔵穴 M-M'

- 1 暗褐色土(10YR3/3) 径2～3mmの白色軽石を微量含む。所々にロームブロック点在。炭化物片を少量含む。やや締まりあり。
- 2 暗褐色土(10YR3/4) 炭化物片を少量含む。もろい。
- 3 褐色土(10YR4/4) ロームブロックを少量含む。焼土を微量含む。ややもろい。
- 4 暗褐色土(10YR3/3) 締まりあり。やや粘性。

518号住居 土坑1 N-N'

- 1 褐色土(10YR4/4) 径1mmの白色軽石を微量、ローム粒を少量、焼土粒・焼土を微量含む。締まりあり。やや粘質。
- 2 暗褐色土(10YR3/4) 所々に炭化物を少量含む。もろい。
- 3 暗褐色土(10YR3/4) 粘質土混じり。粘性あり。やや締まりあり。
- 4 にぶい黄褐色土(10YR4/3) 粘質土が多く混ざる。締まりあり。

518号住居 土坑2 O-O'

- 1 褐色土(10YR4/4) 少量の焼土が混ざる。もろい。やや粘性あり。
- 2 暗褐色土(10YR3/3) 炭化物を含む。ロームブロック点在。やや締まりあり。
- 3 にぶい黄褐色土(10YR4/3) 粘質土が多く混ざる。締まりあり。

518号住居 土坑3 P-P'

- 1 褐色土(10YR4/4) 径1mmの白色軽石を微量、ローム粒を少量、焼土を微量含む。締まりあり。やや粘質。※1層と2層の間に空洞あり。
- 2 暗褐色土(10YR3/4) 所々に炭化物を少量含む。もろい。
- 3 にぶい黄褐色土(10YR4/3) 粘質土が多く混ざる。締まりあり。

518号住居 土坑4 Q-Q'

- 1 暗褐色土(10YR3/4) 炭化物を少量含む。締まりあり。粘質。
- 2 黒褐色土(10YR3/2) 粘土混じり。締まりあり。
- 3 にぶい黄褐色土(10YR4/3) 粘質土が多く混ざる。締まりあり。

518号住居 P1 R-R'

- 1 暗褐色土(10YR3/4) 径2～3mmの白色軽石を微量含む。焼土粒、焼土を微量含む。締まりあり。
- 2 にぶい黄褐色土(10YR5/4) 粘質土でややもろい。

518号住居 P2 S-S'

- 1 にぶい黄褐色土(10YR4/3) 粘質混じり。締まりあり。※柱材の炭化物あり。

518号住居 P3・4 T-T'・U-U'

- 1 にぶい黄褐色土(10YR5/3) 粘質混じり。締まりあり。
- 2 にぶい黄褐色土(10YR5/4) 粘質土でややもろい。

518号住居 P5 V-V'

- 1 黒褐色土(10YR3/2) 径1～2mmの白色軽石を微量含む。ローム粒子を微量含む。炭化物片を少量含む。締まりあり。やや粘質。
- 2 にぶい黄褐色土(10YR5/3) ローム粒子を微量含む。炭化物片を少量含む。締まりあり。粘質上。

518号住居 P6 W-W'

- 1 暗赤褐色土(2.5YR3/6) 焼土。かたく締まる。
- 2 暗褐色土(10YR3/3) ロームブロック混じり。締まりあり。
- 3 にぶい黄褐色土(10YR4/3) 粘質上。もろくずれやすい。

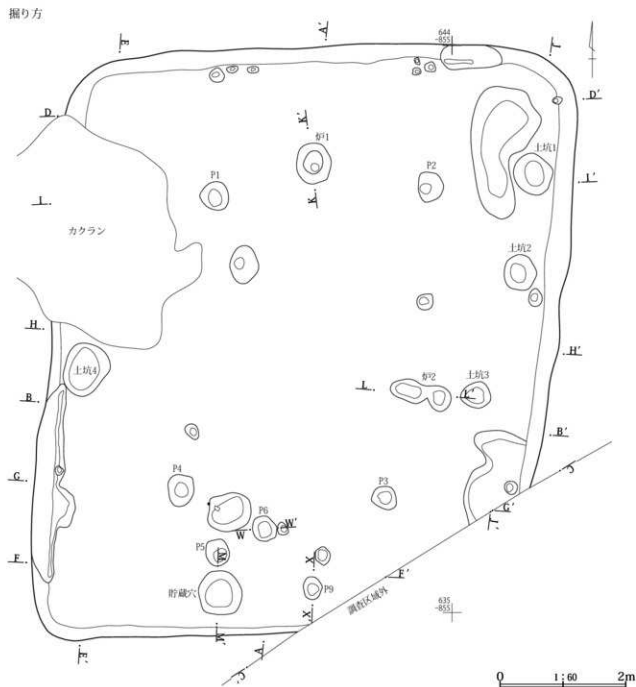
518号住居 P9 X-X'

- 1 暗褐色土(10YR3/4) 締まりあり。
- 2 にぶい黄褐色土(10YR4/3) 粘質上。ややもろい。

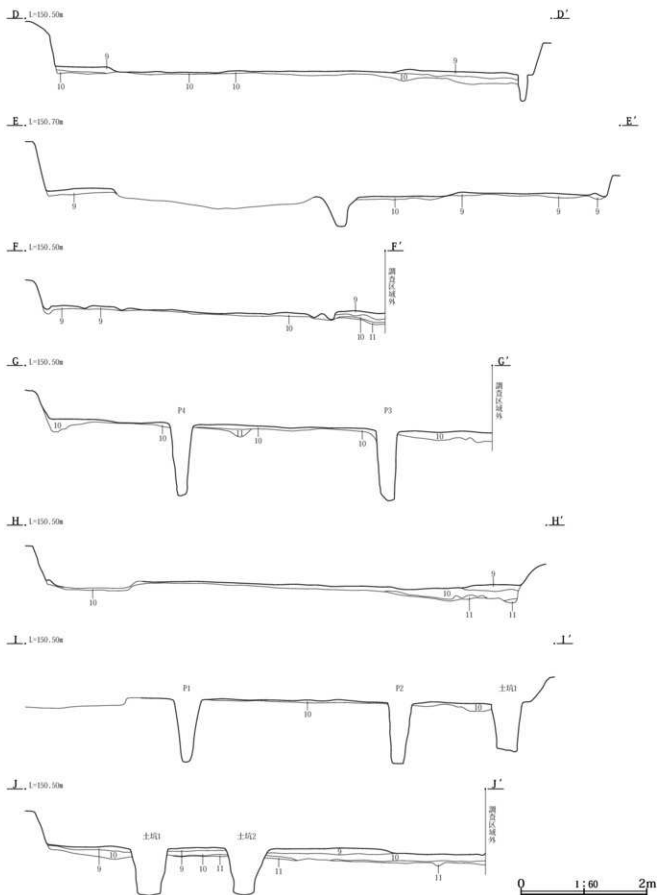
第190図 焼土1遺跡B区3面 518号住居断面(1)

は小型甕が出土している。炉：住居北部中央部分及び住居中央部東寄りに炉を2基確認した。双方共に焼土で広く覆われている。炉1では、炭化物が確認された。ただし、これらの焼土及び炭化物は、炉の燃焼によるものではなく、住居を焼却廃棄する際に由来するものであると考えられる。炉1は、暗褐色土で埋没しており、白色軽石を微量に含み、炭化物と焼土を多量に含む。締まり

が強く、粘性がある。中央西よりに杖石と思われる礎が確認される。規模は長径84cm、短径67cm、深さ5cmである。掘り方は、確認でき、埋没土は焼土化している。炉2は、掘り込みが東西2か所ある。西は、暗褐色土で埋没しており、白色軽石を微量に含み、焼土を多量に含む。締まりが強く粘性がある。東は、暗褐色土で埋没しており、白色軽石を微量に含み、炭化物と焼土を多量に



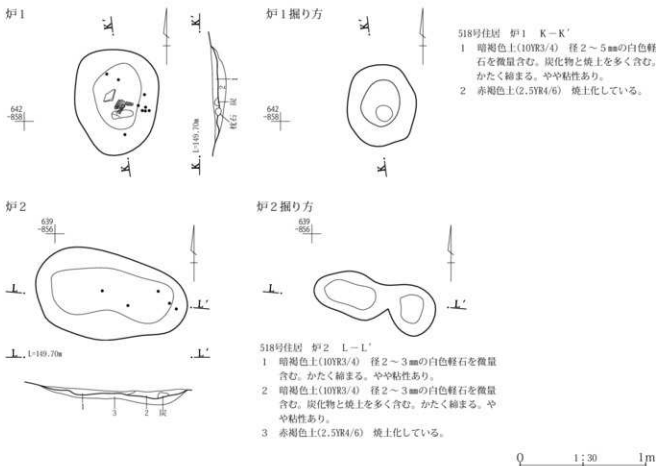
第191図 鴨上1遺跡B区3面 518号住居掘り方



第192図 鳴土1遺跡B区3面 518号住居断面(2)

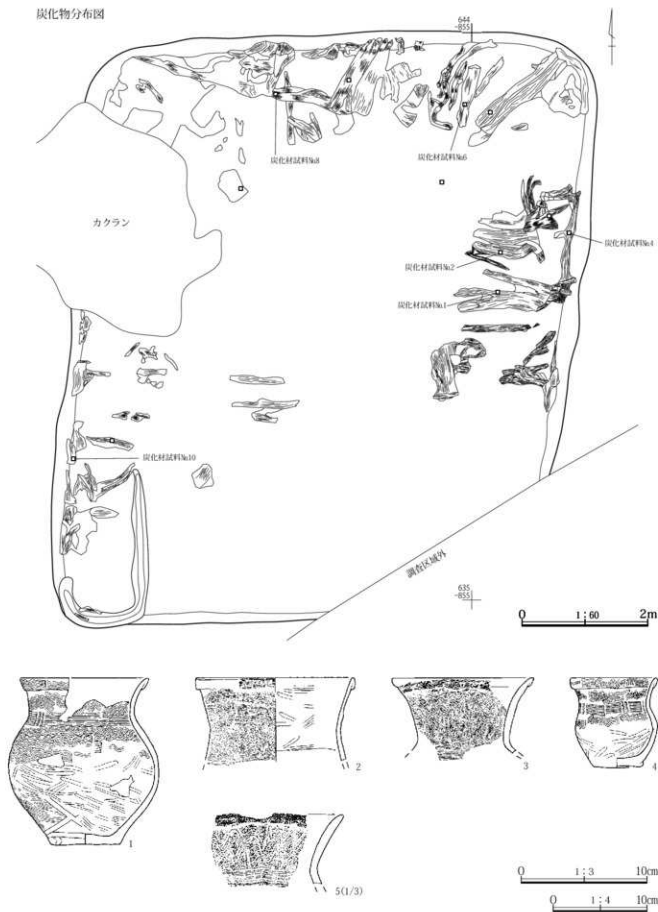
含む。締まりが強く粘性がある。炉1に準じた埋没土である。2つの掘り込みの間に土器片が観察される。規模は長径122cm、短径70cm、深さは掘り込みが2か所あり、東の掘り込みが6cm、西の掘り込みが5cmである。掘り方は、掘り込みに沿って東西に確認できた。埋没土は焼土化している。 **重複遺構**：686号ピット(2面)、512号住居(2面)より古い。512号住居との切り合いはなしか。 **遺物**：弥生土器21点(甕5点、小型甕1点、台付甕5点、小型台付甕3点、壺2点、小型壺1点、鉢1点、器台1点、片口1点、紡輪1点)、土師器2点(器台2点)、須恵器1点(蓋)、鉄製品1点を図示した。住居全体から散見するように多量の遺物が出土した。埋没土及び床上35cmまでの高い位置からの出土遺物が多く、住居廃絶時に投棄されたような状態であったと思われる。甕(1)は床上16cm、甕(2)は床上6・9cm、甕(6)は床上20・35cm、台付甕(14)は床上11cm、壺(15)は床上16cm、鉢(18)は床上33cm、小型甕(4)は土坑4床上30cm、紡輪(21)はベツ

下状遺構床土7cm浮いた位置から出土しており、甕(3・5)、台付甕(10・11・12・13)、小型台付甕(7・8・9)、壺(16)、弥生器台(20)、片口(19)は住居埋没土から、小型壺(17)は住居埋没土及び貯蔵穴埋没土からの出土であり、木住居に伴うものであるか明瞭でない。蓋(22)、土師器器台(23・24)は埋没土から、鉄製品(25)は南西側ベッド状遺構の東溝床直上からの出土である。ただし、器台は4世紀代、蓋は9世紀代と比定され、これらの遺物は上層からの混入であると考えられる。図示した以外に、弥生土器(弥生後期後半267片3254.1g)、縄文土器(勝坂式3片47.9g、阿玉台式1片12g)、及び上層からの混入である土師器(甕類8片)、須恵器(杯類2片)、鉄製品(1点)が出土している。 **所見(縄属時期)**：樽式土器の出土が多い。口縁部から頸部にかけての櫛描波状文を複数帯施した土器を主体としており、後期後葉の住居であると考えられる。

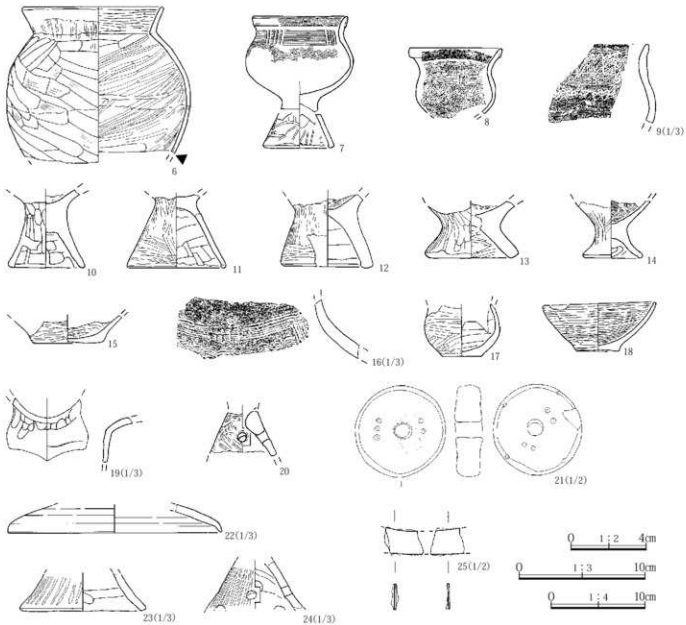


第193図 鴨上1遺跡B区3面 518号住居炉

炭化物分布図



第194図 鳴上1遺跡B区3面 518号住居出土遺物(1)



第195図 鴨上1遺跡B区3面 518号住居出土遺物(2)

519号住居(第196図 PL.70)

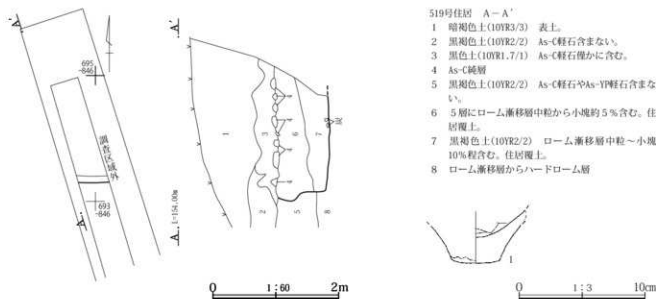
調査区北東部隅の引き込み線内にある。残存状態は良好でない。

位置：693～695・846～846にある。

規模形状：主軸長不明、幅不明である。南辺はやや外側に張り出していると推察される。形状は不明である。

埋没土・壁：ロームブロックを含む黒褐色土で埋没している。人為的な埋め戻しか自然堆積か明瞭でない。壁高は0.15mである。方位：不明。面積：(0.72)㎡ 床面：若干の起伏を伴うがほぼ平坦である。床直上に炭が確認される。ベッド状遺構の高まりは認められない。掘り

方：認められない。壁溝：認められない。ピット(柱穴)：認められない。貯蔵穴：認められない。土坑：認められない。炉：認められない。重複遺構：なし。遺物：土師器1点を図示した。鉢(1)は埋没土からの出土であった。非掲載遺物として、土師器2片(甕類1片、杯類1片)、須恵器2片(甕類)が出土した。いずれも、上層からの流入であると思われる。所見(帰属時期)：As-C純層下埋没土及び周囲遺構の検出状況から、同調査区で確認された後期の住居と同時期に相当すると推察される。



第196図 嶋上I遺跡B区3面 519号住居

- 519号住居 A-A'
- 1 暗褐色土(10YR3/3) 表土。
 - 2 黒褐色土(10YR2/2) As-C軽石含まない。
 - 3 黒色土(10YR1.7/1) As-C軽石僅かに含む。
 - 4 As-C純層
 - 5 黒褐色土(10YR2/2) As-C軽石やAs-Y軽石含まない。
 - 6 5層にローム漸移層中粒から小塊約5%含む。住居覆土。
 - 7 黒褐色土(10YR2/2) ローム漸移層中粒～小塊10%程含む。住居覆土。
 - 8 ローム漸移層からハードローム層

521号住居(第197～199図 PL.70・71・87・88)

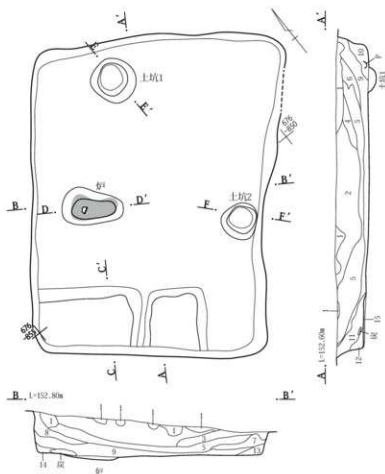
調査区北東隅側の住居群内にある。残存状態は良好である。

位置：673～679・849～855にある。

規模形状：主軸長5.12m、幅3.89mである。各辺歪んでいる。東辺は若干外側に張り出しており、南辺はやや内側に反っている。東西に長い長方形を呈している。**埋没土・壁**：ローム粒を含んだ黒褐色土の後As-C軽石層が堆積している。その後、As-C軽石を含む黒褐色土、暗褐色土、黒色土等で埋没している。自然堆積であると思われる。壁高は0.30～0.65mである。**方位**：N-39°-E **面積**：17.01㎡ **床面**：東に傾斜している。高低差は8cm程である。起伏はなく平坦である。南西隅及び南壁に並ぶようにしてベッド状遺構の高まりが確認できる。南西のベッド状遺構の高まりの規模は、南北148cm、東西74cm、高さ4～6cm程である。面積は1.04㎡である。南北に長い長方形を呈している。ローム粒を含む黄褐色土及び暗褐色土で構築されており、硬く締まっている。南壁中央のベッド状遺構の高まりの規模は、南北74cm、東西84cm、高さ2～4cm程である。面積は0.61㎡である。東西にやや長い長方形を呈している。ローム粒を含む暗褐色土で構築されている。住居南西部を中心に、炭化材が散見できる。北辺及び南西隅方向に向かって炭化材が検出されており、垂木及び袖壁が崩落した可能性が考え

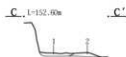
られる。中央部に焼土の分布も複数確認され、焼失住居であると考えられる。**掘り方**：ほぼ全面に認められる。北隅、東辺中央、南隅に窪みを認める。埋没土は、不明である。**壁溝**：認められない。**ピット(柱穴)**：認められない。**貯蔵穴**：認められない。**土坑**：北東部に1基及び南東部に1基認められる。土坑1の規模は、長径71cm、短径66cm、深さ41cmである。埋没土は、暗褐色土及び黒褐色土で、ローム粒を含む。上面に若干炭化物を含む。土坑2の規模は、長径58cm、短径56cm、深さ48cmである。埋没土は、土坑1に準ずる。同時期に埋没したと考えられる。**炉**：住居中央や北西寄りに位置する。燃焼部に焼土が認められた。炉の規模は、長径98cm、短径59cm、深さ7cm程である。暗褐色土及び赤褐色土で埋没しており、焼土粒、炭化物を多く含む。枕石として使用されたと思われる土器片が確認できた。掘り方は確認できなかった。**重複遺構**：なし。**遺物**：弥生土器9点(高杯1点、甕1点、小型甕1点、台付甕3点、壺1点、紡輪2点)、土師器1点(甕)、礫石器4点(磨石2点、凹石1点、磨製石斧1点)を図示した。住居北部及び中央部から西部にかけて、散見するように遺物が出土した。甕(1)、台付甕(2・3・4)、壺(6)、紡輪(9)は床直上からの出土であり、本住居に伴うものと考えられる。高杯(7)は床直上～床土7cmから、紡輪(8)は床土10cmからの出土であり、本住居に伴うものと考えられる。

4 嶋上1遺跡B区の遺構と遺物



521号住居 A-A'・B-B'

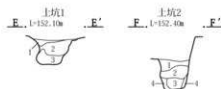
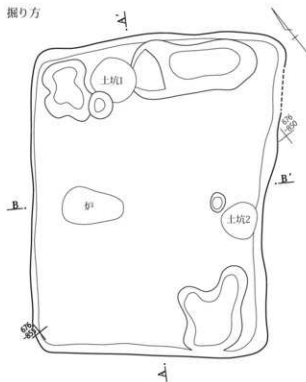
- 1 褐色土(10YR4/4) 耕作土
- 2 黒色土(10YR2/1) As-C軽石多量含む。濃い色調。締まりあり。
- 3 暗褐色土(10YR3/4) As-C軽石多量含む。黒色土少量含む。淡い色調。
- 4 黒褐色土(10YR3/2) As-C軽石多量含む。黒色土粒少量含む。淡い色調。
- 5 As-C軽石層
- 6 暗褐色土(10YR3/3) 黒色土粒、黄褐色ローム土少量含む。淡い色調。
- 7 暗褐色土(10YR3/4) 黄褐色ローム粒多量含む。淡い色調。
- 8 黄褐色土(10YR8/6) 黄褐色ローム粒多量含む。淡い色調。7層に類似。
- 9 黒褐色土(10YR3/2) 黒色土、黄褐色ローム粒少量含む。淡い色調。
- 10 暗褐色土(10YR3/4) 黄褐色ローム粒僅かに含む。淡い色調。
- 11 黄褐色土(10YR8/6) 黄褐色ロームブロック・粒多量含む。淡い色調。
- 12 黒褐色土(10YR3/1) 黒色土少量、黄褐色ローム粒僅かに含む。淡い色調。
- 13 10層と類似。明るい色調。
- 14 12層と類似。黄褐色ローム・ブロック含む。
- 15 暗褐色土(10YR3/4) ローム粒少量含む。



521号住居 C-C'

- 1 暗褐色土(10YR3/4) 黄褐色ローム粒少量含む。硬く締まっている。
- 2 黄褐色土(10YR8/6) 暗褐色土粒少量、黄褐色ローム粒多量含む。淡い色調。

掘り方



521号住居 土坑1 E-E'

- 1 暗褐色土(10YR3/4) 黄褐色ローム粒、炭化物僅かに含む。淡い色調。
- 2 暗褐色土(10YR3/3) 黄褐色ローム粒少量含む。濃い色調。
- 3 黒褐色土(10YR3/2) 黄褐色ローム粒僅かに含む。淡い色調。

521号住居 土坑2 F-F'

- 1 暗褐色土(10YR3/4) 黄褐色ローム粒、焼土細粒、炭化物僅かに含む。
- 2 暗褐色土(10YR3/3) 黄褐色ローム粒少量含む。濃い色調。
- 3 黒褐色土(10YR3/1) 黄褐色ローム粒僅かに含む。濃い色調。
- 4 暗褐色土(10YR3/4) ローム粒僅かに含む。淡い色調。

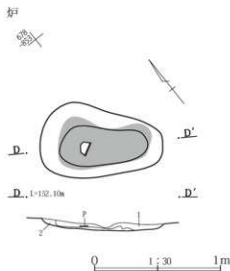
0 1:60 2m

第197図 嶋上1遺跡B区3面 521号住居

第5章 縄文時代～弥生時代(3面)の遺構と遺物

然である。また、紡輪(8)には片面に五芒星状の浅描きが施してある。小型甕(5)は埋没土からの出土であり、本住居に伴うものであるか明瞭でない。小型甕(5)は内面口唇下7mmに糊埋め込み痕がある。土師器甕(10)は床上16cmからの出土であり、上層からの流入であると思われる。また、磨石(11・12)、凹石(13)が床直上から、磨

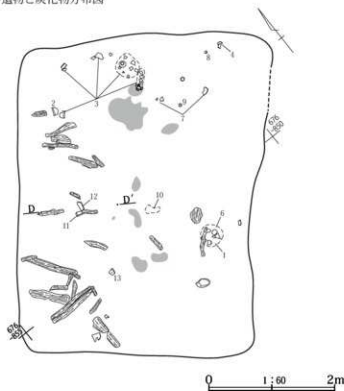
製石斧(14)が埋没土から出土した。図示した以外に、弥生土器、弥生後期が50片(甕14片、杯類6片、壺甕類30片)、縄文土器、加曾利E3が1片出土している。所見(縄属時期)：樽式土器の出土が多い。口縁部から頸部にかけての櫛描波状文を複数帯施した土器を主体としており、後期後葉の住居であるとする。



521号住居 跡 D-D'

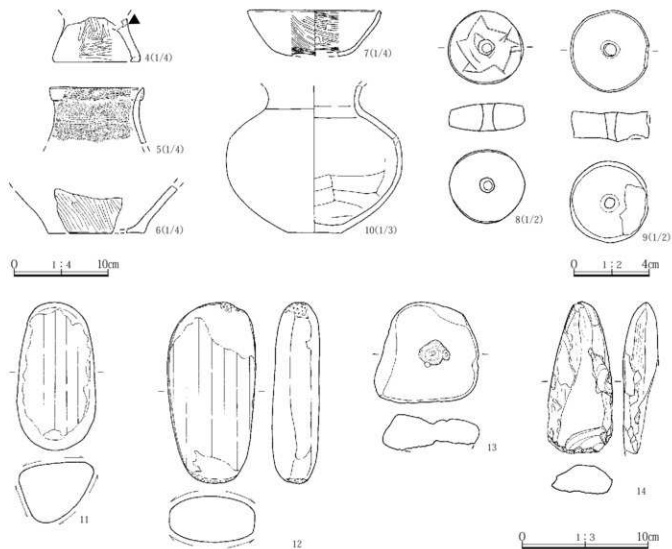
- 1 暗褐色土(10YR3/4) 焼土細粒、炭化物僅かに含む。
- 2 赤褐色土(5YR4/8) 焼土多量、暗褐色土粒僅かに含む。

遺物と炭化物分布図



0 1:4 10cm

第198図 鴨上1遺跡B区3面 521号住居跡、出土遺物(1)



第199図 鴨上1遺跡B区3面 521号住居出土遺物(2)

522号住居(第200～203図 PL.71・72・88)

調査区中央北寄りの住居群内にある。残存状態は良好である。

位置：647～653・877～883にある。

規模形状：主軸長5.78m、幅4.55mである。各辺直線の形で、若干外側に張り出している。東西に長い長方形を呈している。埋没土・壁：ローム粒を含む暗褐色土の上にAs-C軽石が堆積している。その後As-C軽石を含む黒褐色土及び暗褐色土が堆積している。レンズ状に堆積しており、自然埋没であると思われる。住居西部に人為的な攪乱が見られる。壁高は0.20～0.99mである。方位：N-64°-E 面積：23.23㎡ 床面：東に傾斜している。

高低差は12cm程である。若干の起伏を伴うがほぼ平坦である。西部床面は、貼床を施している。南東隅及び南西隅にベッド状遺構の高まりが確認できる。南東部のベッド状遺構高まりの規模は、南北82cm、東西164cm、高さ6～12cm程である。面積は1.30㎡である。長方形を呈している。ローム粒を含む灰黄褐色土で構築されており、硬く締まっている。南西部のベッド状遺構高まりの規模は、南北62cm、東西168cm、高さ6～12cm程である。面積は0.98㎡である。長方形を呈している。ローム粒を含む黒褐色土及び黄褐色土で構築されており、硬く締まっている。住居全体に、多量の炭化材が散見できる。柱穴周りに集中しており、特にP1～2・3間の炭化材は桁

材が、及びP2・3～6間の炭化材は梁材が崩落したものであると推察される。その周辺の炭化材は垂木が崩落したものであると考えられる。中央部には炭が広く分布しており、囲むように焼土が見られる。焼失住居であるとする **掘り方**：西部を中心に確認できる。貼床を施している。埋没土は、ロームを含む黄褐色土である。深さは4～5cm前後である。 **壁溝**：認められない。 **ピット(柱穴)**：8基を確認した。位置、規模及び深さより、P1・3・6・7が、規則的な主柱穴配置による柱穴であると思われる。P2はP3に、P8はP7にそれぞれ付随する掘り込みである。P4・5は、出入口施設に関わるものであると考える。各柱穴の規模及び埋没土の傾向は次の通りである。

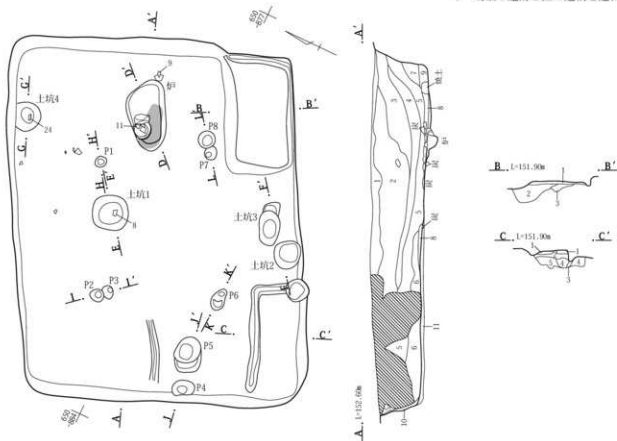
(長径×短径×深さcm)

P1	19×18×29	P2	22×21×14
P3	21×17×36	P4	36×24×18
P5	56×43×36	P6	36×24×26
P7	24×20×47	P8	28×27×9

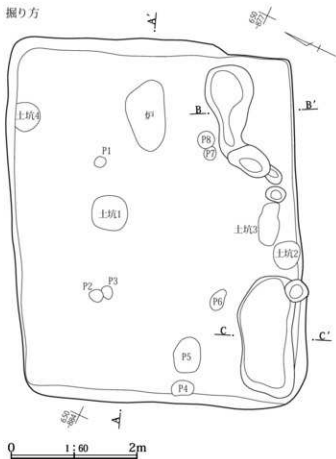
P1・3・6・7は、黒色土、黄褐色ローム粒及び炭化物を含んだ暗褐色土で埋没している。P2・8もそれに準ずる。P4・5は、黒色土、黄褐色ローム粒及び炭化物、焼土粒を含んだ暗褐色土で埋没している。どれも埋没土が類似しており、同時期に埋没したと思われる。

貯蔵穴：認められない。 **土坑**：4基を確認した。土坑1は、中央北部に位置する。規模は、長径58cm、短径56cm、深さ52cmである。暗褐色土で埋没しており、上面は焼土粒と炭化物を含む。土坑2・3は、南壁中央直下に位置している。土坑2の規模は、長径44cm、短径43cm、深さ36cmである。土坑3の規模は、長径69cm、短径34cm、深さ16cmである。双方とも、暗褐色土で埋没しており、上面は焼土粒と炭化物を含む。土坑4は、北壁東より壁直下に位置している。規模は、長径46cm、短径(38)cm、深さ34cmである。埋没土は不明である。土坑1～3は、埋没土が類似しており、同時期の埋没であるとする。 **炉**：住居東部中央に位置する。燃焼部に焼土が確認された。規模は、長径114cm、短径62cm、深さ4cm程である。ローム粒、焼土粒、炭化物を含んだ橙色土主体で埋没している。上面に、黒褐色土、明褐色土、黄褐色土を伴う。枕石と思われる礫が確認できた。長さ24cm、幅18cm、厚さ不明である。掘り方は確認できなかった。 **重複遺構**：

なし。 **遺物**：弥生土器17点(高杯4点、甕7点、壺3点、瓢壺1点、器台1点、紡輪1点)、土師器2点(杯1点、甕1点)、須恵器5点(杯4点、椀1点)、石製品1点(火打石)、鉄製品1点を図示した。住居北部及び南部を中心に散見するように遺物が出土した。高杯(13・15)、甕(2・3・4)、壺(9)は床直上から、甕(11)は床直上から、瓢壺(8)は土坑1床直上から、高杯(12)はベッド状遺構床直上からの出土であり、本住居に伴うものであると考えられる。甕(1)は床直上及び埋没土からの出土であり、本住居に伴うものであると考えるのが自然である。高杯(14)、甕(6・10)、壺(5)、器台(16)は埋没土から、壺(7)は床上20cmから、紡輪(17)は床上58cmからの出土であり、本住居に伴うものであるか明瞭でない。ただし、紡輪(17)は、直径8.6cm、中孔直径1.0cm、厚さ3.0cm、重さ259.4gに及ぶ大きなものである。材質は土であり、形態は長方形から薄台形と考えられる。この時期における群馬県から出土した紡輪の傾向に矛盾しないものの、これ程大きな紡輪は県内では例がない。本来の紡輪の機能は糸に撚りをかけるものであり、出土した紡輪は従来の紡輪からすると大きなものである。紡輪の形をした土製の模造品であると解釈できるが、一方で、より太い縄状の素材を扱った実用品である可能性も否定できない。あるいは、その他のものであるのか判断する資料にかけている。杯(24)は土坑4から、甕(23)、杯(18・19・20・21)、椀(22)は埋没土からの出土であった。これらの土器は上層からの流入であると思われる。また、火打石(25)、鉄製品(26)が埋没土から出土した。図示した以外に、弥生土器、弥生後期が231片(壺甕類128片、杯類15片、甕類83片、壺類5片)、縄文土器(関山IIが1片、加曾利E4が3片、加曾利B2が4片、諸磯cが1片)出土している。 **所見(帰属時期)**：樽式土器の出土が多い。口縁部から頸部にかけての柳描波状文を複数帯施した土器を主体としており、後期後葉の住居であるとする。



掘り方



522号住居 A-A'

- 1 暗褐色(10YR3/3) 黒色土少量含む。濃い色調。
- 2 黒褐色(10YR3/1) 黒色土、As-C軽石多量含む。濃い色調。
- 3 黒褐色(10YR3/2) 黒色土、As-C軽石少量含む。濃い色調。
- 4 As-C軽石層
- 5 暗褐色土(10YR3/4) 黒色土僅かに含む。黄褐色ローム粒少量含む。淡い色調。
- 6 黄褐色土(10YR7/8) 黄褐色ロームブロック・粒多量含む。淡い色調。
- 7 暗褐色土(10YR3/4) 黄褐色ローム粒少量含む。淡い色調。
- 8 黄褐色土(10YR8/6) 黄褐色ローム粒多量含む。淡い色調。
- 9 黒褐色土(10YR3/2) 黒色土少量、黄褐色ローム粒僅かに含む。淡い色調。
- 10 暗褐色土(10YR3/3) 黒色土僅か、黄褐色ローム粒少量含む。濃い色調。壁の崩れか。
- 11 黄褐色土(10YR8/6) 黄褐色ローム粒多量含む。淡い色調。粘床。

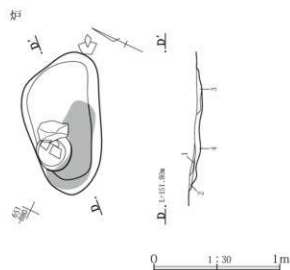
522号住居 B-B'

- 1 灰黄褐色土(10YR5/2) 黒色土粒少量、黄褐色ローム粒僅かに含む。硬く締まっている。
- 2 黄褐色土(10YR8/6) 黒色土粒、暗褐色土粒、黄褐色ローム粒少量含む。
- 3 灰黄褐色土(10YR5/2) 暗褐色土粒少量、黄褐色ローム粒多量含む。

522号住居 C-C'

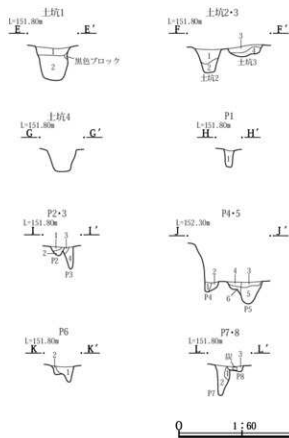
- 1 黄褐色土(10YR8/6) 黒色土粒僅かに、黄褐色ローム土多量含む。硬く締まっている。
- 2 黒褐色土(10YR3/2) 黒色土少量、黄褐色ローム粒僅かに含む。
- 3 暗褐色土(10YR3/4) 黒色土粒、黄褐色ローム粒僅かに含む。
- 4 黄褐色土(10YR5/2) 黒色土粒、黄褐色ローム粒少量含む。
- 5 灰黄褐色土(10YR5/2) 黒色土粒少量、黄褐色ローム粒多量含む。

第200図 嶋上1遺跡B区3面 522号住居



522号住居 跡 D-D'

- 1 黒褐色土(7.5YR5/1) 黒色土粒少量、焼土細粒、炭化物僅かに含む。
- 2 暗褐色土(7.5YR5/6) 黒色土粒少量、焼土細粒、炭化物僅かに含む。
- 3 黄褐色土(10YR5/6) 黄褐色ローム粒僅かに含む。
- 4 棕色土(7.5YR6/6) 黒色土粒僅かに、黄褐色ローム粒、焼土細粒少量、炭化物僅かに含む。



522号住居 土坑1 E-E'

- 1 暗褐色土(10YR3/4) 焼土細粒、炭化物僅かに含む。
- 2 暗褐色土(10YR3/3) 黒色土、黄褐色ローム粒僅かに含む、淡い色調。

522号住居 土坑2・3 F-F'

- 1 暗褐色土(10YR3/4) 黒色土少量、焼土細粒、炭化物僅かに含む。
- 2 暗褐色土(10YR3/3) 黒色土僅かに、黄褐色ローム土少量含む。
- 3 暗褐色土(10YR3/4) 焼土細粒、炭化物僅かに含む。
- 4 暗褐色土(10YR3/3) 黒色土、黄褐色ローム粒僅かに含む。

522号住居 P1 H-H'

- 1 暗褐色土(10YR3/4) 黒色土、黄褐色ローム粒、炭化物僅かに含む。

522号住居 P2・3 I-I'

- 1 灰黄褐色土(10YR5/2) 黒色土粒少量、炭化物僅かに含む。やや粘性あり。
- 2 暗褐色土(10YR3/3) 黒色土、黄褐色ローム粒、炭化物僅かに含む。
- 3 灰黄褐色土(10YR5/2) 黒色土粒少量、炭化物僅かに含む。やや粘性あり。
- 4 暗褐色土(10YR3/3) 黒色土、黄褐色ローム粒、炭化物僅かに含む。

522号住居 P4・5 J-J'

- 1 褐灰色土(10YR5/1) 黒色土、黄褐色ローム粒、炭化物僅かに含む。やや粘性あり。
- 2 暗褐色土(10YR3/3) 黒色土僅かに、黄褐色ローム粒少量、炭化物僅かに含む。
- 3 暗褐色土(10YR3/4) 黒色土、焼土細粒、炭化物僅かに含む。
- 4 暗褐色土(10YR3/3) 黒色土、黄褐色ローム粒僅かに含む、淡い色調。
- 5 暗褐色土(10YR3/3) 黄褐色ローム粒僅かに含む。淡い色調。
- 6 黄褐色土(10YR6/6) 黄褐色ローム土多量含む。

522号住居 P6 K-K'

- 1 暗褐色土(10YR3/3) 黒色土、黄褐色ローム粒僅かに含む、淡い色調。

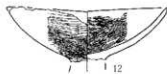
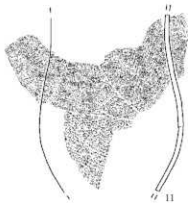
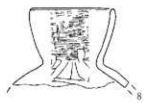
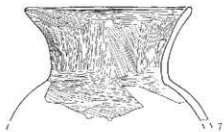
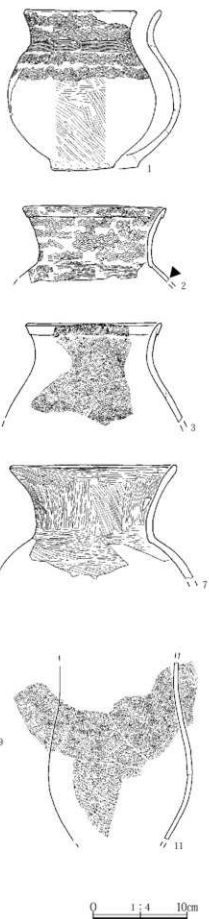
522号住居 P7・8 L-L'

- 1 黄褐色土(10YR6/6) 黄褐色ローム粒多量含む。淡い色調。
- 2 暗褐色土(10YR3/4) 黒色土、黄褐色ローム粒僅かに含む、淡い色調。
- 3 黒褐色土(10YR2/2) 暗褐色土僅かに、炭化物多量含む。濃い色調。

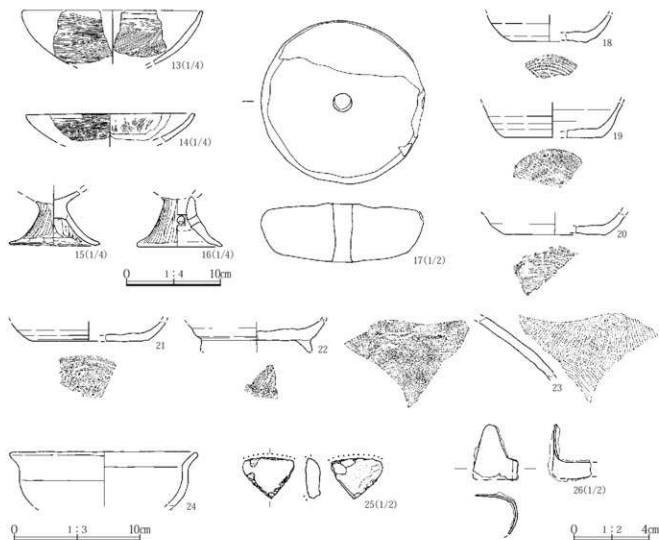
遺物と炭化物分布図



4 鴨上1道跡B区の遺構と遺物



第202図 鴨上1道跡B区3面 522号住居出土遺物(1)



第203図 嶋上1遺跡B区3面 522号住居出土遺物(2)

524号住居(第204・205図 PL.72・88・89)

調査区北東部の住居群内にある。住居の中央部から東部にかけては調査区域外にある。調査範囲の残存状態は良好である。

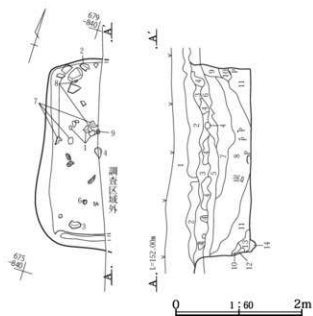
位置：675～678・-838～-840にある。

規模形状：主軸長3.00m、幅(1.07)mである。西辺・北辺は歪んで、若干外側に張り出している。形の整っていない方形を呈していると推察される。埋没土・壁：黒褐色土、暗褐色土、極暗褐色土等で埋没している。ローム粒を含む。壁際から埋没した後、レンズ状に埋没しており、自然堆積の可能性があると考えられる。壁高は0.60～0.87mである。方位：N-17°-W 面積：(2.06)m² 床面：南北方向は傾斜が認められない。東西方向の傾斜は不明である。若干の起伏を伴うがほぼ平坦

である。住居西壁際に炭化材が散見できる。焼失住居の可能性もある。掘り方：認められない。壁溝：南辺に確認できる。規模は、幅9～11cm、深さ12cm程である。埋没土は、黒褐色土とロームブロックの混土である。住居埋没土に準じている。ピット(柱穴)：認められない。貯蔵穴：認められない。土坑：認められない。炉：認められない。重複遺構：なし。遺物：弥生土器8点(甕5点、小型台付甕1点、壺2点)、土師器1点(壺)を図示した。住居西部が調査されており、そこから散見するように遺物が出土した。甕(3・4)、小型台付甕(6)は床直上からの出土であり、本住居に伴うものであると考えられる。甕(1)は床上16～33cmから、甕(2)は床上31cmから、壺(7)は床上20～45cmから、壺(8)は床上16～45cmから、甕(5)は埋没土からの出土であ

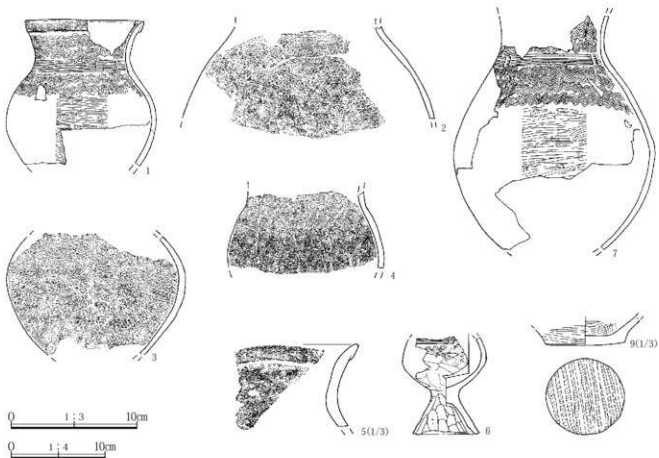
り、本住居に伴うものであるか明瞭でない。壺(9)は、床上15cmからの出土であり、上面からの流入であると思われる。図示した以外に、弥生土器(弥生後期21片)が

土している。所見(縄属時期):樽式土器の出土が多い。口縁部から頸部にかけての櫛描波状文を複数帯施した土器を主体としており、後期後葉の住居であると考え

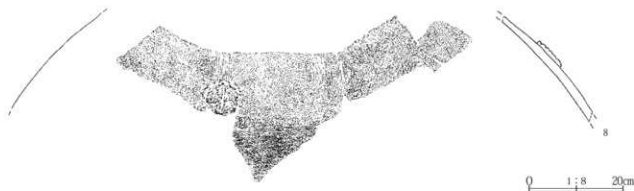


524号住居 A-A'

- 1 表土層 As-C軽石含む。
- 2 黒褐色土(10YR2/2) As-C軽石10%程含む。
- 3 暗褐色土(10YR3/3) As-C軽石を主体とし、暗褐色土20%程含む。
- 4 As-C軽石減層
- 5 極暗褐色土(7.5YR2/3) 総社軽石僅かに含む。
- 6 5層にローム小粒不均質に5%程含む。
- 7 5層にローム中粒30%程含む。
- 8 暗褐色土(7.5YR3/3) 黒色土とローム小粒から小塊の不均質な混土。
- 9 黒褐色土(7.5YR2/2) 基本土層C黒下の崩落土。
- 10 黒色土(10YR1.7/1) 均質土。
- 11 黒褐色土(7.5YR3/2) ローム小粒から中粒均質に20%程含む。
- 12 ハードローム塊
- 13 黒褐色土(10YR2/3) 他の上が混じらない均質な土。
- 14 13層とローム小粒から中粒の混土層



第204図 鴨上1遺跡B区3面 524号住居、出土遺物(1)



第205図 鳴上I遺跡B区3面 524号住居出土遺物(2)

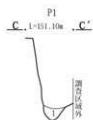
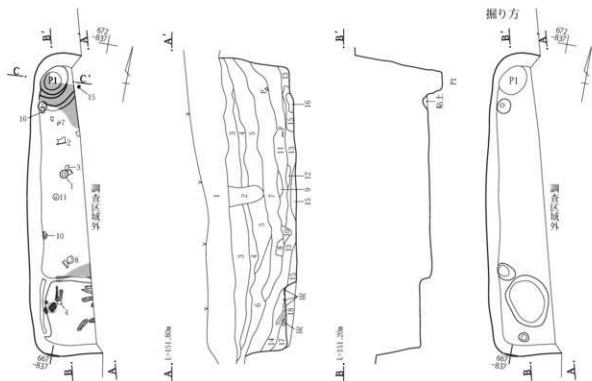
527号住居(第206・207図 PL.72・89)

調査区北東部の住居群内にある。住居の中央部から東部にかけては調査区域外にある。調査範囲の残存状態は良好である。

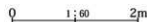
位置：666～671・-836～-838にある。

規模形状：主軸長4.80m、幅(0.86)mである。西辺は歪んで、若干外側に張り出している。整った方形を呈していると推察される。**埋没土・壁**：ローム粒を含んだ黒褐色土が壁際から埋没した後、にぶい黄褐色土及び黄橙色土がレンズ状に堆積している。As-C軽石の層が堆積した後、締まりのある黒色土が埋没している。廃棄後自然堆積で埋没したと考えられる。壁高は0.65～1.09mである。**方位**：N-10°-W **面積**：(3.01)m² **床面**：南北方向は傾斜が認められない。東西方向の傾斜は不明である。若干の起伏を伴うがほぼ平坦であり、壁際がやや高い。南西隅にベッド状遺構の高まりが確認できる。高まりの規模は、南北104cm、東西(72)cm、高さ16～18cm程である。面積は(0.72)m²である。東西に長い長方形を呈していると推察される。ローム主体の黄橙色土で構築されている。また、ベッド状遺構上には、炭化材が散見できる。位置より垂木が崩落したものであると推察される。垂木の周囲と北西隅には焼土も確認され、焼失住居の可能性がある。**掘り方**：ほぼ全面に認められる。特にベッド状遺構の下層には、土坑状の掘り込みが確認できる。埋没土及び深さは、不明である。**壁溝**：認められない。**ピット(柱穴)**：1基を確認した。P1の規模は、長径49cm、短径38cm、深さ21cmである。埋没土は、

粘性のあるにぶい黄褐色土である。P1は、周囲を粘土で周堤状に囲われていた。貯蔵穴及び土坑の可能性が否定できないが、本来の掘削意図を明確にすることはできなかった。**貯蔵穴**：認められない。**土坑**：認められない。**炉**：認められない。**重複遺構**：525号住居(2面)、508号土坑(2面)に前出している。切り合いはない。**遺物**：弥生土器14点(高杯2点、甕4点、小型甕1点、壺2点、小型壺1点、器台2点、蓋1点、紡輪1点)、土師器2点(高杯1点、甕1点)を図示した。住居西部が調査されており、そこから散見するように遺物が出土した。甕(1・2・3)、壺(7)、器台(11)は床直上から、甕(4)はベッド状遺構床直上からの出土であり、本住居に伴うものであると考えられる。高杯(10)は床上8cmから、蓋(13)はP1埋没土から、壺(8)は床直上及び埋没土からの出土であり、本住居に伴うものであると考えられるのが自然である。小型甕(5)は表土から、高杯(9)、小型壺(6)、器台(12)、紡輪(14)は埋没土からの出土であり、本住居に伴うものであるか明瞭でない。高杯(15)は床上36cm、甕(16)は床上35cmからの出土であり、上層からの流入であると思われる。図示した以外に、弥生土器、弥生後期が78片(高杯3片、甕23片、壺・甕52片)、表土から弥生土器、弥生後期が22片(壺・甕9片、甕13片)出土している。また、須恵器1片(甕類)が出土しているが、上層からの流入であると思われる。**所見(帰属時期)**：樽式土器の出土が多い。口縁部から頸部にかけての櫛描波状文を複数帯施した土器を主体としており、後期後葉の住居であると考えられる。

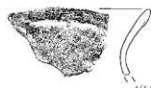


527号住居 P1 C-C'
1 にぶい黄褐色土(10YR7/4) やや粘性が強い。濃い色調。



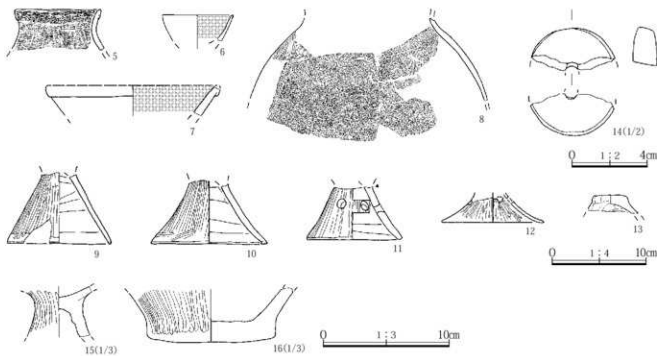
527号住居 A-A'

- 1 暗褐色土(10YR3/4) 表土：耕作土であり、As-A軽石、As-B軽石などや砂粒を多量含む。締まり弱い。濃い色調。
- 2 褐灰色土(7.5YR5/1) 濃い色調。ビット状の粗粒。
- 3 黒色土(10YR2/1) As-C軽石(4世紀初頭)を含む。締まりあり。
- 4 As-C軽石層
- 5 にぶい黄褐色土(10YR5/3) 黄褐色ローム粒種かを含む。濃い色調。
- 6 暗褐色土(10YR3/4) 黄褐色ローム粒少量含む。濃い色調。
- 7 黄褐色土(10YR8/6) 黄褐色ロームブロック・粒多量含む。濃い色調。
- 8 黒褐色土(10YR3/1) 黒色土多量、黄褐色ローム粒種かを含む。濃い色調。
- 9 黒褐色土(10YR3/2) 黒色土少量、黄褐色ローム粒種かを含む。濃い色調。
- 10 赤褐色土(5YR4/6) 焼土粒、炭化物種かを含む。濃い色調。
- 11 黄褐色土(10YR8/6) 黄褐色ロームブロック・粒多量含む。濃い色調。7層に類似。
- 12 黒褐色土(10YR2/3) 10層に類似するが、やや濃い色調。
- 13 にぶい黄褐色土(10YR5/4) 黄褐色ローム粒種かを含む。やや粘性が強い。濃い色調。
- 14 黄褐色土(10YR8/6) 黄褐色ローム粒、炭化物少量含む。濃い色調。
- 15 赤褐色土(5YR4/6) 焼土粒少量、炭化物種かを含む。濃い色調。
- 16 黒褐色土(10YR3/2) 黄褐色ローム粒、焼土粒種かを含む。濃い色調。
- 17 黒褐色土(10YR3/1) 黄褐色ローム粒種かを含む。濃い色調。
- 18 黄褐色土(10YR8/6) ローム土主体。黒褐色土粒種かを含む。ベッド状遺構構成土。



第206図 鴨上1遺跡B区3面 527号住居、出土遺物(1)

第5章 縄文時代～弥生時代(3面)の遺構と遺物



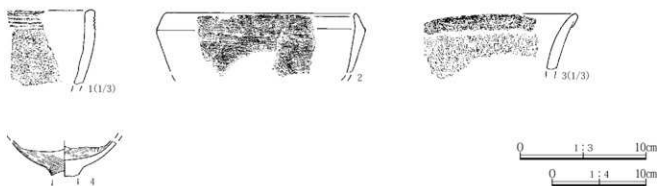
第207図 鳴上1遺跡B区3面 527号住居出土遺物(2)

(2)遺構外出土の遺物(第208図 PL.89)

概要：鳴上1遺跡B区3面の調査中に、遺構に伴わない形で遺物が出土した。ここでは出土した遺物のうち、弥生土器2点(高杯4、甕3)、縄文土器2点(鉢1、深鉢2)を掲載した。これらの遺物は表探からのものである。図示した以外に、弥生土器(弥生後期後半96片1032.9g)、

縄文土器(勝坂式3片91.9g、縄文晩期1片42.8片)、縄文土器(関山Ⅱ式1片32g)、弥生土器(弥生後期1片5g)が出土している。

所見(帰属時期)：樽式土器及び縄文晩期の遺物の出土が主体である。



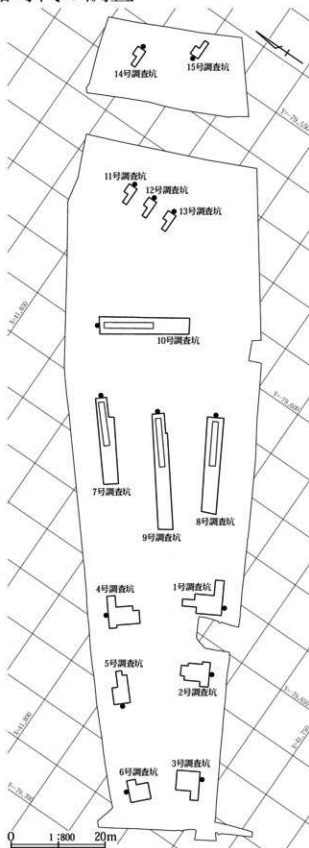
第208図 鳴上1遺跡B区3面 遺構外出土遺物

第6章 旧石器時代の調査

1 概要 (第212～217図 PL.73・74)

茅畑遺跡、鴨上I遺跡A区、鴨上I遺跡B区において、それぞれ旧石器時代の調査を実施した。茅畑遺跡東部では、調査区に6～18㎡の旧石器時代調査坑を9か所、茅畑遺跡西部では、調査区に15～33㎡の旧石器時代調査坑を6か所、鴨上I遺跡A区では、調査区に5～11㎡の旧石器時代調査坑を5か所、鴨上I遺跡B区では、調査区に5.5～12㎡の旧石器時代調査坑を12か所、全体で32か所を設定した。暗色帯下層まで掘削するため、調査区によって掘削の深度が異なる。茅畑遺跡東部では、暗色帯まで層が厚く堆積しており、約1.5～3.6mと深く掘削した。その他の地区は、約0.8～2.6m掘削した。旧石器時代調査坑の土層断面を観察したが、堆積状況については、茅畑遺跡東部から、鴨上I遺跡西部まで、ほぼ同じ様相を呈する。ただし、先述の通り、茅畑地区東部は、丘陵地帯の最高地点付近にあり、IV層に相当する堆積が、他の調査区よりも厚かった。また、本遺跡は一般的に丘陵地帯であり、トレンチの同位土層の高低差が生じる。特に、茅畑遺跡西部は傾斜が急なため、各トレンチの同位土層の高低差が顕著であった。

調査位置及び土層断面地点は、第209・210図に図示した。茅畑・鴨上I遺跡では、第2章第2節で述べたとおり、近接する和田山天神前遺跡で旧石器時代の遺物が集中して出土していたことから、平成26・27年度の本発掘調査においても旧石器時代の遺物の出土が期待された。調査は、バックホーを効率的に使用しながら、必要により、現場作業員による緻密な手作業で慎重に掘り下げながら確認した。しかしながら、茅畑遺跡・鴨上I遺跡共に当該時期の遺構や遺物は確認されなかった。



第209図 茅畑遺跡 旧石器時代調査坑位置図

2 旧石器時代調査坑について

本発掘調査は、3期にわたり実施された。各調査区の実態が異なり調査坑の規格を統一するのは難しいため、各調査区の地形や土層の様相に応じて旧石器時代調査坑を設定した。各調査区において、旧石器時代調査の必要十分な結果が得られるよう掘削面積や深度を決定した。各トレンチ面積の詳細は以下の通りである。

茅畑遺跡(西部)

- | | |
|-----------|--------------|
| 1号調査坑：33㎡ | 2号調査坑：21.25㎡ |
| 3号調査坑：23㎡ | 4号調査坑：31㎡ |
| 5号調査坑：18㎡ | 6号調査坑：15㎡ |

茅畑遺跡(東部)

- | | |
|---------------|------------------|
| 7号調査坑：12(50)㎡ | 8号調査坑：13(70)㎡ |
| 9号調査坑：14(72)㎡ | 10号調査坑：18(66.5)㎡ |
| 11号調査坑：6㎡ | 12号調査坑：6㎡ |
| 13号調査坑：6㎡ | 14号調査坑：6㎡ |
| 15号調査坑：6㎡ | |

鳴上I遺跡A区

- | | |
|-----------|----------|
| 1号調査坑：11㎡ | 2号調査坑：5㎡ |
| 3号調査坑：9㎡ | 4号調査坑：6㎡ |
| 5号調査坑：6㎡ | |

鳴上I遺跡B区(西部)

- | | |
|-----------|----------|
| 6号調査坑：6㎡ | 7号調査坑：6㎡ |
| 8号調査坑：6㎡ | 9号調査坑：6㎡ |
| 10号調査坑：6㎡ | |

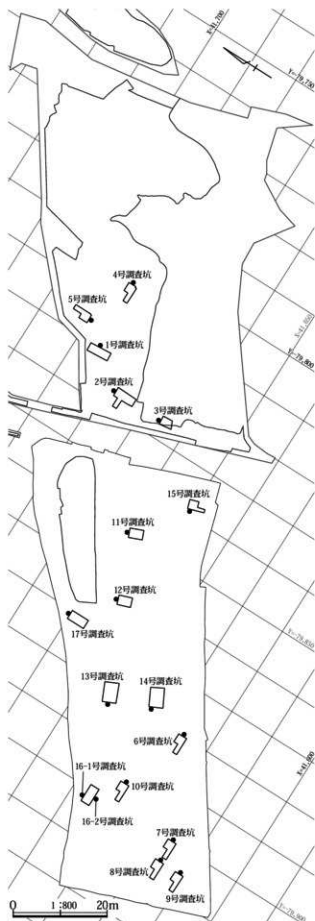
鳴上I遺跡B区(東部)

- | | |
|-------------|------------|
| 11号調査坑：6㎡ | 12号調査坑：6㎡ |
| 13号調査坑：12㎡ | 14号調査坑：12㎡ |
| 15号調査坑：5.5㎡ | |

鳴上I遺跡B区(北部)

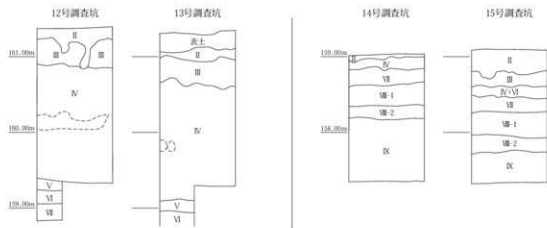
- | | |
|-----------|-----------|
| 16号調査坑：8㎡ | 17号調査坑：8㎡ |
|-----------|-----------|

* 茅畑遺跡東部の7～10号調査坑は、表土から暗色帯のまでの深度が大きいため、2段階で掘削を試みた。()内は表土掘削時の面積である。



第210図 鳴上I遺跡 旧石器時代調査坑位置図

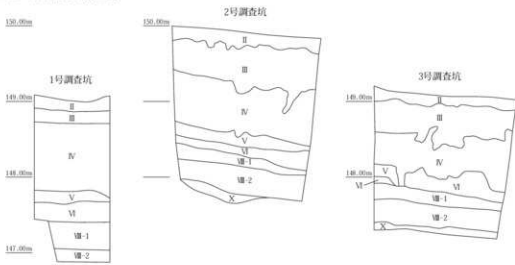
茅畑遺跡



- 茅畑遺跡 1～15号、鴨上I遺跡B区 11～15号調査坑
- II ローム漸移層 浅間板礫軽石(As-YP)を斑に含む。
 - III 浅間板礫軽石(As-YP) 浅間白糸軽石(As-Sr)の層を含む。
黄褐色土(10YR7/8) 浅間板礫軽石(As-YP)をブロックで含むが、純堆積層の確認はできない。締まりややあり、粘性あまりない。
 - IV 浅間板礫褐色軽石(As-BP)層
明黄褐色土(10YR7/6) 浅間板礫褐色軽石(As-BP)をブロックで含む。白色を呈する粒子(粘性あり)は水性堆積の所産か。締まりややあり、粘性なし。
 - V 暗色粘土質層
にふい黄褐色土(10YR6/4) 色調暗く径3mm大の破砕岩片(小沼ラビリか)。下位にAs-MPを僅かに含む。粘性ややあり、締まり強い。
 - VI 浅間室田軽石(As-MP)相当。
にふい黄褐色土(10YR2/7) 均質。部分的に鉄分凝集層あり。締まり、粘性ややあり。
 - VII 暗色粘土質層 黒色マンガン形成層を挟む。
 - VII-① 浅黄褐色土(10YR3/8) 白色ブロック土を含む。(ATを含むか)

- 締まり粘性ともにあり。VI層よりも締まり弱い。粘性ややあり。
- VII-② 上層部分は色調明るく黄白色軽石を含む。
- VII-③ 中層はマンガン層が斑状に黒色層を形成する。
- VII-④ 下位層は沈殿によりややバサバサの黄褐色層を含む。
- VIII-1 にふい黄褐色土(10YR6/3) 締まり粘性ともに強い。締まりは2層より強い。色調明るい。
- VIII-2 にふい黄褐色土(10YR5/3) 締まり粘性ともに強い。1層に比べ、色調暗くバサバサ感あり。(1・2層の境界に径30～50mm大の差円礫を含む。)色調暗い。
- IX 白色粒を含む。粘土化し固結した層。棒名八崎軽石を含む。
- IX-① にふい黄褐色土(10YR4/6) マンガン凝集層を僅かに粗に含み強固。締まり粘性強い。
- IX-② ①層に比べ、色調やや暗い。
- IX-③ ①層に比べ、風化岩砕を少量含む固い層。
- IX-④ ①層に比べ、白色ブロック土を少量含む。
- X にふい黄褐色土(10YR4/4) マンガン凝集層を僅かに粗に含み、ややバサバサする。締まり粘性強い。

鴨上I遺跡A区 旧石器時代調査坑



第212図 旧石器時代調査坑断面(2)

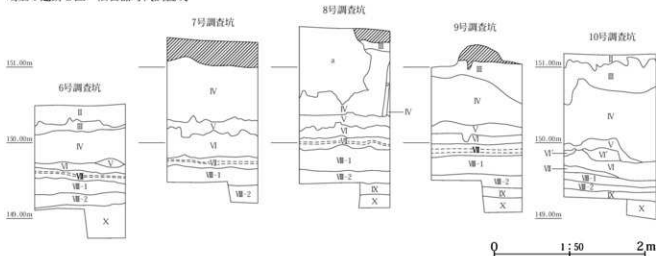
鴨上1遺跡A区



鴨上1遺跡A区 4号調査坑 ※Ⅳ層を分層

- Ⅳ-1 明黄褐色土(10YR6/8) 径5mm前後の黄白色、褐色軽石と径1~2mmの白色鉱物粒(軽石か)を10%程度含む。
- Ⅳ-1' 明黄褐色土(10YR6/8) やや茶色が強い。径10~15mm前後の白色軽石が多く含む。径5mm前後の褐色軽石と径1~2mmの白色鉱物粒(軽石か)を10%程度含む。
- Ⅳ-2 明黄褐色土(10YR6/8) 径1~2mmの白色鉱物粒を少量含む。径20mmのAs-BP粒を含む。白色軽石を少量含む。
- Ⅳ-4 明黄褐色土(10YR6/8) 径1~5mmの白色軽石粒を多く含む。指先で軽く潰れる。
- Ⅳ-5 褐色土(10YR4/6) 径1mmの白色鉱物粒と赤褐色鉱物粒が少量入る。締まりのある上。
- Ⅳ-6 ぶい黄褐色土(10YR5/4) 径1mmの白色鉱物粒と赤褐色鉱物粒が1%程度入る。締まりのある上。
- Ⅳ-7 ぶい黄褐色土(10YR7/3) 径1mm以下の灰褐色、黒褐色、ガラス質の砂状の小粒子を含む軽石層。軽石は灰白色で軟質。

鴨上1遺跡B区 旧石器時代調査坑



第213図 旧石器時代調査坑断面(3)

鴨上1遺跡A区 1~5号調査坑共通土層

- Ⅱ ローム漸移層 浅間板砕軽石(As-YP)を斑に含む。
- Ⅲ 浅間板砕軽石(As-YP) 浅間白糸軽石(As-Sr)の層を含む。黄褐色土(10YR7/8) 浅間板砕軽石(As-YP)をブロックで含み、黒色土が若干混じる。純堆積層の確認はできない。締まりややあり、粘性あまりない。
- Ⅳ 浅間板砕褐色軽石(As-BP)群 明黄褐色土(10YR7/6) 浅間板砕褐色軽石(As-BP)をブロックで含む。白色を呈する粒子(粘性ややあり)は水性堆積の所産か。締まりややあり、粘性なし。
- Ⅴ 暗色粘土質層 ぶい黄褐色土(10YR6/4) 色調暗く径3mm大の破砕岩片(小沼ラビリカ)、下位のAs-BP軽石を僅かに含む。粘性ややあり、締まり強い。
- Ⅵ 浅間室田軽石(As-MP)浅間褐色土(10YR8/4) 径5~8mm大粒子の軟性のブロックを含む。締まりあまりなく、粘性ややあり。
- Ⅶ 暗色粘土質層：黒色マンガング形成層を挟む。 ぶい黄褐色土(10YR5/4) 上層部分は色調明るく黄白軽石をふくみ、中層はマンガング層が斑状に黒色層を形成し、下層層は沈積によりややバサバサの黄褐色層を含む。締まり粘性ともあり。
- Ⅶ-1 ぶい黄褐色土(10YR6/3) 締まり粘性ともに強い。締まりは2層より強い。色調明るい。
- Ⅶ-2 色調暗い。
- X ぶい黄褐色土(10GY5/4) 礫を含む。マンガング凝集層を僅かに粗に含み、ややバサバサする。締まり粘性強い。

Ⅳ-8 ぶい黄褐色土(10YR5/4) 径5~10mmの黄白色で潰れやすい軽石が全体に混入し、暗灰色の岩片が疎らに含まれる。硬く締まっているが粘性がある。

Ⅳ-10 褐色土(10YR4/6) 径5~10mmの黄白色で潰れやすい軽石が全体に混入し、暗灰色の岩片が多く含まれる。硬く締まった上。10層の組成鉱物は(V+7+4)層、軟質、軽石は指先で潰れる)全体に目は詰まっている。

鴨上1遺跡A区 5号調査坑 ※Ⅳ層を分層

- Ⅳ-2 明赤褐色土(5YR5/8) Ⅳ+灰褐色砂粒を含む締まりのある上。As-BPは径5mmが多い。
- Ⅳ-3 褐色土(7.5YR4/4) As-BPは径2~3mmが主で、砂粒を25%含む締まりのある上。
- Ⅳ-4 褐色土(7.5YR6/8) As-BPは径3~5mmが主で、砂粒を少量含む締まりのある上。
- Ⅳ-5 褐色土(7.5YR6/8) As-BPは径2mm以下が主で、砂粒を少量含む。硬く締まりのある上。
- Ⅳ-6 明黄褐色土(10YR6/6) 僅かに砂質土を含む軟質上。

第7章 自然科学分析

1 分析の目的

茅畑・嶋上1遺跡における発掘調査及び整理作業の工程の中で、(1)放射線炭素年代測定、(2)炭化材樹種同定の2種類の分析作業を委託した。これらの自然科学分析のそれぞれの目的と分析によって、得られた成果の概要を述べることにする。

(1)放射線炭素年代測定

嶋上1遺跡の調査で検出された住居は、出土土器から弥生時代後期に位置付けられている。さらに、出土炭化材の放射線炭素年代測定を行うことにより各住居の年代を確認し、さらに集落の年代幅を明らかにすることが目的である。併せて出土土器の年代観を明らかにし、県内における弥生土器編年の再考資料として役立てる。なお、県内での弥生土器の放射線炭素年代については、ほとんどデータがないのが現状である。

炭化材の残存状態を勘案して、嶋上1遺跡A区において放射線炭素年代測定を実施した住居は、3・4号住居であり、嶋上1遺跡B区において同測定を実施した住居は、505・508・518号住居である。それぞれの放射線炭素年代測定の結果(補正年代)は以下の通りである。

3号住居No.2が $1,790 \pm 20BP$ 、4号住居No.1が $1,820 \pm 20BP$ 、505号住居No.2が $1,830 \pm 20BP$ 、508号住居No.2が $1,840 \pm 20BP$ 、518号住居No.8が $1,840 \pm 20BP$ となった。また、測定結果に基づく暦年較正結果(2 σ)は、3号住居No.2がcalAD 138-calAD 328、4号住居No.1がcalAD 128-calAD 311、505号住居No.2がcalAD 130-calAD 241、508号住居No.2がcalAD 88-calAD 238、518号住居No.8がcalAD 89-calAD 237を示している。

得られた暦年較正結果(2 σ)から、3号住居No.2と4号住居No.1が2世紀前半～4世紀前半頃、505号住居No.2が2世紀前半～3世紀中頃、508号住居No.2と518号住居No.8が1世紀後半～3世紀前半頃に相当することが理解でき、おおむね弥生時代後期後半から樽式土器終末期にかかる時間幅に収まる結果が得られたこととなる。

また、出土土器の年代観については、整理作業の中で明らかにする。

放射線炭素年代測定により、嶋上1遺跡A区における集落の年代幅は、2世紀後半から4世紀前半と判断され、出土土器からの年代の範囲内である。集落内におけるそれぞれの住居はほぼ同時期のものと考えられる。それに対して、嶋上1遺跡B区における集落の年代幅は、1世紀後半から3世紀中頃までと判断され、出土土器からの年代比定の範囲内である。集落内におけるそれぞれの住居はほぼ同時期のものと考えられる。嶋上1遺跡A区と嶋上1遺跡B区の集落の関連についても、同時期のものである可能性が強く、同一、若しくは近隣の集落であったと考えるのが自然である。

(2)炭化材樹種同定

518号住居から出土した各種の炭化構築木材を樹種同定することで、それぞれの樹種を特定し、住居の建築部材に使用された利用樹種を明らかにする。また、今回は炭化材の樹種同定であり、同住居の主柱穴から出土した生(炭化していない)の柱材については、当事業団内で同定をした。なお、県内での弥生時代木製品製の樹種同定は、日高遺跡や新保遺跡等のデータがあるものの、住居の構成材に関するデータはないのが現状である。

518号住居においては、前述した通り、多量の炭化物が出土しており、住居の構造材の分析に適していると考え、炭化材樹種同定を実施した。それぞれのサンプルの炭化材樹種同定の結果は以下の通りである。

分析炭化材は、全て広葉樹で、2分群類(コナラ属コナラ亜属クヌギ節、ケンボナシ属)に同定された。

分析結果からすると、518号住居では建築部材として、少なくともクヌギ節とケンボナシ属の2種類が利用されたことがわかる。また、放射線炭素年代測定資料となった、3号住居No.2はクリが確認され、他はすべてクヌギ節であった。竪穴住居跡4軒のうち、3軒よりクヌギ節が確認され、518号住居と同様の木材利用を示している。

この518号住居の出土炭化材に認められたクヌギ節と

ケンボナシ属が主体となる組成は、周辺地域での事例には認められていないようである。

今回の分析(同定)資料は住居壁材である。その他に、主柱穴からは、生(炭化していない)の柱材が出土しており、当事業団保存処理室において分析した。

518住居の主柱穴P2・4からは表面が炭化した柱根が出土しており、その中心部から炭化されていない生木が輸出された。プレバートを用いた分析の結果、P2・4の柱根はともに、ブナ科コナラ節に樹種同定された。同定特徴としては、孔圏外道管は丸く単独だが火炎状に配列し、また壁も薄いコナラ節とすることがあげられている。この結果は、炭化材の樹種同定と矛盾しない。また、518号住居では、壁高より高い板材を壁に貼っており、板材の上部に垂木が設置されていた可能性がある。

2 炭化物分析

はじめに

鴨上1遺跡(群馬県高崎市箕郷町白川地内)は、榛名山東南麓を南流する榛名白川右岸に位置し、周辺は山麓を流下する河川等の開析により形成された谷地形が発達する。本遺跡の発掘調査の結果、弥生時代の竪穴住居跡をはじめ、平安時代の竪穴住居跡、掘立柱建物跡、ピット、土坑などが確認されている。

本分析では、上記した竪穴住居跡の年代や竪穴住居跡から出土した建築部材と考えられる炭化材の樹種および木材利用等の検討を目的として、放射性炭素年代測定および樹種同定を実施した。

(1)放射性炭素年代測定

1. 試料

試料は、5軒の竪穴住居跡から出土した炭化材各1点、計5点(3号住居No.2、4号住居No.1、505号住居No.2、508号住居No.2、518号住居No.8)である。

炭化材試料は、土塊表面等に炭化材が認められる試料(3号住居No.2、4号住居No.1、505号住居No.2、518号住居No.8)と多数の炭化材片からなる試料(508号住居No.2)からなる。各試料の観察では、いずれも樹皮が残存する炭化材は確認されなかったことから、各試料より2~3年輪分に相当する炭化材片を抽出し、さらに比較的大型の炭化材片が確認された508号住居No.2と518号住

居No.8については残存する年輪最外部を含む2~3年輪分を抽出し、測定に供している。

なお、今回の放射性炭素年代測定に供した炭化材片については、試料の履歴に関する情報を得ることを目的として、樹種の確認も行った。結果は第25表に併記したので参照されたい。

2. 分析方法

測定試料に土壌や根等の目的物と異なる年代を持つものが付着している場合、これらをピンセット、超音波洗浄等により物理的に除去する。その後、HClによる炭酸塩等酸可溶成分の除去、NaOHによる腐植酸等アルカリ可溶成分の除去、HClによりアルカリ処理時に生成した炭酸塩等酸可溶成分の除去を行う(酸・アルカリ・酸処理)。試料をバイコール管に入れ、1gの酸化銅(II)と銀箔(硫化物を除去するため)を加えて、管内を真空にして封じきり、500℃(30分)850℃(2時間)で加熱する。液体窒素と液体窒素+エタノールの温度差を利用し、真空ラインにてCO₂を精製する。真空ラインにてバイコール管に精製したCO₂と鉄・水素を投入し封じ切る。鉄のあるバイコール管底部のみを650℃で10時間以上加熱し、グラフアイトを生成する。化学処理後のグラフアイト・鉄粉混合試料を内径1mmの孔にプレスして、タンデム加速器のイオン源に装着し、測定する。

測定機器は、3MV小型タンデム加速器をベースとした¹⁴C-AMS専用装置(NEC Pelletron 95DH-2)を使用する。AMS測定時に、標準試料である米国国立標準局(NIST)から提供されるシュウ酸(HOX-II)とバックグラウンド試料の測定も行う。また、測定中同時に¹³C/¹²Cの測定も行うため、この値を用いてδ¹³Cを算出する。

放射性炭素の半減期はLIBBYの半減期5,568年を使用する。また、測定年代は1,950年を基点とした年代(BP)であり、誤差は標準偏差(One Sigma;68%)に相当する年代である。暦年較正は、RADIOCARBON CALIBRATION PROGRAM CALIB REV7.1.0 (Copyright 1986-2015 MStuiver and P.J. Reimer)を用い、誤差として標準偏差(One Sigma)を用いる。

暦年較正とは、大気中の¹⁴C濃度が一定で半減期が5,568年として算出された年代値に対し、過去の宇宙線強度や地球磁場の変動による大気中の¹⁴C濃度の変動、

第25表 放射性炭素年代測定および暦年較正結果

試料	測定年代 (yrBP)	$\delta^{13}\text{C}$ (‰)	補正年代 (暦年較正用) (yrBP)	暦年較正結果						相対比	測定機関 CodeNo.
				σ	cal AD	214 - cal AD	258 cal BP	1,736 - 1,692	0.617		
3号住居 No.2 炭化材 (クリ)	1,790±20	-26.24±0.23	1,787±23	2 σ	cal AD	283 - cal AD	322 cal BP	1,067 - 1,628	0.383	IAAA- 151719	
					cal AD	138 - cal AD	202 cal BP	1,812 - 1,748	0.212		
					cal AD	205 - cal AD	261 cal BP	1,745 - 1,689	0.478		
					cal AD	277 - cal AD	328 cal BP	1,673 - 1,622	0.310		
4号住居 No.1 炭化材 (クヌギ節)	1,820±20	-27.97±0.24	1,817±24	2 σ	cal AD	140 - cal AD	158 cal BP	1,810 - 1,792	0.220	IAAA- 151720	
					cal AD	166 - cal AD	196 cal BP	1,784 - 1,754	0.376		
					cal AD	208 - cal AD	236 cal BP	1,742 - 1,714	0.404		
					cal AD	128 - cal AD	252 cal BP	1,822 - 1,698	0.992		
505号住居 No.2 炭化材 (クヌギ節)	1,830±20	-25.40±0.24	1,825±22	2 σ	cal AD	130 - cal AD	241 cal BP	1,820 - 1,709	1.000	IAAA- 151721	
					cal AD	131 - cal AD	179 cal BP	1,819 - 1,771	0.639		
					cal AD	186 - cal AD	213 cal BP	1,764 - 1,737	0.361		
					cal AD	88 - cal AD	104 cal BP	1,962 - 1,846	0.038		
508号住居 No.2 炭化材 (クヌギ節)	1,840±20	-29.71±0.27	1,843±24	2 σ	cal AD	121 - cal AD	238 cal BP	1,829 - 1,712	0.962	IAAA- 151722	
					cal AD	131 - cal AD	178 cal BP	1,819 - 1,772	0.651		
					cal AD	188 - cal AD	213 cal BP	1,762 - 1,737	0.349		
					cal AD	89 - cal AD	102 cal BP	1,961 - 1,848	0.028		
518号住居 No.8 炭化材 (クヌギ節)	1,840±20	-27.15±0.23	1,844±22	2 σ	cal AD	123 - cal AD	237 cal BP	1,827 - 1,713	0.972	IAAA- 151723	
					cal AD	131 - cal AD	179 cal BP	1,819 - 1,771	0.639		
					cal AD	186 - cal AD	213 cal BP	1,764 - 1,737	0.361		
					cal AD	88 - cal AD	104 cal BP	1,962 - 1,846	0.038		

及び半減期の違い ^{14}C の半減期 $5,730\pm 40$ 年)を較正することである。暦年較正は、CALIB 7.1.0.のマニュアルに従い、1年単位まで表された同位体効果の補正を行った年代値および北半球の大気中炭素に由来する較正曲線を用いる。

暦年較正結果は $\sigma \cdot 2\sigma$ (σ は統計的に真の値が68.2%の確率で存在する範囲、 2σ は真の値が95.4%の確率で存在する範囲)の値を示す。また、表中の相対比は、 $\sigma \cdot 2\sigma$ の範囲をそれぞれ1とした場合、その範囲内で真の値が存在する確率を相対的に示したものである。

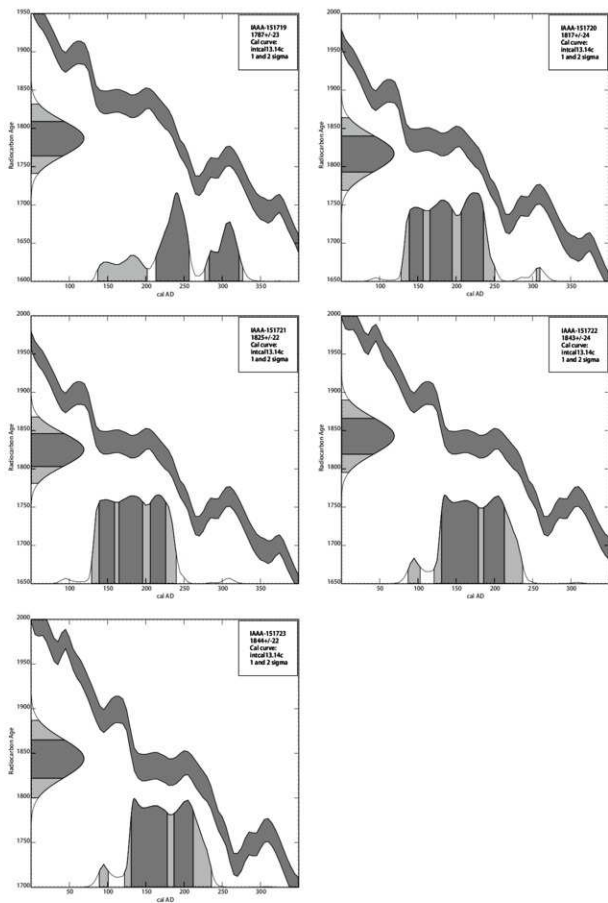
3. 結果および考察

炭化材試料の同位体効果による補正を行った測定結果(補正年代)は、3号住居No.2が $1,790\pm 20$ BP、4号住居No.1が $1,820\pm 20$ BP、505号住居No.2が $1,830\pm 20$ BP、508号住居No.2が $1,840\pm 20$ BP、518号住居No.8が $1,840\pm 20$ BPである(第1表)。また、これらの測定結果に基づく暦年較正結果(2σ)は、3号住居No.2がcalAD138-calAD328、4号住居No.1がcalAD128-calAD311、505号住居No.2がcalAD130-calAD241、508号住居No.2がcalAD88-calAD238、518号住居No.8がcalAD89-calAD237を示す(第1表、第217図)。

以上の各試料より得られた暦年較正結果(2σ)につい

てみると、5試料を通じておよそ1世紀から4世紀まで範囲にある。詳細にみると3号住居No.2と4号住居No.1が2世紀前半～4世紀前半頃、505号住居炭2が2世紀前半～3世紀中頃、508号住居No.2と518号住居No.8が1世紀後半～3世紀前半頃に相当する。

放射性炭素年代測定による弥生時代の年代に関する研究事例(小林, 2007; 木野瀬ほか, 2004・2005; 山本ほか, 2004)および弥生時代後期～古墳時代前期の土器編年(古屋, 2014)などを参考すると、今回の結果は弥生時代後期から古墳時代前期頃に相当し、ほぼ調査所見と整合する。なお、各遺構の年代観や遺構間の新旧の検討にあたっては、今回の測定に供した炭化材の状態から古木効果の影響を考慮する必要がある、出土遺物などによる考古学的所見と合わせた評価が望まれる。



第215图 曆年校正結果

第26表 樹種同定結果

遺構名	試料番号	観察所見	種類(分類群)
518号住居跡	No.1	破片	コナラ属コナラ亜属クヌギ節
	No.2	破片	コナラ属コナラ亜属クヌギ節
		破片	ケンボナシ属
	No.4	分節状	コナラ属コナラ亜属クヌギ節
	No.6	分節状	ケンボナシ属
	No.8	分節状	コナラ属コナラ亜属クヌギ節
	No.10	分節状	ケンボナシ属
円弧状(本来は丸木/半弧状?)		コナラ属コナラ亜属クヌギ節	

(2)炭化材樹種同定

1. 試料

試料は、518号住居から出土した炭化材6点(No.1, 2, 4, 6, 8, 10)である。なお、No.2, 10の炭化材については、試料中に複数種の樹種が確認されたことから、それぞれを分析対象としている。また、No.8は放射性炭素年代測定に供した試料と同一個体である。

2. 分析方法

試料を自然乾燥させた後、木口(横断面)・柀目(放射断面)・板目(接線断面)の3断面の断面を複製し、実体顕微鏡および走査型電子顕微鏡を用いて木材組織の種類や配列を観察し、その特徴を現生標本および独立行政法人森林総合研究所の日本産木材識別データベースと比較して種類(分類群)を同定する。

なお、木材組織の名称や特徴は、島地・伊東(1982)やWheeler他(1998)を参考にする。また、日本産樹木の木材組織については、林(1991)や伊東(1995-1999)を参考にする。

3. 結果

同定結果を第26表に示す。分析に供された炭化材は、全て広葉樹で、2分類群(コナラ属コナラ亜属クヌギ節、ケンボナシ属)に同定された。以下に、各分類群の解剖学的特徴等を記す。

・コナラ属コナラ亜属クヌギ節

(*Quercus* subgen. *Quercus* sect. *Cerris*) ブナ科

環孔材で、孔部は1-3列、孔間外で急激に径を減じたのち、単独で放射方向に配列し、年輪界に向かって径を漸減させる。道管は単穿孔を有し、壁孔は交互状に配列する。放射組織は同性、単列、1-20細胞高のもの

と複合放射組織とがある。ケンボナシ属(*Hovenia*) クロウモドキ科

環孔材で、孔部は1-3列、孔間外でやや急激に径を減じたのち、厚壁の道管が単独または2-3個が放射方向に複合して配列し、年輪界に向かって径を漸減させる。道管は単穿孔を有し、壁孔は交互状に配列する。放射組織は異性、1-5細胞幅、1-40細胞高。

4. 考察

518号住居から出土した炭化材は、調査所見によれば、住居壁際周辺を中心として出土しており、壁面に沿って直立する状況や壁面に直交する、および並行する状況が確認されている。

今回の分析に供された炭化材試料の出土位置などについてみると、No.1, 2, 4は住居東壁付近に位置し、No.1, 2が壁面に直交する炭化材、No.4が壁際より壁面に沿うように出土した炭化材である。No.6, 8は住居北壁付近に位置し、No.6が壁面に直交する炭化材、No.8が壁際よりやや離れた位置にあり壁面と並行するように出土した炭化材である。No.10は西壁壁際より出土しており、調査所見では壁際木材とされている。

これらの炭化材の樹種同定の結果、クヌギ節とケンボナシ属の2種類が確認された。クヌギ節は、日本にクヌギとアベマキの2種があり、現在の分布をみると、クヌギは関東地方に広く分布するが、アベマキは西日本を中心に分布し、関東地方には分布していない。このことから、今回のクヌギ節はクヌギの可能性が高い。クヌギは、二次林や河畔等に生育する落葉高木で、木材は重硬で強度が高い。ケンボナシ属は、沢沿いの林縁部等を中心に生育する落葉高木であり、木材は強度・硬さが中庸とされる。

以上の結果を考慮すると、518号住居では建築部材として、少なくともクヌギ節とケンボナシ属の2種類が利用されたことが示唆される。また、放射性炭素年代測定の対象とされたこの他の住居跡より出土した炭化材は、3号住居№2にクリが確認された他は、すべてクヌギ節であった。竪穴住居跡4軒のうち3軒よりクヌギ節が確認された点は、518号住居と同様の木材利用を示している可能性がある。

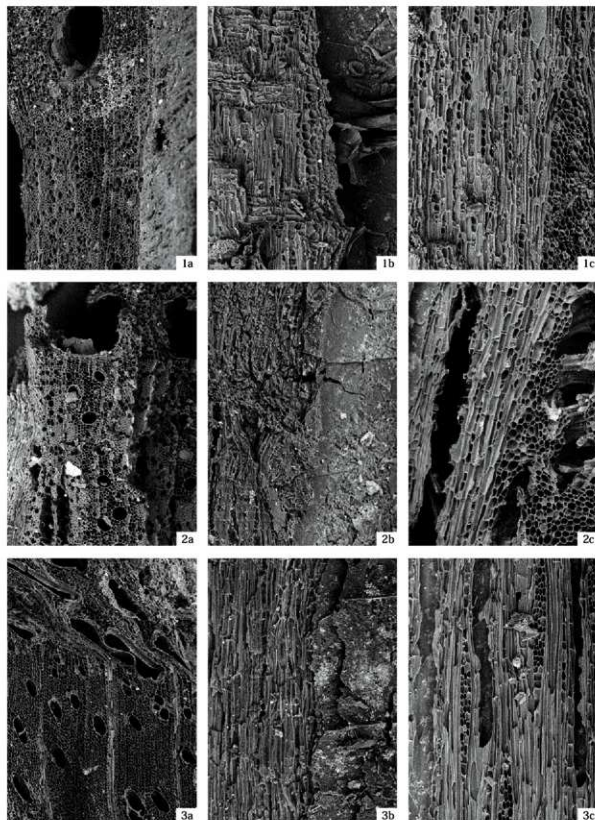
なお、周辺地域における弥生時代後期～古墳時代前期頃の調査事例(伊東・山田, 2012)についてみると、日高遺跡(高崎市)の弥生時代後期とされる住居跡の出土炭化材にクリを主体としてアカガシ亜属が混じる組成が確認されているほか、小八木志貝戸遺跡(高崎市)の古墳時代初頭とされる住居跡においてクリを中心にコナラ節とエノキ属が混じる組成が確認されている。このような、クリを主体とする種類構成は中瀬瀬首山遺跡(富岡市)の弥生時代後期とされる住居跡においても確認されている。また、クリ以外が主体となる樹種構成としては、福島駒形遺跡(甘楽町)の古墳時代前期とされる住居跡にケンボナシ属を中心に針葉樹が混じる組成、白井北中道Ⅲ遺跡(渋川市)では弥生時代終末～古墳時代初頭とされる住居跡にクヌギ節とコナラ節を中心にカバノキ属やクリが混じる組成が確認されている。本遺跡の518号住居の出土炭化材に認められたクヌギ節とケンボナシ属が主体となる組成は、周辺地域における事例には認められず、今回の結果は当該期の建築部材の木材利用やその地域性などを検討する上で貴重な資料と言える。

<引用文献>

- 古屋紀之編, 2014, 東日本弥生時代後期～古墳時代前期広域土器編年併行関係表。久々原・弥生町期の現在 一相模湾/東京湾の弥生後期の様相Ⅰ, 西相模考古学研究会 記念シンポジウム資料集, 206-207。
- 林 昭三, 1991, 日本産木材 顕微鏡写真集, 京都大学 木質科学研究所。伊東隆夫, 1995, 日本産広葉樹材の解剖学的記載Ⅰ, 木 材研究・資料, 31, 京都大学木質科学研究所, 81-181。
- 伊東隆夫, 1996, 日本産広葉樹材の解剖学的記載Ⅱ, 木 材研究・資料, 32, 京都大学木質科学研究所, 66-176。
- 伊東隆夫, 1997, 日本産広葉樹材の解剖学的記載Ⅲ, 木 材研究・資料, 33, 京都大学木質科学研究所, 83-201。
- 伊東隆夫, 1998, 日本産広葉樹材の解剖学的記載Ⅳ, 木 材研究・資料, 34, 京都大学木質科学研究所, 30-166。
- 伊東隆夫, 1999, 日本産広葉樹材の解剖学的記載Ⅴ, 木 材研究・資料, 35, 京都大学木質科学研究所, 47-216。
- 伊東隆夫・山田昌久(編), 2012, 木の考古学 出土木 製品用材データベース, 海青社, 449p。
- 木野瀬正典・赤塚次郎・小田寛貴・山本直人・中村俊夫, 2004, 尾張地域の弥生時代・古墳時代の上部に付着した炭化物の放射性炭素年代, 名古屋大学加速器質量分析計業績報告書, XV, 名古屋大学年代測定総合研究センター, 136-143。

- 研究センター, 18-25。
- 木野瀬正典・小田寛貴・赤塚次郎・山本直人・中村俊夫, 2005, 弥生・古墳時代の上部に付着した炭化物のAMS¹⁴C年代測定 一愛知・石川県の遺跡から出土した土 器について一, 名古屋大学加速器質量分析計業績報告書, XM, 名古屋大学年代測定総合研究センター, 95-104。
- 小林謙一, 2007, 関東における弥生時代の開始年代, 西本豊弘編 縄文時代から弥生時代へ, 新弥生時代のはじまり 第2巻, 塚山園, 52-65。
- 島地 謙・伊東隆夫, 1982, 図説木材組織, 地球社, 176p。
- Wheeler E.A., Bass P. E. and Gasson P. E. (編), 1998, 広葉樹材の識別 JAKAによる光学顕微鏡的特徴リスト, 伊東隆夫・藤井智之・佐伯 浩(日本語版監修), 海青社, 122p。[Wheeler E.A., Bass P. E. and Gasson P. E., 1989, JARA List of Microscopic Features for Hardwood Identification]。
- 山本直人・赤塚次郎, 2004, 濃尾平野における弥生後期 一古墳前期の炭素14年代測定と炭素安定同位体比, 名古屋大学加速器質量分析計業績報告書, XV, 名古屋大学年代測定総合研究センター, 136-143。

写真1 炭化材(1)



1. コナラ属コナラ垂属クヌギ節(518号住居; №1)

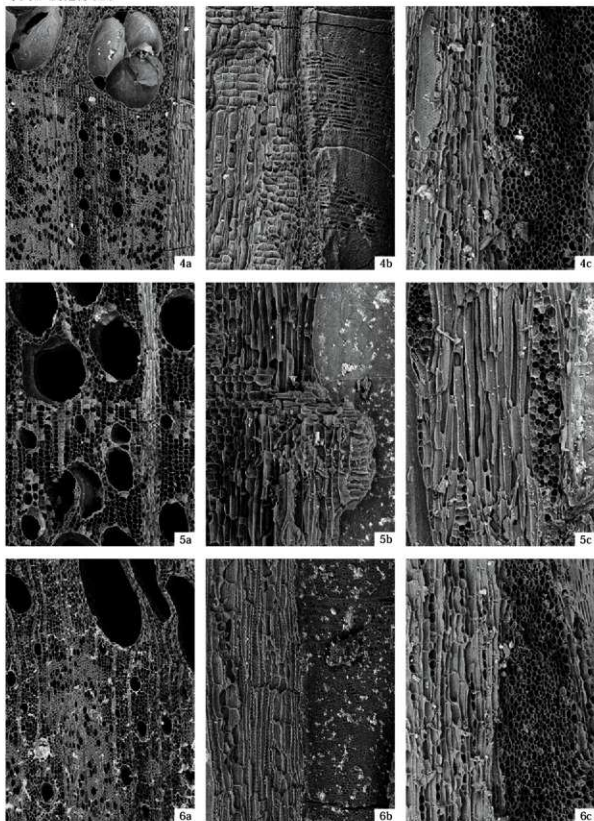
2. コナラ属コナラ垂属クヌギ節(518号住居; №2)

3. ケンボナシ属(518号住居跡; №2)

a: 木口, b: 柱目, c: 板目

100 μm: a
100 μm: b, c

写真2 炭化材(2)



4. コナラ属コナラ亜属クスギ節(518号住居;No.4)

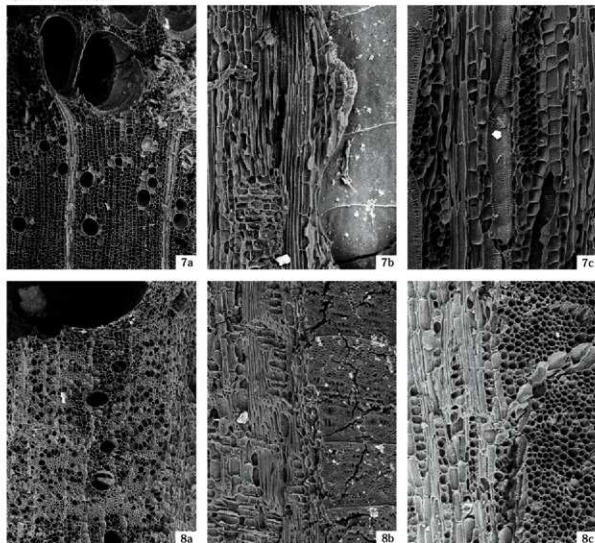
5. ケンボナン属(518号住居;No.6)

6. コナラ属コナラ亜属クスギ節(518号住居;No.8)

a:木口, b:柾目, c:板目

100 μm: a
100 μm: b, c

写真3 炭化材(3)



7. ケンボナシ属(518号住居;No.10)

8. コナラ属コナラ亜属クスギ節(518号住居;No.10)

a:木口, b:根目, c:板目

100 μ m: a100 μ m: b, c

第8章 総括

1 中世以降(1面)について

本遺跡における中世以降の調査面(1面)では、掘立柱建物・柱穴列・道路・溝・土坑・畑・ピットが検出されている。茅畑遺跡・鴨上1遺跡A区の溝及び、鴨上1遺跡B区の掘立柱建物及び柱穴列を含んだピット群は、本調査面において、特徴を有するものである。本節においては、各調査区及び調査区間における中世以降の様相について検討する。

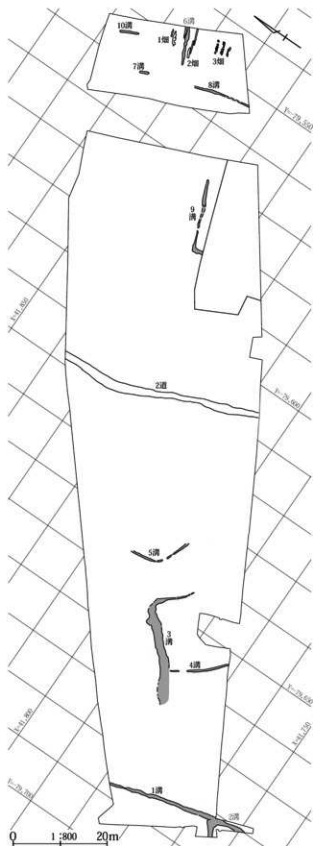
(1) 茅畑遺跡、鴨上1遺跡A区の溝について

① 茅畑遺跡の溝について

茅畑遺跡では、10条の溝が確認された。傾斜地に伴う溝のため、走行方位と勾配に一定の傾向がみられる。また、埋没土からは砂質土の検出が少ないことから、流水があったとは想定できず、一時的に流水があったとしても、おおよそ区画溝の役割を担っていたと考えるのが自然である。本調査区は、傾斜地にあることを踏まえ、溝の役割、及び溝同士の関連について考える。まずは、各溝の走行方位と平均勾配について明確にしたい。各溝の走行方位と平均勾配は第27表の通りである。第27表より、茅畑遺跡における溝の走行方向は、傾斜方向に対して垂直と傾斜方向に並行する傾向があることが分かる。

・調査面の傾斜方向に垂直なものとしては、1号溝、4号溝、7号溝、8号溝、10号溝が挙げられる。必要に応じて、同じ高さで区画されたと推察される。1号溝は西へ走行する2号溝と合流しており、4号溝はやはり西へ走行する3号溝と合流している。これらは、区画溝であることがうかがえる。7号溝は8号溝と同一の溝である可能性があり、10号溝は谷方向へ傾斜する6号溝へ合流していた可能性がある。

・調査面の傾斜方向に平行なものとしては、3号溝、6号溝が挙げられる。傾斜方向に垂直な溝が合流する主幹的な溝であると思われる。傾斜方向に走行しており、時には流水の可能性もあったと思われる。具体的には、3号溝へは4号溝が合流し、6号溝へは10号溝が合流して



第216図 茅畑遺跡1面 溝

いた可能性がある。

・調査面の傾斜方向に対して平行なのが垂直に曲がって走行を変えるものとしては、2号溝、9号溝が挙げられる。曲がり角部分は、区画の隅を表しており、区画溝の体系を形づくる基点となっていたと思われる。2号溝へは1号溝が合流しており、9号溝は単独で区画を形成している。

・調査面の傾斜方向に対して弧を描くものとしては5号溝が挙げられる。他の溝とは異なる形状であり、使用目的が不明でない。

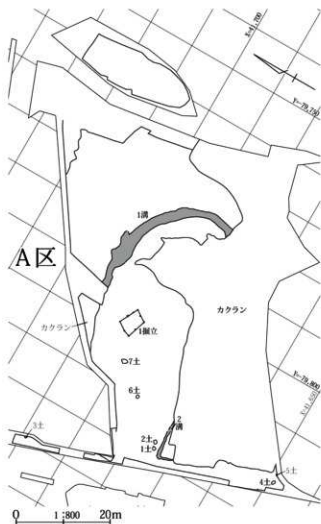
茅畑地区において溝の役割は、調査面の傾斜方向と垂直に区画溝を設けて、傾斜地における区画の体系を形成していたと思われる。

② 鴨上1遺跡A区の溝について

鴨上1遺跡A区では、2条の溝が確認された。特に、1号溝に関しては、傾斜地に伴う舌状台地の縁辺部に位置している溝であるため、走行方位と勾配に特徴が見られる。2号溝に関しては、茅畑遺跡の溝の役割に準ずるものであると思われる。埋没土からは砂質土が殆ど検出されないことから、流水があったとは想定できず、一時的に流水があったとしても、おおよそ区画溝の役割を担っていたと考えるのが自然である。本調査区では、舌状台地にあることを踏まえ、溝の役割を考える。まずは、各溝の走行方位と平均勾配について明確にした。各溝の走行方位と平均勾配は第28表の通りである。第28表より、1号溝は、茅畑遺跡の溝の傾向と異なっており、2号溝は、茅畑遺跡の溝の傾向と類似しているのが分かる。

1号溝に関しては、規模が大きく環状を呈しているため、ほぼ直線を示している2号溝や茅畑地区の溝と同質のものではない。同じ調査面の他の溝とは、走行方位が同一ではなく、区画を呈していないと推察される。本溝は、舌状台地における排水の機能を果たしていたと思われる。両側に土止めの木杭が打たれた形跡があり、最近まで使用されていたものと推察される。それに対して2号溝は、茅畑地区の2・9号溝と同様に、土地の区画を目的とすると思われる。

鴨上1遺跡A区東部においては、生活の主体が舌状台地上にあり、その縁辺部を構成する1号溝までは、茅畑地区同様に、区画を形成しており、1号溝によって台地



第217図 鴨上1遺跡A区1面 溝

第27表 茅畑遺跡 溝の走行方位と勾配

番号	走行方位	勾配(%)
1	N-15°-W	2.7
2	N-11°-W	0.3
	N-61°-E	11.8
3	N-50°-W	2.1
	N-49°-E	8.5
4	N-41°-W	0.2
5	計測不能	6.2
		6.3
6	N-65°-E	3.7
7	N-28°-W	1.4
8	N-15°-W	3.0
9	N-12°-W	4.4
	N-67°-E	3.8
10	N-26°-W	4.5

第28表 鴨上1遺跡A区 溝の走行方位と勾配

番号	走行方位	勾配(%)
1	N-15°-W	2.7
2	N-11°-W	0.3
	N-61°-E	11.8

上の排水がまとめられていたと推察される。

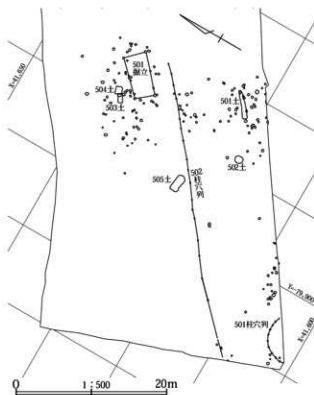
茅畑・嶋上1遺跡の溝について、傾斜方向に垂直な溝の平均勾配は2.8%であり、傾斜方向に平行な溝の平均勾配は7.2%であった。

(2) 嶋上1遺跡B区の掘立柱建物と柱穴列について

501号掘立柱建物とその南に位置する502号柱穴列は、棟方向及び走行方向から関連があると思われる。501号掘立柱建物の棟方位は $N-47^{\circ}-E$ であり、502号柱穴列の走行方位は $N-50^{\circ}-E$ である。この二つの遺構の棟方位と走行方位は一致していると考えてよい。柱穴の土層も、類似する要素があり、同時期に比定することに矛盾しない。土地の境界杭とその北側に位置する施設と推察される。

調査区南部の環状を呈する501号柱穴列は、境界杭と思われる502号柱穴列の南に位置している。その形状から、ものを囲う役割を果たしていたと推察される。柱穴の土層は、501号掘立柱建物及び502号柱穴列と類似していない。柱穴の形状から同時期の遺構と推定されるものの、501号掘立柱建物及び、502号柱穴列との関連は明瞭でない。ただし、501号柱穴列は、境界杭の南に位置しており、境界杭の南の土地に関連する施設であると思われる。

また、嶋上1遺跡B区では、172基のピットを確認しており、501号掘立柱建物、501・502号柱穴列との関連が想起されるところである。本調査区のピット群は、501号掘立柱建物中心にして、南東方向へ下る調査区中央の緩斜面に集中して位置している。ピット群が位置する緩やかな斜面は、丘陵地の中央付近に位置する。ピット群の集中は斜面全体からみると一様ではなく、掘立柱建物及び土坑等の遺構の周辺に集中している。具体的には、501号掘立柱建物の周辺からその西にかけて、501号土坑周辺、501号柱穴列の東である。これらのピット群は、501号掘立柱建物のように建物の柱穴である可能性も否定できないところであるが、柱穴の規模形状、柱間、建物全体の形状など、そのための明確な資料は見つけられず、復元には至らなかった。ただし、501・503・504号土坑は、501号掘立柱建物及び502号柱穴列と主軸方位が近似しており、これらの土坑の具体的な使用目的は確認できないものの、関連するものであると思われる。つまり、501号掘立柱建物、501・502号柱穴列に



第218図 嶋上1遺跡B区1面 南西部の遺構

近接する、これらの土坑やピット群は、同時期のものであった可能性を否定できないのである。

この緩やかな傾斜地は、弥生時代以降、生活の痕跡を重ねてきた経緯が確認できる土地である。中・近世以降も、土地利用がされたと考えられるものの、集落等の遺構は確認できなかった。ただし、本調査区の特徴である、緩やかな傾斜地の地形は、本遺跡周辺の傾向でもあり、榛名山南東丘陵地における樹枝状の自然浸食を受けない丘陵の中央部分に位置している。中・近世以降も意図的に利用されていた土地であると思われる。

(3) 小結

本調査区における溝については以下の通り考える。

① 嶋上1遺跡A区の1号溝は規模の大きな施設で、舌状台地の縁辺部で台地の排水を主目的としているのに対して、嶋上1遺跡A区の2号溝や茅畑遺跡の溝の機能については、傾斜地において土地を区画したものであると思われる。また、傾斜が急なことより、給排水を主目的にした施設ではないと考える。ただし、茅畑遺跡の6号溝については、溝の両側にピットが観察され、溝に関連した施設跡の可能性がある。調査区全体に削平が進み、

全容が明らかにできないものの、丘陵地において、傾斜地に区画が施されていたと考えられる。

② 501号掘立柱建物は東西棟であり、502号柱穴列の走行と合わせるように北側に近接して位置している。502号柱穴列を境界杭と考え、501号掘立柱建物は、境界杭の北側に区画された土地に位置する。

それに対して、環状を呈している501号柱穴列は、境界杭である502号柱穴列からやや離れて位置している。埋没土が類似して同時期の遺構と比定されるものの、501号掘立柱建物及び502号柱穴列との関連は明瞭でない。501号柱穴列は、環状を呈しているため、土地や目的物を囲い込む役割があったと推察できる。境界杭を境に南に位置する。

501号掘立柱建物、501・502号柱穴列に近接する走行が一致する土坑やピット群は、これらの遺構と同時期のものであると考えられる。

③ 茅畑遺跡・鴨上I遺跡A区におけるこれらの遺構は、土層及び遺物から、中世以降の遺構であると比定される。全体的に後世の削平が進んでいるため十分な資料は得られていないが、耕作中心の土地利用がされていたと思われる。

2 古墳時代～平安時代(2面)について

茅畑遺跡、鴨上I遺跡における古墳時代～平安時代の調査面(2面)では、住居・掘立柱建物・道路・土坑・ピット等が検出されている。特に、茅畑遺跡に於いては、平安時代の住居を囲むようにして、掘立柱建物が複数確認された。その中には、住居の主軸方位と棟方位が一致するものがあり、住居と同時期の施設の可能性が考えられる。掘立柱建物の柱穴が住居に後出していることから、住居より新しいものもあると考えられるが、土層や遺物等から同時期の掘立柱建物もあると推察される。

茅畑遺跡においては、住居とそれを取り囲む複数の掘立柱建物群との位置に関連がみられる。ここでは、集落が傾斜地に立地する状況、及び住居と掘立柱建物の関連を中心に検討したい。

(1) 茅畑遺跡の掘立柱建物が

傾斜地に位置していることについて

茅畑遺跡は、西方向の谷筋に向かって傾斜している。

平均勾配は、おおよそ10.2%である。この傾斜は、人々が集落を構えて生活するには急であるといつてよい。そこで、個別の掘立柱建物の立地の状況を検討する。

まずは、各掘立柱建物の棟方向の勾配について明確にする。各掘立柱建物の棟方向の勾配は第29表の通りである。第29表から、ほとんどの掘立柱建物が傾斜地にあることが分かる。本調査区の掘立柱建物は、棟方向の勾配が平均で8.1%の土地に立地している。本調査区の平均勾配が10.2%であることから、少しでも傾斜の緩やかな場所に掘立柱建物を建てたと考えられる。生活を営む上で、本調査区の斜面は急なため、そのまま利用することは難しいと推察される。調査の結果、傾斜地を平坦面にする地業を行っている形跡は認められていない。使用の際、高床にするなどの施設設備の補足が必要であったと思われるが、その痕跡は明瞭ではない。

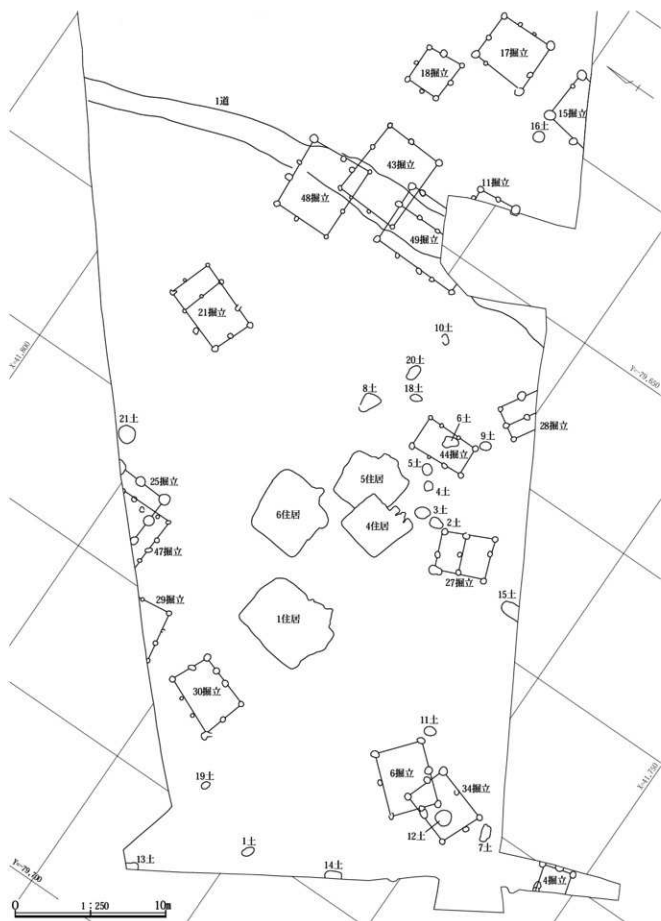
第29表 茅畑遺跡 掘立柱建物の棟方向の勾配

番号	棟方向の勾配(%)	番号	棟方向の勾配(%)
4	17.7	28	2.2
6	11.5	29	9.3
11	3.3	30	6.1
15	8.3	34	10.5
17	6.8	43	10.8
18	8.3	44	6.5
21	6.7	47	11.0
25	9.8	48	9.5
27	5.7	49	2.5

(2) 掘立柱建物と住居との関連について

茅畑遺跡においては、調査された4軒の住居を取り囲むように多数の掘立柱建物が位置している。また、住居の主軸方位と棟方位が一致する掘立柱建物が周囲に複数存在している。個別の住居と掘立柱建物の関連の可能性について考える。まずは、各住居の主軸方位、各掘立柱建物の棟方位について明確にした。各住居の主軸方位は第30表、各掘立柱建物の棟方位は第31表の通りである。第30表から、住居に関しては、1号住居、4号住居の主軸方位がやや南向きにずれているものの、全体的に、ほぼ主軸方位が合致していることが分かる。第31表から、掘立柱建物に関しては、棟方位の誤差が住居より大きいものの、方向に一定の傾向があることが分かる。

1号住居に対して、主軸方位に棟方位が平行もしくは垂直に位置する近隣の掘立柱建物は、25・29・30・47号



第219図 茅畑遺跡2面 西部の遺構

掘立柱建物、やや離れているが34号掘立柱建物が挙げられる。4・5号住居に対して、主軸方位に棟方位が平行もしくは垂直に位置する近隣の掘立柱建物は、28・44号掘立柱建物、やや離れているが11・43・48・49号掘立柱建物等が挙げられる。ただし、4・5号住居は重複しており、住居自体に時期差があると考えられ、個々に対応する掘立柱建物の是非は明瞭でないことを指摘しておく。6号住居に対して、主軸方向に棟方位が平行もしくは垂直に位置する近隣の掘立柱建物は、21・25・47号掘立柱建物、やや離れているが43・48・49号掘立柱建物等が挙げられる。これらの対応が、住居に付随する施設としての掘立柱建物の候補としてあげられるが、これ以上の認定は困難である。

4号掘立柱建物は、主軸方向が住居群とほぼ合っているが、やや離れている。6号掘立柱建物は、主軸方向が合っていない。4・6号掘立柱建物は、調査区域外に想定される住居群に付随するか、単独で設置されていた可能性を指摘しておく。11・15・17・18・43・48・49号掘立柱建物は、棟方位が住居群の主軸方位と合っているものの、位置的にやや離れているため、対応する施設であるか明瞭でない。調査区外に想定される住居群に付随する施設か、1号道路に重複する施設であった可能性を指摘する。

第30表 茅畑遺跡 住居の主軸方位

番号	棟方位	番号	棟方位
1	N-104°-E	5	N-91°-E
4	N-102°-E	6	N-98°-E

第31表 茅畑遺跡 掘立柱建物の棟方位

番号	棟方位	番号	棟方位
4	N-73°-E	28	N-34°-W
6	N-41°-E	29	N-81°-E
11	N-86°-E	30	N-22°-E
15	N-6°-E	34	N-18°-E
17	N-1°-E	43	N-87°-W
18	N-3°-W	44	N-2°-W
21	N-20°-E	47	N-87°-W
25	N-86°-W	48	N-89°-E
27	N-22°-W	49	N-1°-E

(3) 掘立柱建物と道路の重複について

1号道路には、複数の掘立柱建物が重複していた。1号道路は、掘立柱建物群より古く、また長きにわたり使用されてきた経緯が窺える。道路閉鎖後に掘立柱建物が建てられたと考えられるのが自然である。

49号掘立柱建物は、1号道路の両側に均等に位置している。1号道路との関連は明瞭でない。ただし、土層により時期は1号道路の方が古いものである。

43号掘立柱建物は、1号道路の東側に、48号掘立柱建物は西側に大きく偏って重複をしている。土層により1号道路が古いと考えるが、重複する掘立柱建物の新旧関係は明瞭でない。1号道路との関連は明瞭でない。

1号道路は、古代から長きにわたり使用されてきた経緯が推察される。一時的に道路が閉鎖した後に49・43・48号掘立柱建物が建てられたと考えるのが自然であり、1号道路と掘立柱建物が同時に存在していた時期がある可能性は少ない。

(4) 建て替えについての可能性

茅畑遺跡の掘立柱建物は、建て替えが行われているものがあつた。25・47号掘立柱建物及び、43・48号掘立柱建物等である。

25号掘立柱建物は大きな柱穴を持ち、柱間も均等である。それに対して47号掘立柱建物は、柱穴も小さく、柱間には出入口の形跡が見られる。形状から25号掘立柱建物が古いと考えられる。位置関係から同じ棟方向、及び同規模に建て替えられた可能性があると考える。

43・48号掘立柱建物は、新旧は明瞭でないが、棟方向が一致しており、一部重複して平行移動して建てられている。規模はほとんど同じであり、建て替えられた可能性があると考える。

(5) 小結

茅畑遺跡における住居及び掘立柱建物について以下の通り考える。

- ① 本調査区の掘立柱建物は、急傾斜地に立地しており、使用面を水平にするための地業は施していない。
- ② 近接する整穴住居群の主軸方位と棟方位が合う掘立柱建物が存在している。各住居に対応する掘立柱建物が、複数存在する。対応しない掘立柱建物については、調査

区外に想定される遺構との関連を考える必要がある。

③ 1号道路に重複する掘立柱建物を確認できた。1号道路が古いと思われる。

④ 重複している掘立柱建物の中には、同じ棟方向で同規模の施設もあり、建て替えられたものであると思われる。

本遺跡において、一定期間集落が存続していた根拠となるものである。

3 縄文時代～弥生時代(3面)の住居について

鴨上I遺跡では、弥生時代後期における集落の様相が明らかになった。鴨上I遺跡A区で3軒、鴨上I遺跡B区で12軒の弥生時代後期の住居が確認されている。特徴的なのは、確認された住居の中で、炭化材を多量に検出する焼失住居の割合が高いことと、屋内高床部、いわゆるベッド状遺構を伴う住居の割合が高いことである。本項では、これらのことを中心に、本調査区における当時の集落の様相を検討するものである。

(1) 焼失住居について

鴨上I遺跡においては、検出された全ての住居に対して焼失住居が数多く確認された。

焼失竪穴建物の特徴は、竪穴内の炭灰層、炭化材・炭化物、焼土塊・焼土、焼土面、床面上の遺物に認められる被熱痕跡等によって捉えられ定義されてきた。そこで、焼失住居の認定・定義と分類はどうあるべきなのだろうか。認定・定義と分類に際して、炭化材と焼土の存在という視点は、現在でも焼失住居認定の基準である(石野1990)。また、近年では、以下のように認定・定義・分類されることが多いと考える(岡村2007)。

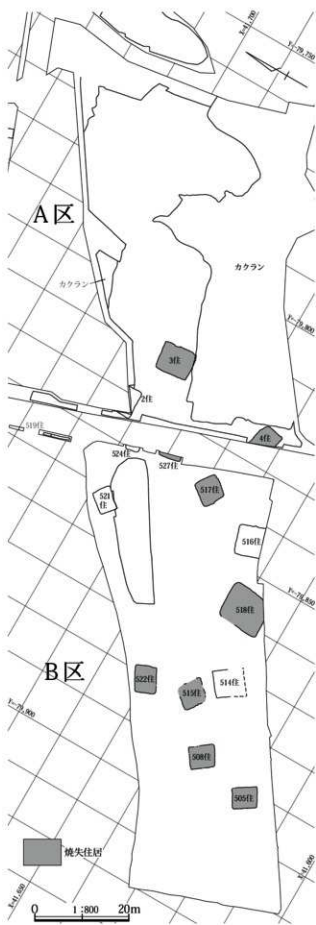
・認定される場合

A1：竪穴建物の床面上から壁にかけて、建物の上部構造の状況を反映する形で炭化材が出土し、焼土塊が伴って出土する場合

A2：A1の中で焼土塊が伴わない場合

B：上部構造を具体的に伴わないが、炭化材と焼土塊が検出される場合

C：上部構造を具体的に伴わないが、炭化材のみが検出される場合



第220図 鴨上I遺跡3面 弥生焼失住居分布図

D：上部構造を具体的に伴わないが、焼土塊のみが検出される場合

・グレーゾーンの場合

E：焼土や炭化物の出土状況が図示されず「それらが床面上に混じる」などの記述があるだけの場合

その他：部分的に焼土や炭化材が出土している場合

この認定・定義と分類に即して、本調査区の焼失住居の認定を検討した結果は次のようである。

① 鴨上1遺跡A区における検出状況

2号住居では、炭化材、焼土塊共に確認されず、焼失住居と認定されない。

3号住居では、住居北東と南を中心に、炭化材が複数出土している。焼土は確認されるが、炉に伴うものであると思われる。基準Cによって焼失住居と認定できる。

4号住居では、床面全体に炭化材が分布している。特に、東壁際に著しい。焼土は、炉に伴うもの以外、南を中心に散見できる。炭化物の量が多く、柱穴間の梁や壁際の垂木を想定する位置の近くには確認されるが、明確に上部構造が確認できるものではない、基準A1から基準Bまでの間で焼失住居と認定される。

鴨上1遺跡A区においては、3軒のうち2軒、検出された全ての住居に占める焼失住居の割合は66.7%である。

② 鴨上1遺跡B区における検出状況

505号住居では、住居中央から西より及び南に炭化材が散見できる。中央には焼土が見られる。上部構造の状況を具体的に反映しているとは言えず、基準Bにより、焼失住居と認定される。

508号住居では、住居北を中心に炭化物が散見できた。中央に灰は確認できたが、焼土は確認できなかった。上部構造の状況を具体的に反映しているとは判断できず、基準Cにより、焼失住居と認定される。

514号住居では、炭化材、焼土塊共に確認されず、焼失住居と認定されない。

515号住居では、西側に炭化物の出土が確認できる。焼土は炉に伴うものであり、他には確認できない。上部構造の状況を具体的に反映しているとは言えず、基準Cにより、焼失住居と認定される。

516号住居では、炭化材は確認されないものの、炉に

伴わない焼土が西及び南に見られる。基準Dから基準Eに当てはまる可能性があるが、判定に迷うグレーゾーンの範囲であり、焼失住居であるかは明瞭でない。

517号住居では、住居中央を中心に、多量の炭化材が確認できる。柱穴周りに集中しており、特にP3・4間に出土した炭化材は、梁が崩落したものであると推察される。焼土塊は確認できない。一部上部構造の状況を具体的に反映しており、基準A2によって、焼失住居と認定される。

518号住居では、南西の一部を除く住居全体の広い範囲に焼土が分布している。西壁、北壁、東壁の直下に、多量の炭化材が出土している。住居を焼却廃棄する際に、住居の周りに貼られた板材が焼け落ち、完全に燃焼しないうちに埋め戻され、その結果、多量の焼土や炭化物が観察されたと考えられる。板状の炭化材は、住居の壁を覆うもので高さは同一であった。さらに、床面に確認された柱穴には、炭化材の他に、焼け残った柱が生木の状態で確認されている。上部構造の状況を具体的に反映はしていないが、住居の周囲を囲む板材の焼失状況は確認できており、基準A1により、焼失住居に認定されると考えてよい。

519号住居では、調査範囲が少なく、一部炭が確認されるものの、明確な資料が得られていない。基準Eに当てはまる可能性があるが、判定に迷うグレーゾーンの範囲であり、焼失住居であるかは明瞭でない。

521号住居では、住居北西を中心に、炭化材が散見できる。北辺及び北西隅方向に向かって炭化材が検出されており、垂木及び壁に貼られた板材が崩落した可能性が考えられる。中央に焼土の分布も複数確認され、基準A1により、焼失住居に認定されるといってよい。

522号住居では、住居全体に、多量の炭化材が確認できる。柱穴周りに集中しており、柱間を繋ぐように横たわっている炭化材も確認できる。炭化材は、梁及び垂木等が崩落したものであると推察される。中央には炭が広く分布しており、囲むように焼土が見られる。基準A1により、焼失住居であるとする。

524号住居では、住居西壁際に炭化材が散見できるものの、焼土は確認できない。上部構造の状況を具体的に反映はしていないため、基準Cにより、焼失住居の可能性があると考える。

527号住居では、ベッド状遺構上に、炭化材が散見できる。出土位置から垂木が崩落したものであると推察される。炭化材の周囲と北西隅には焼土も確認される。一部上部構造の状況を具体的に反映しており、基準A1によって、焼失住居と認定される。調査範囲が限られており、全体の上屋構造に関しては明瞭でない

嶋上1遺跡B区においては、実に、12軒のうち9軒、検出された住居のうち、75.00%の住居が焼失住居であった。嶋上1遺跡A区・B区の平均をとると15軒のうち11軒、検出された住居のうち、焼失住居が73.33%の割合を占めた。実におよそ7割強の住居が焼失住居であったと考えられる。報告によると、群馬県における焼失住居の割合は、弥生時代後期で24%、古墳時代前期で25%である(石守2003)。これに比しても、本調査区の集落における焼失住居の割合は高いと言わざるを得ない。

③ 焼失原因について

焼失原因については、a.物送りの儀礼としての意図的な放火、b.戦乱などによる焼き討ち、c.住居廃絶に伴う住いの整理のための廃屋の焼却等があるとされている(高田2003)。また、北陸地方においては、弥生時代の戦乱の象徴である高地性集落に焼失住居が目立つのも事実であるとしている(麻柄2003)。さらに、鎮火祭祀を実施するにあたり、計画的住居解体が行われており、他住居への類焼を防いでいたとしている(西原2003)。そして、今後、失火、焼き討ち、焼却、家焼き・家送り等、焼失原因に関しては、事例をもとに明らかにすることが課題であるとされている(石野1990)。

本調査区の場合、517号住居・518号住居においては、炭化物が豊富に確認されている。その様相及び、遺物の残存量が比較的少ないことなどから戦乱や鎮火祭祀などではないと思われるものの、建物の使用停止に伴い焼却廃棄された可能性を断定するまでには至らなかった。本集落においては、焼失住居の割合が多いものの、住居の焼失原因については明確にできなかった。

また、焼失住居と出土遺物の関連については、後述するベッド状遺構に伴う住居の項で触れることとする。

[参考文献]

石野博信1990「第5章 火災住居跡の課題」『日本原始・古代住居の研究』
岡村雄雄2007「焼失型穴建物研究の方法と可能性」『奈良文化財研究所

紀要』p.42-45

石守晃2003「焼失実験と関東北部の焼失住居」『考古学ジャーナル』
No.509

高田和雄2003「焼失住居の分布とその意味」『考古学ジャーナル』No.509

麻柄一志2003「北陸地方の焼失住居」『考古学ジャーナル』No.509

西原雄大2003「滋賀県の焼失住居と弥生・古墳時代住居における鎮火祭祀について」『考古学ジャーナル』No.509

(2) ベッド状遺構についての検討

嶋上1遺跡では、弥生時代後期と比定される住居が、15軒確認されている。そのうち、ベッド状遺構⁽²¹⁾を備えた住居は9軒である。内訳は、嶋上1遺跡A区では、弥生時代の住居が3軒確認され、全てにベッド状遺構が見られた。嶋上1遺跡B区では、弥生時代の住居が12軒調査され、ベッド状遺構を持つ住居が6軒確認された。本調査区で確認された弥生住居のうち、ベッド状遺構を伴う住居の占める割合は、実に、全体の60.00%に及んでいる。これは、国内の他地域と比較しても高い割合といえる⁽²²⁾。さらに、群馬県内でベッド状遺構が明確に出土した例は少なく⁽²³⁾、今後の調査研究に寄与するために検討を行う。

① ベッド状遺構の検討について

ベッド状遺構については、地域によって出土数、形態及び時期が異なっているという問題があり、その解明には地域からの地道な研究の蓄積が必要であると指摘されている⁽²⁴⁾。嶋上1遺跡における弥生住居のベッド状遺構について検討していく上で、地域の特性を明らかにすることに視点をあてる。

② ベッド状遺構研究の経緯とその課題

屋内高床部、いわゆるベッド状遺構ほどのような経緯で認識されてきているのだろうか。総じて以下のように認識されているようである。(石野1990・竇島1991)

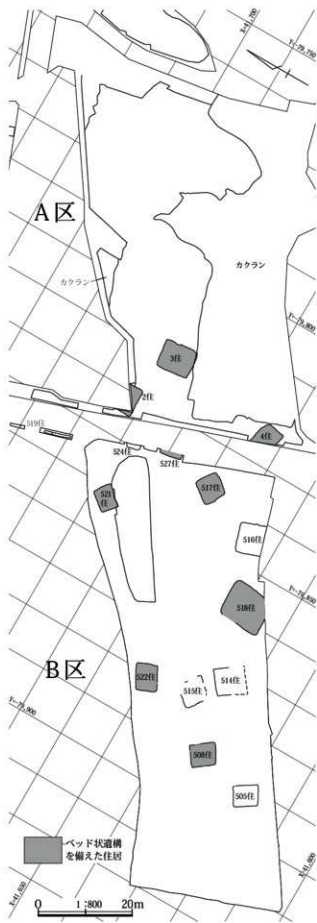
後藤守一は、論文の中で堅穴住居内の高床部について物置及び寝所であると指摘している(後藤1940)。その後、東京都の道灌山遺跡で同様な遺構が調査されている(1954)。田辺哲夫・田添夏喜は、日本考古学協会総会で、下前原遺跡において「ベッド」という名称を用い、寝台と貴重品置場という用途にふれ、後藤の推論を支持した(田辺・田添1957)。吉田章一郎・田村晃一は、ベッド状遺構の名称を与え、ベッドの部分の寝所、中央床面を作業や団らんの場との住居内の利用区分があることを提唱し

た(吉田・田村1962)。和島誠一・田中義昭は、ベッド状遺構を寝所と考え、住居人員の推定へ進んだ(和島・田中1966)。木下忠は、ベッド状遺構の面積から住居の人員の算出を行った(木下1966)。

和島誠一・金井塚良一は、同じ住居に住む人々に序列が固定したと指摘した(和島・金井1966)。この指摘は、竪穴住居相互の階層差を表すという方向に展開された。沢田大多郎は、ベッド状遺構を持つ人々が方形周溝墓に埋葬されたと考え、ベッド状遺構と階層の関係を指摘した(沢田1967)。田村晃一は、住居の普遍的内部構造の変化に留意すべきと指摘した(田村1969)。熊野正也は、全国17遺跡のベッド状遺構を集成して、6形態に分類している。また、ベッド状遺構をもつ住居の住人は、集落の中心的存在であり、方形周溝墓に埋葬された人であると指摘した(熊野1974)。しかし、現在、調査件数も増え方形周溝墓とベッド状遺構の検出数の差や時間的な差を考えた場合、方形周溝墓に埋葬されたという考えは必ずしもあてはまらないとされている(篠島1991)。

石野博信は、ベッド状遺構を屋内高床部の名称で使用した(石野1975)。河野眞知郎は、全国61遺跡のベッド状遺構を時期的・地域別に集成し8類22形態に分類している(河野1975)。河野は、集落内の位置、出土遺物の種類、他の住居との大きさの観点から分析し、関東と近畿・九州のベッド状遺構の意味の違いを指摘し、ベッド状遺構を「聖別」した。ベッド状遺構を有する住居を司祭者の住居とした。関春彦は、住居内の施設の面積を計測しており、北部九州のベッド状遺構のあり方を検討した(関1977)。岡村眞文は、祭祀性の可能性について言及している(岡村1985)。篠原浩江は、全国92遺跡のベッド状遺構を集成した結果、ベッド状遺構は集落内において祭祀性を有しており、特異な位置を占めたとしている(篠原1990)。

以上のように、現在、住居内におけるベッド状遺構の機能の考え方として、物置場としての役割・寝所としての役割・祭祀としての役割、及びそれらを複合した役割等があり、特に、寝所としての役割、祭祀としての役割が有望視されているようである。ただし、ベッド状遺構については、資料を積み重ねていくことが重要であり、それらの形状や意味を明確にすることが今後の課題であるとされている。そこで、本稿においては、嶋上1



第221図 嶋上1遺跡3面

ベッド状遺構を備えた弥生住居分布図

遺跡のベッド状遺構について明らかにすることにより、今後のベッド状遺構の解明に資するものとした。

③ ベッド状遺構の定義

ベッド状遺構は、住居出入口の棚状の施設を除いたもので、竪穴住居を造る際、屋内に幅50～100cm、長さ1m以上、高さ10～20cm程の上面が平らな土壇状の遺構を造るために地山を削り出すか、土を充填して作った構造とされている(養島1991・宮本1990・石野1990)。現在のところ、本定義に基づき認定が妥当なようであり、本調査区の遺構においては、本定義を用いるものとする。

④ 鴨上I遺跡のベッド状遺構の様相

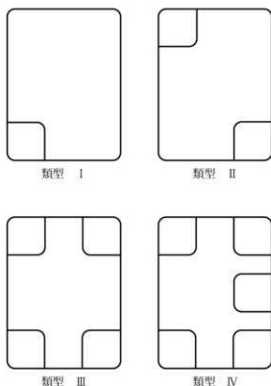
ベッド状遺構の定義に基づき、群馬県内の遺跡の報告書によると、鴨上I遺跡の西約1km、谷筋違いの尾根に位置する三ツ沢中遺跡43号住居の北西隅に、本遺跡と同質のベッド状遺構が確認されており時期の比定もほぼ同じであった。また、井出村東遺跡42・49号住居においても一部痕跡が認められる。ただし、本県において、ベッド状遺構の形状が明確に示されている遺構の出土例は少なく、県内における本遺跡のベッド状遺跡との体系的な比較検討は難しいと言える^(註3)。

本調査区におけるベッド状遺構は、三ツ沢中遺跡43号住居のベッド状遺構と同様、上記の定義に十分かなうものであると考えられる。本項では、本遺跡におけるベッド状遺構に特化して考察する。

ア. ベッド状遺構の類型

本調査区のベッド状遺構は、中央部の床面を取り巻くように壁際に長く位置するものではない。ベッド状遺構に関する類型化に関しては、既に示されているところである(河野1975・石野1990)。本調査区の事例はそのうちの一つに当てはまるものである。ただし、本調査区の事例においては、住居内におけるベッド状遺構の配置の観点から、独自に詳細に分類できるため、下記の4種類に類型化した(個別の記録については後述する)。

本遺跡における、ベッド状遺構の構造については、住居の隅に広さは約畳一畳分、10cm前後の高まりを伴うものである。構築方法としては、ロームブロック混じりの土を充填して作ったものであり、地山を削り出して作っ



第222図 鴨上I遺跡におけるベッド状遺構の類型

たものではない。また、ベッド状遺構の表面はおおよそ平坦である。

類型I：一つの隅及び並ぶ隅に位置するもの

類型II：対角線上に位置するもの

類型III：四隅全てに位置するもの

類型IV：隅の配置以外に加わるもの

なお、ベッド状遺構の個々の規模及び形状については、第5章3・4における事実記載を参照されたい。

イ. 住居の規模とベッド状遺構の占有率

ベッド状遺構をもつ住居の面積におけるベッド状遺構の面積の占有率は、ベッド状遺構をもつ住居にとって、重要な意味を持つと考えられる。ベッド状遺構の占有率は30%と比較的高い値の報告もなされており(養島1991)、ベッド状遺構の使用目的が、寝所や祭祀等他の用途にあったとしても、住居を造る際に様々な配慮が必要であったと考えられるからである。ここでは、鴨上I遺跡におけるベッド状遺構の占有率からもベッド状遺構の特徴を検討する。一部調査区域外の住居の分類については、可能性がある分類はすべて示した。

分類別**【類型Ⅰ】**

517号住居:主軸長5.52m、幅5.00m、住居面積23.86㎡、ベッド状遺構面積1.55㎡、ベッド状遺構の占有率6.50%である。南西隅に位置する。

522号住居:主軸長5.78m、幅4.55m、住居面積23.23㎡、ベッド状遺構面積2.28㎡、ベッド状遺構の占有率9.81%である。南東隅と南西隅に位置する。

【類型Ⅱ】

508号住居:主軸長5.40m、幅4.80m、住居面積20.96㎡、ベッド状遺構面積3.33㎡、ベッド状遺構の占有率15.89%である。北西隅と南東隅に位置する。

【類型Ⅲ】

3号住居:主軸長7.36m、幅6.14m、住居面積39.24㎡、ベッド状遺構面積6.51㎡、ベッド状遺構の占有率16.59%である。四隅に位置する。

【類型Ⅳ】

518号住居:主軸長9.36m、幅7.93m、住居面積(63.55)㎡、ベッド状遺構面積(6.78)㎡、ベッド状遺構の占有率(10.67%)である。四隅及び東壁際に位置する。

521号住居:主軸長5.12m、幅3.89m、住居面積17.01㎡、ベッド状遺構面積1.65㎡、ベッド状遺構の占有率9.70%である。西隅、南西壁に並ぶように位置する。

【類型Ⅰ・Ⅱ・Ⅳの可能性がある】

527号住居:主軸長4.80m、幅(0.86)m、住居面積(3.01)㎡、ベッド状遺構面積(0.72)㎡、ベッド状遺構の占有率(23.92%)である。南西隅に位置する。北西隅にはない。その他は、調査区域外のため明瞭でない。

【類型Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳの可能性がある】

2号住居:主軸長不明、幅6.15m、住居面積(7.48)㎡、ベッド状遺構面積(2.00)㎡、ベッド状遺構の占有率(26.74%)である。南東隅と南西隅に位置する。その他は、調査区域外のため明瞭でない。

4号住居:主軸長(4.86)m、幅4.44m、住居面積

(16.57)㎡、ベッド状遺構面積5.36㎡、ベッド状遺構の占有率(32.35%)である。北東隅と南東隅に位置する。その他は、調査区域外のため明瞭でない。また、本住居は使用面が2面あり、ベッド状遺構を途中で設置している。

本調査区における住居面積に対するベッド遺構の平均占有率は、嶋上Ⅰ遺跡A区で25.23%、嶋上Ⅰ遺跡B区で12.75%、嶋上Ⅰ遺跡全体で16.90%であった。また、分類ごとの平均占有率は、類型Ⅰが8.16%、類型Ⅱが15.89%、類型Ⅲが16.59%、類型Ⅳが10.19%、類型Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳが23.92%、類型Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳが29.54%であった。ベッド状遺構の数や構成によって占有率が影響を受けるのは当然である。これらの結果から、ベッド状遺構の占有率は生活に十分影響をあたえるほど高く、限られた生活空間において、ベッド状遺構が寝所の役割のみに使用されていたとは推察されず、寝所以外の生活上の用途も含めて考える必要があると思われる。詳細については第32表に記載した。(※平均値は現存値も含む。)

ウ、ベッド状遺構をもたない住居との比較

嶋上Ⅰ遺跡では、弥生住居が15軒出土しており、のうち9軒がベッド状遺構を伴うことは先述したが、ベッド状遺構を伴わない他の6軒との関連についてはどうであろうか。住居規模及び出土遺物からの比較を試みた。

a. 住居規模からの比較

まずは、住居規模が、ベッド状遺構を伴う条件になっているか検討する。ベッド状遺構を伴う住居規模の平均値は、主軸長:6.19m、幅5.36m、面積24.86㎡である。それに対してベッド状遺構を伴わない住居規模の平均値は、主軸長:5.01m、幅5.50m、面積27.86㎡である。平均値で比べると、ベッド状遺構を伴う住居群の規模の方が、主軸長が長く、幅が短く、面積が狭いといえる。また、個別に比較すると、ベッド状遺構を伴わない516号住居が、主軸長(5.58)m、幅6.51m、面積(30.58)㎡であるのに対して、ベッド状遺構を伴う518号住居のように、主軸長9.36m、幅7.93m、面積(63.55)㎡の巨大なものから、521号住居のように、主軸長5.12m、幅3.89m、面積17.01㎡のものまである。

平均値においては、上記の通りの差異が認められる。

個別の比較においては、ベッド状遺構の有無に関して、住居規模は個別の成り立ちに負うところが大きいと思われる。本調査区においては、住居規模とベッド状遺構の関連、つまり、住居の大きさに伴って、ベッド状遺構をしつらえることについての明瞭な条件はなかったことを指摘する。（※平均値は現存値を含まない。）

b. 遺物の出土状況及び器種構成からの比較

次に、ベッド状遺構を伴う住居と伴わない住居の相違について、出土遺物及び器種構成から検討する。ここでは、第5章3・4節に図示した遺物を利用する。まずは、ベッド状遺構を伴う住居と伴わない住居の出土遺物を明確にするため、各住居の出土遺物を第33・34表に示した。第33・34表より、鴨上1遺跡においては、明らかにベッド状遺構を伴う住居群のほうが出土遺物については数が多く器種も豊富である。特に、2・3・508・517・518・522号住居に関しては、高杯、甕、台付甕、紡輪など、作業性及び装飾性の高い土器が出土している、中にはベッド状遺構床直上から出土しているものもある。このことは、ベッド状遺構が単に、寝所としてばかりでなく、祭祀的及び作業的な意味を持つ施設であることを示唆している。本調査区においては、ベッド状遺構を伴う住居は、ベッド状遺構を伴わない住居に比して、出土した土器について、器種、量ともに豊富であったと考えられる。

また、土器の残存状況と焼失住居の関連性については、どうであろうか。第33・34表の※印は焼失住居を示している。それによると、やはり、焼失住居から出土した土器のほうが器種、量ともに豊富である傾向は見られる。ただし、505・515・524号住居のように、焼失住居でありながら土器の残存数が少ない住居もある。ベッド状遺構を伴う住居と出土遺物の関係より、焼失住居と出土遺物との関係は明確ではないと考える。

⑤ まとめ

鴨上1遺跡におけるベッド状遺構について検討してきたが、その特徴は以下の通りであると考えられる。

ア. 鴨上1遺跡の弥生時代後期の住居においては、ベッド状遺構を伴う調査例が多数見られた。

イ. 同時期の集落内に、ベッド状遺構を伴う住居が複数

存在しており、集落内においてベッド状遺構は特別な存在ではなかったと考えられる。

ウ. ベッド状遺構を伴う住居とベッド状遺構を伴わない住居の規模的な違いについては明瞭でない。

エ. 住居内におけるベッド状遺構の位置は、住居の隅に位置することが基本であり、一つの隅及び並ぶ隅にあるもの(類型Ⅰ)、対角線上にあるもの(類型Ⅱ)、四隅にあるもの及び四隅にあったと推察できるもの(類型Ⅲ)、隅の配置以外に加えてそれ以外にも見られるもの(類型Ⅳ)に分類できる。

オ. ベッド状遺構の占有率や出土遺物を勘案すると、ベッド状遺構は、寝所だけではなく、作業場的な場面、祭祀的な場面で使用された可能性が指摘できる。

カ. ベッド状遺構の形状は、約豊一疊分の長方形が基本で、10cm程の高まりを有した整った形状をしており、集落内において規格の統一があったと推察される。

キ. 住居内におけるベッド状遺構の占有率は、平均16.90%であり、使用目的を限定してしまうと生活に影響を与える広さであると思われる。寝所以外、生活空間として使用する必要があったと考えるのが自然である。今回の検討は、ベッド状遺構の一つの側面を明らかにしたに過ぎない。ベッド状遺構については、解明できていない部分が多く、今後の発掘調査や研究の積み重ねに負うところが大きいと考える。

(3) 小結

炭化材を多量に検出する焼失住居及びベッド状遺構を伴う住居について、本遺跡における住居の様相は以下の通りである。

① 鴨上1遺跡A区では、検出された3軒の住居の全てにベッド状遺構が確認されている。このうち、3号住居、4号住居は、焼失住居の可能性があり、2号住居は、炭化材が確認されず焼失住居の可能性がなかった。

② 鴨上1遺跡B区では、ベッド状遺構が確認され、焼失住居の可能性のある住居は、508・517・518・521・522・527号住居であり、ベッド状遺構が確認されず、焼失住居の可能性のある住居は505・515・524号住居である。ベッド状遺構が確認されず、焼失住居の可能性がない住居は、514・516・519・520号住居である。

第32表 鴨上I遺跡A・B区 ベッド状遺構を伴う住居の規模とベッド状遺構の占有率及び分類

鴨上I遺跡A区						
番号	主軸長(m)	幅(m)	住居面積 (㎡)	ベッド状遺構面積(㎡)	住居面積に占めるベッド状遺構面積の割合 (%)	分類
2	不明	6.15	(7.48)	(2.00)	(26.74)	類型 I、II、III、IV
3	7.36	6.14	39.24	6.51	16.59	類型III
4	(4.86)	4.44	(16.57)	5.36	(32.35)	類型 I、II、III、IV
鴨上I遺跡B区						
番号	主軸長(m)	幅(m)	住居面積 (㎡)	ベッド状遺構面積(㎡)	住居面積に占めるベッド状遺構面積の割合 (%)	分類
508	5.40	4.80	20.96	3.33	15.89	類型II
517	5.52	5.00	23.86	1.55	6.50	類型I
518	9.36	7.93	(63.55)	(6.78)	(10.67)	類型IV
521	5.12	3.89	17.01	1.65	9.70	類型IV
522	5.78	4.55	23.23	2.28	9.81	類型I
527	4.80	(0.86)	(3.01)	(0.72)	(23.92)	類型I、II、IV

第33表 鴨上I遺跡A・B区 ベッド状遺構を伴う住居からの出土遺物(掲載土器)

番号	高杯	甕 (小型甕)	台付甕 (小型台 付甕)	蓋	壺(小型 壺、甗壺)	鉢	器台	片口	ミニチュ ア土器	紡輪	勾玉	土玉	合計
2	6	3	2	1	4(甗壺1)					1			18
3*	7	7	1		7	1	1				1		25
4*	5	4			2	1				1			13
508*	3	6	1		5				1	2		1	19
517*	3	5	2		2(小型壺1)	1	1			2			17
518*		5(1)	5(3)		2(小型壺1)	1	1	1		1			21
521*	1	1(1)	3		1					2			9
522*	4	7			3(甗壺1)		1			1			17
527*	2	4(1)		1	2(小型壺1)		2			1			14

*は焼失住居である。

第34表 鴨上I遺跡B区 ベッド状遺構を伴わない住居からの出土遺物(掲載土器)

番号	高杯	甕 (小型甕)	台付甕 (小型台 付甕)	蓋	壺(小型 壺、甗壺)	鉢	器台	片口	ミニチュ ア土器	紡輪	勾玉	土玉	合計
505*	2	3	(1)		3								9
514		1											1
515*	1	1	1		3								6
516	4	1(5)			3					2			15
519													—
524*		5	(1)		2								8

*は焼失住居である。

③ 鴨上1遺跡A区では、ベッド状遺構が伴う住居の66.7%が、鴨上1遺跡B区では、ベッド状遺構を伴う住居の100%が、鴨上1遺跡全体では、ベッド状遺構を伴う住居の88.9%が、焼失住居の可能性がある。それに対して、鴨上1遺跡B区では、ベッド状遺構を伴わない住居の50.0%が、焼失住居の可能性があるととまる。

④ 鴨上1遺跡においては、ベッド状遺構を伴わない住居の5割が焼失住居の可能性のあるのに対して、ベッド状遺構を伴う住居のうち、およそ9割に関して焼失住居の可能性が考えられる。これらのことを勘案すると、鴨上1遺跡における焼失住居の焼失原因が、焼却廃棄にあることを前提にする場合、ベッド状遺構を伴う住居のほうが積極的に焼却廃棄された可能性が高いと考えることができる。ベッド状遺構を伴わない住居の住人に比して、ベッド状遺構を伴う住居の住人は、焼却廃棄する状況にあったと推察される。これは、出土遺物による比較で前述した「ベッド状遺構を伴う住居は、土器の器種、量ともに豊富である。」ことと関連が深いと考える。

⑤ ただし、今回の検討は、鴨上1遺跡に関して、焼失住居とベッド状遺構を伴う住居の関連性について一面を明らかにしたものである。より広範囲で普遍的な内容については解明できていない部分が多く、今後、さらなる調査例の増加に期待したい。

注1 「ベッド状遺構」には、その他にも「屋内高床部」等の呼び呼称があるが、本稿では、認知されている成合いが高いと思われる「ベッド状遺構」という呼称を使用している。

注2 竈島正弘(1991)は、「千葉県南部におけるベッド状遺構について」君津市市文化財センター「研究紀要Ⅴ」において、「ベッド状遺構を伴う住居は、集落内で同時期に複数で存在する可能性が少ない」と特色づけている。

注3 本報報告書について、下記の参考文献の通り主な弥生時代後期から古墳時代前期の住居において、ベッド状遺構をあたったところ。三ツ子沢中遺跡43号住居の北西部に同質のものが、井出東遺跡42・49号住居にその痕跡が一部確認される。三ツ子沢中遺跡及び本遺跡と同様の様相を明確にもつ遺構は、これらの遺跡の他に見当たらなかった。なお、八木蓮葉遺跡10号住居、中郷田尻遺跡19～44号住居、中村遺跡4号住居等においては、住居掘り方で住居間や各辺に仕切りで区切られた痕跡が認められるが、この時期によく見られる特徴であり、本調査区のベッド状遺構と比して論ずることは控えた。

注4 竈島正弘(1991)は、「千葉県南部におけるベッド状遺構について」君津市市文化財センター「研究紀要Ⅴ」において、「ベッド状遺構には、地域的な特徴が表れており、全国的な資料収集・整理よりむしろ地域的な資料収集・整理を確実に、地域的な問題から徐々に考えたほうがよい」としている。

〔参考文献〕

- 石野博信1990「第1章 古代日本の住居」第2章 竈穴住居の床面利用法」『日本原始・古代住居の研究』
- 竈島正弘1991「千葉県南部におけるベッド状遺構について」君津市市文化財センター「研究紀要Ⅴ」
- 宮本長二郎1990「ベッド状遺構と屋内施設」『季刊考古学』第32号
- 河野敦知1975「初期遺民集落の解明—ベッド状遺構の再検討」『Circum Pacific 1』
- 後藤守一1940「上古時代の住居」上・中・下
- 早稲田大学考古学研究会 1955「道志山遺跡」
- 田辺哲夫・田添夏富1957「ベッドを有する弥生末期の方形竈穴住居群—肥後下前原遺跡」『日本考古学協会 報告編8 第19回総会研究発表要旨』
- 吉田章一郎・田村晃一1962「千葉県我孫子町中学校校庭遺跡の調査」『考古学雑誌』47巻1号
- 和島誠一・田中義昭1966「住居と集落」『日本の考古学Ⅲ』
- 木下史1966「弥生時代における農業生産集落の構造」『歴史教育』14巻3号
- 和島誠一・金井塚良一1966「集落と共同体」『日本の考古学Ⅳ』
- 沢田大太郎1967「古墳発生前の社会」『考古学研究』53号
- 田中晃一1969「我孫子中学校校庭遺跡」『我孫子古墳群』我孫子市教育委員会
- 石野博信1975「考古学から見た古代日本の住居」『家』
- 関春彦1977「住居の構造」『九州縦貫自動車道関係基礎文化財方向XIX』
- 岡村敦文1985「我孫子中学校校庭遺跡」『我孫子市教育委員会』
- 野馬野井田村東遺跡調査会1983「井出村東遺跡」
- (財)群馬県埋蔵文化財調査事業団2000「三ツ子沢中遺跡」
- (財)群馬県埋蔵文化財調査事業団1996「天引狐崎遺跡Ⅱ」
- (財)群馬県埋蔵文化財調査事業団1998「堀島形遺跡」
- (財)群馬県埋蔵文化財調査事業団1989「有馬桑里遺跡Ⅰ」
- 群馬県渋川市教育委員会2014「有馬寺遺跡」
- 群馬県教育委員会・妙義町遺跡調査会1990「八木蓮葉遺跡」
- 群馬県勢多郡船川村教育委員会1990「西遊遺跡」
- (財)群馬県埋蔵文化財調査事業団2007「中郷田尻遺跡」
- 群馬県教育委員会 渋川市教育委員会1986「中村遺跡」
- 北楯村教育委員会1996「北町遺跡」
- 篠原浩江1990「弥生住居の特殊住居址」『赤い土器を追う』佐久考古6号
- 熊野正也1974「弥生時代集落構造の一考察—ベッド状遺構をもつ住居址を中心として」『史跡2』

4 集落の変遷について

茅畑遺跡と鴨上1遺跡は緩やかな谷地を挟んで、それぞれの丘陵上に集落を形成している。集落形成の時期は重なる部分もあるが、集落発生時期は異なっている。また、集落が形成された周囲の地形的な環境も異なっており、それが集落発生時期差、及び住居の成り立ち等に影響を与えていると思われる。各遺跡の特徴及び時代の変遷を比較検討する。

(1) 茅畑遺跡と鴨上1遺跡の比較

① 茅畑遺跡の集落

茅畑地区からは、4軒の住居と18軒の掘立柱建物が確認されている。住居の形成時期は9世紀前半から9世紀後半までと近接している。どの住居も傾斜地に立地しており、傾斜地を平らに造成しながらつくっている様子がうかがえる。それに対して掘立柱建物は、傾斜地を平らに造成することなく建てられている。高床にするなど使用の際に工夫が必要であったと思われるが、その痕跡は明瞭でない。また、掘立柱建物は、4軒の住居を囲むように位置しており、住居の主軸方位や掘立柱建物の棟方方位の関係などから関連が深いと考える。掘立柱建物及び道路の関連については前述した通りである。ただし、4軒の住居とそれに伴うと思われる掘立柱建物の関係は、調査区域内のことであり、その他の掘立柱建物については、調査区域外にも集落が形成されていることを示唆している。

② 鴨上1遺跡A区の集落

鴨上1遺跡A区の集落は、遺構確認面の2・3面から検出された。遺構確認面の2面(上面)からは、住居が1軒確認されている。9世紀代のものであり、古代に比定される。本調査区においては谷を隔てた茅畑遺跡よりも傾斜が穏やかで、集落を形成しやすい環境にあったと推察される。確認された1軒も削平が進んでおり、同面においては、他にも住居群が存在していたと推察される。

遺構確認面の3面(下面)からは、住居が3軒確認されており、いずれも時期が近接しており、おおむね弥生時代後期後半に比定される。この集落は、上面と共に、地続きである鴨上1遺跡B区の集落と同じ集落を形成して

いたと考えられる。

③ 鴨上1遺跡B区の集落

鴨上1遺跡B区の集落は、遺構確認面の2・3面から検出された。遺構確認面の2面(上面)からは、住居が15軒確認されている。時期は、5世紀後半から10世紀第1四半期までに比定され、古墳時代から古代にかけて集落が継続している。この時期は削平が進んでいる住居が多く、他にも住居群が存在していたと推察される。

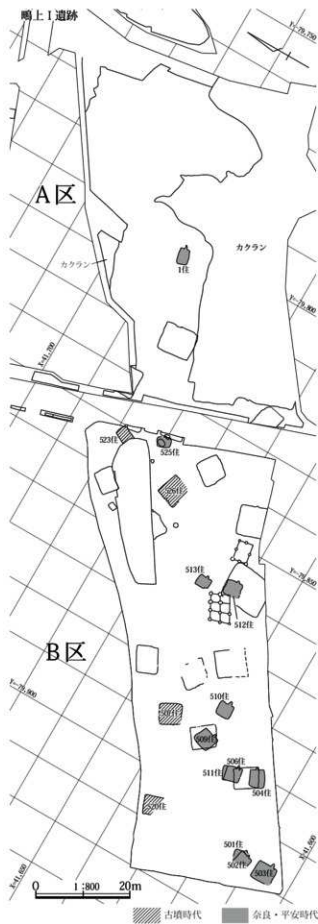
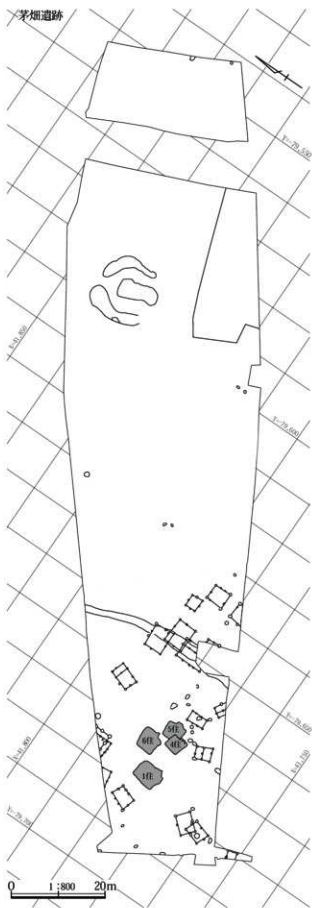
遺構確認面の3面(下面)からは、住居が12軒確認されており、いずれも時期が近接しており、弥生時代後期後半に比定される。茅畑1遺跡A区の住居と同じ集落を形成していたと考えられる。

鴨上1遺跡からは、集落が2面にわたって確認されているのに対して、谷を隔てた茅畑遺跡では、集落が確認されたのは、古代の1面のみであった。茅畑遺跡、鴨上1遺跡共に、生産域の主体は遺跡が位置する丘陵地帯にあったとは考えにくく、生産域が本遺跡西側の低地を始め、谷地の低部にあったと推察できる。弥生時代においては、この推定される生産域から離れていた茅畑遺跡には、集落を形成することがなく、また、傾斜地に住居を造る理由や技術をもっていなかったと推察できる。古代になり、遠隔地における生産調整や傾斜地における住居建設の技術を身につけていったと考えられ、その結果、谷を隔てた茅畑遺跡にも生活範囲が広がっていき、集落が出現したと考えられる。集落が最も繁栄した時期であると考える。

(2) 時代ごとの変遷と地形の影響

本遺跡における集落は、弥生時代後期に鴨上1遺跡の丘陵に出現している。地形は南東方向に緩やかに傾斜しており、集落の形成には好都合だったと考えられる。居住域が丘陵地帯にあり、生産域は西部を中心とした低地にあったと推察される。それに対して、茅畑遺跡は谷を隔てた東部の傾斜地にあり、推定される生産域から遠く、さらに傾斜地に住居を造ることもできなかったと考えられるため、この時期には集落が出現しなかったと思われる。

古墳時代から平安時代にかけては、鴨上1遺跡はもとより茅畑遺跡においても集落が出現している。傾斜地に



第223図 茅畑・鴨上1遺跡 古墳～古代住居分布図

土坑計測表

第35表 茅畑遺跡2面土坑計測表

番号	面	グリッド	形状	主軸方位	長軸×短軸×深さ	出土遺物	備考(重視)
1	2	X=769 Y=690	楕円形	N-57°-W	0.86×0.52×0.19		
2	2	X=771 Y=665	楕円形	N-5°-W	0.92×0.67×0.23		
3	2	X=772 Y=665	楕円形	N-30°-W	1.03×0.77×0.24		
4	2	X=773 Y=663	楕円形	N-52°-E	0.64×0.57×0.18		
5	2	X=773 Y=662	楕円形	N-48°-E	0.77×0.64×0.16		
6	2	X=773 Y=660	楕円形	N-14°-W	0.71×0.40×0.33		P565
7	2	X=757 Y=680	楕円形	N-75°-E	1.08×0.61×0.30		P702
8	2	X=779 Y=661	楕円形	N-60°-W	1.55×1.00×0.54		P587
9	2	X=771 Y=659	楕円形	N-30°-W	0.76×0.58×0.23		
10	2	X=777 Y=655	楕円形	N-40°-E	0.68×(0.37)×0.16		P604
11	2	X=763 Y=676	楕円形	N-30°-W	0.80×0.61×0.36		P493
12	2	X=759 Y=681	楕円形	N-74°-W	1.07×1.05×0.45		P516・1101
13	2	X=775 Y=695	楕円形	N-33°-W	(0.80)×(0.46)×0.20		
14	2	X=763 Y=688	楕円形	N-30°-W	1.12×(0.50)×0.49		
15	2	X=764 Y=667	楕円形	N-0°	(1.27)×0.90×0.36		
16	2	X=780 Y=640	楕円形	N-69°-W	0.78×0.74×0.23		P829
17	2	X=784 Y=631	楕円形	N-10°-E	0.58×0.47×0.13		
18	2	X=777 Y=659	楕円形	N-25°-W	0.80×0.47×0.22		
19	2	X=774 Y=688	楕円形	N-66°-W	0.62×0.42×0.16		
20	2	X=778 Y=657	楕円形	N-86°-W	1.08×0.66×0.28		4溝
21	2	X=791 Y=672	楕円形	N-65°-E	1.17×1.11×0.37		P148・1197・1198
※22～26号土坑欠番							
27	2	X=853 Y=546	不明	N-62°-E	(0.97)×0.89×0.25		
28	2	X=846 Y=542	楕円形	N-43°-E	0.68×0.52×0.18		
29	2	X=820 Y=631	楕円形	N-47°-W	1.15×1.02×0.39		No. 1・2
30	2	X=802 Y=630	楕円形	N-63°-W	0.84×0.43×0.33		
31	2	X=801 Y=630	楕円形	N-34°-E	0.64×0.44×0.38		
32	2	X=804 Y=598	楕円形	N-56°-E	0.66×0.52×0.71		
33	2	X=806 Y=598	楕円形	N-5°-E	0.73×0.43×0.81		
34	2	X=836 Y=601	不整形	N-8°-W	1.88×0.83×0.37		P1769・1770

第36表 鴨上I遺跡A区I面土坑計測表

番号	面	グリッド	形状	主軸方位	長軸×短軸×深さ	出土遺物	備考(重視)
1	1	X=674 Y=827	楕円形	N-42°-E	0.86×0.71×0.15		
2	1	X=674 Y=826	楕円長方形	N-52°-E	0.82×0.66×0.25		
3	1	X=699 Y=839	不明	-	(0.38)×0.50×0.15		
4	1	X=648 Y=821	楕円形	N-61°-W	0.96×0.54×0.45		
5	1	X=649 Y=819	不明	-	(0.20)×-×0.23		
6	1	X=682 Y=819	楕円形	N-87°-W	0.74×0.61×0.19		
7	1	X=688 Y=814	不整形	N-32°-W	1.13×0.84×0.25		

第37表 鴨上I遺跡B区土坑計測表

番号	面	グリッド	形状	主軸方位	長軸×短軸×深さ	出土遺物	備考(重視)
501	1	X=622 Y=882	楕円長方形	N-50°-E	3.82×0.62×0.20		P607・608・610・651
502	1	X=619 Y=888	楕円形	N-0°	1.10×0.95×0.17		
503	1	X=637 Y=888	楕円長方形	N-70°-E	0.98×0.80×0.21		504土坑、P590
504	1	X=637 Y=889	楕円長方形	N-59°-E	(1.15)×0.58×0.15		503土坑、P590
505	1	X=625 Y=895	楕円形	N-82°-W	2.36×1.05×0.60		
506	1	X=659 Y=853	楕円形	N-26°-W	0.98×0.98×0.23		
507	2	X=670 Y=839	楕円長方形	N-25°-E	(1.71)×(1.20)×(0.81)		525住居
508	2	X=670 Y=840	楕円形	N-6°-E	1.20×(0.82)×0.13		525住居
509	2	X=672 Y=856	楕円長方形	N-24°-E	1.60×1.18×0.75		

第38表 茅畑遺跡ビット計測表

番号	面	グリッド	形状	長軸×短軸×深さ(m)	備考(重複)
1	2	748・679	楕円形	0.36×0.28×0.22	
2	2	748・679	楕円形	0.41×0.36×0.21	
4	2	751・680	楕円形	0.31×0.29×0.45	
5	2	752・680	楕円形	0.42×0.41×0.65	
6	2	752・680	楕円形	0.71×0.38×0.22	
10	2	753・680	楕円形	0.64×0.41×0.26	
11	2	753・681	楕円形	0.26×0.21×0.31	須恵小破片
12	2	762・685	楕円形	0.34×0.32×0.37	
13	2	763・686	楕円形	0.35×0.32×0.37	
14	2	767・685	楕円形	0.33×0.30×0.52	
15	2	767・688	楕円形	0.32×0.26×0.30	
16	2	766・688	楕円形	0.46×0.28×0.63	
17	2	766・689	楕円形	0.33×0.29×0.41	
18	2	767・689	円形	0.27×0.26×0.51	
19	2	768・689	楕円形	0.28×0.22×0.62	
20	2	769・688	楕円形	0.46×0.35×0.31	
21	2	768・690	楕円形	0.18×0.16×0.20	
22	2	769・690	楕円形	0.26×0.23×0.25	
23	2	770・688	円形	0.27×0.27×0.38	
24	2	771・690	楕円形	0.35×0.26×0.35	
25	2	770・690	楕円形	0.31×0.25×0.61	
26	2	770・692	楕円形	0.38×0.32×0.17	P415・1886
27	2	771・691	楕円形	0.34×0.25×0.34	
28	2	772・691	楕円形	0.31×0.29×0.24	
29	2	772・690	楕円形	0.21×0.20×0.14	
30	2	773・692	楕円形	0.21×0.21×0.29	
31	2	774・690	楕円形	0.30×0.27×0.41	
32	2	775・689	楕円形	0.39×0.34×0.45	
33	2	774・688	楕円形	0.24×0.21×0.29	
34	2	775・688	楕円形	0.23×0.18×0.25	
36	2	776・685	楕円形	0.32×0.29×0.18	
38	2	778・685	楕円形	0.28×0.26×0.30	P967
40	2	778・684	楕円形	0.34×0.27×0.56	
41	2	778・684	楕円形	0.24×0.22×0.43	
42	2	777・683	楕円形	0.35×0.27×0.39	
43	2	778・683	楕円形	0.27×0.22×0.59	
44	2	777・683	楕円形	0.20×0.18×0.24	
45	2	778・684	楕円形	0.22×0.22×0.45	
46	2	779・685	楕円形	0.24×0.20×0.36	
47	2	779・684	楕円形	0.28×0.26×0.62	
48	2	779・684	不整形	0.28×0.25×0.35	
49	2	779・683	楕円形	0.24×0.20×0.47	
50	2	778・683	楕円形	0.26×0.22×0.47	P965・土師小破片
52	2	780・683	楕円形	0.26×0.23×0.26	
53	2	780・683	楕円形	0.19×0.17×0.28	
54	2	780・683	楕円形	0.34×0.30×0.36	
55	2	780・682	楕円形	0.40×0.33×0.43	
56	2	778・682	楕円形	0.17×0.15×0.24	
60	2	781・682	楕円形	0.32×0.29×0.14	
61	2	780・682	円形	0.35×0.34×0.18	
62	2	780・681	楕円形	0.22×0.20×0.36	
63	2	780・681	楕円形	0.24×0.20×0.35	
64	2	780・681	楕円形	0.37×0.33×0.43	須恵杯
65	2	780・680	楕円形	0.28×0.24×0.17	
66	2	780・680	楕円形	0.31×0.29×0.27	
68	2	782・681	楕円形	0.32×0.25×0.23	29個立P3
69	2	783・682	不明	(0.65)×(0.41)×0.32	P70・977
70	2	783・681	不明	0.33×0.15×0.44	P69
71	2	783・681	円形	0.18×0.17×0.28	
72	2	783・680	楕円形	0.44×0.38×0.44	
73	2	783・680	楕円形	0.25×0.19×0.51	

番号	面	グリッド	形状	長軸×短軸×深さ(m)	備考(重複)
75	2	781・679	楕円形	0.29×0.27×0.33	
76	2	782・679	楕円形	0.30×0.27×0.43	
77	2	781・678	不明	0.32×(0.19)×0.19	P143
78	2	781・677	楕円形	0.30×0.19×0.15	
79	2	782・677	楕円形	0.34×0.22×0.53	
80	2	782・678	楕円形	0.37×0.28×0.60	
82	2	783・678	楕円形	0.27×0.23×0.41	
83	2	784・678	楕円形	0.25×0.22×0.54	
84	2	783・677	楕円形	0.34×0.28×0.72	
85	2	785・679	不整形	0.46×(0.26)×0.41	
87	2	785・677	楕円形	0.42×0.36×0.23	
88	2	784・677	楕円形	0.34×0.31×0.25	
89	2	783・677	楕円形	0.25×0.23×0.19	
90	2	783・676	楕円形	0.29×0.23×0.41	
91	2	784・676	楕円形	0.30×0.26×0.32	
92	2	783・676	不整形	0.44×0.37×0.25	P1224
94	2	786・677	楕円形	0.30×0.28×0.43	
95	2	785・674	楕円形	0.48×0.44×0.24	
96	2	786・674	楕円形	0.31×0.27×0.32	
97	2	786・673	楕円形	0.38×0.37×0.34	P98
98	2	785・673	楕円形	(0.48)×0.45×0.30	P97
99	2	786・673	円形	0.21×0.21×0.16	
105	2	787・676	楕円形	0.38×0.33×0.57	
106	2	786・672	楕円形	0.41×0.31×0.33	
109	2	788・672	楕円形	0.29×0.26×0.25	
110	2	788・672	楕円形	0.32×0.30×0.52	
111	2	787・671	楕円形	0.26×0.21×0.31	
112	2	787・671	楕円形	0.34×0.32×0.31	
113	2	786・670	楕円形	0.42×0.35×0.19	
114	2	787・670	楕円形	0.75×0.66×0.40	
115	2	789・672	楕円形	0.23×0.20×0.19	
116	2	789・672	円形	0.24×0.23×0.42	
117	2	789・672	楕円形	0.34×0.31×0.66	
118	2	789・672	楕円形	0.22×0.20×0.12	
119	2	789・671	楕円形	0.42×0.39×0.34	
120	2	789・670	楕円形	0.29×0.27×0.41	P121・1864・1865
121	2	786・671	楕円形	0.29×0.21×0.44	P120・1864・1865・須恵土師小破片
122	2	788・670	楕円形	0.56×0.44×0.36	
123	2	787・669	円形	0.25×0.24×0.58	
124	2	788・669	楕円形	0.40×0.33×0.34	須恵土師小破片
125	2	788・669	楕円形	0.36×0.36×0.46	P126
126	2	789・669	楕円形	0.28×0.24×0.30	P125
127	2	789・669	円形	0.26×0.25×0.22	
128	2	788・668	楕円形	(0.54)×0.37×0.35	P129・須恵土師小破片
129	2	788・668	楕円形	0.43×0.38×0.35	P128・須恵土師小破片
130	2	790・670	楕円形	0.35×0.31×0.22	須恵土師小破片
131	2	791・670	楕円形	0.61×0.46×0.64	須恵杯底部、土師小破片
132	2	791・670	楕円形	0.43×0.37×0.61	土師小破片
133	2	790・668	不整形	0.52×0.51×0.79	P134・土師小破片・土師土層
134	2	790・668	楕円形	0.62×(0.48)×0.18	P133
135	2	789・667	不整形	0.82×0.72×0.52	
136	2	791・669	楕円形	0.56×0.38×0.24	
137	2	790・666	楕円形	0.49×0.38×0.44	
138	2	790・666	不整形	0.28×0.21×0.23	
139	2	792・667	楕円形	0.36×0.27×0.36	
140	2	791・667	楕円形	0.36×0.29×0.32	
141	2	793・667	楕円形	0.51×0.45×0.33	

ビット計測表

番号	面	グリッド	形状	長軸×短軸×深さ(m)	備考(重視)
142	2	785-675	楕円形	0.88×0.78×0.33	P1069
143	2	781-678	楕円形	0.28×0.27×0.54	P77
145	2	786-671	楕円形	0.38×0.38×0.22	
146	2	788-673	不整形	0.68×0.60×0.24	
147	2	788-671	不整形	0.42×0.29×0.39	
148	2	791-672	不整形	0.54×0.36×0.55	
149	2	792-670	楕円形	0.46×0.31×0.28	
150	2	788-667	楕円形	0.43×0.36×0.23	
151	2	793-668	楕円形	0.44×0.38×0.56	須恵杯破部、土師小破片
152	2	793-666	楕円形	0.37×0.32×0.54	
153	2	793-666	楕円形	0.19×0.17×0.14	
154	2	795-667	楕円形	0.39×0.31×0.18	P1174
155	2	794-666	楕円形	0.24×0.24×0.45	
156	2	792-665	楕円形	0.57×0.43×0.58	土師須恵焼破片、須恵杯破部
157	2	791-665	楕円形	0.51×0.41×0.60	
158	2	790-665	楕円形	0.36×0.35×0.59	土師小破片
159	2	780-665	楕円形	0.69×0.60×0.92	土師小破片
160	2	793-665	楕円形	0.70×0.42×0.55	
161	2	795-666	楕円形	0.36×0.23×0.24	
162	2	793-664	楕円形	0.26×0.24×0.38	
163	2	793-664	楕円形	0.40×0.36×0.43	
164	2	793-664	楕円形	0.38×0.36×0.37	
165	2	792-664	楕円形	0.36×0.33×0.41	
166	2	792-664	楕円形	0.31×0.30×0.52	
167	2	792-663	楕円形	0.31×0.26×0.49	
169	2	792-663	楕円形	0.29×0.21×0.23	
171	2	794-663	楕円形	0.30×0.26×0.46	P172
172	2	794-663	楕円形	0.30×0.27×0.34	P171
173	2	794-664	楕円形	0.25×0.22×0.26	
174	2	795-664	楕円形	0.60×0.36×0.50	
175	2	796-666	楕円形	0.42×0.33×0.71	
176	2	797-666	楕円形	0.38×0.29×0.52	P177
177	2	797-665	楕円形	0.39×0.37×0.67	P176
178	2	797-665	楕円形	0.31×0.25×0.41	
179	2	797-664	楕円形	0.33×0.27×0.38	
180	2	796-663	楕円形	0.34×0.31×0.56	土師小破片
182	2	794-662	不整形	0.30×0.23×0.19	21孤立P9
183	2	793-662	楕円形	0.31×0.24×0.38	
185	2	795-660	楕円形	0.31×0.28×0.58	土師小破片
186	2	796-662	楕円形	0.28×0.23×0.44	
187	2	796-662	楕円形	0.32×0.28×0.25	
188	2	797-662	不整形	0.37×0.32×0.59	
189	2	798-663	楕円形	0.40×0.34×0.18	
190	2	796-661	楕円形	0.34×0.31×0.32	
191	2	797-661	楕円形	0.28×0.24×0.37	
192	2	796-660	楕円形	0.36×0.30×0.37	P916
193	2	797-660	楕円形	0.31×0.34×0.30	
194	2	798-660	楕円形	0.35×0.28×0.50	
195	2	797-660	楕円形	0.32×0.27×0.60	
196	2	796-660	楕円形	0.41×0.32×0.21	P197
197	2	796-659	不整形	0.52×0.24×0.37	P196
198	2	797-659	楕円形	0.41×0.34×0.23	
199	2	795-659	楕円形	0.32×0.25×0.39	
200	2	795-660	楕円形	0.29×0.25×0.45	
201	2	797-659	楕円形	(0.23)×0.21×0.37	
202	2	798-659	楕円形	0.32×0.24×0.28	
203	2	798-659	楕円形	0.31×0.27×0.37	
204	2	797-658	不整形	0.42×0.30×0.21	
205	2	797-658	楕円形	0.27×0.24×0.39	
206	2	798-658	不整形	0.33×0.17×0.32	
207	2	800-658	不明	(0.62)×(0.48)×0.41	

番号	面	グリッド	形状	長軸×短軸×深さ(m)	備考(重視)
208	2	800-657	楕円形	0.33×0.24×0.32	
209	2	792-653	楕円形	0.48×0.32×0.56	
210	2	789-657	楕円形	0.18×0.17×0.25	
211	2	791-658	楕円形	0.22×0.22×0.27	
212	2	794-658	円形	0.22×0.22×0.22	
213	2	794-659	楕円形	0.34×0.30×0.32	
214	2	793-659	楕円形	0.19×0.17×0.45	
216	2	793-661	楕円形	0.34×0.27×0.42	P1163
218	2	792-661	楕円形	0.28×0.27×0.24	
219	2	791-661	楕円形	0.34×0.30×0.25	
220	2	790-661	楕円形	0.23×0.20×0.16	
221	2	790-660	不整形	0.35×0.29×0.28	21孤立P3
224	2	785-661	楕円形	0.33×0.27×0.21	
227	2	788-664	楕円形	0.43×0.35×0.26	
228	2	787-663	楕円形	0.48×0.38×0.31	
229	2	788-665	楕円形	0.34×0.30×0.48	土師小破片
230	2	788-665	楕円形	0.29×0.29×0.23	
231	2	788-665	楕円形	0.37×0.32×0.50	土師小破片
232	2	786-664	楕円形	0.39×0.30×0.53	
233	2	786-664	楕円形	0.27×0.24×0.32	
234	2	785-662	楕円形	0.28×0.26×0.28	
235	2	785-663	楕円形	0.26×0.21×0.25	
236	2	784-664	楕円形	0.51×0.44×0.19	
237	2	789-666	楕円形	0.31×0.23×0.29	
238	2	788-666	楕円形	0.70×0.41×0.60	須恵杯口縁
239	2	788-667	楕円形	0.45×0.41×0.23	
240	2	788-667	円形	0.24×0.24×0.23	須恵焼破片
241	2	787-667	円形	0.21×0.21×0.19	
242	2	787-668	楕円形	0.26×0.24×0.48	
243	2	787-667	楕円形	0.51×0.40×0.50	
244	2	786-666	楕円形	0.42×0.36×0.50	P245、須恵杯小破片
245	2	786-666	楕円形	(0.33)×(0.41)×0.54	P244、土師小破片
246	2	787-667	楕円形	0.28×0.24×0.26	
247	2	786-668	楕円形	0.24×0.22×0.39	
248	2	785-668	楕円形	0.36×0.31×0.41	土師小破片
249	2	786-670	楕円形	0.50×0.39×0.24	
250	2	785-669	楕円形	0.28×0.25×0.37	須恵焼破片
251	2	785-669	楕円形	0.50×0.48×0.41	
252	2	784-669	楕円形	0.46×0.33×0.30	
253	2	782-667	楕円形	0.40×0.29×0.66	
254	2	785-670	楕円形	0.52×0.50×0.55	土師焼破片
255	2	784-670	楕円形	0.51×0.48×0.43	土師小破片
256	2	782-675	楕円形	0.29×0.25×0.18	
257	2	782-675	不整形	0.72×0.52×0.57	土師須恵杯等破片
258	2	781-674	楕円形	0.33×0.27×0.39	
259	2	781-675	楕円形	0.30×0.28×0.36	須恵杯口縁部破片
260	2	780-674	楕円形	0.38×0.31×0.60	P261
261	2	780-674	楕円形	0.37×0.28×0.33	P260
262	2	778-673	楕円形	0.59×0.56×0.27	P1003、土師小破片
263	2	779-675	楕円形	0.54×0.44×0.28	
264	2	780-676	楕円形	0.32×0.26×0.18	P1121
265	2	780-677	楕円形	0.26×0.20×0.40	
266	2	778-680	不明	0.36×(0.26)×0.43	P1001
267	2	777-679	楕円形	0.31×0.26×0.28	
268	2	777-679	円形	0.24×0.23×0.32	
269	2	775-679	楕円形	0.55×0.34×0.32	P270
270	2	775-680	不明	(0.32)×0.56×0.21	P269
271	2	775-681	楕円形	0.31×0.29×0.67	P272
272	2	775-681	楕円形	0.24×0.23×0.36	P271
273	2	775-681	楕円形	0.41×0.35×0.43	
276	2	777-682	楕円形	0.36×0.31×0.63	

番号	面	グリッド	形状	長軸×短軸×深さ(m)	備考(重複)
277	2	776-683	楕円形	0.31×0.26×0.70	
278	2	775-682	楕円形	0.29×0.26×0.47	
279	2	775-683	楕円形	0.36×0.48×0.73	
281	2	774-682	楕円形	(0.32)×0.34×0.57	P 282
282	2	774-682	楕円形	0.48×0.31×0.55	P 281
284	2	775-684	不整形	0.43×0.37×0.46	
285	2	775-684	楕円形	0.30×0.25×0.55	
286	2	774-684	楕円形	0.30×0.28×0.48	P 287
287	2	774-683	楕円形	0.32×0.27×0.61	P 286
288	2	773-683	楕円形	0.30×0.28×0.30	
289	2	773-683	楕円形	0.39×0.35×0.50	
290	2	772-684	不整形	0.34×0.30×0.51	土師小破片
291	2	774-687	楕円形	0.25×0.25×0.33	
292	2	772-687	楕円形	0.32×0.31×0.55	
293	2	772-686	楕円形	0.31×0.29×0.47	P 1078
294	2	771-687	楕円形	0.36×0.24×0.29	
295	2	771-687	楕円形	0.23×0.17×0.27	P 296
296	2	770-686	楕円形	0.37×0.33×0.34	P 295
297	2	770-687	楕円形	0.27×0.23×0.21	
298	2	770-687	楕円形	0.27×0.26×0.37	P 1083
299	2	767-682	楕円形	0.29×0.25×0.25	
300	2	767-681	楕円形	0.33×0.31×0.46	
301	2	765-682	楕円形	0.25×0.20×0.30	
302	2	765-682	楕円形	0.31×0.28×0.42	
303	2	766-681	楕円形	0.29×0.20×0.31	
304	2	765-680	楕円形	0.27×0.22×0.48	
305	2	766-680	円形	0.21×0.20×0.22	
306	2	766-680	楕円形	0.24×0.22×0.48	土師小破片
307	2	767-681	円形	0.30×0.19×0.19	
308	2	768-681	楕円形	0.23×0.19×0.22	
309	2	768-682	楕円形	0.42×0.40×0.40	土師小破片
310	2	768-682	楕円形	0.23×0.21×0.30	
311	2	770-682	楕円形	0.32×0.24×0.29	
312	2	768-681	楕円形	0.31×0.25×0.24	
313	2	768-681	楕円形	0.36×0.32×0.27	須志林1土師小破片、土師小破片
314	2	771-681	楕円形	0.47×0.32×0.36	
315	2	769-680	楕円形	0.35×0.32×0.35	
316	2	769-680	楕円形	0.60×0.43×0.54	
317	2	768-680	楕円形	0.77×0.44×0.63	
319	2	766-679	楕円形	0.53×0.51×0.23	
320	2	765-679	円形	0.26×0.26×0.22	
321	2	766-679	円形	0.21×0.20×0.22	
322	2	766-678	楕円形	0.27×0.25×0.27	
323	2	769-679	楕円形	0.63×0.47×0.64	
324	2	770-679	楕円形	0.28×0.27×0.55	
325	2	769-679	楕円形	0.30×0.29×0.72	土師小破片
326	2	770-680	楕円形	0.30×0.28×0.47	
327	2	770-680	楕円形	0.29×0.27×0.38	
328	2	771-680	楕円形	0.33×0.32×0.57	
329	2	771-679	楕円形	0.34×0.33×0.16	P 330、土師小破片
330	2	771-679	楕円形	0.29×0.27×0.30	P 329
331	2	770-679	楕円形	0.42×0.34×0.57	
332	2	770-679	楕円形	0.44×0.34×0.47	
333	2	769-678	楕円形	0.24×0.22×0.52	
334	2	770-678	楕円形	0.26×0.23×0.34	
335	2	771-677	楕円形	0.43×0.28×0.47	須志小破片
336	2	768-677	楕円形	0.22×0.20×0.27	
337	2	771-674	楕円形	0.46×0.35×0.33	
338	2	772-673	楕円形	0.37×0.35×0.25	
339	2	768-675	楕円形	0.28×0.23×0.33	
340	2	770-673	円形	0.33×0.32×0.34	
341	2	770-671	楕円形	0.29×0.24×0.44	

番号	面	グリッド	形状	長軸×短軸×深さ(m)	備考(重複)
342	2	770-671	楕円形	0.78×0.61×0.36	
343	2	769-671	楕円形	0.81×0.53×0.51	
344	2	770-670	楕円形	0.67×0.53×0.25	土師小破片
345	2	770-668	楕円形	0.33×0.30×0.19	
346	2	770-667	楕円形	0.27×0.27×0.17	
349	2	767-667	楕円形	0.54×0.33×0.53	
351	2	766-667	楕円形	(0.42)×0.34×0.25	27個点 P 5
352	2	766-667	楕円形	0.26×0.22×0.43	
353	2	765-667	楕円形	0.28×0.28×0.51	
354	2	765-667	楕円形	0.37×0.30×0.68	
355	2	765-670	円形	0.28×0.27×0.14	P 1035
356	2	764-670	楕円形	0.37×0.34×0.50	
357	2	764-672	楕円形	0.30×0.24×0.49	
358	2	764-671	楕円形	(0.33)×0.20×0.39	P 359・526
359	2	764-671	楕円形	0.66×(0.48)×0.29	P 358
360	2	765-673	楕円形	0.65×0.41×0.49	P 361
361	2	765-673	不明	(0.21)×0.26×0.15	P 360
362	2	765-673	楕円形	0.26×0.24×0.52	
363	2	765-672	楕円形	0.30×0.26×0.14	
364	2	767-672	楕円形	0.34×0.32×0.63	
365	2	769-672	円形	0.30×0.29×0.18	P 1038
366	2	763-673	円形	0.44×0.34×0.85	
367	2	765-675	不整形	0.69×0.58×1.16	土師表脚部埋付筒
368	2	765-677	円形	0.27×0.26×0.59	
369	2	762-675	楕円形	0.51×0.46×0.67	
370	2	761-674	楕円形	0.39×0.30×0.39	
371	2	760-674	楕円形	0.54×0.47×0.60	
372	2	759-674	不明	(0.34)×0.35×0.36	
373	2	758-676	楕円形	0.33×0.28×0.23	
375	2	764-678	楕円形	0.29×0.23×0.25	
376	2	765-678	楕円形	0.27×0.24×0.23	
377	2	764-678	楕円形	0.26×0.23×0.18	
378	2	764-680	楕円形	0.45×0.39×0.46	P 379
379	2	764-680	楕円形	0.60×0.45×0.72	P 378
380	2	764-681	楕円形	0.47×(0.32)×0.33	34個点 P 6
382	2	764-682	楕円形	0.72×0.41×0.62	
383	2	762-681	楕円形	(0.24)×0.29×0.26	34個点 P 7
385	2	762-680	楕円形	0.26×0.25×0.20	
386	2	762-680	楕円形	0.28×0.26×0.19	
387	2	763-680	楕円形	0.52×0.36×0.50	
388	2	763-680	楕円形	0.43×(0.37)×0.44	P 389
389	2	764-679	楕円形	0.39×0.29×0.63	P 388、土師破片
392	2	761-679	楕円形	0.34×0.34×0.26	
393	2	760-678	楕円形	0.31×0.23×0.38	
394	2	760-678	楕円形	0.35×0.28×0.55	
395	2	760-679	楕円形	0.28×0.26×0.69	
396	2	760-679	楕円形	0.22×0.21×0.35	
397	2	760-679	楕円形	0.29×0.23×0.50	34個点 P 2
398	2	760-678	楕円形	0.36×0.28×0.44	
399	2	759-678	楕円形	0.46×0.32×0.79	
400	2	758-677	楕円形	0.54×0.52×0.81	
401	2	759-680	円形	0.27×0.27×0.18	
404	2	756-680	楕円形	0.41×0.34×0.46	
405	2	756-680	楕円形	0.43×0.36×0.68	P 513
406	2	763-682	楕円形	0.31×0.28×0.27	34個点 P 5、1溝
407	2	766-683	楕円形	0.20×0.19×0.49	1溝
408	2	767-683	楕円形	0.33×0.29×0.41	1溝
409	2	768-683	楕円形	0.49×0.38×0.43	
410	2	775-693	楕円形	0.25×0.23×0.42	
411	2	774-692	円形	0.27×0.26×0.39	
412	2	774-692	楕円形	0.25×0.22×0.29	
413	2	773-691	楕円形	0.33×0.27×0.43	土師破片
414	2	772-692	楕円形	0.26×0.20×0.31	

ビット計測表

番号	面	グリッド	形状	長軸×短軸×深さ(m)	備考(重複)
415	2	770-692	楕円形	0.23×0.20×0.26	P26・416・1866
416	2	770-691	楕円形	0.43×0.40×0.45	P415・1866
417	2	771-690	楕円形	0.27×0.26×0.34	
418	2	769-691	楕円形	0.25×0.22×0.48	
419	2	768-691	楕円形	0.27×0.22×0.43	
423	2	768-690	楕円形	0.37×0.32×0.26	
424	2	771-688	圓丸方形	0.20×0.18×0.12	
425	2	769-688	楕円形	0.25×0.22×0.29	
426	2	768-689	楕円形	0.32×0.28×0.36	
427	2	768-688	円形	0.18×0.17×0.33	
428	2	767-688	楕円形	0.31×0.28×0.35	
429	2	767-689	楕円形	0.31×0.23×0.29	
430	2	767-690	楕円形	0.20×0.19×0.55	P431
431	2	767-690	楕円形	(0.15)×0.27×0.48	P430
432	2	766-688	楕円形	0.29×0.23×0.26	
433	2	768-687	不整形	0.66×0.55×0.26	
434	2	768-686	楕円形	0.36×0.36×0.46	
435	2	768-687	楕円形	(0.42)×0.49×0.19	P436
436	2	767-687	楕円形	0.62×0.47×0.55	P435
437	2	767-686	楕円形	0.71×0.42×0.51	
438	2	766-686	楕円形	0.41×0.32×0.20	
439	2	766-687	楕円形	0.33×0.32×0.34	
440	2	765-687	不整形	0.57×0.45×0.32	
441	2	760-682	楕円形	0.35×0.27×0.43	
442	2	764-687	楕円形	0.27×0.24×0.24	
443	2	764-686	楕円形	0.34×0.21×0.20	
444	2	764-685	不整形	0.47×0.30×0.23	
445	2	763-687	楕円形	0.36×0.27×0.28	
446	2	763-687	楕円形	0.37×0.25×0.30	
447	2	760-682	楕円形	0.32×0.28×0.80	
448	2	761-686	楕円形	0.41×0.37×0.35	
449	2	760-686	楕円形	0.53×0.48×0.65	
450	2	759-685	円形	0.22×0.22×0.25	
451	2	775-689	円形	0.24×0.23×0.23	
452	2	775-689	楕円形	0.26×0.24×0.36	
453	2	774-687	楕円形	0.22×0.19×0.35	
454	2	768-691	楕円形	0.29×0.25×0.33	
455	2	766-690	楕円形	0.28×0.26×0.62	
456	2	766-688	円形	0.20×0.19×0.15	
457	2	764-688	不明	(0.31)×0.42×0.34	
458	2	760-685	楕円形	0.39×0.32×0.28	
459	2	760-684	楕円形	0.23×0.21×0.14	
460	2	759-684	楕円形	0.65×0.58×0.51	P514
462	2	758-684	楕円形	0.33×0.33×0.54	
463	2	758-684	楕円形	0.39×0.38×0.48	P464
464	2	758-684	楕円形	(0.23)×0.36×0.34	P463
465	2	756-682	楕円形	0.41×0.39×0.47	P466
466	2	757-682	楕円形	0.40×0.35×0.61	P465
468	2	757-681	楕円形	0.36×0.31×0.33	土師破片
469	2	758-681	楕円形	0.31×0.28×0.24	
470	2	759-681	楕円形	0.37×0.31×0.35	
471	2	756-684	楕円形	0.24×0.22×0.25	P472
472	2	756-684	楕円形	0.23×(0.14)×0.12	P471
473	2	759-683	楕円形	0.35×0.32×0.60	
474	2	760-682	円形	0.25×0.24×0.25	
475	2	761-682	楕円形	0.27×0.23×0.28	
476	2	762-683	楕円形	0.31×0.31×0.20	
477	2	761-683	楕円形	0.24×0.22×0.19	
478	2	762-683	不整形	0.72×0.55×0.32	
479	2	761-685	楕円形	0.86×0.52×0.29	
480	2	769-686	楕円形	0.33×0.24×0.25	
481	2	770-691	楕円形	0.36×0.35×0.28	
482	2	770-689	楕円形	0.29×0.24×0.27	

番号	面	グリッド	形状	長軸×短軸×深さ(m)	備考(重複)
483	2	771-689	楕円形	0.27×0.26×0.29	
484	2	774-683	楕円形	0.56×0.31×0.24	
485	2	767-683	楕円形	0.35×0.30×0.50	
486	2	766-683	楕円形	0.45×0.35×0.52	
487	2	766-683	楕円形	0.37×0.33×0.46	
488	2	766-681	楕円形	0.35×0.32×0.39	
489	2	768-677	楕円形	0.38×0.32×0.44	
490	2	767-677	楕円形	0.33×0.27×0.50	P1022
491	2	766-676	楕円形	0.29×0.23×0.34	P492
492	2	766-676	楕円形	0.37×0.30×0.31	P491
493	2	763-676	楕円形	0.32×0.31×0.17	11土坑
494	2	763-678	楕円形	0.32×0.30×0.37	
495	2	762-678	楕円形	0.32×0.31×0.22	
496	2	761-677	楕円形	0.44×0.38×0.50	
497	2	759-677	楕円形	0.58×0.40×0.87	
498	2	758-678	楕円形	0.39×0.37×0.77	
501	2	749-680	楕円形	0.22×0.22×0.18	
502	2	749-680	楕円形	0.18×0.15×0.24	
503	2	750-680	楕円形	0.16×0.14×0.16	
504	2	749-678	楕円形	0.21×0.14×0.24	
505	2	749-679	楕円形	0.29×0.24×0.27	
507	2	750-680	楕円形	0.18×0.14×0.49	
508	2	752-680	楕円形	0.25×0.23×0.57	
509	2	752-680	楕円形	0.32×0.20×0.42	
510	2	753-683	楕円形	0.36×0.28×0.43	
511	2	753-683	楕円形	0.31×0.29×0.34	
512	2	755-683	楕円形	0.30×0.27×0.42	
513	2	755-680	不明	(0.35)×0.47×0.30	P405
514	2	759-684	楕円形	0.26×0.21×0.28	P460
515	2	763-682	楕円形	0.38×0.36×0.60	
516	2	759-681	圓丸方形	0.17×0.17×0.21	
517	2	757-678	不明	(0.27)×-×0.49	
518	2	757-679	楕円形	0.34×0.27×0.29	
519	2	757-679	楕円形	0.28×0.27×0.15	
520	2	767-680	楕円形	0.39×0.28×0.33	
521	2	761-674	円形	0.21×0.21×0.29	
522	2	762-673	楕円形	0.25×0.19×0.24	
523	2	764-674	楕円形	0.52×0.37×0.27	P1028、土師焼
524	2	765-674	楕円形	0.41×0.27×0.33	P648
525	2	763-672	楕円形	0.26×0.21×0.39	P535
526	2	763-671	楕円形	0.36×0.27×0.45	
527	2	764-671	楕円形	0.35×0.33×0.20	
528	2	758-685	圓丸方形	0.24×0.23×0.29	
529	2	769-670	円形	0.28×0.27×0.09	
530	2	767-665	楕円形	0.27×0.23×0.17	土師小破片
532	2	767-664	楕円形	0.23×0.21×0.20	須恵系白土小破片
533	2	766-663	楕円形	0.60×(0.45)×0.17	P534
534	2	766-663	楕円形	0.37×0.27×0.12	P533・535
535	2	766-663	楕円形	(0.27)×0.35×0.15	P534・536
536	2	766-662	楕円形	0.52×0.41×0.27	P535
539	2	769-664	楕円形	0.40×0.25×0.22	27覆土 P 2
541	2	772-668	楕円形	0.41×0.35×0.16	
542	2	773-667	楕円形	0.26×0.22×0.39	
544	2	771-664	楕円形	0.47×0.45×0.57	
545	2	771-663	楕円形	0.33×0.27×0.13	
546	2	773-664	楕円形	0.68×0.54×0.30	
547	2	771-662	楕円形	1.15×0.75×0.39	P1047
548	2	767-661	楕円形	0.43×0.40×0.45	
549	2	767-659	楕円形	0.50×0.44×0.53	
550	2	768-659	楕円形	0.38×0.32×0.21	
551	2	768-659	楕円形	0.37×0.28×0.58	
552	2	772-661	楕円形	0.35×0.33×0.29	
553	2	773-662	楕円形	0.54×0.39×0.18	P1027

番号	面	グリッド	形状	長軸×短軸×深さ(m)	備考(重複)
554	2	773-661	楕円形	0.70×0.58×0.46	P1027
555	2	774-663	楕円形	0.62×0.40×0.54	土師小破片
556	2	775-663	楕円形	0.40×0.34×0.24	
557	2	776-663	楕円形	0.43×0.33×0.20	
558	2	774-662	楕円形	0.33×0.29×0.60	
561	2	775-661	楕円形	0.41×0.38×0.64	
562	2	774-661	楕円形	0.51×0.38×0.19	
563	2	774-660	楕円形	0.46×0.41×0.29	
564	2	774-660	楕円形	0.61×0.44×0.13	
565	2	773-660	楕円形	0.43×0.35×0.28	6土坑、須恵杯口 縁小破片
566	2	769-658	楕円形	0.28×0.26×0.44	
570	2	769-656	楕円形	0.34×0.27×0.45	
572	2	770-654	円形	0.29×0.28×0.09	
574	2	771-653	楕円形	0.43×0.37×0.44	
575	2	772-655	不整形	0.38×0.37×0.57	
576	2	772-655	楕円形	0.27×0.25×0.24	
577	2	773-654	楕円形	0.54×0.49×0.47	
578	2	773-656	楕円形	0.30×0.29×0.19	
579	2	774-658	楕円形	0.29×0.26×0.27	
580	2	773-659	楕円形	0.33×0.27×0.27	
582	2	774-660	楕円形	0.26×0.24×0.26	
583	2	776-658	楕円形	0.26×0.21×0.25	
584	2	776-660	楕円形	0.29×0.27×0.21	
586	2	778-661	不整形	0.50×0.41×0.76	
587	2	780-661	楕円形	0.26×0.24×0.16	8土坑
588	2	777-660	楕円形	0.32×0.29×0.35	
589	2	775-656	楕円形	0.51×0.36×0.34	
590	2	777-660	楕円形	0.29×0.28×0.32	
591	2	777-659	楕円形	0.25×0.23×0.34	
592	2	780-659	楕円形	0.45×0.30×0.45	4溝
593	2	780-659	楕円形	0.23×0.21×0.21	
594	2	779-658	楕円形	0.39×0.36×0.61	
595	2	779-658	楕円形	0.48×0.36×0.20	
596	2	778-658	楕円形	0.26×0.23×0.47	
597	2	762-680	円形	0.27×0.27×0.26	
598	2	776-658	楕円形	0.25×0.23×0.42	
599	2	776-658	楕円形	0.29×0.27×0.38	須恵杯口縁小破片
600	2	779-657	楕円形	0.27×0.26×0.32	
601	2	777-656	楕円形	0.38×0.32×0.34	
602	2	778-656	楕円形	0.32×0.30×0.42	
603	2	778-655	楕円形	0.39×0.34×0.61	
604	2	777-655	楕円形	0.40×0.29×0.51	10土坑
605	2	773-653	楕円形	0.41×0.32×0.46	
606	2	772-652	楕円形	0.46×0.36×0.63	
607	2	774-652	楕円形	0.27×0.21×0.52	
608	2	775-652	楕円形	0.41×0.35×0.48	
609	2	775-651	楕円形	0.40×0.34×0.20	
610	2	776-653	楕円形	0.45×0.31×0.48	
611	2	776-652	楕円形	0.31×0.26×0.40	
612	2	777-651	楕円形	0.36×0.31×0.42	
613	2	777-652	楕円形	0.33×0.32×0.15	
614	2	777-652	楕円形	0.24×0.22×0.27	
615	2	777-653	円形	0.22×0.22×0.38	
616	2	777-653	楕円形	0.28×0.25×0.26	
617	2	777-653	楕円形	0.27×0.24×0.45	
618	2	778-652	楕円形	0.40×0.36×0.19	
619	2	779-653	楕円形	0.23×0.22×0.23	
620	2	779-655	不整形	0.62×0.48×0.52	
621	2	779-656	楕円形	0.28×0.27×0.45	
622	2	781-657	楕円形	0.29×0.28×0.37	
623	2	781-655	不整形	0.30×0.30×0.19	
624	2	780-654	楕円形	0.29×0.26×0.47	

番号	面	グリッド	形状	長軸×短軸×深さ(m)	備考(重複)
626	2	783-651	楕円形	0.46×0.40×0.58	
627	2	784-652	楕円形	0.28×0.27×0.31	
628	2	785-652	楕円形	0.29×0.22×0.54	
629	2	785-652	楕円形	0.41×0.37×0.57	
630	2	786-652	楕円形	0.34×0.31×0.48	
631	2	786-652	楕円形	0.27×0.24×0.40	
633	2	784-656	楕円形	0.41×0.34×0.28	
634	2	786-652	楕円形	0.31×0.24×0.14	
635	2	784-652	楕円形	0.27×0.24×0.21	
637	2	787-653	楕円形	0.32×0.30×0.66	
638	2	787-652	楕円形	0.44×0.31×0.46	
639	2	787-652	楕円形	0.39×0.34×0.36	
640	2	786-651	楕円形	0.32×0.25×0.25	
641	2	787-651	楕円形	0.35×0.32×0.36	
643	2	787-654	楕円形	0.29×0.28×0.39	
644	2	787-653	楕円形	0.22×0.18×0.25	土師小破片
645	2	786-652	楕円形	0.44×0.33×0.64	
646	2	787-651	楕円形	0.24×0.21×0.24	
647	2	787-651	楕円形	0.20×0.17×0.15	
648	2	765-674	不明	(0.22)×(0.20)×0.22	P524
649	2	762-678	楕円形	0.35×0.28×0.45	P300
650	2	756-681	不整形	0.41×0.16×0.25	
651	2	754-682	楕円形	0.28×0.23×0.27	
652	2	754-684	楕円形	0.22×0.16×0.18	
653	2	754-682	楕円形	0.18×0.16×0.31	
654	2	753-682	楕円形	0.24×0.21×0.26	
655	2	778-658	楕円形	0.45×0.30×0.30	
656	2	778-658	不整形	0.43×0.36×0.20	P657
657	2	777-658	不整形	0.51×0.50×0.26	P656
658	2	788-648	楕円形	0.29×0.23×0.30	
659	2	787-647	楕円形	0.53×0.48×0.65	P1061
660	2	787-646	楕円形	0.46×0.42×0.40	
661	2	786-647	楕円形	0.56×0.46×0.59	
662	2	786-646	楕円形	0.37×0.32×0.31	
663	2	786-645	楕円形	0.36×0.24×0.25	43獨立P2
664	2	786-645	楕円形	0.35×0.34×0.24	43獨立P2
665	2	784-648	円形	0.36×0.36×0.62	土師小破片
666	2	783-648	楕円形	0.37×0.31×0.54	
667	2	783-648	円形	0.23×0.22×0.48	
668	2	782-647	不整形	0.02×0.53×0.56	
671	2	784-647	楕円形	(0.24)×(0.25)×0.22	43獨立P4
672	2	784-647	楕円形	0.28×0.26×0.52	
673	2	783-647	楕円形	0.52×0.49×0.62	
674	2	783-647	楕円形	0.52×0.42×0.62	
675	2	784-646	楕円形	0.33×0.28×0.46	
677	2	784-646	楕円形	0.26×0.23×0.26	
678	2	785-646	楕円形	0.43×0.28×0.55	
679	2	785-646	楕円形	0.43×0.33×0.70	
681	2	788-646	楕円形	0.36×0.33×0.43	
682	2	789-645	楕円形	0.31×0.28×0.49	
684	2	788-645	楕円形	0.48×0.46×0.47	43獨立P1
685	2	788-644	楕円形	0.41×0.38×0.47	
686	2	789-644	楕円形	0.52×0.50×0.63	
687	2	789-644	楕円形	0.21×0.17×0.47	
688	2	790-645	楕円形	0.22×0.20×0.40	
689	2	790-645	圓九方形	0.23×0.21×0.50	
690	2	791-644	楕円形	0.63×0.45×0.60	
691	2	792-643	楕円形	0.35×0.36×0.68	
692	2	791-643	楕円形	0.59×0.48×0.43	
693	2	791-643	楕円形	0.50×0.26×0.66	
694	2	789-642	楕円形	0.42×0.37×0.73	
695	2	790-642	楕円形	0.36×0.29×0.40	
696	2	792-642	楕円形	0.46×0.39×0.67	

ピット計測表

番号	面	グリッド	形状	長軸×短軸×深さ(m)	備考(重複)
697	2	792・640	楕円形	0.56×(0.35)×0.30	P698
698	2	792・640	楕円形	0.55×0.34×0.37	P697
699	2	791・640	楕円形	0.33×0.41×0.32	
700	2	790・639	円形	0.39×0.39×0.69	
701	2	762・681	楕円形	0.26×0.21×0.41	P384
702	2	757・680	楕円形	0.29×0.25×0.42	7土坑
703	2	767・678	楕円形	0.62×0.56×0.73	須恵杯底部
704	2	789・646	楕円形	0.26×0.23×0.40	
705	2	790・644	楕円形	0.22×0.20×0.41	
706	2	792・639	楕円形	0.69×0.54×0.16	
707	2	793・639	楕円形	0.48×0.42×0.62	
708	2	791・639	楕円形	0.39×0.33×0.25	
709	2	791・637	楕円形	0.30×0.27×0.58	
710	2	789・638	楕円形	0.41×0.37×0.55	
711	2	789・638	楕円形	0.38×0.36×0.40	
712	2	787・642	楕円形	0.44×0.40×0.34	
719	2	787・640	楕円形	0.25×0.23×0.60	
722	2	788・638	楕円形	0.52×0.44×0.38	
723	2	787・638	楕円形	0.45×0.37×0.49	
726	2	787・637	不明	(0.12)×(0.26)×0.24	P727
727	2	787・637	楕円形	0.42×0.32×0.87	P726
728	2	786・637	楕円形	0.28×0.27×0.21	
729	2	786・637	楕円形	0.24×0.17×0.57	
731	2	788・636	楕円形	0.23×0.20×0.47	
732	2	787・636	楕円形	0.50×0.34×0.56	
733	2	788・634	楕円形	0.35×0.33×0.62	
734	2	788・634	圓丸方形	0.21×0.18×0.17	
735	2	787・634	楕円形	0.28×0.24×0.25	
736	2	787・634	楕円形	0.24×0.19×0.39	
737	2	787・633	楕円形	0.35×0.27×0.33	
738	2	787・633	楕円形	0.32×0.27×0.96	
739	2	787・632	楕円形	0.41×0.40×0.51	
740	2	787・631	楕円形	0.53×0.46×1.01	
741	2	787・634	楕円形	0.55×0.55×0.84	
742	2	786・634	楕円形	0.44×0.35×0.26	
743	2	785・633	楕円形	0.46×0.34×0.28	
744	2	785・633	円形	0.24×0.23×0.53	
745	2	785・634	円形	0.25×0.23×0.30	
746	2	785・634	楕円形	0.35×0.31×0.22	
749	2	786・635	円形	0.23×0.22×0.44	
752	2	782・635	楕円形	0.30×0.24×0.35	
753	2	783・636	楕円形	0.59×0.53×0.63	P754
754	2	783・635	楕円形	(0.47)×(0.53)×0.53	P753
755	2	783・635	楕円形	0.27×0.22×0.27	
756	2	784・635	円形	0.17×0.16×0.24	
757	2	784・637	円形	0.19×0.18×0.15	
758	2	784・637	楕円形	0.43×0.38×0.53	
759	2	783・637	楕円形	0.54×0.41×0.41	
760	2	783・636	楕円形	0.22×0.20×0.22	
762	2	782・637	楕円形	0.94×0.75×0.54	P763
763	2	782・638	楕円形	0.34×0.31×0.47	P762
764	2	782・639	円形	0.24×0.24×0.26	
766	2	783・638	楕円形	0.65×0.47×0.77	17層立P6
767	2	783・638	楕円形	0.33×0.30×0.55	
768	2	785・638	楕円形	0.44×0.32×0.50	P770
769	2	785・638	楕円形	0.49×0.32×0.35	P770
770	2	784・638	楕円形	0.41×(0.32)×0.24	P768・769
771	2	786・640	楕円形	0.32×0.30×0.25	
772	2	785・639	楕円形	0.27×0.22×0.39	
773	2	784・640	楕円形	0.27×0.24×0.28	
774	2	784・640	楕円形	0.22×0.22×0.26	
775	2	784・639	楕円形	0.22×0.20×0.28	
776	2	784・640	楕円形	0.28×0.26×0.31	

番号	面	グリッド	形状	長軸×短軸×深さ(m)	備考(重複)
777	2	783・639	楕円形	0.42×0.34×0.25	
778	2	783・640	不明	(0.22)×(0.28)×0.33	P779・780
779	2	783・639	楕円形	0.35×0.29×0.48	P778・780
780	2	782・640	楕円形	0.39×0.27×0.38	P778・779
781	2	783・640	楕円形	0.31×0.27×0.30	
782	2	785・640	楕円形	0.30×0.29×0.30	
783	2	785・641	円形	0.22×0.21×0.28	
784	2	785・642	楕円形	0.30×0.27×0.71	
785	2	784・641	楕円形	0.35×0.33×0.79	
786	2	783・641	楕円形	0.30×0.28×0.53	
787	2	783・640	楕円形	0.38×0.36×0.85	
788	2	782・640	楕円形	0.44×0.42×0.82	
789	2	783・641	楕円形	0.47×0.35×0.71	
790	2	784・642	楕円形	0.38×0.34×0.79	
791	2	782・642	楕円形	0.34×0.32×0.50	
792	2	781・641	楕円形	0.42×0.40×0.88	
793	2	781・642	楕円形	0.42×0.38×0.20	
794	2	782・643	楕円形	0.39×0.39×0.50	
795	2	782・646	円形	0.30×0.29×0.37	
800	2	778・645	楕円形	0.35×0.31×0.61	
801	2	779・644	楕円形	0.28×0.28×0.45	
802	2	780・643	楕円形	0.20×0.18×0.13	
803	2	780・643	楕円形	0.33×0.26×0.22	P804
804	2	781・643	楕円形	(0.35)×(0.33)×0.10	P803
805	2	780・642	楕円形	0.31×0.29×0.50	P806
806	2	780・642	楕円形	0.23×0.18×0.39	P805
807	2	779・642	楕円形	0.25×0.23×0.19	
808	2	778・643	楕円形	0.65×0.63×0.73	
809	2	777・644	楕円形	0.42×0.35×0.66	
810	2	776・644	楕円形	0.37×0.34×0.44	
811	2	777・644	円形	0.24×0.24×0.39	
812	2	776・643	楕円形	0.32×0.30×0.38	
813	2	777・643	楕円形	0.29×0.28×0.60	
814	2	775・642	楕円形	0.45×0.43×0.72	
815	2	776・641	楕円形	0.46×0.46×0.60	
816	2	778・641	楕円形	0.41×0.38×0.42	
817	2	778・641	楕円形	0.33×0.33×0.61	
818	2	778・640	楕円形	0.35×0.33×0.34	
819	2	778・640	楕円形	0.40×0.37×0.51	
820	2	777・640	円形	0.65×0.64×0.20	
821	2	777・639	不明	(0.24)×(0.29)×0.29	
823	2	778・639	楕円形	0.26×0.25×0.33	
824	2	778・638	楕円形	0.31×0.26×0.44	
825	2	779・637	円形	0.23×0.22×0.21	
826	2	779・638	楕円形	0.36×0.33×0.54	
827	2	779・638	楕円形	0.35×0.33×0.66	
828	2	779・639	楕円形	0.36×0.36×0.45	
829	2	780・640	楕円形	0.29×0.27×0.76	16土坑
830	2	780・641	楕円形	0.52×0.38×0.33	
831	2	781・641	楕円形	0.68×0.51×0.70	
832	2	781・640	楕円形	0.45×0.44×0.86	
833	2	780・640	楕円形	0.32×(0.22)×0.33	P834
834	2	780・639	楕円形	0.33×0.27×0.45	P833
835	2	781・639	楕円形	0.53×0.44×0.37	
836	2	781・639	楕円形	0.29×0.27×0.21	
837	2	780・639	楕円形	0.29×0.27×0.22	
839	2	781・638	楕円形	0.38×0.36×0.82	
840	2	781・638	円形	0.43×0.43×0.42	
841	2	781・637	楕円形	0.26×0.23×0.18	
842	2	781・637	楕円形	0.26×0.23×0.22	
843	2	780・637	楕円形	0.26×0.23×0.61	
846	2	781・636	楕円形	0.28×0.22×0.20	
847	2	781・635	楕円形	0.35×0.25×0.32	P848

番号	面	グリッド	形状	長軸×短軸×深さ(m)	備考(重複)
848	2	781-635	楕円形	0.38×0.37×0.30	P847
849	2	781-634	楕円形	0.36×0.32×0.40	
850	2	781-634	楕円形	0.26×0.23×0.36	
851	2	783-631	楕円形	0.32×0.30×0.43	
852	2	782-630	楕円形	0.23×0.16×0.34	P853
853	2	782-630	楕円形	(0.24)×0.27×0.31	P852
854	2	788-632	楕円形	0.31×0.32×0.25	
855	2	789-637	楕円形	0.34×0.32×0.25	
856	2	789-637	楕円形	0.49×0.37×0.29	
857	2	795-639	楕円形	0.50×0.40×0.61	
859	2	797-642	楕円形	0.44×0.38×0.19	
860	2	797-641	楕円形	0.23×0.20×0.13	
861	2	786-647	楕円形	0.35×0.33×0.27	
862	2	798-645	楕円形	0.52×0.43×0.38	
863	2	797-645	楕円形	0.47×0.37×0.78	
864	2	795-645	楕円形	0.25×0.23×0.14	
865	2	795-645	楕円形	0.26×0.23×0.16	
866	2	795-647	楕円形	0.30×0.28×0.38	
867	2	794-647	楕円形	0.29×0.43×0.32	
868	2	794-647	楕円形	0.22×0.19×0.47	
869	2	794-647	楕円形	0.40×0.33×0.45	
870	2	793-646	楕円形	0.29×0.26×0.23	
871	2	792-646	楕円形	0.28×0.25×0.49	
872	2	793-648	楕円形	0.19×0.17×0.18	
873	2	796-648	楕円形	0.49×0.46×0.41	
874	2	798-648	楕円形	0.23×0.18×0.29	
875	2	799-648	楕円形	0.35×0.30×0.31	
876	2	800-647	円形	0.21×0.21×0.20	
877	2	800-647	楕円形	0.37×0.33×0.35	
878	2	802-648	楕円形	0.31×0.24×0.38	
879	2	801-649	楕円形	0.34×0.29×0.28	
880	2	801-649	楕円形	0.37×0.29×0.55	
881	2	799-651	楕円形	0.46×0.38×0.50	
882	2	799-649	楕円形	0.53×0.37×0.65	
883	2	798-648	楕円形	(0.34)×0.37×0.24	P884
884	2	798-648	楕円形	(0.40)×0.39×0.39	P883・885
885	2	798-648	楕円形	0.25×0.16×0.40	P884
886	2	797-649	楕円形	0.33×0.28×0.41	
887	2	797-649	楕円形	0.33×0.29×0.45	
888	2	801-651	楕円形	0.29×0.26×0.19	
889	2	808-651	楕円形	0.52×0.39×0.31	
890	2	809-651	楕円形	0.33×0.29×0.61	
891	2	807-652	楕円形	0.49×0.27×0.47	
892	2	803-656	円形	0.43×0.42×0.45	
893	2	801-657	楕円形	0.22×0.22×0.29	
894	2	800-659	楕円形	0.44×0.42×0.61	
895	2	799-659	楕円形	0.38×0.36×0.32	
896	2	797-656	楕円形	0.38×0.32×0.55	
897	2	796-657	楕円形	0.29×0.26×0.32	
898	2	796-658	不明	(0.20)×0.28×0.51	
899	2	796-658	不明	(0.18)×0.23×0.26	
900	2	797-658	楕円形	0.26×0.23×0.27	
901	2	798-661	楕円形	0.31×0.27×0.44	
902	2	799-661	楕円形	0.32×0.28×0.80	
903	2	799-662	楕円形	0.52×0.44×0.65	
904	2	799-663	楕円形	0.29×0.25×0.64	
905	2	798-662	楕円形	0.26×0.21×0.44	
906	2	797-663	楕円形	(0.26)×0.31×0.30	P907
907	2	797-663	楕円形	0.33×0.32×0.45	P906
908	2	797-663	楕円形	0.29×0.23×0.56	
909	2	796-664	楕円形	0.22×0.21×0.32	
910	2	795-665	楕円形	0.46×0.40×0.75	
911	2	795-663	楕円形	0.24×0.22×0.39	

番号	面	グリッド	形状	長軸×短軸×深さ(m)	備考(重複)
912	2	797-664	楕円形	0.24×0.19×0.27	
913	2	797-664	円形	0.24×0.24×0.26	
914	2	795-661	楕円形	0.29×0.26×0.28	
915	2	798-662	楕円形	0.34×0.32×0.48	
916	2	796-660	楕円形	0.31×0.27×0.49	P192
917	2	795-663	楕円形	0.21×0.19×0.20	
918	2	794-660	楕円形	0.34×0.30×0.69	P919
919	2	794-660	楕円形	(0.19)×0.18×0.61	P918
920	2	793-657	楕円形	0.23×0.20×0.44	
921	2	796-655	楕円形	0.23×0.21×0.32	
922	2	795-654	不明	(0.23)×0.38×0.64	
923	2	795-654	不明	(0.25)×0.39×0.34	
924	2	795-653	不明	(0.14)×××0.45	
925	2	795-653	不明	(0.15)×××0.49	
926	2	797-654	楕円形	0.27×0.24×0.34	
927	2	798-654	楕円形	0.38×0.33×0.24	
928	2	800-655	不明	(0.15)×0.17×0.29	
930	2	792-655	楕円形	0.26×0.23×0.23	P931
931	2	792-654	楕円形	0.23×0.23×0.25	P930
932	2	787-658	楕円形	0.22×0.19×0.27	
933	2	787-660	楕円形	(0.22)×0.28×0.13	P934
934	2	787-659	楕円形	0.55×0.35×0.19	P933
935	2	786-660	楕円形	0.34×0.25×0.51	
936	2	786-660	楕円形	0.30×0.24×0.30	
937	2	790-661	楕円形	0.40×0.32×0.49	
939	2	790-662	楕円形	0.35×0.31×0.25	
940	2	788-663	楕円形	0.29×0.25×0.21	
941	2	788-663	楕円形	0.37×0.25×0.57	
942	2	789-664	楕円形	0.39×0.37×0.36	
943	2	788-664	楕円形	0.24×0.21×0.37	
944	2	786-664	楕円形	0.48×0.32×0.23	
945	2	787-666	楕円形	0.28×0.26×0.30	
946	2	787-666	楕円形	0.30×0.26×0.19	
947	2	792-671	楕円形	0.33×0.29×0.65	
948	2	787-666	楕円形	0.45×0.32×0.37	
949	2	783-665	楕円形	0.37×0.26×0.33	
950	2	782-665	楕円形	0.34×0.30×0.52	
951	2	784-666	楕円形	0.47×0.45×0.77	
952	2	785-666	楕円形	0.65×0.51×0.66	
953	2	784-667	楕円形	0.26×0.25×0.19	
954	2	783-667	楕円形	0.44×0.31×0.17	P955
955	2	783-668	不明	→×0.46×0.25	P954・956
956	2	783-668	不整形	(0.50)×(0.50)×0.26	P955・957
957	2	783-668	楕円形	0.47×0.32×0.86	P956
958	2	791-666	楕円形	0.34×0.32×0.25	
959	2	791-666	楕円形	0.28×0.25×0.20	
960	2	789-666	楕円形	0.19×0.16×0.19	
961	2	787-672	楕円形	0.57×0.42×0.24	
962	2	784-672	楕円形	0.34×0.31×0.57	
963	2	782-675	楕円形	0.44×0.32×0.63	
964	2	782-677	楕円形	0.23×0.22×0.21	
965	2	778-683	楕円形	0.30×0.26×0.51	P950
966	2	778-683	楕円形	0.20×0.20×0.36	
967	2	779-685	楕円形	0.31×0.24×0.17	
968	2	778-686	円形	0.20×0.19×0.17	
969	2	778-686	楕円形	0.33×0.32×0.55	
970	2	777-685	楕円形	0.30×0.28×0.25	
971	2	776-686	楕円形	0.38×0.34×0.18	
972	2	775-685	楕円形	0.51×0.49×0.28	
973	2	774-687	楕円形	0.28×0.26×0.31	
974	2	782-678	円形	0.21×0.20×0.21	
975	2	781-678	楕円形	0.41×0.25×0.17	
976	2	785-667	楕円形	0.30×0.29×0.81	

ビット計測表

番号	面	グリッド	形状	長軸×短軸×深さ(m)	備考(重複)
977	2	783-681	楕円形	(0.35)×0.32×0.32	P69
978	2	781-681	楕円形	0.52×0.37×0.32	
979	2	780-681	楕円形	0.30×0.42×0.31	
980	2	780-682	楕円形	0.32×0.30×0.52	
981	2	776-688	楕円形	0.35×0.26×0.42	
982	2	777-683	楕円形	0.43×0.22×0.16	
983	2	773-688	楕円形	0.19×0.17×0.36	
984	2	773-688	楕円形	0.25×0.22×0.42	
985	2	771-688	円形	0.20×0.19×0.18	
986	2	771-689	楕円形	0.46×0.41×0.24	
987	2	770-689	楕円形	0.22×0.21×0.19	
988	2	769-688	楕円形	0.22×0.19×0.20	
989	2	771-687	楕円形	0.36×0.31×0.31	
990	2	773-686	楕円形	0.60×0.49×0.42	
991	2	771-686	楕円形	0.29×0.27×0.23	
992	2	771-686	楕円形	0.21×0.19×0.21	
993	2	770-686	楕円形	0.23×0.20×0.43	
994	2	770-685	楕円形	0.48×0.34×0.54	
995	2	769-686	楕円形	0.46×0.28×0.28	
996	2	769-686	円形	0.21×0.21×0.16	
997	2	768-686	楕円形	0.19×0.19×0.27	
998	2	772-684	楕円形	0.61×0.45×0.45	
999	2	773-682	円形	0.30×0.30×0.26	
1000	2	779-676	楕円形	0.49×0.39×0.21	
1001	2	778-680	楕円形	0.32×(0.27)×0.30	P266
1002	2	779-673	楕円形	0.43×0.33×0.46	
1003	2	778-673	楕円形	0.36×0.26×0.61	P262
1004	2	777-673	楕円形	0.39×0.35×0.16	
1005	2	776-671	楕円形	0.42×0.37×0.56	
1006	2	777-671	楕円形	0.51×0.34×0.24	
1007	2	763-684	楕円形	0.27×0.25×0.31	
1008	2	764-683	楕円形	0.40×0.32×0.28	
1010	2	759-681	楕円形	0.43×0.41×0.43	
1011	2	767-682	楕円形	0.47×0.37×0.27	
1012	2	770-681	楕円形	0.55×0.39×0.54	P1013
1013	2	771-681	楕円形	0.36×0.33×0.40	P1012
1014	2	768-680	楕円形	0.69×0.36×0.59	
1015	2	771-683	楕円形	0.49×0.46×0.40	
1016	2	771-682	楕円形	0.63×0.40×0.52	P1017・1090
1017	2	771-681	楕円形	(0.23)×0.32×0.33	P1016
1018	2	773-678	楕円形	0.44×0.38×0.60	P1019
1019	2	773-677	楕円形	(0.40)×0.39×0.21	P1018
1020	2	767-680	楕円形	0.33×0.28×0.27	
1021	2	766-677	楕円形	0.28×0.24×0.20	
1022	2	767-677	楕円形	0.26×0.23×0.29	P490
1023	2	767-675	楕円形	0.45×0.41×0.84	
1024	2	764-676	楕円形	0.29×0.26×0.20	
1025	2	762-676	不明	(0.33)×0.39×0.26	P369
1026	2	762-673	楕円形	0.32×0.29×0.50	
1027	2	763-672	楕円形	0.38×0.33×0.49	
1028	2	764-674	楕円形	0.38×0.31×0.33	P523
1029	2	765-671	楕円形	0.58×0.51×0.39	
1030	2	766-672	円形	0.51×0.50×0.50	P1031
1031	2	767-672	楕円形	0.63×0.56×0.38	P1030
1032	2	767-671	楕円形	0.53×0.46×0.53	
1033	2	766-670	楕円形	0.56×0.44×0.42	P1142
1034	2	766-670	楕円形	0.58×0.45×0.40	
1035	2	765-670	楕円形	0.36×0.35×0.34	P355・1034
1036	2	768-673	楕円形	0.39×0.39×0.47	
1037	2	777-673	楕円形	0.36×0.27×0.39	
1038	2	769-672	不整形	0.38×0.37×0.39	
1039	2	768-670	楕円形	0.40×0.37×0.44	
1040	2	767-669	楕円形	0.41×0.37×0.39	

番号	面	グリッド	形状	長軸×短軸×深さ(m)	備考(重複)
1041	2	767-668	楕円形	0.43×0.40×0.48	
1042	2	771-668	楕円形	0.72×0.49×0.37	
1044	2	770-665	楕円形	0.28×0.24×0.18	
1045	2	768-660	楕円形	0.32×0.26×0.22	
1046	2	769-665	楕円形	0.31×0.28×0.42	
1048	2	771-661	楕円形	0.52×0.40×0.50	
1049	2	770-660	楕円形	0.45×0.38×0.67	
1050	2	770-658	楕円形	0.40×0.30×0.27	
1051	2	769-657	楕円形	0.46×0.42×0.38	
1052	2	773-656	楕円形	0.27×0.27×0.17	
1053	2	778-660	楕円形	0.28×0.27×0.22	
1054	2	779-655	楕円形	0.35×0.34×0.45	
1055	2	784-656	楕円形	0.34×0.25×0.40	
1056	2	785-652	楕円形	0.33×0.26×0.25	
1057	2	786-652	楕円形	0.28×0.22×0.38	
1058	2	786-653	楕円形	0.30×0.25×0.19	
1060	2	788-652	楕円形	0.42×0.42×0.33	
1061	2	787-647	不明	(0.19)×0.32×0.39	
1062	2	796-666	楕円形	0.47×0.31×0.76	
1063	2	797-666	楕円形	0.26×0.26×0.24	
1064	2	797-666	楕円形	(0.22)×0.23×0.43	
1065	2	791-668	楕円形	0.26×0.22×0.22	
1066	2	790-667	楕円形	0.25×0.23×0.21	
1067	2	792-671	楕円形	0.31×0.27×0.65	
1068	2	780-678	楕円形	0.50×0.38×0.48	
1070	2	779-681	楕円形	0.31×0.21×0.18	
1071	2	780-684	楕円形	0.33×0.30×0.39	
1072	2	772-688	円形	0.34×0.34×0.25	
1073	2	772-688	円形	0.27×0.25×0.29	
1074	2	771-688	楕円形	0.34×0.25×0.19	
1075	2	771-687	楕円形	0.29×0.26×0.36	
1076	2	770-687	楕円形	0.32×0.24×0.24	
1077	2	770-688	楕円形	0.36×0.24×0.33	
1078	2	772-686	楕円形	0.47×0.40×0.30	P293
1079	2	770-689	楕円形	0.42×0.33×0.24	P887
1080	2	773-694	不明	(0.20)×0.42×0.44	
1081	2	772-694	楕円形	(0.20)×0.22×0.41	
1082	2	771-692	楕円形	0.28×0.26×0.23	
1083	2	770-687	楕円形	0.29×0.26×0.32	P298
1084	2	769-688	楕円形	0.29×0.26×0.28	
1085	2	770-686	円形	0.32×0.31×0.18	
1086	2	770-684	楕円形	0.23×0.20×0.34	
1087	2	770-683	楕円形	0.28×0.21×0.37	
1088	2	770-683	楕円形	0.27×0.21×0.31	
1089	2	770-683	楕円形	0.31×0.25×0.38	
1090	2	771-682	楕円形	(0.62)×0.48×0.60	P1016
1091	2	772-681	楕円形	0.35×0.28×0.29	
1092	2	772-680	楕円形	0.27×0.26×0.27	
1093	2	772-678	楕円形	0.36×0.30×0.53	
1094	2	768-686	円形	0.24×0.23×0.26	P1095
1095	2	768-686	楕円形	0.18×(0.16)×0.17	P1094
1096	2	768-685	楕円形	0.28×0.26×0.31	
1097	2	767-685	楕円形	0.31×0.23×0.19	
1098	2	767-685	楕円形	0.28×0.24×0.31	
1099	2	765-685	楕円形	0.22×0.20×0.13	
1101	2	759-680	楕円形	0.29×0.22×0.47	12土坑
1102	2	766-675	楕円形	0.35×0.30×0.77	
1103	2	767-674	楕円形	(0.52)×0.47×0.45	P1135
1104	2	770-673	楕円形	0.36×0.32×0.18	
1105	2	790-673	楕円形	0.32×0.28×0.24	
1106	2	764-669	円形	0.38×0.37×0.20	
1107	2	763-668	楕円形	0.33×0.29×0.28	
1108	2	762-668	楕円形	(0.54)×0.54×0.91	

ビット計測表

番号	面	グリッド	形状	長軸×短軸×深さ(m)	備考(重複)
1109	2	763・667	楕円形	0.37×0.34×0.26	
1110	2	770・668	楕円形	0.52×0.40×0.28	
1111	2	770・668	楕円形	0.30×0.26×0.26	
1112	2	771・666	楕円形	0.35×0.33×0.44	
1113	2	772・666	楕円形	0.44×0.33×0.50	
1115	2	789・667	楕円形	0.53×0.44×0.53	
1116	2	785・672	不整形	0.60×0.40×0.46	
1117	2	782・669	楕円形	0.29×0.24×0.61	
1118	2	782・670	楕円形	0.53×0.50×0.31	
1119	2	782・671	楕円形	0.42×0.38×0.35	
1120	2	786・678	不明	(0.18)×0.22×0.12	
1121	2	780・676	楕円形	0.53×0.50×0.47	
1122	2	780・674	楕円形	0.21×0.21×0.37	
1123	2	773・685	楕円形	0.40×0.35×0.47	
1124	2	708・687	楕円形	0.45×0.44×0.19	P 435
1125	2	762・682	楕円形	0.34×0.32×0.26	
1128	2	758・675	楕円形	0.44×0.28×0.30	
1129	2	763・674	楕円形	0.68×0.51×0.37	
1130	2	706・674	楕円形	0.58×0.45×0.29	
1131	2	706・674	楕円形	0.56×0.41×0.36	P 1132
1132	2	706・674	楕円形	0.62×0.51×0.45	P 1131・1133
1133	2	765・675	楕円形	(0.33)×0.42×0.20	P 1132
1134	2	768・674	楕円形	0.41×0.40×0.38	
1135	2	768・674	不整形	0.52×0.47×0.43	P 1103
1136	2	768・673	楕円形	0.77×0.51×0.49	
1137	2	773・674	円形	0.35×0.35×0.54	
1138	2	762・670	不明	(0.30)×0.39×0.41	P 1141
1139	2	761・671	不明	(0.21)×0.32×0.24	
1140	2	763・670	楕円形	0.42×0.34×0.81	
1141	2	762・669	不明	(0.22)×(0.31)×0.45	P 1138
1142	2	706・670	不明	(0.17)×0.40×0.40	P 1033
1143	2	775・659	楕円形	0.22×0.18×0.21	
1144	2	780・655	楕円形	0.29×0.23×0.16	
1145	2	779・652	楕円形	0.38×0.29×0.75	
1146	2	778・652	楕円形	0.40×0.31×0.60	
1148	2	779・651	楕円形	0.22×0.21×0.26	
1150	2	780・652	楕円形	0.22×0.19×0.40	
1151	2	780・652	楕円形	0.26×0.23×0.40	
1152	2	781・651	楕円形	0.32×0.28×0.64	
1153	2	782・651	楕円形	0.47×0.39×0.41	
1154	2	783・650	円形	0.26×0.25×0.35	
1158	2	785・649	楕円形	0.28×0.25×0.31	
1159	2	786・651	円形	0.26×0.25×0.35	
1162	2	790・649	円形	0.24×0.24×0.43	
1163	2	793・661	楕円形	0.32×0.27×0.30	P 216
1164	2	796・663	楕円形	0.40×0.28×0.58	
1165	2	797・665	円形	0.26×0.25×0.31	
1166	2	791・668	楕円形	0.38×0.31×0.34	
1167	2	789・674	楕円形	0.31×0.30×0.63	
1169	2	788・674	楕円形	0.27×0.25×0.48	
1170	2	787・675	楕円形	0.37×0.30×0.35	P 107
1171	2	783・679	楕円形	0.41×0.34×0.28	
1172	2	781・678	円形	0.19×0.19×0.22	
1173	2	792・663	楕円形	0.27×0.24×0.31	
1174	2	795・666	楕円形	0.63×0.37×0.42	
1175	2	797・661	楕円形	0.32×0.30×0.48	
1177	2	776・652	楕円形	0.29×0.27×0.56	
1178	2	779・652	楕円形	0.42×0.31×0.38	
1179	2	784・652	円形	0.24×0.24×0.22	
1180	2	782・677	楕円形	0.31×0.26×0.23	
1181	2	785・653	楕円形	0.37×0.23×0.75	
1182	2	784・652	楕円形	0.38×0.32×0.47	
1183	2	783・653	円形	0.34×0.34×0.62	

番号	面	グリッド	形状	長軸×短軸×深さ(m)	備考(重複)
1184	2	783・653	楕円形	0.27×0.25×0.39	
1185	2	784・653	楕円形	0.19×0.18×0.16	
1186	2	784・652	楕円形	0.47×0.37×0.68	
1187	2	783・653	楕円形	0.33×0.30×0.48	
1188	2	783・651	円形	0.17×0.17×0.17	
1189	2	783・652	楕円形	0.26×0.24×0.45	
1191	2	785・649	楕円形	0.30×0.28×0.39	
1192	2	784・649	楕円形	0.34×0.34×0.70	
1193	2	782・648	楕円形	0.31×0.28×0.51	
1195	2	782・648	不明	(0.12)×>0.14	
1196	2	783・646	楕円形	0.28×0.26×0.33	
1197	2	791・672	楕円形	0.62×0.50×0.52	21土坑
1198	2	791・672	楕円形	0.34×0.33×0.35	21土坑
1200	2	790・636	楕円形	0.27×0.22×0.27	
1202	2	788・647	楕円形	0.29×0.27×0.46	
1204	2	786・644	楕円形	0.29×0.25×0.40	
1208	2	793・655	楕円形	0.35×0.33×0.29	
1209	2	784・650	楕円形	0.27×0.25×0.29	
1211	2	792・649	楕円形	0.36×0.30×0.55	
1213	2	789・653	円形	0.26×0.26×0.45	
1214	2	800・653	楕円形	0.44×0.35×0.40	
1215	2	793・661	楕円形	0.45×0.33×0.45	
1219	2	779・667	楕円形	0.67×0.43×0.27	
1220	2	771・684	楕円形	0.28×0.26×0.42	
1221	2	774・686	楕円形	0.38×0.31×0.19	
1222	2	779・679	楕円形	0.53×0.32×0.38	
1223	2	785・676	楕円形	0.35×0.33×0.37	
1224	2	783・676	楕円形	0.29×0.24×0.26	P 92
1225	2	781・675	楕円形	0.36×0.35×0.23	
1226	2	805・561	楕円形	0.26×0.26×0.20	
1227	2	806・561	楕円形	0.17×0.15×0.20	
1228	2	806・561	楕円形	0.26×0.21×0.14	
1229	2	807・559	楕円形	0.21×0.14×0.14	
1230	2	809・555	楕円形	0.23×0.18×0.19	
1231	2	807・553	楕円形	0.29×0.17×0.24	
1232	2	807・554	楕円形	0.25×0.17×0.20	
1233	2	801・566	楕円形	0.26×0.24×0.25	
1234	2	801・565	楕円形	0.22×0.17×0.10	
1235	2	802・563	楕円形	0.29×0.20×0.17	
1236	2	800・562	楕円形	0.24×0.24×0.14	
1237	2	839・562	楕円形	0.24×0.18×0.17	
1238	2	838・561	楕円形	0.19×0.18×0.19	
1239	2	803・558	楕円形	0.30×0.26×0.16	
1240	2	803・557	楕円形	0.29×0.26×0.17	
1241	2	804・557	楕円形	0.52×0.35×0.31	
1242	2	801・557	楕円形	0.24×0.16×0.13	
1243	2	805・554	楕円形	0.23×0.22×0.20	
1244	2	805・554	楕円形	0.31×0.30×0.24	
1245	2	804・554	楕円形	0.34×0.29×0.43	
1246	2	806・553	楕円形	0.28×0.24×0.19	P 1247
1247	2	806・553	楕円形	0.37×(0.20)×0.16	P 1246
1248	2	805・553	圓九方形	0.17×0.17×0.14	
1249	2	802・554	楕円形	0.31×0.28×0.33	
1250	2	802・553	楕円形	0.35×0.27×0.30	
1251	2	801・555	楕円形	0.26×0.20×0.23	
1252	2	802・550	圓九方形	0.25×0.25×0.26	
1253	2	800・552	楕円形	0.29×0.27×0.28	
1254	2	800・552	楕円形	0.27×0.24×0.23	
1255	2	800・551	楕円形	0.30×0.21×0.35	
1256	2	800・548	楕円形	0.38×0.26×0.44	
1257	2	800・549	楕円形	0.26×0.21×0.25	
1258	2	858・548	楕円形	0.25×0.18×0.23	
1259	2	857・551	楕円形	0.26×0.19×0.17	

ビット計測表

番号	面	グリッド	形状	長軸×短軸×深さ(m)	備考(重視)
1260	2	856・-555	楕円形	0.28×0.26×0.28	
1261	2	856・-559	楕円形	0.21×0.17×0.12	
1262	2	855・-559	楕円形	0.23×0.18×0.12	
1263	2	855・-554	楕円形	0.28×0.20×0.23	
1264	2	833・-556	楕円形	0.36×0.27×0.10	
1265	2	852・-559	楕円形	0.17×0.16×0.14	
1266	2	852・-559	楕円形	0.20×0.15×0.14	
1267	2	851・-560	楕円形	0.23×0.17×0.18	
1268	2	850・-560	楕円形	0.28×0.23×0.34	
1269	2	849・-559	楕円形	0.19×0.17×0.20	
1270	2	850・-558	楕円形	0.24×0.21×0.25	
1271	2	850・-558	楕円形	0.23×0.22×0.23	
1272	2	851・-557	楕円形	0.31×0.21×0.18	
1273	2	852・-555	楕円形	0.23×0.19×0.22	
1274	2	833・-548	楕円形	0.36×0.26×0.54	
1275	2	851・-549	楕円形	0.36×0.35×0.70	
1276	2	850・-547	楕円形	0.33×0.30×0.55	
1277	2	850・-551	楕円形	0.23×0.20×0.26	
1278	2	849・-553	楕円形	0.19×0.18×0.23	
1279	2	849・-553	楕円形	0.39×0.33×0.62	
1280	2	849・-555	楕円形	0.21×0.18×0.20	
1281	2	847・-558	楕円形	0.33×0.26×0.46	
1282	2	847・-559	楕円形	0.30×0.26×0.16	
1283	2	847・-560	楕円形	0.29×0.26×0.31	
1284	2	845・-557	楕丸長方形	0.31×0.24×0.29	
1285	2	846・-556	楕円形	0.21×0.19×0.19	
1286	2	850・-545	楕円形	0.38×0.33×0.36	
1287	2	847・-550	楕円形	0.16×0.14×0.25	
1288	2	843・-551	楕円形	0.19×0.15×0.50	
1289	2	849・-545	楕円形	0.23×0.24×0.39	
1290	2	849・-544	楕円形	0.32×0.24×0.42	
1291	2	848・-544	楕円形	0.30×0.23×0.30	
1292	2	848・-547	楕円形	0.28×0.18×0.40	
1293	2	847・-548	楕円形	0.28×0.24×0.26	
1294	2	847・-549	楕円形	0.40×0.33×0.43	
1295	2	844・-551	楕円形	0.23×0.17×0.34	
1296	2	842・-551	楕円形	0.24×0.22×0.47	
1297	2	842・-555	楕円形	0.22×0.18×0.21	
1298	2	842・-555	楕円形	0.18×0.17×0.18	
1299	2	842・-555	楕円形	0.22×0.20×0.26	
1300	2	838・-552	楕円形	0.23×0.19×0.22	
1301	2	839・-551	楕円形	0.24×0.21×0.46	
1302	2	841・-550	楕円形	0.33×0.26×0.68	
1303	2	842・-549	楕円形	0.29×0.23×0.42	
1304	2	842・-549	楕円形	0.31×0.20×0.43	
1305	2	843・-546	楕円形	0.32×0.27×0.46	
1306	2	844・-545	楕円形	0.38×0.26×0.32	
1307	2	838・-551	楕円形	0.28×0.21×0.48	
1308	2	838・-550	楕円形	0.28×0.23×0.19	
1309	2	838・-549	楕円形	0.33×0.32×0.35	
1310	2	859・-578	楕円形	0.46×0.43×0.60	
1311	2	855・-574	楕円形	0.29×0.25×0.56	
1312	2	855・-579	楕円形	0.37×0.35×0.84	
1313	2	855・-577	不整形	0.59×0.41×1.23	
1314	2	853・-577	楕円形	0.42×0.35×0.81	P1552
1315	2	852・-576	楕円形	0.44×0.37×0.56	
1316	2	851・-576	楕円形	0.39×0.34×0.27	
1317	2	852・-575	楕円形	0.41×0.35×1.10	
1318	2	853・-574	楕円形	0.55×0.47×1.00	
1319	2	851・-573	楕円形	0.20×0.16×0.36	
1320	2	851・-573	楕円形	0.38×0.34×0.66	
1321	2	849・-573	楕円形	0.38×0.22×0.45	
1322	2	847・-572	楕円形	0.29×0.22×0.30	

番号	面	グリッド	形状	長軸×短軸×深さ(m)	備考(重視)
1323	2	847・-573	楕円形	0.30×0.22×0.50	P1324
1324	2	847・-573	楕円形	0.27×0.26×0.32	P1323
1325	2	847・-572	楕円形	0.42×0.31×0.71	
1326	2	847・-571	楕円形	0.33×0.28×0.47	
1327	2	843・-572	楕円形	0.55×0.45×0.80	
1328	2	849・-577	楕円形	0.32×0.28×0.58	
1329	2	850・-580	楕円形	0.43×0.34×0.59	
1330	2	854・-583	楕円形	0.25×0.22×0.35	
1331	2	847・-580	楕円形	0.37×0.34×0.60	
1332	2	856・-586	楕円形	0.27×0.23×0.37	
1333	2	855・-585	楕円形	0.36×0.29×0.71	
1334	2	853・-585	楕円形	0.22×0.19×0.24	
1335	2	848・-583	楕円形	0.32×0.24×0.32	
1336	2	847・-585	楕円形	0.35×0.29×0.83	
1337	2	845・-583	楕円形	0.22×0.20×0.42	
1338	2	843・-583	楕円形	0.24×0.21×0.17	
1339	2	843・-579	楕円形	0.26×0.22×0.48	
1340	2	842・-579	楕円形	0.32×0.26×0.86	
1341	2	840・-575	楕円形	0.30×0.23×0.33	
1342	2	838・-576	楕円形	0.20×0.18×0.30	
1343	2	837・-575	楕円形	0.20×0.23×0.41	
1344	2	836・-575	楕円形	0.24×0.19×0.55	
1345	2	835・-572	楕円形	0.23×0.20×0.36	
1346	2	835・-571	楕円形	0.35×0.28×0.64	
1347	2	834・-573	楕円形	0.21×0.18×0.40	
1348	2	833・-574	楕円形	0.27×0.24×0.51	
1349	2	835・-576	楕円形	0.25×0.22×0.41	
1350	2	832・-576	楕円形	0.32×0.29×0.19	
1351	2	832・-577	楕円形	0.38×0.26×0.57	
1352	2	833・-580	楕円形	0.26×0.24×0.40	
1353	2	833・-580	楕円形	0.31×0.29×0.59	
1354	2	833・-579	楕円形	0.29×0.24×0.73	
1355	2	831・-579	楕円形	0.31×0.27×0.43	
1356	2	830・-579	楕円形	0.34×0.32×0.47	
1357	2	834・-589	楕円形	0.44×0.38×0.72	
1358	2	828・-579	楕円形	0.31×0.29×0.43	
1359	2	828・-580	楕円形	0.30×0.23×0.43	
1360	2	851・-588	楕円形	0.27×0.24×0.43	
1361	2	851・-590	楕円形	0.25×0.20×0.27	
1362	2	851・-591	楕円形	0.33×0.28×0.71	
1363	2	850・-588	楕円形	0.35×0.26×0.37	
1364	2	850・-587	楕円形	0.28×0.28×0.70	
1365	2	843・-584	楕円形	0.24×0.18×0.32	
1366	2	845・-589	楕円形	0.37×0.32×0.42	
1367	2	839・-588	楕円形	0.26×0.22×0.14	
1368	2	837・-586	楕円形	0.27×0.23×0.39	
1369	2	836・-585	楕円形	0.36×0.31×0.62	
1370	2	835・-586	楕円形	0.36×0.25×0.59	
1371	2	834・-586	楕円形	0.28×0.25×0.39	
1372	2	835・-586	楕円形	0.26×0.25×0.43	
1373	2	829・-583	楕円形	0.40×0.38×0.57	
1374	2	827・-582	楕円形	0.33×0.21×0.38	
1375	2	827・-582	楕円形	0.25×0.21×0.30	
1376	2	833・-586	楕円形	0.30×0.23×0.37	
1377	2	851・-594	楕円形	0.32×0.22×0.23	
1378	2	849・-593	楕円形	0.30×0.22×0.75	
1379	2	849・-592	楕円形	0.35×0.32×0.93	
1380	2	846・-593	楕円形	0.28×0.24×0.53	
1381	2	846・-593	楕円形	0.29×0.22×0.43	
1382	2	845・-594	楕円形	0.42×0.38×0.58	
1383	2	849・-599	楕円形	0.47×0.32×0.81	P1384
1384	2	848・-598	楕円形	0.25×0.49×0.42	P1383
1385	2	847・-599	楕円形	0.28×0.26×0.50	

番号	面	グリッド	形状	長軸×短軸×深さ(m)	備考(重複)
1386	2	847・599	楕円形	0.33×0.26×0.56	
1387	2	846・598	楕円形	0.26×0.26×0.57	
1388	2	847・597	楕円形	0.44×0.35×0.77	
1389	2	847・597	楕円形	0.27×0.25×0.36	
1390	2	848・596	楕円形	0.28×0.26×0.17	
1391	2	846・595	楕円形	0.29×0.25×0.54	
1392	2	845・596	楕円形	0.45×0.26×0.22	P1558
1393	2	844・596	楕円形	0.36×0.31×0.69	
1394	2	844・598	楕円形	0.34×0.24×0.44	
1395	2	838・590	楕円形	0.28×0.26×0.16	
1396	2	838・589	楕円形	0.40×0.33×0.28	
1397	2	832・590	楕円形	0.34×0.29×0.49	
1398	2	830・590	楕円形	0.33×0.26×0.62	
1399	2	830・589	楕円形	0.38×0.33×0.65	P1567
1400	2	846・603	楕円形	0.35×0.30×0.93	
1401	2	846・602	楕円形	0.26×0.22×0.38	
1402	2	845・603	楕円形	0.41×0.26×0.67	
1403	2	844・600	楕円形	0.36×0.32×0.65	
1404	2	844・603	楕円形	0.36×0.31×0.75	
1405	2	844・605	楕円形	0.36×0.31×0.46	
1406	2	843・603	楕円形	0.30×0.29×0.57	
1407	2	843・603	不整形	0.51×0.29×0.68	
1408	2	841・604	楕円形	0.44×0.32×0.42	
1409	2	841・602	楕円形	0.38×0.33×0.48	
1410	2	841・603	楕円形	0.38×0.29×0.61	
1411	2	841・603	楕円形	0.31×0.30×0.50	
1412	2	840・604	楕円形	0.41×0.33×0.57	
1413	2	840・604	楕円形	0.29×0.23×0.36	
1414	2	842・605	楕円形	0.41×0.27×0.42	
1415	2	842・606	楕円形	0.26×0.21×0.44	
1416	2	843・607	楕円形	0.22×0.21×0.49	
1417	2	841・607	楕円形	0.29×0.22×0.54	
1418	2	841・609	楕円形	0.39×0.30×0.65	
1419	2	841・610	楕円形	0.26×0.24×0.48	
1420	2	841・610	楕円形	0.31×0.24×0.31	
1421	2	840・609	楕円形	0.35×0.32×0.32	
1422	2	840・608	楕円形	0.29×0.27×0.55	
1423	2	840・601	楕円形	(0.33)×0.32×0.47	P1424
1424	2	840・601	楕円形	0.33×0.30×0.66	P1423
1425	2	839・601	楕円形	0.25×0.22×0.36	
1426	2	837・604	楕円形	0.35×0.27×0.48	
1427	2	837・603	楕円形	0.42×0.36×0.79	
1428	2	836・602	楕円形	0.38×0.27×0.48	
1429	2	832・601	楕円形	0.32×0.32×0.65	
1430	2	832・567	楕円形	0.35×0.28×0.61	
1431	2	829・585	楕円形	0.26×0.24×0.38	
1432	2	829・594	楕円形	0.39×0.36×0.70	
1433	2	832・600	楕円形	0.35×0.26×0.49	
1434	2	830・601	楕円形	0.39×0.26×0.47	
1435	2	836・604	楕円形	0.33×0.20×0.44	
1436	2	835・604	楕円形	0.35×0.32×0.58	
1437	2	837・606	楕円形	0.25×0.24×0.49	
1438	2	836・607	楕円形	0.53×0.33×0.71	
1439	2	836・607	楕円形	0.36×0.28×0.36	
1440	2	835・606	楕円形	0.38×0.34×0.39	
1441	2	839・611	楕円形	0.41×0.39×0.41	
1442	2	838・610	楕円形	0.25×0.21×0.45	
1443	2	838・609	楕円形	0.32×0.28×0.47	
1444	2	834・605	楕円形	0.36×0.30×0.66	
1445	2	833・603	楕円形	0.31×0.25×0.61	
1446	2	831・603	楕円形	0.42×0.35×0.48	
1447	2	829・603	楕円形	0.32×0.26×0.65	
1448	2	828・600	楕円形	0.24×0.19×0.19	

番号	面	グリッド	形状	長軸×短軸×深さ(m)	備考(重複)
1449	2	828・601	楕円形	0.26×0.23×0.25	
1450	2	827・597	楕円形	0.34×0.28×0.83	
1451	2	826・598	楕円形	0.26×0.22×0.68	
1452	2	826・598	楕円形	0.38×0.30×0.84	
1453	2	826・597	楕円形	0.30×0.25×0.62	
1454	2	826・597	楕円形	0.30×0.26×0.51	
1455	2	824・597	楕円形	0.40×0.37×0.82	
1456	2	825・596	楕円形	0.47×0.37×0.47	
1457	2	824・596	楕円形	0.36×0.28×0.68	
1458	2	824・595	楕円形	0.44×0.27×0.73	
1459	2	824・596	楕円形	0.46×0.36×0.64	
1460	2	823・596	楕円形	0.28×0.25×0.61	
1461	2	824・595	楕円形	0.28×0.24×0.61	
1462	2	822・596	楕円形	0.29×0.20×0.47	
1463	2	823・594	楕円形	0.35×0.27×0.56	
1464	2	823・597	楕円形	0.40×0.35×0.73	P1466
1465	2	822・597	楕円形	0.31×0.23×0.70	
1466	2	822・597	不明	(0.10)×0.26×0.18	P1464
1467	2	822・597	楕円形	0.29×0.23×0.49	
1468	2	831・604	楕円形	0.37×0.30×0.63	
1469	2	837・610	不明	0.37×(0.21)×0.36	P1470
1470	2	837・610	楕円形	0.28×0.21×0.46	P1469
1471	2	846・560	楕円形	0.20×0.19×0.22	
1472	2	847・546	楕円形	0.24×0.19×0.37	
1473	2	833・605	楕円形	0.25×0.22×0.34	
1474	2	833・605	楕円形	0.35×0.29×0.67	
1475	2	841・553	楕円形	0.22×0.21×不明	
1476	2	842・554	楕円形	0.27×0.20×0.33	
1477	2	829・607	楕円形	0.36×0.32×0.85	
1478	2	825・608	楕円形	0.29×0.28×0.44	
1479	2	824・608	楕円形	0.38×0.33×0.37	
1480	2	836・610	楕円形	0.40×0.37×0.58	
1481	2	835・608	楕円形	0.24×0.23×0.57	
1482	2	835・608	楕円形	0.28×0.25×0.60	
1483	2	835・607	楕円形	0.45×0.39×1.03	
1484	2	834・607	楕円形	0.26×0.23×0.61	
1485	2	834・607	楕円形	0.34×0.30×0.60	
1486	2	834・608	楕円形	0.39×0.32×0.69	
1487	2	833・607	楕円形	0.33×0.27×0.51	
1488	2	833・609	楕円形	0.32×0.32×1.01	
1489	2	832・607	楕円形	0.31×0.27×0.69	
1490	2	831・608	楕円形	0.45×0.42×0.34	
1491	2	831・608	楕円形	0.35×0.24×0.63	
1492	2	831・608	楕円形	0.23×0.23×0.41	
1493	2	830・609	楕円形	0.33×0.26×0.44	
1494	2	829・609	楕円形	0.30×0.26×0.56	
1495	2	828・608	楕円形	0.32×0.28×0.63	
1496	2	830・605	楕円形	0.26×0.24×0.60	
1497	2	829・604	楕円形	0.37×0.27×0.47	
1498	2	828・605	楕円形	0.43×0.41×1.13	
1499	2	828・603	楕円形	0.29×0.21×0.55	
1500	2	826・605	楕円形	0.42×0.29×0.61	
1501	2	825・609	楕円形	0.32×0.28×0.55	
1502	2	826・611	楕円形	0.31×0.26×0.52	
1503	2	825・612	楕円形	0.45×0.39×0.42	
1504	2	827・609	楕円形	0.26×0.25×0.55	
1505	2	828・611	楕円形	0.32×0.26×0.56	
1506	2	828・613	楕円形	0.36×0.28×0.53	P1507
1507	2	828・613	楕円形	0.41×0.32×0.57	P1506
1508	2	830・613	楕円形	0.43×0.39×0.60	
1509	2	829・615	楕円形	0.34×0.33×0.64	
1510	2	832・611	楕円形	0.26×0.21×0.40	P1572
1511	2	832・611	楕円形	0.32×0.30×0.61	

ビット計測表

番号	面	グリッド	形状	長軸×短軸×深さ(m)	備考(重視)
1512	2	833-612	楕円形	0.40×0.33×0.58	
1513	2	833-611	楕円形	0.27×0.26×0.64	
1514	2	833-613	楕円形	0.45×0.45×0.41	
1515	2	833-614	楕円形	0.40×0.27×0.45	
1516	2	834-613	楕円形	0.45×0.33×0.70	
1517	2	834-612	楕円形	0.42×0.38×0.72	
1518	2	835-611	楕円形	0.36×0.32×0.72	
1519	2	837-612	楕円形	0.37×0.31×0.45	
1520	2	838-613	楕円形	0.24×0.24×0.33	
1521	2	836-613	楕円形	0.35×0.26×0.49	
1522	2	837-614	楕円形	0.32×0.31×0.48	
1523	2	838-615	楕円形	0.24×0.20×0.25	
1524	2	836-615	楕円形	0.51×0.36×0.48	
1525	2	836-615	楕円形	0.43×0.34×0.38	
1526	2	834-614	楕円形	0.45×0.38×0.73	
1527	2	833-616	楕円形	0.50×0.44×0.51	
1528	2	836-619	楕円形	0.25×0.17×0.22	
1529	2	830-621	楕円形	0.39×0.33×0.34	
1530	2	832-623	楕円形	0.24×0.20×0.25	
1531	2	829-623	楕円形	0.30×0.29×0.32	
1532	2	829-619	楕円形	0.37×0.31×0.62	
1533	2	825-619	楕円形	0.37×0.33×0.57	
1534	2	823-619	楕円形	0.40×0.34×0.85	
1535	2	823-620	楕円形	0.38×0.30×0.25	
1536	2	822-618	楕円形	0.47×0.37×0.52	
1537	2	822-618	楕円形	0.33×0.28×0.38	
1538	2	827-615	楕円形	0.31×0.23×0.18	
1539	2	820-617	楕円形	0.32×0.25×0.34	
1540	2	819-617	楕円形	0.29×0.21×0.38	
1541	2	819-618	楕円形	0.28×0.23×0.42	
1542	2	821-620	楕円形	0.26×0.19×0.33	
1543	2	821-621	楕円形	0.24×0.20×0.36	
1544	2	820-621	楕円形	0.32×0.24×0.41	
1545	2	815-621	楕円形	0.30×0.22×0.35	
1546	2	814-623	楕円形	0.32×0.28×0.26	
1547	2	815-624	楕円形	0.32×0.22×0.43	
1548	2	826-630	楕円形	0.37×0.33×0.40	
1549	2	830-600	楕円形	0.27×0.25×0.28	
1550	2	838-550	楕円形	0.29×0.18×0.51	
1551	2	832-577	楕円形	0.38×0.22×0.24	
1552	2	833-577	楕円形	(0.21)×0.18×0.28	P1314
1553	2	837-584	楕円形	0.29×0.24×0.53	
1554	2	838-589	楕円形	0.33×0.29×0.32	
1555	2	840-590	楕円形	0.26×0.23×0.45	
1556	2	840-591	楕円形	0.36×0.29×0.94	
1557	2	841-594	楕円形	0.27×0.23×0.41	
1558	2	845-596	楕円形	0.23×0.17×0.45	P1302
1559	2	831-596	楕円形	0.36×0.28×0.57	
1560	2	827-590	楕円形	0.38×0.32×0.62	
1561	2	827-590	楕円形	0.30×0.28×0.49	
1562	2	827-591	楕円形	0.34×0.29×0.69	
1563	2	826-582	楕円形	0.32×0.28×0.70	
1564	2	839-598	楕円形	0.35×0.20×0.62	
1565	2	825-615	楕円形	0.34×0.28×0.48	
1566	2	827-594	楕円形	0.32×0.28×0.28	
1567	2	830-589	楕円形	(0.24)×0.35×0.68	P1399
1568	2	832-584	楕円形	0.32×0.27×0.55	
1569	2	847-598	楕円形	0.26×0.22×0.40	
1570	2	846-590	楕円形	0.30×0.23×0.36	
1571	2	854-549	楕円形	0.35×0.23×0.43	
1572	2	832-611	不明	(0.15)×0.23×0.31	P1510
1573	2	806-646	楕円形	0.27×0.22×0.29	
1574	2	813-628	楕円形	0.26×0.23×0.32	

番号	面	グリッド	形状	長軸×短軸×深さ(m)	備考(重視)
1575	2	835-607	楕円形	0.21×0.16×0.23	
1576	2	846-603	不明	(0.14)×>0.46	
1577	2	842-598	楕円形	0.32×0.28×0.45	
1578	2	848-580	楕円形	0.22×0.21×0.38	
1579	2	833-571	楕円形	0.33×0.32×0.61	
1580	2	833-571	楕円形	0.23×0.15×0.39	
1581	2	825-599	楕円形	0.32×0.29×0.56	
1582	2	837-602	楕円形	0.28×0.24×0.63	
1583	2	837-602	楕円形	0.29×0.27×0.47	
1584	2	834-599	楕円形	0.43×0.23×0.51	
1585	2	831-574	楕円形	0.36×0.31×0.35	
1586	2	832-572	楕円形	0.22×0.17×0.19	
1587	2	832-598	楕円形	0.29×0.26×0.45	
1588	2	830-597	楕円形	0.36×0.33×0.34	
1589	2	832-578	楕円形	0.29×0.25×0.75	
1590	2	825-597	楕円形	0.34×0.32×0.51	
1591	2	824-597	楕円形	0.24×0.19×0.25	P1592
1592	2	824-597	楕円形	0.20×0.17×0.26	P1591
1593	2	823-597	楕円形	0.26×0.24×0.69	
1594	2	824-595	楕円形	0.35×0.31×0.55	
1595	2	823-596	楕円形	0.30×0.24×0.59	
1596	2	821-596	楕円形	0.22×0.28×0.41	
1597	2	822-596	楕円形	0.30×0.23×0.53	
1598	2	821-598	楕円形	0.27×0.18×0.75	
1599	2	822-598	楕円形	0.22×0.20×0.27	
1600	2	822-598	楕円形	0.28×0.24×0.49	
1601	2	824-599	楕円形	0.44×0.36×0.69	
1602	2	822-599	楕円形	0.32×0.29×0.56	
1603	2	822-599	楕円形	0.27×0.24×0.45	
1604	2	831-599	楕円形	0.36×0.26×0.59	
1605	2	819-598	楕円形	0.24×0.23×0.47	
1606	2	821-600	楕円形	0.36×0.29×0.70	
1607	2	830-599	楕円形	0.30×0.26×0.65	
1608	2	820-598	楕円形	0.37×0.33×0.65	
1609	2	817-599	楕円形	0.24×0.22×0.41	
1610	2	817-599	楕円形	0.43×0.39×0.33	
1611	2	817-600	楕円形	0.30×0.22×0.62	
1612	2	818-601	楕円形	0.31×0.27×0.35	
1613	2	818-600	楕円形	0.27×0.25×0.59	
1614	2	823-595	楕円形	0.25×0.12×0.27	
1615	2	835-601	楕円形	0.27×0.25×0.55	
1616	2	839-599	楕円形	0.34×0.31×0.39	
1617	2	830-602	楕円形	0.30×0.26×0.45	
1618	2	820-603	楕円形	0.34×0.31×0.65	
1619	2	822-601	楕円形	0.28×0.22×0.56	
1620	2	822-603	楕円形	0.24×0.21×0.27	
1621	2	822-603	楕円形	0.29×0.23×0.58	
1622	2	823-602	楕円形	0.31×0.23×0.33	P1623
1623	2	823-602	不明	(0.20)×0.22×0.31	P1622
1624	2	824-602	楕円形	0.28×0.23×0.58	
1625	2	824-603	楕円形	0.24×0.23×0.49	
1626	2	825-603	円形	0.29×0.29×0.64	
1627	2	826-603	楕円形	0.35×0.27×1.04	
1628	2	827-603	楕円形	0.31×0.21×0.59	
1629	2	824-605	不明	(0.26)×0.26×0.48	
1630	2	824-605	楕円形	0.38×0.33×0.55	
1631	2	824-605	楕円形	0.30×0.28×0.52	
1632	2	823-606	楕円形	0.44×0.34×0.49	
1633	2	822-607	楕円形	0.36×0.27×0.50	
1634	2	815-598	楕円形	0.31×0.27×0.43	
1635	2	814-599	楕円形	0.32×0.27×0.61	
1636	2	818-604	楕円形	0.31×0.21×0.43	
1637	2	817-604	楕円形	0.27×0.25×0.34	

番号	面	グリッド	形状	長軸×短軸×深さ(m)	備考(重複)
1638	2	816・602	楕円形	0.27×0.23×0.36	
1639	2	806・606	楕円形	0.37×0.25×0.44	
1640	2	813・604	楕円形	0.28×0.22×0.35	
1641	2	813・605	楕円形	0.30×0.23×0.51	
1642	2	813・605	楕円形	0.38×0.32×0.40	
1643	2	813・605	円形	0.22×0.22×0.34	
1644	2	806・604	楕円形	0.28×0.25×0.45	
1645	2	814・605	楕円形	0.21×0.17×0.37	
1646	2	815・605	楕円形	0.26×0.23×0.11	
1647	2	817・607	楕円形	0.30×0.26×0.56	
1648	2	818・606	楕円形	0.32×0.34×0.57	
1649	2	818・605	楕円形	0.36×0.28×0.59	
1650	2	818・605	楕円形	0.20×0.19×0.46	
1651	2	818・607	楕円形	0.37×0.25×0.39	
1652	2	818・607	楕円形	0.20×0.16×0.32	
1653	2	818・608	楕円形	0.24×0.20×0.38	
1654	2	818・609	楕円形	0.26×0.24×0.39	
1655	2	819・610	楕円形	0.27×0.23×0.26	
1656	2	819・610	楕円形	0.27×0.23×0.17	
1657	2	822・610	楕円形	0.31×0.25×0.38	
1658	2	822・610	楕円形	0.32×0.23×0.59	
1659	2	817・608	楕円形	0.28×0.27×0.55	
1660	2	816・608	楕円形	0.26×0.21×0.25	
1661	2	816・607	楕円形	0.29×0.26×0.43	
1662	2	806・606	楕円形	0.27×0.25×0.41	
1663	2	813・607	楕円形	0.32×0.26×0.51	
1664	2	813・607	楕円形	0.21×0.16×0.18	
1665	2	812・607	楕円形	0.27×0.22×0.28	
1666	2	812・606	楕円形	0.36×0.25×0.61	
1667	2	811・607	楕円形	0.34×0.25×0.55	
1668	2	811・607	楕円形	0.25×0.19×0.51	
1669	2	811・607	円形	0.25×0.25×0.39	
1670	2	812・608	楕円形	0.31×0.24×0.26	
1671	2	813・609	楕円形	0.31×0.27×0.63	
1672	2	806・607	楕円形	0.27×0.20×0.39	
1673	2	814・611	楕円形	0.21×0.20×0.13	
1674	2	807・606	楕円形	0.26×0.20×0.31	
1675	2	815・612	楕円形	0.23×0.21×0.34	
1676	2	816・612	楕円形	0.27×0.24×0.25	
1677	2	816・612	楕円形	0.21×0.16×0.38	
1678	2	814・615	楕円形	0.30×0.29×0.48	
1679	2	811・614	楕円形	0.25×0.23×0.35	
1680	2	811・609	楕円形	0.27×0.23×0.41	
1681	2	809・609	楕円形	0.33×0.27×0.55	
1682	2	809・608	楕円形	0.27×0.26×0.45	
1683	2	807・614	円形	0.28×0.28×0.33	
1684	2	807・616	楕円形	0.31×0.24×0.42	
1685	2	804・614	楕円形	0.22×0.21×0.30	
1686	2	803・614	楕円形	0.49×0.36×0.52	
1687	2	804・616	楕円形	0.33×0.25×0.40	
1688	2	801・615	楕円形	0.30×0.27×0.74	
1689	2	806・619	楕円形	0.28×0.26×0.13	
1690	2	805・620	楕円形	0.26×0.22×0.28	
1691	2	801・617	楕円形	0.30×0.27×0.67	
1692	2	800・623	楕円形	0.21×0.18×0.25	
1693	2	802・625	楕円形	0.18×0.13×0.19	
1694	2	803・625	楕円形	0.29×0.25×0.20	
1695	2	804・632	円形	0.18×0.18×0.19	
1696	2	801・631	楕円形	0.26×0.26×0.31	
1697	2	801・629	楕円形	0.22×0.20×0.24	
1698	2	800・628	楕円形	0.21×0.17×0.24	
1699	2	799・628	楕円形	0.23×0.18×0.36	
1700	2	799・628	楕円形	0.23×0.18×0.29	

番号	面	グリッド	形状	長軸×短軸×深さ(m)	備考(重複)
1701	2	796・635	楕円形	0.27×0.26×0.28	
1702	2	797・629	楕円形	0.29×0.22×0.26	
1703	2	796・628	楕円形	0.26×0.26×0.44	
1704	2	796・626	楕円形	0.38×0.34×0.34	
1705	2	791・626	楕円形	0.32×0.26×0.46	
1706	2	790・625	楕円形	0.28×0.25×0.22	
1707	2	789・621	楕円形	0.35×0.27×0.37	
1708	2	790・621	楕円形	0.37×0.37×0.52	
1709	2	789・619	楕円形	0.49×0.38×0.50	
1710	2	790・619	楕円形	0.31×0.26×0.37	
1711	2	790・616	楕円形	0.60×0.45×0.72	
1712	2	793・622	楕円形	0.34×0.32×0.49	
1713	2	795・619	楕円形	0.31×0.22×0.25	
1714	2	798・618	楕円形	0.31×0.23×0.29	
1715	2	797・614	楕円形	0.26×0.26×0.31	
1716	2	796・615	楕円形	0.26×0.18×0.41	
1717	2	795・615	楕円形	0.27×0.22×0.47	
1718	2	795・615	楕円形	0.41×0.36×0.62	
1719	2	793・615	楕円形	0.34×0.26×0.37	
1720	2	793・613	楕円形	0.43×0.34×0.56	
1721	2	796・611	楕円形	0.28×0.23×0.42	
1722	2	797・610	楕円形	0.28×0.27×0.48	
1723	2	800・612	楕円形	0.35×0.33×0.28	
1724	2	800・611	楕円形	0.24×0.22×0.21	
1725	2	801・604	楕円形	0.30×0.27×0.39	
1726	2	801・602	楕円形	0.33×0.26×0.82	
1727	2	804・604	楕円形	0.27×0.23×0.28	
1728	2	806・608	楕円形	0.28×0.28×0.39	
1729	2	807・607	楕円形	(0.15)×0.26×0.45	
1730	2	807・603	楕円形	0.32×0.22×0.26	
1731	2	805・604	楕円形	0.41×0.36×0.52	
1732	2	805・603	楕円形	0.36×0.35×0.49	
1733	2	804・601	楕円形	0.39×0.30×0.46	
1734	2	803・601	楕円形	0.28×0.21×0.38	
1735	2	807・598	楕円形	0.25×0.20×0.29	
1736	2	805・596	楕円形	0.29×0.26×0.16	
1737	2	806・594	楕円形	0.46×0.38×0.66	
1738	2	807・596	楕円形	0.34×0.27×0.22	
1739	2	808・597	楕円形	0.54×0.44×0.62	
1740	2	808・598	楕円形	0.24×0.21×0.48	
1741	2	808・598	楕円形	0.26×0.20×0.52	
1742	2	808・598	楕円形	0.27×0.25×0.47	
1743	2	810・596	楕円形	0.23×0.21×0.48	
1744	2	810・595	楕円形	0.40×0.24×0.30	
1745	2	811・598	楕円形	0.21×0.17×0.30	
1746	2	812・599	楕円形	0.39×0.28×0.53	
1747	2	812・597	楕円形	0.26×0.23×0.32	
1748	2	812・597	楕円形	0.37×0.27×0.73	
1749	2	812・596	楕円形	0.27×0.18×0.56	
1750	2	812・596	楕円形	0.33×0.26×0.58	
1751	2	812・595	楕円形	0.27×0.26×0.57	
1752	2	812・594	楕円形	0.40×0.33×0.69	
1753	2	806・595	楕円形	0.47×0.41×0.75	
1754	2	812・592	楕円形	0.34×0.29×0.58	
1755	2	813・593	楕円形	0.30×0.27×0.55	
1756	2	814・593	楕円形	0.30×0.24×0.65	
1757	2	815・593	楕円形	0.40×0.37×0.44	
1758	2	816・594	楕円形	0.27×0.23×0.43	
1759	2	816・595	楕円形	0.28×0.23×0.54	
1760	2	816・596	楕円形	0.34×0.33×0.52	
1761	2	815・596	楕円形	0.25×0.22×0.32	
1762	2	815・596	楕円形	0.27×0.25×0.65	
1763	2	814・596	楕円形	0.26×0.22×0.48	

ビット計測表

番号	面	グリッド	形状	長軸×短軸×深さ(m)	備考(重複)
1764	2	817-596	楕円形	0.27×0.23×0.63	
1765	2	821-598	楕円形	0.26×0.19×0.57	
1766	2	831-598	楕円形	0.36×0.28×0.73	
1767	2	832-598	楕円形	0.30×0.27×0.53	
1768	2	831-594	楕円形	0.31×0.26×0.42	
1769	2	834-600	楕円形	0.54×0.33×0.33	
1770	2	835-601	楕円形	0.30×0.29×0.53	
1771	2	829-593	楕円形	0.28×0.27×0.34	
1772	2	830-594	楕円形	0.24×0.19×0.25	
1773	2	831-592	楕円形	0.34×0.24×0.44	
1774	2	831-591	楕円形	0.30×0.29×0.32	
1775	2	832-592	円形	0.29×0.28×0.51	
1776	2	832-593	楕円形	0.25×0.21×0.30	
1777	2	833-592	楕円形	0.36×0.29×0.28	
1778	2	833-591	不明	(0.16)×0.22×0.47	P1779
1779	2	833-594	楕円形	0.28×0.21×0.48	P1778
1780	2	840-594	楕円形	0.31×0.27×0.63	
1781	2	841-596	楕円形	0.23×0.21×0.30	
1782	2	843-595	楕円形	0.37×0.32×0.20	
1783	2	842-597	楕円形	0.34×0.33×0.54	
1784	2	842-597	楕円形	0.17×0.16×0.29	
1785	2	842-598	楕円形	0.27×0.17×0.44	
1786	2	841-597	楕円形	0.28×0.26×0.36	
1787	2	840-597	楕円形	0.42×0.36×0.97	
1788	2	840-598	楕円形	0.34×0.31×0.42	
1789	2	839-597	楕円形	0.36×0.25×0.55	
1790	2	836-596	楕円形	0.39×0.34×0.57	
1791	2	833-598	楕円形	0.29×0.23×0.46	
1792	2	812-592	楕円形	0.27×0.27×0.43	
1793	2	839-586	楕円形	0.28×0.24×0.50	
1794	2	839-586	楕円形	0.26×0.22×0.38	
1795	2	840-587	楕円形	0.24×0.20×0.12	
1796	2	840-588	楕円形	0.35×0.32×0.65	
1797	2	840-589	楕円形	0.26×0.24×0.28	
1798	2	839-589	楕円形	0.32×0.26×0.46	
1799	2	838-588	楕円形	0.24×0.22×0.34	
1800	2	836-588	楕円形	0.32×0.24×0.25	
1801	2	810-596	楕円形	0.34×0.25×0.31	
1802	2	811-591	不整形	0.42×0.22×0.61	
1803	2	810-591	楕円形	0.30×0.28×0.68	
1804	2	810-588	楕円形	0.39×0.33×0.51	
1805	2	810-587	楕円形	0.33×0.32×0.66	
1806	2	809-585	楕円形	(0.31)×0.31×0.55	
1807	2	809-603	楕円形	0.33×0.28×0.50	
1808	2	808-604	楕円形	0.27×0.23×0.54	
1809	2	810-604	楕円形	(0.19)×0.35×0.68	
1810	2	811-605	楕円形	0.35×0.27×0.55	
1811	2	813-609	楕円形	0.29×0.23×0.57	
1812	2	802-596	楕円形	0.40×0.35×0.58	
1813	2	802-597	楕円形	0.53×0.48×0.79	
1814	2	802-598	楕円形	0.27×0.25×0.39	
1815	2	802-600	楕円形	0.32×0.27×0.28	
1816	2	799-600	楕円形	(0.17)×0.21×0.35	P1817
1817	2	799-600	楕円形	0.26×0.23×0.46	P1816
1818	2	798-601	楕円形	0.40×0.31×0.49	
1819	2	799-602	楕円形	0.33×0.23×0.43	
1820	2	797-615	楕円形	0.23×0.17×0.30	
1821	2	828-591	楕円形	0.30×0.25×0.53	
1822	2	840-580	楕円形	0.35×0.22×0.28	
1823	2	832-586	楕円形	0.31×0.26×0.67	
1824	2	848-597	楕円形	0.28×0.19×0.34	
1825	2	844-593	楕円形	0.41×0.26×0.51	
1826	2	846-583	楕円形	0.19×0.16×0.43	

番号	面	グリッド	形状	長軸×短軸×深さ(m)	備考(重複)
1827	2	835-577	楕円形	0.47×0.29×0.46	
1828	2	835-573	楕円形	0.22×0.26×0.40	
1829	2	837-611	楕円形	0.28×0.22×0.52	
1830	2	834-610	楕円形	0.23×0.22×0.51	
1831	2	832-615	楕円形	0.42×0.32×0.49	
1832	2	831-615	楕円形	0.24×0.18×0.43	
1833	2	812-618	楕円形	0.28×0.25×0.43	
1834	2	834-588	楕円形	0.29×0.25×0.49	
1835	2	824-589	楕円形	0.29×0.24×0.54	
1836	2	841-584	楕円形	0.28×0.25×0.45	
1837	2	834-596	楕円形	0.40×0.34×0.56	
1838	2	842-600	楕円形	0.30×0.25×0.76	
1839	2	843-599	楕円形	0.52×0.37×0.50	
1840	2	835-588	楕円形	0.29×0.23×0.36	
1841	2	808-605	楕円形	0.29×0.27×0.35	
1842	2	806-607	楕円形	0.28×0.23×0.46	
1843	2	808-609	楕円形	0.42×0.37×0.60	
1844	2	810-610	楕円形	0.28×0.25×0.67	
1845	2	829-595	楕円形	0.29×0.26×0.45	
1846	2	824-592	楕円形	0.33×0.33×0.78	
1847	2	847-605	楕円形	0.32×0.31×0.25	
1848	2	830-603	楕円形	0.31×0.29×0.77	
1849	2	822-600	楕円形	0.44×0.28×0.56	
1850	2	824-607	楕円形	0.29×0.23×0.36	
1851	2	815-618	楕円形	0.27×0.15×0.33	
1852	2	817-616	楕円形	0.21×0.17×0.16	
1853	2	818-613	楕円形	0.29×0.24×1.06	
1854	2	823-611	楕円形	0.32×0.31×0.39	
1855	2	823-607	楕円形	(0.27)×0.25×0.45	
1856	2	828-605	楕円形	0.34×0.15×0.51	P1857
1857	2	828-605	楕円形	0.31×(0.19)×0.64	P1856
1858	2	832-613	楕円形	0.32×0.27×0.46	
1859	2	811-591	楕円形	0.36×0.33×0.34	
1860	2	835-591	楕円形	0.36×0.31×0.80	
1861	2	833-594	楕円形	0.38×0.33×0.54	
1862	2	802-595	楕円形	0.55×0.36×0.51	
1864	2	789-671	楕円形	(0.16)×0.33×0.26	P120・121
1865	2	788-671	楕円形	(0.14)×0.43×0.23	P120・121
1866	2	770-692	楕円形	0.31×(0.18)×0.17	P26・415・416

第39表 鴨上I道跡A区ビット計測表

番号	面	グリッド	形状	長軸×短軸×深さ(m)	備考(重複)
1	1	678・831	楕円形	0.29×0.24×0.15	
2	1	677・831	楕円形	0.36×0.33×0.12	
3	1	676・831	楕円形	0.41×0.24×0.16	
4	1	675・831	不整形	(0.44)×0.40×0.20	
5	1	677・830	楕円形	0.29×0.23×0.15	
6	1	670・828	楕円形	0.30×0.23×0.33	
7	1	670・828	円形	0.17×0.17×0.31	
8	1	670・828	楕円形	0.20×0.17×0.26	
9	1	669・828	楕円形	0.25×0.23×0.17	
10	1	675・829	楕円形	0.36×0.32×0.27	
11	1	666・827	楕円形	0.29×0.23×0.19	
12	1	665・828	楕円形	0.22×0.19×0.19	
13	1	665・827	楕円形	0.43×0.41×0.19	
14	1	664・827	円形	0.42×0.42×0.22	
15	1	664・827	楕円形	0.37×0.30×0.17	
16	1	659・826	楕円形	0.26×0.26×0.16	
17	1	657・824	楕円形	0.22×0.20×0.29	
18	1	657・824	楕円形	0.27×0.25×0.23	
19	1	658・823	楕円形	0.26×0.18×0.08	
20	1	658・823	楕円形	0.21×0.17×0.21	
21	1	659・822	楕円形	0.28×0.26×0.76	
22	1	680・828	楕円形	0.26×0.23×0.33	
23	1	681・827	楕円形	0.32×0.26×0.24	
24	1	679・824	楕円形	0.23×0.21×0.26	
25	1	675・826	楕円形	0.24×0.20×0.11	
26	1	675・826	円形	0.18×0.17×0.21	
27	1	674・825	楕円長方形	0.26×0.21×0.57	
28	1	675・824	楕円形	0.25×0.19×0.59	
29	1	675・824	楕円形	0.24×0.19×0.14	
30	1	675・824	楕円形	0.33×0.29×0.80	
31	1	684・824	楕円形	0.50×0.40×0.18	
32	1	672・824	楕円形	0.50×0.30×0.49	P122
33	1	681・823	楕円形	0.25×0.22×0.34	
34	1	683・821	楕円形	0.27×0.22×0.30	
35	1	683・819	楕円形	0.31×0.32×0.26	
36	1	689・818	楕円形	0.27×0.20×0.27	
37	1	684・813	円形	0.27×0.26×0.43	
38	1	693・816	楕円形	0.21×0.21×0.11	
39	1	658・823	楕円形	0.19×0.14×0.21	
40	1	658・823	楕円形	0.25×0.14×0.32	
41	1	657・822	楕円形	0.26×0.20×0.28	
42	1	883・818	楕円形	0.13×0.11×0.12	
43	1	687・815	楕円形	0.35×0.28×0.24	
44	1	679・828	楕円形	0.32×0.23×0.48	
45	1	675・823	楕円形	0.28×0.25×0.17	
46	1	674・824	楕円形	0.28×0.24×0.36	
47	1	672・823	楕円形	0.20×0.14×0.19	
48	1	672・822	楕円形	0.20×0.17×0.09	
49	1	671・827	円形	0.23×0.23×0.13	
50	1	670・828	楕円長方形	0.28×0.22×0.25	2溝
51	1	666・827	楕円形	0.26×0.20×0.41	
52	1	660・823	楕円形	0.23×0.21×0.18	
53	1	683・820	楕円形	0.22×0.18×0.16	
54	1	685・813	楕円形	0.22×0.20×0.24	
55	1	686・812	楕円形	0.55×0.37×0.33	
56	1	683・813	楕円形	0.26×0.24×0.06	
57	1	683・813	楕円形	0.14×0.13×0.08	
58	1	681・813	楕円形	0.29×0.24×0.27	
59	1	689・810	楕円形	0.25×0.20×0.15	
60	1	693・815	円形	0.21×0.21×0.45	
61	1	685・811	不整形	0.32×0.28×0.64	
62	1	694・817	楕円形	0.18×0.14×0.26	

番号	面	グリッド	形状	長軸×短軸×深さ(m)	備考(重複)
63	1	693・816	楕円形	0.28×0.25×0.21	
64	1	695・816	楕円形	0.25×0.22×0.13	
65	1	695・816	楕円形	0.24×0.19×0.25	
66	1	694・815	楕円形	0.19×0.18×0.12	
67	1	693・815	楕円形	0.28×0.22×0.27	
68	1	693・815	楕円形	0.20×0.18×0.12	
69	1	696・815	楕円形	0.22×0.20×0.32	
70	1	695・814	楕円形	0.33×0.25×0.15	
71	1	695・813	楕円形	0.25×0.23×0.11	
72	1	694・812	楕円形	0.24×0.23×0.33	
73	1	694・811	楕円形	0.21×0.19×0.23	
74	1	694・811	楕円形	0.28×0.18×0.33	
75	1	691・811	楕円形	0.32×0.23×0.14	
76	1	697・810	楕円形	0.18×0.16×0.13	
77	1	696・809	楕円形	0.18×0.15×0.22	
78	1	694・808	楕円形	0.22×0.19×0.18	
80	1	692・807	楕円形	0.28×0.21×0.35	
81	1	691・809	楕円長方形	0.19×0.19×0.10	
82	1	691・808	楕円形	0.28×0.18×0.16	
83	1	691・808	楕円形	0.19×0.14×0.11	
84	1	691・807	楕円形	0.21×0.14×0.12	
85	1	692・809	楕円形	0.37×0.34×0.11	
86	1	693・810	楕円形	0.16×0.13×0.08	
87	1	696・809	楕円形	0.24×0.21×0.18	
88	1	694・805	楕円形	0.32×0.30×0.14	
89	1	695・805	楕円形	0.36×0.27×0.03	
90	1	689・806	楕円形	(0.23)×0.31×0.07	P91
91	1	689・806	楕円形	0.22×0.21×0.22	P90
92	1	677・812	楕円形	0.25×0.22×0.16	
93	1	678・809	不整形	0.28×0.28×0.21	
94	1	679・810	楕円形	0.27×0.23×0.35	
95	1	679・810	楕円形	0.23×0.23×0.32	
96	1	682・810	楕円形	0.19×0.17×0.21	
97	1	682・810	楕円形	0.24×0.22×0.20	
98	1	683・809	楕円形	0.23×0.21×0.29	
99	1	683・809	楕円形	0.21×0.17×0.23	
100	1	683・808	楕円形	0.21×0.19×0.19	
101	1	680・809	楕円形	0.31×0.26×0.36	
102	1	680・809	楕円形	0.22×0.20×0.12	
103	1	679・809	楕円形	0.39×0.38×0.45	
104	1	681・811	楕円形	0.26×0.22×0.22	
105	1	679・811	楕円形	0.26×0.23×0.21	
106	1	681・803	楕円形	0.32×0.27×0.15	
107	1	681・801	楕円形	0.31×0.23×0.12	
108	1	681・801	楕円形	0.51×0.45×0.08	
109	1	682・801	楕円形	0.27×0.25×0.16	
110	1	683・802	円形	0.26×0.26×0.30	
111	1	684・798	楕円形	0.36×0.24×0.39	
112	1	684・798	楕円形	0.24×0.23×0.18	
113	1	685・798	楕円形	0.37×0.30×0.32	
114	1	687・795	楕円形	0.30×0.26×0.85	
115	1	687・795	楕円形	0.23×0.16×0.30	
116	1	674・821	楕円形	0.27×0.25×0.14	
117	1	674・820	楕円形	0.21×0.15×0.09	
118	1	674・819	楕円形	0.29×0.28×0.13	
119	1	681・821	楕円形	0.15×0.15×0.28	
120	1	650・822	不整形	0.34×0.32×0.12	
121	1	651・824	楕円形	0.32×0.24×0.64	
122	1	672・823	不明	(0.15)×0.17×0.29	P32
123	1	692・839	楕円形	0.16×0.16×0.17	
124	1	693・839	不明	(0.16)×0.16×0.24	
125	1	693・839	楕円形	0.18×0.16×0.15	

ビット計測表

番号	面	グリッド	形状	長軸×短軸×深さ(m)	備考(重複)
126	1	693・839	楕円形	0.18×0.16×0.11	
127	1	694・838	楕円形	0.28×(0.19)×0.31	
128	1	697・839	楕円形	0.17×0.13×0.20	
129	1	697・840	楕円形	0.17×0.15×0.09	
130	1	698・840	円形	0.20×0.19×0.10	
131	1	699・840	楕円形	0.43×0.25×0.20	
132	1	697・839	楕円形	0.36×0.22×0.26	
133	1	682・802	楕円形	0.20×0.19×0.10	
134	1	682・801	楕円形	0.21×0.20×0.13	
135	1	651・820	楕円形	0.26×0.25×0.16	
136	1	651・821	楕円形	0.37×0.30×0.15	
137	1	650・820	楕円形	0.24×0.17×0.14	
138	1	649・821	円形	0.28×0.28×0.69	
139	1	648・821	楕円形	0.24×0.24×0.35	
140	1	648・821	楕円形	0.28×0.28×0.48	P141
141	1	648・821	楕円形	0.42×(0.35)×0.27	P140
142	1	648・822	楕円形	0.23×0.17×0.45	P143
143	1	648・822	楕円形	(0.15)×0.16×0.12	P142
144	1	648・820	楕円形	0.25×0.23×0.27	
145	1	649・822	楕円形	0.34×0.20×0.42	P151
146	1	684・836	楕円形	0.21×0.19×0.09	
147	1	683・835	楕円形	0.23×0.21×0.15	
148	1	682・835	楕丸長方形	0.20×0.17×0.09	
149	1	682・834	楕円形	0.29×0.22×0.36	
150	1	679・833	楕円形	0.26×0.20×0.21	
151	1	648・822	楕円形	(0.22)×0.24×0.40	P145
152	1	651・820	楕円形	0.28×0.22×0.58	
153	1	650・823	楕円形	0.24×0.18×0.12	
154	1	649・821	楕円形	0.26×0.21×0.59	
155	1	650・823	楕円形	(0.32)×0.39×0.12	
156	1	683・834	楕円形	0.40×0.30×0.45	
157	1	686・815	楕円形	0.27×0.20×0.21	
158	1	685・814	楕円形	0.17×0.13×0.20	
159	1	684・814	楕円形	0.16×0.14×0.08	
160	1	686・814	楕円形	0.19×0.17×0.23	
161	1	686・813	楕円形	0.26×0.18×0.20	
162	1	686・812	楕円形	0.25×0.20×0.38	
163	1	694・814	楕円形	0.28×0.22×0.30	
164	1	689・812	楕円形	0.35×0.27×0.38	
165	1	689・813	不整形	0.22×0.19×0.11	
166	1	697・812	楕円形	0.17×0.13×0.07	
169	1	692・807	楕円形	0.24×0.17×0.39	
171	1	695・807	楕円形	0.34×0.30×0.17	
172	1	696・809	楕円形	0.16×0.15×0.18	
173	1	699・811	楕円形	0.14×0.12×0.19	
174	1	698・807	楕円形	0.18×0.15×0.35	
175	1	696・806	楕円形	0.33×0.27×0.12	
176	1	698・805	楕円形	0.16×0.14×0.23	
177	1	697・805	楕円形	0.18×0.16×0.32	
178	1	697・803	楕円形	0.39×0.22×0.76	
179	1	696・805	楕円形	0.33×0.32×0.45	
181	1	681・810	楕円形	0.31×0.22×0.15	
182	1	687・809	楕円形	0.19×0.16×0.08	
183	1	689・811	楕円形	0.15×0.13×0.12	
184	1	689・811	円形	0.18×0.17×0.16	
186	1	694・817	楕円形	0.27×0.24×0.54	
187	1	693・818	円形	0.14×0.13×0.09	
188	1	689・817	楕円形	0.20×0.15×0.25	
189	1	696・809	楕円形	0.39×0.34×0.13	
190	1	686・809	楕丸長方形	0.50×0.46×0.19	
191	1	687・807	楕円形	0.32×0.15×0.16	
192	1	684・816	楕丸長方形	0.19×0.18×0.09	
193	1	684・814	楕円形	0.18×0.14×0.11	

番号	面	グリッド	形状	長軸×短軸×深さ(m)	備考(重複)
194	1	682・813	楕円形	0.20×0.14×0.34	
198	1	698・804	楕円形	0.24×0.17×0.32	

第40表 鴨上1遺跡B区ビット計測表

番号	面	グリッド	形状	長軸×短軸×深さ(m)	備考(重複)
501	1	644・886	楕円形	0.33×0.26×0.38	
502	1	641・883	楕円形	0.32×0.29×0.69	
503	1	640・885	不整形	0.27×0.26×0.15	
505	1	639・882	楕円形	0.36×0.29×0.49	
506	1	638・885	楕円形	0.27×0.19×0.29	
507	1	638・885	楕円形	0.23×0.18×0.17	
510	1	637・885	楕円形	0.23×0.17×0.34	
511	1	637・886	楕円形	0.18×0.18×0.18	
512	1	641・890	楕円形	0.45×0.38×0.41	
513	1	638・890	楕円形	0.24×0.22×0.24	
514	1	638・890	楕円形	0.32×0.22×0.29	
515	1	637・891	楕円形	0.24×0.19×0.26	
516	1	638・891	楕円形	0.24×0.24×0.19	
517	1	636・888	楕円形	0.45×0.29×0.33	
518	1	637・888	楕円形	0.34×0.21×0.28	
519	1	636・887	楕円形	0.25×0.23×0.25	
520	1	634・888	楕円形	0.22×0.20×0.12	
521	1	634・887	楕円形	0.34×0.25×0.41	
523	1	635・887	楕円形	0.26×0.23×0.23	
524	1	636・888	楕円形	0.32×0.22×0.22	土師製破片
525	1	634・889	楕円形	0.16×0.16×0.14	
526	1	634・889	楕円形	0.17×0.15×0.09	
527	1	634・889	楕円形	0.25×0.20×0.19	
528	1	634・889	楕円形	0.19×0.16×0.22	508往
529	1	634・890	楕円形	0.27×0.24×0.17	508往
530	1	633・890	円形	0.34×0.33×0.28	
531	1	633・891	不整形	0.27×0.25×0.15	
532	1	633・891	楕円形	0.25×0.21×0.06	
533	1	633・891	楕円形	0.32×0.28×0.15	
534	1	630・892	楕円形	0.15×0.12×0.17	
535	1	631・892	楕円形	0.19×0.19×0.17	
536	1	632・892	楕円形	0.27×0.22×0.48	
537	1	632・893	楕円形	0.18×0.16×0.23	
538	1	633・894	楕円形	0.17×0.16×0.15	
539	1	634・892	楕円形	0.23×0.19×0.16	
540	1	634・892	楕円形	0.16×0.16×0.18	
541	1	634・893	楕円形	(0.15)×0.25×0.23	P542
542	1	634・893	楕円形	0.30×0.25×0.36	P541
543	1	635・891	楕円形	0.25×0.22×0.20	
544	1	636・892	楕円形	0.18×0.14×0.09	
545	1	637・893	楕円形	0.19×0.15×0.17	
546	1	636・894	楕円形	0.40×0.30×0.70	
547	1	634・895	楕円形	0.20×0.13×0.10	
548	1	631・897	楕円形	0.24×0.20×0.52	
549	1	632・887	楕円形	0.21×0.18×0.09	508往
550	1	632・887	楕円形	0.23×0.22×0.12	
551	1	633・887	楕円形	0.23×0.21×0.21	501土坑
552	1	633・887	楕円形	0.26×0.24×0.36	508往
553	1	631・884	楕円形	0.24×0.22×0.16	
554	1	627・886	楕円形	0.25×0.17×0.09	
555	1	627・886	楕円形	0.37×0.36×0.14	
556	1	626・886	楕円形	0.24×0.22×0.23	
557	1	626・885	楕円形	0.27×0.22×0.22	
558	1	624・885	楕円形	0.26×0.25×0.27	
559	1	623・884	楕円形	0.23×0.22×0.21	
560	1	623・883	楕円形	0.22×0.21×0.08	
561	1	624・883	楕円形	0.34×0.28×0.21	
562	1	623・882	楕円形	0.32×0.29×0.31	
563	1	621・888	楕円形	0.35×0.34×0.22	
564	1	618・897	楕円形	0.30×0.28×0.35	P565、土師製破片
565	1	618・897	楕円形	(0.30)×0.30×0.32	P564

番号	面	グリッド	形状	長軸×短軸×深さ(m)	備考(重複)
566	1	613・893	楕円形	0.28×0.23×0.45	
567	1	606・902	楕円形	0.32×0.25×0.35	
568	1	606・902	楕円形	0.29×0.26×0.39	
572	1	602・909	楕円形	0.35×0.35×0.25	
573	1	636・887	楕円形	0.23×0.21×0.21	
574	1	636・887	楕円形	0.28×0.24×0.21	
575	1	639・883	楕円形	0.24×0.23×0.41	
576	1	638・884	楕円形	0.20×0.19×0.22	
577	1	635・883	楕円形	0.26×0.24×0.21	
579	1	634・883	楕円形	0.24×0.23×0.23	
580	1	634・883	楕円形	0.25×0.22×0.15	
582	1	629・886	円形	0.19×0.18×0.18	
583	1	629・886	楕円形	0.19×0.17×0.17	
584	1	629・885	楕円形	0.32×0.22×0.16	
585	1	629・885	楕円形	0.24×0.16×0.21	
586	1	629・884	楕円形	0.43×0.35×0.12	
587	1	633・886	楕円形	(0.23)×0.22×0.10	501掘立P4
589	1	638・889	楕円形	0.29×0.23×0.27	
590	1	637・888	楕円正方形	0.45×0.39×0.72	503・504土坑、土師製破片
591	1	617・885	楕円形	0.36×0.29×0.37	土師製破片
592	1	619・886	楕円形	0.29×0.21×0.24	
593	1	619・883	楕円形	0.30×0.22×0.43	
594	1	620・883	楕円形	0.25×0.22×0.21	
595	1	620・883	楕円形	0.34×(0.25)×0.42	P596
596	1	620・883	楕円形	0.28×0.26×0.50	P595
597	1	619・882	楕円形	0.18×0.16×0.25	
598	1	620・882	楕円形	0.32×0.27×0.36	
599	1	620・883	楕円形	0.23×0.20×0.21	
600	1	621・883	楕円形	0.36×0.32×0.24	
601	1	621・881	楕円形	0.38×0.26×0.50	
602	1	621・880	楕円形	0.28×0.23×0.28	
603	1	621・880	楕円形	0.34×0.25×0.28	
604	1	622・880	楕円形	0.30×0.28×0.17	
605	1	622・880	楕円形	0.33×0.27×0.21	
606	1	621・879	楕円形	0.46×0.42×0.43	
607	1	623・880	楕円形	0.33×0.26×0.13	501土坑
608	1	623・880	楕円形	0.22×0.19×0.15	501土坑
609	1	623・879	楕円形	0.32×0.28×0.16	P830
610	1	623・880	楕円形	0.28×0.25×0.13	501土坑
611	1	624・880	楕円形	0.20×0.18×0.25	
612	1	624・880	楕円形	0.29×0.24×0.21	
613	1	624・881	楕円形	0.25×0.24×0.34	
614	1	623・882	楕円形	0.25×0.22×0.41	
615	1	622・883	楕円形	0.26×0.22×0.16	
616	1	626・880	楕円形	0.19×0.17×0.14	P617
617	1	626・880	楕円形	0.27×0.23×0.29	P616
618	1	628・881	楕円形	0.30×0.27×0.25	
619	1	624・886	楕円形	0.20×0.20×0.18	P620
620	1	624・886	楕円形	(0.13)×0.15×0.17	P619
621	1	629・883	楕円形	0.25×0.25×0.28	
622	1	627・886	楕円形	0.19×0.15×0.32	
623	1	627・888	楕円形	0.24×0.24×0.20	
624	1	628・887	楕円形	0.21×0.21×0.21	
626	1	628・886	楕円形	0.25×0.17×0.11	
627	1	628・886	楕円形	0.27×0.25×0.20	
628	1	630・884	楕円形	0.19×0.17×0.18	
629	1	630・887	楕円形	0.21×0.19×0.27	
630	1	623・879	楕円形	(0.25)×0.26×0.23	P609
631	1	638・887	楕円形	0.20×0.19×0.33	
632	1	608・905	楕円形	0.28×0.24×0.30	
633	1	609・910	楕円形	0.24×0.21×0.28	

ビット計測表

番号	面	グリッド	形状	長軸×短軸×深さ(m)	備考(重複)
634	1	609-911	楕円形	0.21×0.18×0.35	
635	1	609-910	楕円形	0.13×0.11×0.11	
636	1	607-911	楕円形	0.19×0.18×0.12	
637	1	607-911	楕円形	0.21×(0.15)×0.17	
638	1	640-888	楕円形	0.38×0.32×0.50	
639	1	640-886	楕円形	0.31×0.27×0.55	
640	1	639-886	楕円形	0.24×0.20×0.22	
641	1	620-879	楕円形	0.24×0.20×0.23	
642	1	620-879	不明	(0.09)×-×0.29	
643	1	620-879	不明	(0.15)×-×0.22	
644	1	619-881	楕円形	0.23×0.18×0.15	
645	1	622-877	楕円形	0.27×0.24×0.24	
646	1	621-878	楕円形	0.22×0.17×0.28	
647	1	621-877	楕円形	0.25×0.20×0.21	
648	1	623-879	楕円形	0.19×0.16×0.20	
649	1	621-881	楕円形	0.24×0.20×0.34	
650	1	618-882	楕円形	0.28×0.18×0.14	
651	1	622-882	楕円形	0.33×0.19×0.14	
652	1	620-884	不整形	0.29×0.25×0.17	
653	1	618-884	楕円形	0.24×0.24×0.28	
654	1	617-887	楕円形	0.22×0.18×0.18	
655	1	617-886	楕円形	0.20×0.16×0.21	
656	1	608-886	楕円形	0.21×0.17×0.10	
657	1	608-888	楕円形	0.20×0.17×0.47	P658・659
658	1	608-888	楕円形	0.28×0.22×0.42	P657・659
659	1	608-888	楕円形	0.24×0.18×0.36	P657・658
660	1	607-888	楕円形	0.35×0.30×0.49	
661	1	608-888	楕円形	0.21×0.21×0.24	
662	1	608-889	楕円形	0.26×0.25×0.26	
663	1	608-900	楕円形	0.26×0.21×0.31	
664	1	607-900	楕円形	0.28×0.24×0.59	
665	1	607-901	円形	0.20×0.19×0.30	
666	1	606-902	楕円形	0.37×0.23×0.37	
667	1	606-901	楕円形	0.36×0.32×0.44	
668	1	608-901	楕円形	0.22×0.14×0.08	
669	1	610-895	楕円形	0.19×0.13×0.29	
670	1	609-895	円形	0.19×0.18×0.32	
671	1	606-900	不整形	0.34×0.23×0.44	
672	1	608-897	不整形	0.17×0.17×0.20	
673	1	602-908	楕丸長方形	0.15×0.13×0.40	
674	1	606-901	楕円形	0.41×0.37×0.36	
675	1	601-908	楕円形	0.23×0.18×0.53	
676	1	603-908	楕円形	0.24×0.23×0.17	
677	1	637-881	楕円形	0.24×0.22×0.17	
678	1	639-881	楕円形	0.26×0.23×0.26	
679	1	639-882	楕円形	0.28×0.19×0.34	
680	1	639-882	楕円形	0.22×0.14×0.20	P681
681	1	639-882	楕円形	0.25×0.21×0.56	P680
682	1	641-882	楕円形	0.23×0.19×0.18	
683	1	637-882	楕円形	0.39×0.23×0.22	
685	2	637-859	楕円形	0.34×0.32×0.22	
686	2	636-857	楕円形	0.60×0.56×0.52	
687	2	638-856	楕丸長方形	0.36×0.28×0.16	
688	2	641-854	楕円形	0.37×0.31×0.22	
689	2	637-854	楕円形	0.66×0.60×0.13	
690	2	645-837	楕円形	0.27×(0.16)×0.39	P691
691	2	645-837	楕円形	0.37×0.36×0.54	P690
692	2	645-836	楕円形	0.34×0.32×0.61	
693	2	647-836	楕円形	0.36×0.26×0.90	
694	2	648-837	楕円形	0.26×0.24×0.20	
695	2	649-836	楕円形	0.22×0.19×0.28	
696	2	649-837	楕円形	0.23×0.22×0.25	
697	2	650-837	楕円形	0.27×0.22×0.40	

番号	面	グリッド	形状	長軸×短軸×深さ(m)	備考(重複)
698	2	651-836	不整形	0.46×0.40×0.38	
699	2	651-836	楕円形	0.25×0.21×0.43	
700	2	652-836	楕円形	0.27×0.27×0.20	
701	2	652-837	楕円形	0.42×0.35×0.38	
702	2	653-837	楕円形	0.27×0.26×0.30	
703	2	653-838	楕円形	0.21×0.19×0.19	
704	2	653-838	楕円形	0.37×0.32×0.46	
705	2	653-837	楕円形	0.27×0.19×0.27	
706	2	653-834	楕円形	0.44×0.37×0.30	
707	2	654-834	楕円形	0.37×0.35×0.33	
708	2	656-834	楕円形	0.47×0.41×0.45	
709	2	656-835	楕円形	0.46×0.34×0.50	
710	2	656-835	楕円形	0.57×0.42×0.88	
711	2	657-835	楕円形	0.33×0.27×0.49	
712	2	658-834	不整形	0.34×0.23×0.42	
713	2	659-835	不整形	0.39×0.33×0.31	
714	2	659-836	楕円形	0.28×0.22×0.55	
715	2	660-836	楕円形	0.39×0.36×0.54	
716	2	661-836	楕丸長方形	0.26×0.19×0.47	
717	2	657-847	楕円形	0.27×0.21×0.25	
718	2	656-844	楕円形	0.35×0.26×0.58	
719	2	656-842	楕円形	0.23×0.19×0.23	
720	2	654-846	楕円形	0.38×0.37×0.36	
721	2	654-845	楕円形	0.33×0.23×0.19	
722	2	655-847	楕円形	0.21×0.18×0.16	
723	2	654-850	楕円形	0.18×0.17×0.32	
724	2	665-850	楕円形	0.25×0.16×0.19	
725	2	655-851	楕円形	0.28×0.24×0.42	
726	2	658-851	楕円形	0.36×0.32×0.28	
727	2	651-853	楕円形	0.24×0.23×0.21	
728	2	650-854	楕円形	0.24×0.21×0.15	
729	2	650-852	楕円形	0.29×0.25×0.10	
730	2	649-852	楕円形	0.23×0.20×0.21	
731	2	645-848	楕円形	0.49×0.48×0.17	
732	2	646-849	楕円形	0.50×0.42×0.20	
733	2	637-860	楕円形	0.50×0.49×0.44	
734	2	635-859	楕円形	0.51×0.46×0.30	
735	2	637-856	楕円形	0.53×0.49×0.21	
736	2	637-856	楕円形	0.27×0.23×0.32	
737	2	638-855	楕円形	0.39×0.35×0.24	
738	2	641-855	楕円形	(0.26)×0.43×0.22	P747
739	2	638-855	楕円形	0.61×0.44×0.43	
740	2	638-853	楕円形	0.46×0.43×0.33	
741	2	639-853	楕円形	0.32×0.32×0.34	
742	2	641-853	楕円形	0.25×0.16×0.16	
743	2	641-852	楕円形	0.42×0.35×0.30	
744	2	644-849	楕円形	0.48×0.45×0.14	
745	2	640-849	不明	(0.30)×-×0.34	
746	2	641-854	楕円形	0.33×0.19×0.18	
747	2	641-855	楕円形	0.52×0.37×0.44	P738
748	2	640-857	楕円形	0.31×0.28×0.23	
749	2	645-842	楕円形	0.41×0.40×0.43	
750	2	646-841	楕円形	0.34×0.30×0.18	
751	2	647-837	楕円形	(0.25)×0.33×0.45	P750
752	2	650-837	楕円形	0.21×0.17×0.13	
753	2	639-851	楕円形	0.37×0.28×0.27	
754	2	654-832	楕円形	0.27×0.19×0.18	
755	2	655-837	楕円形	0.32×0.23×0.29	
756	2	656-836	楕円形	0.21×0.18×0.32	
757	2	656-836	楕円形	0.28×0.22×0.43	
758	2	662-836	楕円形	0.36×0.33×0.27	
759	2	664-838	楕円形	0.31×0.25×0.25	
760	2	663-838	楕円形	0.19×0.18×0.20	

番号	面	グリッド	形状	長軸×短軸×深さ(m)	備考(重規)
761	2	658・-847	楕円形	0.29×0.22×0.28	
762	2	655・-850	楕円形	0.22×0.19×0.12	
763	2	651・-850	楕円形	0.43×0.29×0.20	
764	2	640・-851	楕円形	0.40×0.35×0.28	
765	2	649・-843	楕円形	0.28×0.21×0.25	
766	2	649・-845	楕円形	0.27×0.19×0.27	
767	2	648・-846	楕円形	0.27×0.25×0.34	
776	2	642・-852	楕円形	0.29×0.28×0.21	
777	2	657・-837	楕円形	0.19×0.16×0.32	
778	2	638・-836	楕円形	0.33×0.30×0.65	
789	2	639・-801	楕円形	0.40×0.38×0.22	
790	2	646・-837	楕円形	0.39×0.33×0.67	P751
791	2	644・-839	楕円形	0.32×0.26×0.30	
792	2	644・-839	楕円形	0.21×0.16×0.28	
793	2	644・-838	楕円形	0.23×0.18×0.33	
794	2	644・-836	楕円形	0.23×0.21×0.11	
795	2	644・-854	楕円形	0.32×0.26×0.13	
796	2	644・-854	楕円形	0.32×0.32×0.29	
797	2	644・-854	楕円形	0.36×0.34×0.30	
798	2	645・-852	円形	0.27×0.27×0.30	P770
799	2	647・-853	楕円形	0.30×0.27×0.29	
800	2	654・-835	楕円形	0.21×0.19×0.28	
801	2	654・-836	楕円形	0.32×0.25×0.52	
802	2	654・-836	楕円形	0.21×0.19×0.36	
803	2	655・-834	楕円形	0.22×0.21×0.29	
804	2	655・-835	楕円形	0.28×0.24×0.29	
805	2	656・-836	楕円形	0.35×0.27×0.81	P806
806	2	656・-836	楕円形	(0.19)×0.27×0.39	P805
807	2	656・-835	楕円形	0.37×0.27×0.96	
808	2	656・-836	楕円形	0.24×0.20×0.37	
809	2	653・-836	楕円形	0.27×0.22×0.32	
810	2	656・-837	楕円形	0.32×0.22×0.44	
811	2	656・-836	楕円形	0.16×0.14×0.17	
812	2	658・-835	楕円形	0.24×0.22×0.37	
813	2	654・-833	楕円形	0.19×0.17×0.27	
814	2	655・-837	楕円形	0.21×0.18×0.12	
815	2	654・-838	楕円形	0.25×0.21×0.41	
816	2	658・-834	楕円形	0.20×0.19×0.22	
817	2	657・-835	楕円形	0.18×0.16×0.14	
818	2	660・-836	楕円形	0.35×0.31×0.54	
819	2	663・-838	楕円形	0.31×0.28×0.37	
823	2	652・-838	楕円形	0.20×0.17×0.48	
824	2	652・-839	楕円形	0.23×0.20×0.56	
825	2	655・-836	楕円形	0.37×0.21×0.40	P826
826	2	655・-836	楕円形	0.44×0.36×0.22	P825
827	2	656・-836	楕円形	0.15×0.13×0.14	
828	2	660・-836	不整形	0.41×0.31×0.50	
829	2	661・-836	楕円形	0.15×0.12×0.46	
830	2	662・-838	楕円形	0.22×0.17×0.29	
831	2	655・-842	楕円形	0.22×0.20×0.23	
832	2	656・-841	楕円形	0.30×0.21×0.25	
833	2	655・-841	楕円形	0.25×0.23×0.41	
834	2	653・-841	楕円形	0.29×0.23×0.28	
835	2	653・-835	楕円形	0.19×0.18×0.19	
836	2	681・-845	楕円形	0.30×0.28×0.72	
837	2	680・-845	楕円形	0.38×0.34×0.51	
838	2	678・-843	楕円形	0.27×0.26×0.36	
839	2	682・-845	楕円形	0.30×0.25×0.48	
840	2	667・-839	楕円形	0.37×0.36×0.54	

遺物観察表

茅畑遺跡・鳴上1遺跡 縄文土器の胎土分類

分類	特 徴
A	多量の輝石や中量の石英・黒・灰色岩片の礫・粗砂を含む緻密な胎土。
B	多量の灰色岩片の礫・粗砂と少量の石英・長石の粗砂を含むやや緻密な胎土。
C	多量の長石・輝石や灰色岩片の粗・細砂と少量の石英粗砂を含む緻密な胎土。
D	中量の結晶片岩や灰色岩片の礫・粗砂と少量の石英・長石の粗砂を含む緻密な胎土。
E	中量の白・灰色岩片の粗砂と少量の石英・長石の粗砂を含むやや粗雑な胎土。
F	多量の赤色岩片の礫・粗砂と中量の石英・長石・灰白色岩片の粗・細砂を含むやや粗雑な胎土。
G	多量の石英礫・粗砂と少量の結晶片岩粗・細砂を含む緻密な胎土。

※各分類は肉眼観察による相対的なものである。

鳴上1遺跡 土器胎土分類

分類	特 徴
A	中量の輝石及び黒・灰色岩片の粗・細砂と少量の石英粗砂を含む緻密な胎土。
B	中量の長石と少量の黒・灰色岩片の粗・細砂を含むやや緻密な胎土。
C	多量の長石粗砂や赤・黒・灰色岩片の礫・粗砂と少量の石英粗砂を含むやや緻密な胎土。
D	多量の石英や黒・灰色岩片の粗砂と少量の輝石を含むやや緻密な胎土。
E	多量の長石粗砂と少量の石英粗砂及び微量の雲母粗砂を含むやや緻密な胎土。
F	多量の黒・灰色岩片粗砂と少量の石英・長石粗砂を含む緻密な胎土。
G	中量の長石・黒・灰色岩片の粗砂と少量の結晶片岩粗砂を含む緻密な胎土。
H	多量の長石や黒・灰色岩片の礫・粗砂と少量のチャート礫・粗砂を含むやや緻密な胎土。

※各分類は肉眼観察による相対的なものである。

茅畑遺跡1面 3号溝遺物観察表

採掘 PL.No.	No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値	胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
第108 PL.75	1	陶器 すり鉢	— 口縁部片	口 底 (22.0) — — —	— / — / ぶい橙～ 灰褐	小型でやや薄手。内面の磨目細かい。口縁部内面から外面に鉄軸。体部内面無軸。	近代

茅畑遺跡1面 遺構外遺物観察表

採掘 PL.No.	No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値	胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
第158 PL.75	1	瀬戸・美濃 陶器 灰輪軸片	— 口縁部片	口 底 (11.0) — — —	— / — / 淡黄	口縁部端反。内面から外面覆まで灰軸。見込蛇の目に軸を掻き取る。	江戸時代
第158 PL.75	2	肥前磁器 染付丸皿	— 体部下半1/2	口 底 4.0 — —	— / — / 灰白	厚手。外面に雪輪文染付。内面無文。高台内に不明文様。	江戸時代後期
第158 PL.75	3	瀬戸・美濃 陶器 鉄輪木目筒	— 口縁部片	口 底 — — —	— / — / 灰	薄手。内外面にたつぷりの鉄軸。	江戸時代
第158 PL.75	4	瀬戸・美濃 陶器 鉄輪灰落とし	— 口縁部片	口 底 (5.6) — — —	— / — / 淡黄灰	細身の筒形。口西部の内面敲打で欠損。外面に焦げ茶色の鉄軸。その上に茶色の鉄軸。内面無軸。轆轤目を残す。	江戸時代
第158 PL.75	5	在地系土器 網か?	— 頸部片	口 底 — — —	— / — / ぶい灰褐	体部が弱くくの字に折れて開く。焼成良、硬質。内外面磨し。黒色化。内外面回転軸ナデ。	近代か?
第158 PL.75	6	瀬戸・美濃 陶器 すり鉢	— 底部片	口 底 (14.0) — — —	— / — / ぶい黄橙	内外面に磨軸。底面に磨軸を傳く。目痕内面1カ所、内面2カ所。	江戸時代

鳴上1遺跡A区1面 1号溝遺物観察表

採掘 PL.No.	No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値	胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
第188 PL.75	1	瀬戸・美濃 磁器 筒形湯呑み	— 1/3	口 底 (4.8) 3.3 — 5.8	— / — / 灰白	外面に銅板転写の文様。内面無文。	近代
第188 PL.75	2	瀬戸・美濃 陶器 丸皿	— 1/6	口 底 (10.3) (5.0) — 2.5	— / — / 淡灰～暗灰	二次焼成、劣化か。内外面から高台内まで乳白色の灰軸。貫入入る。	江戸時代
第188 PL.75	3	常滑陶器 罌	— 頸部片	口 底 — — —	— / — / くすんだ灰	外面に斜め方向の弱い刷毛目。内面横ナデ。	中世
第188 PL.75	4	在地系土器 笠筒	— 口縁～底部片	口 底 — — —	— / — / ぶい橙	口縁部短く内湾。底部丸底。内外面横ナデ。	近代
第188	5	須恵器 表土 1/4	— 表土 1/4	口 底 11.6 6.0 高 6.5 6.5	— — —	細砂粒/還元焼/灰	ロクロ整形。回転右回り。底部は回転ナデ。高台を貼付。
第188	6	須恵器 杯 1/2	— 表土 1/2	口 底 6.7 4.5 — 2.0	— — —	細砂粒/還元焼/ぶい黄橙	ロクロ整形。回転右回り。底部は回転ネ切り無調整。
第188	7	須恵器 杯 1/4	— 表土 1/4	口 底 11.9 6.0 — 3.3	— — —	細砂粒/還元焼/灰白	ロクロ整形。回転右回り。底部は回転ネ切り無調整。
第188	8	須恵器 杯 表土 底部1/4	— 表土 底部1/4	口 底 — — — 7.0 — —	— — —	細砂粒/還元焼/灰黄褐	ロクロ整形。回転右回り。底部は回転ネ切り無調整。
第188	9	須恵器 杯 表土 底部1/2	— 表土 底部1/2	口 底 — — — 7.4 — —	— — —	細砂粒/還元焼/灰黄褐	ロクロ整形。回転右回り。底部は回転ネ切り無調整。

遺物観察表

挿入 No.	種 類	出上位置 残存率	計測値		胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考		
第42回 PL.75	須恵器 杯	埋没上 口縁部～底部片	口 底	12.0 7.0	高 —	3.6 —	細砂粒/還元焰/灰 白	ロクロ整形、回転右回り。底部は回転糸切り無調整。	
第42回 PL.75	須恵器 杯	北東隅床直上 2/3	口 底	12.1 8.3	高 —	3.7 —	細砂粒・粗砂粒/ 還元焰/灰白	ロクロ整形、回転右回り。底部は回転糸切り無調整。	
第42回 PL.75	須恵器 杯	南辺中央床土 16cm 完形	口 底	12.4 8.3	高 —	3.6 —	細砂粒/還元焰/灰 白	ロクロ整形、回転右回り。底部は回転糸切り無調整。	外面底部に墨書。
第43回 PL.75	須恵器 杯	埋没上 口縁部～底部 1/3	口 底	12.6 7.6	高 —	3.6 —	細砂粒/還元焰/灰 白	ロクロ整形、回転右回り。底部は回転糸切り無調整。	
第43回 PL.75	須恵器 杯	埋没上 口縁部片	口 底	13.2 7.3	高 —	4.2 —	細砂粒・粗砂粒/ 還元焰/灰	ロクロ整形、回転右回り。底部は回転へら起し後手持ちへ ら削り。	
第43回 PL.75	須恵器 杯	埋没上 口縁部片	口 底	13.0 7.4	高 —	3.7 —	細砂粒・粗砂粒/ 還元焰/灰白	ロクロ整形、回転右回り。底部は回転糸切り無調整。	
第43回 PL.75	須恵器 杯	埋没上 口縁部～底部片	口 底	13.2 7.0	高 —	3.1 —	細砂粒/還元焰/灰 白	ロクロ整形、回転右回り。底部は回転糸切り無調整。	
第43回 PL.75	須恵器 杯	西辺南寄り床土 8cm 完形	口 底	13.4 7.3	高 —	3.6 —	細砂粒/還元焰/灰 白	ロクロ整形、回転右回り。底部は回転糸切り無調整。焼成 時の歪み大。	
第43回 PL.75	須恵器 杯	南辺中央床土 21cm 3/4	口 底	13.5 8.4	高 —	3.5 —	細砂粒/還元焰/灰 白	ロクロ整形、回転右回り。底部は回転糸切り無調整。	
第43回 PL.75	須恵器 杯	埋没上 口縁部片	口 底	12.0 —	高 —	—	細砂粒/還元焰/灰 白	ロクロ整形。	
第43回 PL.75	須恵器 杯	埋没上 口縁部片	口 底	— 7.0	高 —	—	細砂粒/還元焰/黄 灰	ロクロ整形、回転右回り。底部は回転糸切り無調整。	
第43回 PL.75	須恵器 杯	埋没上 口縁部片	口 底	14.8 8.0	高 —	6.0 7.8	細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転右回り。底部回転糸切り後高台を貼付。	
第43回 PL.75	須恵器 杯	住居外確認面直 上 ほぼ完形	口 底	14.8 8.9	高 —	6.1 9.0	細砂粒/還元焰/淡 黄	ロクロ整形、回転右回り。底部回転糸切り後高台を貼付。	
第43回 PL.76	須恵器 杯	振り方 口縁部片	口 底	14.8 —	高 —	—	細砂粒/還元焰/灰 白	ロクロ整形、回転右回りか。	
第43回 PL.76	土師器 台付甕	東部中央床土 8cm 胴部欠	口 底	10.2 3.6	高 —	—	細砂粒/良好/にぶ い靑	胴部は貼付。口縁部から頸部は横ナデ、胴部はへら削り。 内面は胴部がヘラナデ。	
第43回 PL.76	土師器 甕	床下土坑7 口縁部～胴部 1/3	口 底	12.6 —	高 —	14.9	細砂粒/良好/にぶ い赤褐	口縁部から頸部は横ナデ、胴部はへら削り。内面は胴部が ヘラナデ。	
第43回 PL.76	土師器 甕	埋没上 口縁部～胴部上 位片	口 底	12.6 —	高 —	—	細砂粒/良好/灰黄 褐	口縁部から頸部は横ナデ、胴部はへら削り。内面は胴部が ヘラナデ。	
第43回 PL.76	土師器 甕	1号カマド振り 方 口縁部片1/2	口 底	13.7 —	高 —	—	細砂粒/良好/にぶ い靑	口縁部から頸部は横ナデ、胴部はへら削り。内面は胴部が ヘラナデ。	
第44回 PL.76	土師器 甕	2号カマド振り 方 口縁部片	口 底	19.0 —	高 —	—	細砂粒/良好/にぶ い靑	口縁部から頸部は横ナデ、胴部はへら削り。内面は胴部が ヘラナデ。	
第44回 PL.76	土師器 甕	2号カマド床直 上 口縁部～胴部上 位片	口 底	19.2 —	高 —	—	細砂粒/良好/靑	口縁部から頸部は横ナデ、胴部はへら削り。内面は胴部が ヘラナデ。	
第44回 PL.76	土師器 甕	1号カマド床直 上 口縁部～胴部上 位1/3	口 底	20.4 —	高 —	22.4	細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部から頸部は横ナデ、胴部はへら削り。内面は胴部が ヘラナデ。	
第44回 PL.76	土師器 甕	床下土坑2 口縁部片	口 底	21.0 —	高 —	—	細砂粒/良好/にぶ い赤褐	口縁部から頸部は横ナデ、胴部はへら削り。内面は胴部が ヘラナデ。	
第44回 PL.76	土師器 甕	2号カマド前床 直上28cm 口縁部片	口 底	21.6 —	高 —	—	細砂粒/良好/明赤 褐	外面口縁部に輪積痕が残る。口縁部から頸部は横ナデ、胴 部はへら削り。内面は胴部がヘラナデ。	
第44回 PL.76	土師器 甕	埋没上 口縁部片	口 底	21.6 —	高 —	—	細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部から頸部は横ナデ、胴部はへら削り。内面は胴部が ヘラナデ。	
第44回 PL.76	土師器 甕	2号カマド振り 方 底部片	口 底	— 3.6	高 —	—	細砂粒/良好/にぶ い黄靑	底部と胴部はへら削り。内面はヘラナデ。	
第44回 PL.76	須恵器 甕	住居外確認面直 上 頸部～胴部片	口 底	— —	高 —	31.4	細砂粒/還元焰/に ぶい黄靑	ロクロ整形。外面一部にナデ。	
第44回 PL.76	須恵器 甕	埋没上 胴部片	口 底	— —	高 —	—	細砂粒/還元焰/灰 白	外面には平行叩き痕が残る。内面はヘラナデ。アテ具痕が かすかに残る。	
第44回 PL.76	須恵器 甕	埋没上 胴部片	口 底	— —	高 —	—	細砂粒/還元焰/灰 白	外面にはかすかに平行叩き痕が残る。内面はヘラナデ。	

遺物観察表

挿入 PL.No.	No.	種類	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
第51回 PL.77	4	須恵器 杯	南東側床直上 口縁一部欠	口 底	12.7 8.4	高 —	3.2 —	細砂粒/還元塩/灰 白	ロクロ整形、回転左回り。底部は回転回転ヘラ起し。
第51回 PL.77	5	須恵器 杯	掘り方 3/4	口 底	12.7 6.9	高 —	3.6 —	細砂粒/還元塩/灰	ロクロ整形、回転右回り。底部は回転糸切り無調整。
第51回 PL.77	6	須恵器 杯	カマド床直上 3/4	口 底	12.8 7.0	高 —	3.6 —	細砂粒/還元塩/灰	ロクロ整形、回転右回り。底部は回転糸切り無調整。
第51回 PL.77	7	須恵器 杯	中央部床直上 完形	口 底	13.5 12.3 7.6	高 —	2.1 — 2.8	細砂粒・粗砂粒/ 還元塩/灰	ロクロ整形、回転右回り。底部は回転糸切り無調整。口縁部の一部を片口状にしている。
第51回 PL.77	8	須恵器 杯	埋没上 1/4	口 底	13.4 7.0	高 —	3.3 —	細砂粒/還元塩/灰 白	ロクロ整形、回転右回り。底部は回転糸切り無調整。
第51回 PL.77	9	須恵器 杯	北西部及び中央 床直上21～22cm 3/4	口 底	14.3 8.8	高 —	3.6 —	細砂粒/還元塩/灰	ロクロ整形、回転右回り。底部は回転糸切り無調整。
第51回	10	須恵器 杯	埋没上 口縁部片	口 底	13.8 —	高 —	—	細砂粒/還元塩/灰	ロクロ整形、回転右回り。
第51回	11	須恵器 破片	埋没上 破片	口 底	— 7.6	高 —	—	細砂粒/還元塩/黄 灰	ロクロ整形、回転右回り。底部と体部下位に回転ヘラ削り。
第52回	12	土師器 甕	中央部床直上9cm 埋没上 口縁部～胴部上 平1/3	口 底	19.0 —	高 割	22.8	細砂粒/良好/にぶ い橙	外面頸部に輪積痕が残る。口縁部から頸部は横ナデ、胴部はヘラ削り。内面は胴部がヘラナデ。
第52回	13	土師器 甕	埋没上 口縁部片	口 底	20.0 —	高 —	—	細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部から頸部は横ナデ、胴部はヘラ削り。内面は胴部がヘラナデ。
第52回	14	土師器 甕	カマド床直上・ 掘り方。6号住 居埋没土 口縁部1/2	口 底	20.0 —	高 割	22.5	細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部から頸部は横ナデ、胴部はヘラ削り。内面は胴部がヘラナデ。
第52回 PL.77	15	土師器 甕	中央部床直上～埋 没上。カマド埋 没上・掘り方 口縁部～胴部中 位1/3	口 底	20.0 —	高 割	21.0	細砂粒/良好/橙	口縁部から頸部は横ナデ、胴部はヘラ削り。内面は胴部がヘラナデ。
第52回 PL.77	16	土師器 甕	カマド床直上～ 床直上11cm、埋没 上 口縁部～胴部下 位1/2	口 底	20.2 —	高 割	21.3	細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部から頸部は横ナデ、胴部はヘラ削り。内面は胴部がヘラナデ。
第52回 PL.77	17	土師器 甕	カマド床直上～ 床直上10cm 口縁部～胴部下 位1/2	口 底	20.6 —	高 割	22.0	細砂粒/良好/明赤 褐	外面頸部に輪積痕が残る。口縁部から頸部は横ナデ、胴部はヘラ削り。内面は胴部がヘラナデ。
第52回	18	土師器 甕	埋没上 口縁部1/2	口 底	— —	高 —	—	細砂粒/良好/にぶ い黄橙	口縁部から頸部は横ナデ、胴部はヘラ削り。内面は胴部がヘラナデ。
第52回	19	土師器 甕	カマド床直上～ 床直上11cm 口縁部～胴部上 位1/3	口 底	20.8 —	高 —	—	細砂粒/良好/にぶ い橙	口縁部から頸部は横ナデ、胴部はヘラ削り。内面は胴部がヘラナデ。
第53回 PL.77	20	土師器 甕	カマド床直上・ 掘り方。埋没上 口縁部～胴部上 位3/4	口 底	21.6 —	高 割	21.8	細砂粒/良好/橙	口縁部から頸部は横ナデ、胴部はヘラ削り。内面は胴部がヘラナデ。
第53回	21	土師器 甕	貯蔵穴。埋没上 底部片	口 底	— 4.0	高 —	—	細砂粒/良好/にぶ い黄橙	底部と胴部はヘラ削り。内面はヘラナデ。
第53回	22	土師器 甕	埋没上・掘り方 胴部下位～底部 1/3	口 底	— 6.4	高 —	—	細砂粒/良好/明橙	底部と胴部はヘラ削り。内面はヘラナデ。
第53回 PL.77	23	礫石器 カマド構築	カマド掘り方 完形	長 幅	42.8 17.2	厚 —	15.5 8296.7	—/—/ニツ岳石	平ノミ状の工具痕が全面に認められ角柱状に整形される。
第53回 PL.77	24	鉄製品 刀子	P 3 破片	長 幅	4.6 2.1	厚 重	0.7 13.14	—/—/—	刀子刃部分の破片。先端側および刃・茎側とも劣化破損し全体形状は不明。

茅畑跡2面 6号住居遺物観察表

挿入 PL.No.	No.	種類	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
第57回	1	土師器 杯	埋没上 口縁～底部片	口 底	12.4 8.8	高 —	3.4 —	細砂粒/良好/にぶ い橙	口縁部は横ナデ、体部はナデ、底部は手持ちヘラ削り。
第57回	2	土師器 杯	埋没上 1/4	口 底	12.6 9.2	高 —	—	細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部はナデ、底部は手持ちヘラ削り。
第57回	3	須恵器 杯蓋	埋没上 口縁部片	口 底	18.0 —	高 —	—	細砂粒/還元塩/灰 黄	ロクロ整形、回転右回りか。強いロクロ痕が残る。天井部に指痕がみられる。
第57回 PL.78	4	須恵器 杯蓋	北東部床直上 2/3	口 底	17.2 —	高 —	2.4 —	細砂粒/還元塩/灰 白	ロクロ整形、回転右回り。天井部は回転糸切り無調整。天井部の回転糸切り痕径は9.9cm。

挿入 PL.No.	No.	種類	出土位置 残存率	計測値	胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考	
第57回 PL.78	5	須臾器 皿	埋没上 口縁部片	口 底 12.4 — 高 —	—	細砂粒/還元焰/黄 灰	ロクロ整形、回転右回りか。	
第57回 PL.78	6	須臾器 杯	北部中央床上 18cm 1/3	口 底 12.8 7.4 高 — 3.3	—	細砂粒/還元焰/灰 白	ロクロ整形、回転右回り。底部は回転糸切り無調整。底部は疑似高台。	
第57回 PL.78	7	須臾器 杯	埋没上 1/3	口 底 13.8 8.0 高 — 2.9	—	細砂粒/還元焰/灰 白	ロクロ整形、回転右回り。底部は回転糸切り無調整。	
第57回 PL.78	8	須臾器 杯	土坑1床上31cm 1/4	口 底 13.6 7.8 高 — 3.5	—	細砂粒・粗砂粒/ 還元焰/灰	ロクロ整形、回転右回り。底部は回転糸切り無調整。	
第57回	9	須臾器 杯	埋没上 1/3	口 底 13.2 8.2 高 — 3.8	—	細砂粒/還元焰/灰 白	ロクロ整形、回転右回り。底部は回転糸切り無調整。	
第57回	10	須臾器 杯	埋没上 底部片	口 底 — 7.0 高 —	—	細砂粒/還元焰/灰 白	ロクロ整形、回転右回り。底部は回転糸切り無調整。	外面底部に墨 痕。
第57回	11	須臾器 杯	カマド左袖、埋 没上 底部片	口 底 — 7.2 高 —	—	細砂粒/還元焰/に ぶい黄	ロクロ整形、回転右回り。底部は回転糸切り無調整。	
第57回	12	須臾器 杯	埋没上 底部片	口 底 — 7.0 高 —	—	細砂粒/還元焰/灰 白	ロクロ整形、回転右回り。底部は回転糸切り無調整。	
第57回 PL.78	13	須臾器 杯	カマド 底部片	口 底 — 7.2 高 —	—	細砂粒/還元焰/灰 白	ロクロ整形、回転右回り。底部は回転糸切り無調整。	
第57回	14	須臾器 杯	埋没上 底部片	口 底 — 7.6 高 —	—	細砂粒/還元焰/灰 白	ロクロ整形、回転右回り。底部は回転糸切り無調整。	
第57回	15	須臾器 杯	埋没上 底部片	口 底 — 8.4 高 —	—	細砂粒/還元焰/灰 白	ロクロ整形、回転右回り。底部は回転糸切り無調整。	
第57回 PL.78	16	須臾器 椀	振り方 底部片	口 底 — 8.0 高 7.8	—	細砂粒/還元焰/灰 黄	ロクロ整形、回転右回り。底部回転糸切り後高台を貼付。 内面底部は摺る磨かれている。	
第58回	17	土師器 甕	埋没上 口縁部～胴部片	口 底 17.0 — 高 —	—	細砂粒/良好/にぶ い赤褐	外面頸部に輪積痕が残る。口縁部から頸部は横ナデ、胴部 はへう削り。内面は胴部がへうナデ。	
第58回	18	土師器 甕	カマド煙道床直 上、振り方 口縁部片	口 底 19.0 — 高 —	—	細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部から頸部は横ナデ、胴部はへう削り。内面は胴部が へうナデ。	
第58回	19	土師器 甕	北部中央床上 50cm 口縁部～胴部上 位1/3	口 底 19.4 — 高 —	—	細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部から頸部は横ナデ、胴部はへう削り。内面は胴部が へうナデ。	
第58回	20	土師器 甕	煙道床直上～ カマド床上2cm 口縁部～胴部中 位1/3	口 底 19.2 — 高 制 21.4	—	細砂粒/良好/にぶ い橙	口縁部から頸部は横ナデ、胴部はへう削り。内面は胴部が へうナデ。	
第58回	21	土師器 甕	振り方、埋没上 口縁部片	口 底 19.8 — 高 —	—	細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部から頸部は横ナデ、胴部はへう削り。内面は胴部が へうナデ。	
第58回	22	土師器 甕	カマド煙道部 口縁部片	口 底 20.0 — 高 —	—	細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部から頸部は横ナデ、胴部はへう削り。内面は胴部が へうナデ。	
第58回	23	土師器 甕	カマド床上27cm、 埋没上 口縁部～胴部上 位1/3	口 底 19.4 — 高 —	—	細砂粒/良好/にぶ い橙	外面頸部に輪積痕が残る。口縁部から頸部は横ナデ、胴部 はへう削り。内面は胴部がへうナデ。	
第58回 PL.78	24	土師器 甕	南東隅床直上、 貯蔵穴埋没上、 4号住居 口縁部～胴部下 位3/4	口 底 20.0 — 高 制 23.0	—	細砂粒/良好/にぶ い橙	口縁部から頸部は横ナデ、胴部はへう削り。内面は胴部が へうナデ。	
第58回	25	土師器 甕	カマド煙道床直 上 口縁部～胴部中 位1/3	口 底 19.9 — 高 制 21.2	—	細砂粒/良好/橙	口縁部から頸部は横ナデ、胴部はへう削り。内面は胴部が へうナデ。	
第59回	26	土師器 甕	北東部床直上、 カマド 口縁部～胴部下 位	口 底 20.1 — 高 制 22.4	—	細砂粒/良好/橙	外面頸部に輪積痕が残る。口縁部から頸部は横ナデ、胴部 はへう削り。内面は胴部がへうナデ。	
第59回 PL.78	27	土師器 甕	カマド煙道床直 上 口縁部～胴部下 位1/3	口 底 20.0 — 高 制 22.4	—	細砂粒/良好/橙	外面頸部に輪積痕が残る。口縁部から頸部は横ナデ、胴部 はへう削り。内面は胴部がへうナデ。	
第59回	28	土師器 甕	埋没上 口縁部～胴部上 位1/2	口 底 20.4 — 高 —	—	細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部から頸部は横ナデ、胴部はへう削り。内面は胴部が へうナデ。	
第59回	29	土師器 甕	カマド埋没上 口縁部片	口 底 21.2 — 高 —	—	細砂粒/良好/橙	口縁部から頸部は横ナデ、胴部はへう削り。内面は胴部が へうナデ。	
第59回	30	土師器 甕	5・6号住居埋 没上 胴部下位～底部 1/3	口 底 — 4.4 高 —	—	細砂粒/良好/橙	底部と胴部はへう削り。内面はへうナデ。	
第59回	31	土師器 甕	カマド床直上、 振り方 胴部片	口 底 — — 高 —	—	細砂粒/良好/明赤 褐	外面はへう削りか、粘土が付着しており単位不明。内面は へうナデ。	

遺物観察表

採 掘 Pt.No.	No.	種 類 器 種	出 上位置 残 存 率	計測値	胎土/焼成/色調 石材・素材等	成 形 ・ 整 形 の 特 徴	備 考
第59回	32	須恵器 甕	北西隅床上 35cm、埋没土 製部片	口 底 — 高 — 27.2	— 高 — 黄	細砂粒/還元焰/浅 黄	ロクロ整形。成形時の外面には平行明き痕、内面には同心円状ア字具痕が残る。
第59回	33	須恵器 製部片	壁溝 製部片	口 — 高 — —	— 高 — 黄	細砂粒/還元焰/浅 黄	外面には平行明き痕、内面には同心円状ア字具痕が残る。
第59回	34	須恵器 甕	カマド 製部片	口 — 高 — —	— 高 — 灰	細砂粒/還元焰/灰 白	外面には斜格字状明き痕、内面には同心円状ア字具痕が残る。
第59回	35	須恵器 製部片	握り方 製部片	口 — 高 — —	— 高 — 灰	細砂粒/還元焰/灰 白	外面には平行明き痕が残る。内面はヘラナデ。
第60回 PL-78	36	石製品 紡輪	北東部床上35cm 完形	径 4.8× 4.4 厚 2.0 重 64.9	—/—/灰沢石	—/—/灰沢石	表面面ともよく研磨されている。表面面ともほぼ平坦である。側面は多くの作出面で構成されており各面はやや凸面を呈する。径約8mmの軸穴が穿孔されている。 板状
第60回 PL-78	37	石製品 紡輪	北東部床上 ほぼ完形	径 4.7× (4.7) 厚 1.7 重 48.0	—/—/灰沢石	—/—/灰沢石	表面はよく研磨されており平坦である。側面から表面にかけては多くの作出面で構成されており各面はやや凸面を呈す。径約7mmの軸穴が穿孔されている。 逆台形
第60回 PL-78	38	石製品 台石	貯蔵穴床上33cm 完形	長 45.1 厚 7.5 幅 40.3 重 7500.0	—/—/二ツ岳石	—/—/二ツ岳石	表面面ともほぼ平坦であり平ノミ状の工具痕がわずかに認められる。

茅畑遺跡2面 1号古墳遺物観察表

採 掘 Pt.No.	No.	種 類 器 種	出 上位置 残 存 率	計測値	胎土/焼成/色調 石材・素材等	成 形 ・ 整 形 の 特 徴	備 考
第64回	1	灰輪陶器 輪	カクラン 口縁部片	口 11.8 高 — —	— 高 — 灰	微砂粒/還元焰/灰 白	ロクロ整形。施釉方法は漬け掛け。 大原2号窯式 期
第64回	2	須恵器 杯	前庭西部 底部～体部下位 片	口 — 高 底 9.2 —	— 高 — 灰	細砂粒/還元焰/灰 白	ロクロ整形。回転右回り。底部は回転ヘラ削り。
第64回	3	須恵器 杯	カクラン 底部～体部下位 片	口 — 高 底 6.0 —	— 高 — 灰	細砂粒/還元焰/灰 白	ロクロ整形。底部は手持ちヘラ削り。
第64回	4	須恵器 甕	前庭西部 口縁部～胴上部 片	口 23.8 高 — —	— 高 — 灰	細砂粒/還元焰/灰 白	口縁部はロクロ整形。胴部は外面がカキ目、内面には同心円状ア字具痕が残る。
第64回	5	須恵器 甕	前庭西部 胴部片	口 — 高 — —	— 高 — 灰	細砂粒/還元焰/灰 白	外面は平行明き痕、内面は同心円状ア字具痕が残る。
第64回 PL-78	6	鉄製品 釘	玄室東部御堂 抜き取り痕付近 破片	長 2.8 厚 0.8 幅 1.0 重 2.51	—/—/—	—/—/—	断面はほぼ正方形の角釘破片で上端は薄く広げ折り曲げられたと見られるが端部は劣化破損する。先端側も劣化破損し全体形状は不明。木質等の痕跡も確認できない。
第64回 PL-78	7	鉄製品 釘	玄室東部御堂 抜き取り痕付近 破片	長 2.5 厚 0.6 幅 0.4 重 0.87	—/—/—	—/—/—	断面はほぼ正方形の角釘破片で側面は劣化破損する。先端は細くなり尖る。木質等の痕跡も確認できない。
第64回 PL-78	8	鉄製品 釘	玄室東部御堂 抜き取り痕付近 破片	長 2.3 厚 0.4 幅 0.4 重 0.93	—/—/—	—/—/—	断面はほぼ正方形の角釘破片で側面は劣化破損する。先端は細くなり尖る。釘の長さ方向に沿って木質痕が付着する。
第64回 PL-78	9	鉄製品 釘	玄室東部御堂 抜き取り痕付近 破片	長 3.7 厚 0.8 幅 1.3 重 2.71	—/—/—	—/—/—	断面はほぼ正方形の角釘破片で上端は薄く広げ直角に折り曲げられその先は劣化破損する。先端は細くなるが、跡に覆われ木質等の痕跡は確認できない。
第64回 PL-78	10	鉄製品 釘	玄室北西部 破片	長 4.0 厚 1.0 幅 1.3 重 4.83	—/—/—	—/—/—	断面はほぼ正方形の角釘破片で上端は薄く広げ直角に折り曲げられその先は劣化破損する。先端側は破損し全体形状は不明。跡に覆われ木質等の痕跡は確認できない。
第64回 PL-78	11	鉄製品 釘	玄室北西部 破片	長 4.0 厚 1.2 幅 1.4 重 5.15	—/—/—	—/—/—	断面四角形の角釘破片で上端は薄く広げ直角に折り曲げられる。先端側は劣化破損し全体形状は不明。跡に覆われ木質等の痕跡は確認できない。
第64回 PL-78	12	鉄製品 釘	玄室東部御堂 抜き取り痕付近 破片	長 3.7 厚 0.7 幅 1.1 重 3.50	—/—/—	—/—/—	断面はほぼ正方形の角釘破片で上端は薄く広げ直角に折り曲げられその先は劣化破損する。先端側は破損し全体形状は不明。跡に覆われ木質等の痕跡は確認できない。
第64回 PL-78	13	鉄製品 釘	主体部 破片	長 3.9 厚 1.6 幅 1.7 重 7.10	—/—/—	—/—/—	断面はほぼ正方形の角釘破片で上端は薄く広げ直角に折り曲げられる。先端側は劣化破損し全体形状は不明。跡に覆われ木質等の痕跡は確認できない。
第64回 PL-78	14	銅製品 キセル・吸い 口	— 一部破損	長 4.3 厚 1.0 幅 1.0 重 5.74	—/—/—	—/—/—	キセル吸い口部分で吸い口部端部を欠き潰れる。表面は劣化が著しく装飾等の痕跡は確認できない。

茅畑遺跡2面 34号掘立柱建物遺物観察表

採 掘 Pt.No.	No.	種 類 器 種	出 上位置 残 存 率	計測値	胎土/焼成/色調 石材・素材等	成 形 ・ 整 形 の 特 徴	備 考
第77回	1	須恵器 杯	P6埋没土 口縁部片	口 12.8 高 — —	— 高 — 灰	細砂粒/還元焰/灰 白	ロクロ整形。回転右回り。

茅畑遺跡2面 1号道路遺物観察表

採 掘 Pt.No.	No.	種 類 器 種	出 上位置 残 存 率	計測値	胎土/焼成/色調 石材・素材等	成 形 ・ 整 形 の 特 徴	備 考
第85回	1	須恵器 杯	埋没土 口縁部片	口 13.8 高 — —	— 高 — 灰	細砂粒/還元焰/灰 白	ロクロ整形。
第85回	2	須恵器 杯	埋没土 底部片	口 — 高 底 8.2 —	— 高 — 灰	細砂粒/還元焰/灰 白	ロクロ整形。回転右回り。底部は回転糸切り無調整。

茅畑遺跡 2面 10号土坑遺物観察表

種 図 PL.No.	No.	種 類 器 種	出上位置 残 存 率	計測値	胎土/焼成/色調 石材・素材等	成 形 ・ 整 形 の 特 徴	備 考
第88図 PL.79	1	須恵器 椀	埋没土 完形	口 13.9 高 5.5 底 7.4 台 6.9	細砂粒/還元焰/灰 白	ロクロ整形、回転右回り。底部回転糸切り後高台を貼付。内面に墨書。	

茅畑遺跡 2面 15号土坑遺物観察表

種 図 PL.No.	No.	種 類 器 種	出上位置 残 存 率	計測値	胎土/焼成/色調 石材・素材等	成 形 ・ 整 形 の 特 徴	備 考
第88図	2	須恵器 杯	埋没土 底部片	口 ー 高 ー 底 8.2 ー ー	細砂粒/還元焰/灰 白	ロクロ整形、回転右回り。底部は回転糸切り無調整。	

茅畑遺跡 2面 21号土坑遺物観察表

種 図 PL.No.	No.	種 類 器 種	出上位置 残 存 率	計測値	胎土/焼成/色調 石材・素材等	成 形 ・ 整 形 の 特 徴	備 考
第88図	3	須恵器 杯	埋没土 口縁部片	口 13.8 高 ー 底 ー ー	細砂粒/還元焰/灰 白	ロクロ整形、回転右回り。	

茅畑遺跡 2面 29号土坑遺物観察表

種 図 PL.No.	No.	種 類 器 種	出上位置 残 存 率	計測値	胎土/焼成/色調 石材・素材等	成 形 ・ 整 形 の 特 徴	備 考
第88図 PL.79	4	礫石器 凹石	埋没土 完形	長 9.8 厚 6.7 幅 8.9 重 872.5	粗粒輝石安山岩	表裏面とも全体的に非常に滑らかである。表面中央やや上に浅い皿状のくぼみが認められる。	

茅畑遺跡 2面 64号ピット遺物観察表

種 図 PL.No.	No.	種 類 器 種	出上位置 残 存 率	計測値	胎土/焼成/色調 石材・素材等	成 形 ・ 整 形 の 特 徴	備 考
第88図 PL.79	5	須恵器 杯	埋没土 1/3	口 11.4 高 3.1 底 6.0 ー ー	細砂粒/還元焰/灰 白	ロクロ整形、回転右回り。底部は回転糸切り無調整。	

茅畑遺跡 2面 131号ピット遺物観察表

種 図 PL.No.	No.	種 類 器 種	出上位置 残 存 率	計測値	胎土/焼成/色調 石材・素材等	成 形 ・ 整 形 の 特 徴	備 考
第88図	6	須恵器 杯	埋没土 底部片	口 ー 高 ー 底 7.6 ー ー	細砂粒/還元焰/灰 白	ロクロ整形、回転右回り。底部は回転糸切り無調整。底部は疑似高台状を呈す。	

茅畑遺跡 2面 156号ピット遺物観察表

種 図 PL.No.	No.	種 類 器 種	出上位置 残 存 率	計測値	胎土/焼成/色調 石材・素材等	成 形 ・ 整 形 の 特 徴	備 考
第88図	7	須恵器 杯	埋没土 口縁部片	口 12.8 高 ー 底 ー ー	細砂粒/還元焰/灰 白	ロクロ整形。	
第88図	8	須恵器 杯	埋没土 口縁→底部片	口 12.8 高 3.7 底 6.8 ー ー	細砂粒/還元焰/に ぶい黄緑	ロクロ整形、回転右回り。底部切り離し技法不明。	

茅畑遺跡 2面 186号ピット遺物観察表

種 図 PL.No.	No.	種 類 器 種	出上位置 残 存 率	計測値	胎土/焼成/色調 石材・素材等	成 形 ・ 整 形 の 特 徴	備 考
第88図	9	須恵器 杯蓋	埋没土 1/3	口 17.0 高 ー 底 ー ー	細砂粒/還元焰/暗 灰黄	ロクロ整形、回転右回り。天井部は中程まで回転ヘラ削り。内外面に重ね焼き痕が残る。	

茅畑遺跡 2面 238号ピット遺物観察表

種 図 PL.No.	No.	種 類 器 種	出上位置 残 存 率	計測値	胎土/焼成/色調 石材・素材等	成 形 ・ 整 形 の 特 徴	備 考
第88図	10	須恵器 杯	埋没土 口縁部片	口 15.0 高 ー 底 ー ー	細砂粒・黒色灰・ 還元焰/灰	ロクロ整形、回転右回り。	

茅畑遺跡 2面 240号ピット遺物観察表

種 図 PL.No.	No.	種 類 器 種	出上位置 残 存 率	計測値	胎土/焼成/色調 石材・素材等	成 形 ・ 整 形 の 特 徴	備 考
第88図	11	須恵器 壺	埋没土 胴部片	口 ー 高 ー 底 ー ー	細砂粒/還元焰/灰 黄	外面には平行叩き痕が残る。内面にもかすかにアテ具痕が残る。	

茅畑遺跡 2面 358号ピット遺物観察表

種 図 PL.No.	No.	種 類 器 種	出上位置 残 存 率	計測値	胎土/焼成/色調 石材・素材等	成 形 ・ 整 形 の 特 徴	備 考
第88図 PL.79	12	鉄滓 椀形鋸治淨 (含鉄鈍化)	破片	長 8.2 厚 5.2 幅 7.8 重 267.18	ー/ー/ー	椀型洋破片で全体に薄く酸化土砂が付着する。一部に磁着の強い部分が存在する。	

茅畑遺跡 2面 532号ピット遺物観察表

種 図 PL.No.	No.	種 類 器 種	出上位置 残 存 率	計測値	胎土/焼成/色調 石材・素材等	成 形 ・ 整 形 の 特 徴	備 考
第88図	13	灰軸陶器 椀	埋没土 口縁部片	口 12.8 高 ー 底 ー ー	微砂粒/還元焰/灰 白	ロクロ整形。施軸方法不明。	

遺物観察表

茅畑遺跡 2面 599号ピット遺物観察表

採掘 PL.No.	No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値	胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考		
第88図	14	須恵器 杯	埋没上 口縁部片	口 11.8 底 —	高 — 厚 —	—	—	細砂粒/還元焰/灰 ロクロ整形、回転右回りか。	

茅畑遺跡 2面 617号ピット遺物観察表

採掘 PL.No.	No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値	胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考	
第88図	15	割片石器 石鏃	— —	長 1.6 厚 1.4	底 0.4 重 0.5	—/—/チャート	押圧割離により丁寧に整形する。	凹基無草葉

茅畑遺跡 2面 703号ピット遺物観察表

採掘 PL.No.	No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値	胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考		
第88図	16	須恵器 杯	埋没上 底部片	口 — 底 6.0	高 — 厚 —	—	—	細砂粒/還元焰/灰 ロクロ整形、回転右回り。底部は回転糸切り無調整。	

茅畑遺跡 2面 遺構外遺物観察表

採掘 PL.No.	No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値	胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考		
第99図	1	須恵器 杯	— 1/3	口 12.4 底 7.4	高 — 厚 3.7	—	—	細砂粒/還元焰/灰 ロクロ整形、回転右回り。底部は回転糸切り無調整。	
第99図	2	須恵器 杯	— 口縁部片	口 13.8 底 9.4	高 — 厚 3.2	—	—	細砂粒/還元焰/灰 ロクロ整形、回転右回り。底部は回転糸切り無調整。	
第99図	3	須恵器 杯	— 口縁部片	口 12.0 底 —	高 — 厚 —	—	—	細砂粒/還元焰/灰 ロクロ整形。	
第99図	4	須恵器 杯	— 底部片	口 — 底 7.2	高 — 厚 —	—	—	細砂粒/還元焰/黄 ロクロ整形、回転右回り。底部は回転糸切り無調整。	
第99図	5	須恵器 検	— 底部一体部下位	口 — 底 7.0	高 — 厚 7.6	—	—	細砂粒/還元焰/灰 ロクロ整形、回転右回り。底部回転糸切り後高台を貼付。	
第99図	6	須恵器 検	— 底部片	口 — 底 6.4	高 — 厚 6.6	—	—	細砂粒/還元焰/灰 ロクロ整形、回転右回り。底部回転糸切り後高台を貼付。	
第99図	7	灰釉陶器 鉄	表深 底部片	口 — 底 —	高 — 厚 —	—	—	細砂粒/還元焰/灰 底部は回転ヘラナデ、高台が存在するが打ち欠かれ詳細は不明。内面に植物灰による釉薬が施施。	
第99図	8	鉄製品 火打金	— 一部破損	長 5.6 幅 1.6	厚 1.0 重 12.16	—/—/—	—	—	火打金と見られる鉄製品で一端は破損錆化する。
第99図	9	鉄製品 不詳	— 一部破損	長 3.7 幅 1.0	厚 0.9 重 4.48	—/—/—	—	—	断面はほぼ正方形の角棒状。両端は角形で片側の端部で僅かに曲がる。
第99図	10	鉄製品 釘	— 破片	長 2.8 幅 0.8	厚 0.7 重 1.68	—/—/—	—	—	断面はほぼ正方形で頭部分は扁平で斜めに折れ曲がる。先端部は劣化破損する。

鴨上1遺跡 A区 2面 遺構外遺物観察表

採掘 PL.No.	No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値	胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考		
第102図	1	須恵器 杯蓋	表上 口縁部1/4欠	口 14.2 底 —	高 — 厚 3.6	—	—	細砂粒/還元焰/灰 ロクロ整形、回転右回り。掴みは貼付、天井部はほぼは回転ヘラ削り。	
第102図	2	土師器 費	— 口縁部片	口 — 底 —	高 — 厚 —	—	—	細砂粒/良好/赤 口縁部から頸部は横ナデ、胴部はヘラ削り。内面は胴部がヘラナデ。	
第102図	3	土師器 費	— 底部片	口 — 底 9.0	高 — 厚 —	—	—	細砂粒/良好/暗灰 胴部はヘラ磨き、底部はヘラ削り。内面はヘラナデ。	
第102図	4	須恵器 費	— 胴部～底部片	口 — 底 17.8	高 — 厚 —	—	—	細砂粒/還元焰/黄 ロクロ整形。底部はヘラ削り、胴部最下位に2段の回転ヘラ削り。	
第102図	5	土製品 彫形	— 破片	口 — 底 —	高 — 厚 —	—	—	細砂粒/良好/赤 疵は貼付。内外面ともナデ。	

鴨上1遺跡 B区 2面 501号住居遺物観察表

採掘 PL.No.	No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値	胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考		
第104図	1	須恵器 杯	北東部床上9cm 底部～口縁部 1/3	口 12.9 底 7.0	高 — 厚 3.8	—	—	細砂粒/還元焰/灰 ロクロ整形、回転右回り。底部は回転糸切り無調整。	
第104図	2	須恵器 杯	掘り方埋没上 口縁部片	口 12.9 底 —	高 — 厚 —	—	—	細砂粒/還元焰/灰 ロクロ整形。	
第104図	3	須恵器 杯	カマド掘り方 底部1/2	口 — 底 7.2	高 — 厚 —	—	—	細砂粒・粗砂粒/ 還元焰/灰 ロクロ整形、回転右回り。底部は回転糸切り無調整。	
第104図	4	土師器 費	埋没上 口縁部片	口 23.0 底 —	高 — 厚 —	—	—	細砂粒/良好/明赤 外面頸部に輪積痕が残る。口縁部から頸部は横ナデ、胴部はヘラ削り。内面は胴部がヘラナデ。	
第104図	5	土師器 費	埋没上 口縁部片	口 23.0 底 —	高 — 厚 —	—	—	細砂粒/良好/赤 外面に輪積痕が残る。口縁部は横ナデ。	
第104図	6	鉄製品 不詳	貯蔵穴埋没上 一部破損	長 11.1 幅 7.9	厚 1.7 重 25.98	—/—/—	—	—	断面はほぼ正方形の内棒状でし字状に曲がる。両端とも破損錆化し本来形状は不明。

鴨上1 遺跡 B区 2面 502号住居遺物観察表

採 取 PL.No.	No.	種 類 種	出 土 位 置 残 存 率	計 測 値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成 形 ・ 整 形 の 特 徴	備 考	
第1069E	1	須恵器 杯蓋	埋没土 体部片	口 底	— —	高 —	— —	細砂粒/還元焼/灰	ロクロ整形、回転右回り。天井部中ほどは回転へラ削り。	
第1069E	2	須恵器 杯	埋没土 口縁部片	口 底	10.8 —	高 —	— —	細砂粒/還元焼/灰 白	ロクロ整形。	
第1069E	3	須恵器 杯	カマド埋没土 口縁部片	口 底	13.6 —	高 —	— —	細砂粒/還元焼/灰 白	ロクロ整形。	
第1069E	4	上師器 小型甕	北西部床直上 底部～胴部下位	口 底	— 5.3	高 —	— —	細砂粒/良好/にぶ い黄褐色	底部はへラナデか。胴部はへら磨き、器面磨滅のため単位 不明。内面はへラナデ。	
第1069E	5	上師器 台付甕	カマド埋没土 脚部片	口 底	— —	高 脚	— 9.7	細砂粒/良好/橙	外面に輪積痕が残る。脚部は貼付、横ナデ。内面は上半に へラナデ。	
第1069E	6	上師器 台付甕	カマド埋没土 台部片	口 底	— —	高 脚	— 9.6	細砂粒/良好/橙	外面に輪積痕が残る。脚部は貼付、横ナデ。	
第1069E	7	須恵器 甕	埋没土 底部1/3	口 底	— 9.6	高 —	— —	細砂粒/還元焼/明 灰黄	底部は手持ちへラ削り。	

鴨上1 遺跡 B区 2面 503号住居遺物観察表

採 取 PL.No.	No.	種 類 種	出 土 位 置 残 存 率	計 測 値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成 形 ・ 整 形 の 特 徴	備 考	
第1099E	1	須恵器 杯	掘り方 1/4	口 底	12.9 7.0	高 —	2.7 —	細砂粒/還元焼/黄 灰	ロクロ整形、回転右回り。底部は回転糸切り無調整。	
第1099E PL.79	2	須恵器 杯	床下土坑5床土 43～44cm 1/2	口 底	13.8 7.0	高 —	3.7 —	細砂粒/還元焼/灰	ロクロ整形、回転右回り。底部は回転糸切り無調整。	
第1099E	3	須恵器 杯	中央部床直上 口縁部～底部片	口 底	13.1 6.3	高 —	3.7 —	細砂粒/還元焼/灰 白	ロクロ整形、回転右回り。底部は回転糸切り無調整。	
第1099E	4	須恵器 杯	掘り方 1/4	口 底	12.9 6.9	高 —	4.3 —	細砂粒/還元焼/灰 白	ロクロ整形、回転右回り。底部は回転糸切り無調整。	
第1099E	5	須恵器 杯	掘り方 口縁部片	口 底	13.7 —	高 —	— —	細砂粒/還元焼/灰 白	ロクロ整形。	
第1099E	6	須恵器 杯	掘り方、床下土 坑2 口縁部1/4	口 底	14.7 —	高 —	— —	細砂粒/還元焼/灰	ロクロ整形。	
第1099E	7	須恵器 杯	埋没土 底部3/4	口 底	— 6.8	高 —	— —	細砂粒/還元焼/灰 白	ロクロ整形、回転右回り。底部は回転糸切り無調整。	
第1109E	8	須恵器 杯	中央部床直上 底部	口 底	— 6.6	高 —	— —	細砂粒/還元焼/灰 白	ロクロ整形、回転右回り。底部は回転糸切り無調整。	
第1109E	9	須恵器 椀	北西部床直上16cm 底部2/3	口 底	— 6.6	高 台	— 6.6	細砂粒/還元焼/灰 黄褐色	ロクロ整形、回転右回り。底部回転糸切り後高台を貼付。	
第1109E	10	上師器 甕	カマド埋没土 口縁部片	口 底	18.6 —	高 —	— —	細砂粒/良好/にぶ い橙	口縁部は横ナデ。	
第1109E	11	上師器 甕	床下土坑5床土 42cm 口縁部～胴部上 位片	口 底	19.2 —	高 —	— —	細砂粒/良好/にぶ い赤褐色	口縁部から頸部は横ナデ、胴部はへラ削り。内面は胴部が へラナデ。	
第1109E	12	上師器 甕	カマド埋没土 口縁部片	口 底	20.2 —	高 —	— —	細砂粒/良好/明赤 褐色	口縁部は横ナデ。	
第1109E	13	上師器 甕	中央部床直上 口縁部片	口 底	19.7 —	高 —	— —	細砂粒/良好/にぶ い赤褐色	口縁部から頸部は横ナデ、胴部はへラ削り。内面は胴部が へラナデ。	
第1109E PL.79	14	上師器 甕	中央部床直上、 床下土坑1、掘 り方 口縁部～胴部片	口 底	23.2 —	高 —	— —	細砂粒/良好/にぶ い黄褐色	外面頸部に輪積痕が残る。口縁部から頸部は横ナデ、胴部 はへラ削り。内面は胴部がへラナデ。	外面胴部に煤 が付着。
第1109E PL.79	15	石製品 砥石	北東部床土5cm 完形	長 幅	8.6 2.8	厚 重	4.0 83.4	—/—/砥沢石	砥面は4面認められる。正面は研ぎ減りにより内湾する。	

鴨上1 遺跡 B区 2面 504号住居遺物観察表

採 取 PL.No.	No.	種 類 種	出 土 位 置 残 存 率	計 測 値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成 形 ・ 整 形 の 特 徴	備 考	
第1119E	1	上師器 杯	埋没土 口縁部片	口 底	12.8 —	高 —	— —	細砂粒/良好/にぶ い橙	口唇部は横ナデ、口縁部と体部はナデ、底部は手持ちへラ 削り。	
第1119E	2	上師器 杯	埋没土 口縁部片	口 底	14.4 —	高 —	— —	細砂粒/良好/明褐色	口縁部は横ナデ、体部はへラ削り。	
第1119E PL.79	3	須恵器 杯	中央部床直上5cm 3/4	口 底	12.2 7.5	高 —	4.1 —	細砂粒/還元焼/灰 白	ロクロ整形、回転右回り。底部は回転糸切り無調整。	
第1119E PL.79	4	上師器 甕	西部床土15cm 口縁部片	口 底	19.8 —	高 —	— —	細砂粒/良好/橙	外面口縁部に輪積痕が残る。口縁部から頸部は横ナデ、胴 部はへラ削り。内面は胴部がへラナデ。	

遺物観察表

鴨上1遺跡B区2面 506号住居遺物観察表

種別 PL.No.	No.	種類	出土位置 残存率	計測値	胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考	
第114図	1	土師器 杯	カマド床直上、 埋没土 口縁部1/4	口底 10.8 高 —	—	細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部はナデ、底部は手持ちヘラ削り。内面は体部から口縁部に斜放射状暗文。	
第114図	2	土師器 杯	振り方 口縁部片	口底 16.2 高 —	—	細砂粒/良好/橙	口唇部は横ナデ、口縁部と体部はナデ、底部は手持ちヘラ削り。	
第114図	3	須恵器 杯	カマド埋没土 口縁部片	口底 15.8 高 —	—	細砂粒/還元焰/灰白	ロクロ整形。	
第114図	4	須恵器 杯	カマド埋没土 口縁部1/4	口底 15.2 高 —	—	細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形。	
第114図	5	須恵器 杯	カマド埋没土 底部片	口底 9.0 高 —	—	細砂粒/還元焰/灰白	ロクロ整形、回転右回り。底部は回転糸切り無調整。	
第114図 PL.79	6	須恵器 椀	カマド床直上9cm、 504号住居埋没土 口縁部～底部	口底 16.0 高 —	—	細砂粒/還元焰/に ぶい黄	ロクロ整形、回転右回り。底部は回転ヘラナデ、高台は貼付。	
第114図 PL.79	7	須恵器 椀	カマド床直上 高台部片	口底 8.4 高 8.8	—	細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転右回り。底部はナデ、高台は貼付。	
第114図	8	土師器 甕	カマド埋没土 口縁部片	口底 12.4 高 —	—	細砂粒/良好/にぶ い黄橙	口縁部から頸部は横ナデ、胴部はヘラ削り。内面は胴部がヘラナデ。	
第114図	9	土師器 甕	埋没土 口縁部片	口底 20.6 高 —	—	細砂粒/良好/にぶ い黄橙	口縁部から頸部は横ナデ、胴部はヘラ削り。内面は胴部がヘラナデ。	
第114図	10	土師器 甕	埋没土 口縁部片	口底 24.6 高 —	—	細砂粒/良好/にぶ い黄橙	口縁部から頸部は横ナデ、胴部はヘラ削り。内面は胴部がヘラナデ。	
第114図 PL.79	11	赤生土器 甕	埋没土 胴部片	口底 — 高 —	—	A/-/-	胴部上半に帯描波状文を施す。胴部内外面共に丁寧な横位磨き。	樽式
第114図 PL.79	12	赤生土器 甕	埋没土 口底	口底 — 高 —	—	A/-/-	複合口縁部に異状工具による縦位2列の連続切目文を施す。内面横位磨き。	樽式
第114図 PL.79	13	石製品 石製模造品	埋没土 ほぼ完形	長 4.9 厚 0.7 幅 3.0 厚 13.9	—	滑石	全体的に線条痕が著しい。径約2mmの孔が2つ認められ、いずれも片側穿孔と判断される。	
第114図 PL.79	14	石製品 紡輪	カマド床直上19cm ほぼ完形	径 4.1×4.0 厚 1.8 4.0 厚 31.5	—	灰沢石	表裏面ともよく研磨されている。表裏面ともほぼ平坦である。側面はやや外湾する。径約8mmの軸穴が穿孔されている。	

鴨上1遺跡B区2面 507号住居遺物観察表

種別 PL.No.	No.	種類	出土位置 残存率	計測値	胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考	
第117図	1	土師器 杯	埋没土 口縁部片	口底 9.8 高 —	—	細砂粒/良好/灰黄 褐	口縁部は横ナデ、体部は上半がナデ、下半がヘラ削り、底部は手持ちヘラ削り。内面は体部から口縁部に放射状ヘラ磨き。	
第117図	2	土師器 杯	埋没土 口縁部片	口底 10.2 高 —	—	細砂粒/良好/にぶ い赤褐	口縁部は横ナデ、体部はナデ。内面には斜放射状ヘラ磨き。	
第117図 PL.79	3	土師器 杯	カマド左袖外側 床直上	口底 12.2 高 5.2	—	細砂粒・粗砂粒/ 良好/明赤褐	口縁部は横ナデ、体部は上半がナデ、下半から底部は手持ちヘラ削り。内面は体部から口縁部に斜放射状ヘラ磨き。	
第117図 PL.79	4	土師器 杯	カマド右袖、埋 没土	口底 14.0 高 6.6	—	細砂粒・粗砂粒/ 良好/にぶい橙	口縁部は横ナデ、体部と底部はヘラ削り。内面は底部から体部にヘラナデ。	
第117図	5	土師器 杯	埋没土 口縁部片	口底 14.2 高 —	—	細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ、体部はヘラ削り。内面体部に斜放射状ヘラ磨き。	
第117図	6	黒色土器 椀	カマド埋没土 口縁部片	口底 15.2 高 —	—	細砂粒/酸化焰/に ぶい黄橙	二次焼成により喫炭が消失。内外面とも丁寧なヘラ磨き。	
第117図	7	土師器 甕	南部屋直上、埋 没土 底部片	口底 — 高 —	—	細砂粒/良好/にぶ い黄橙	底部と胴部はヘラ削り。内面はヘラナデ。	
第118図	8	土師器 甕	埋没土 口縁部片	口底 17.6 高 —	—	細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部から頸部は横ナデ、胴部はヘラ削り。内面は胴部がヘラナデ。	
第118図	9	土師器 甕	振り方埋没土 口縁部片	口底 19.0 高 —	—	細砂粒/良好/にぶ い赤褐	口縁部は横ナデ。	
第118図	10	土師器 甕	カマド左袖外側 床直上9cm 口縁部片	口底 23.8 高 —	—	細砂粒/良好/明褐	口縁部は横ナデ、胴部はヘラ削り。内面は胴部がヘラナデ。	
第118図	11	土師器 甕	カマド埋没土 底部片	口底 7.0 高 —	—	細砂粒/良好/褐	底部と胴部はヘラ削り。内面はヘラナデ。	
第118図	12	土師器 甕	振り方、カマド 埋没土 底部片	口底 9.0 高 —	—	細砂粒/良好/明赤 褐	底部と胴部はヘラ削り、胴部の一部にハケ目が残る。内面はヘラナデ。	
第118図	13	赤生土器 甕	貯蔵穴 底部完形	口底 6.0 高 —	—	A/-/-	外面熱熱分離、内面横位磨き。	赤生後期

鴨上1遺跡B区2面 509号住居遺物観察表

採掘 PL.No.	No.	種類 種類	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
第119図 PL.79	1	赤土器 甕	埋没土 胴部片	口 底	— —	高 —	E / — / —	頸部に縞縞波状文と低位隆帯を複数帯施し、隆帯には斜め状の押王を施す。波状文の施文員5箇8mm、内面磨き状の横位撫摩で。器色は鈍い黄褐色。	十王台式

鴨上1遺跡B区2面 510号住居遺物観察表

採掘 PL.No.	No.	種類 種類	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
第122図	1	須恵器 杯	カマド埋没土 口縁部片	口 底	13.8 —	高 —	— —	細砂粒/還元焰/灰 白	ロクロ整形。
第122図	2	須恵器 杯	中央部床直上 底部片	口 底	— 7.0	高 —	— —	細砂粒/還元焰/灰 白	ロクロ整形、回転右回り。底部は回転ヘラ削り後回転ヘラナデ。
第122図	3	須恵器 杯	カマド埋没土 底部片	口 底	— 7.0	高 —	— —	細砂粒/還元焰/灰 白	ロクロ整形、回転右回り。底部は回転糸切り無調整。
第122図	4	須恵器 杯	北東部床直上 底部片	口 底	— 7.8	高 —	— —	細砂粒/還元焰/灰 白	ロクロ整形、回転右回り。底部は回転糸切り無調整。
第122図	5	土師器 甕	埋没土 口縁部1/3	口 底	18.8 —	高 —	— —	細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部から頸部は横ナデ、胴部はヘラ削り。内面は胴部から頸部に付着物。
第122図 PL.80	6	土師器 甕	カマド床直上～ 床上8cm、埋没 土 口縁部～胴部 1/3	口 底	— —	高 —	— —	細砂粒/良好/暗 褐	口縁部から頸部は横ナデ、胴部はヘラ削り。内面は胴部がヘラナデ。
第123図	7	土師器 甕	中央部床直上、 カマド埋没土、 埋没土 口縁部片	口 底	— —	高 —	— —	細砂粒/良好/明赤 褐	外面頸部に輪積痕が残る。口縁部から頸部は横ナデ、胴部はヘラ削り。内面は胴部がヘラナデ。
第123図	8	土師器 甕	カマド埋没土 口縁部1/3	口 底	— —	高 —	— —	細砂粒/良好/にぶ い褐	口縁部から頸部は横ナデ、胴部はヘラ削り。内面は胴部がヘラナデ。
第123図 PL.80	9	土師器 甕	カマド床直上～ 床上20cm、埋没 土 口縁部～底部 1/2	口 底	20.4 3.6	高 胴	27.0 22.4	細砂粒/良好/黄橙	口縁部から頸部は横ナデ、胴部と底部はヘラ削り。内面は底部から胴部がヘラナデ。
第123図 PL.80	10	土師器 甕	カマド床直上～ 床上8cm、埋没 土 口縁部～底部 1/3	口 底	19.6 4.0	高 胴	27.8 21.5	細砂粒/良好/暗 褐	内面胴部に輪積痕が残る。口縁部から頸部は横ナデ、胴部と底部はヘラ削り。内面は底部から胴部がヘラナデ。
第123図	11	土師器 甕	中央部床直上、 カマド埋没土、 埋没土 頸部～胴部	口 底	— —	高 —	— —	細砂粒/良好/赤褐	頸部は横ナデ、胴部はヘラ削り。内面胴部はヘラナデ。
第123図	12	土師器 甕	中央部床直上、 カマド埋没土、 埋没土 頸部～胴部	口 底	— —	高 —	— —	細砂粒/良好/赤褐	頸部は横ナデ、胴部はヘラ削り。内面胴部はヘラナデ。
第123図 PL.80	13	土師器 甕	カマド床直上～ 床上8cm、埋没 土 胴部1/2	口 底	— —	高 —	— —	細砂粒/良好/明赤 褐	内面に輪積痕が残る。外面はヘラ削り、内面はヘラナデ。
第123図	14	土師器 甕	北東部床直上 口縁部片	口 底	17.4 —	高 —	— —	細砂粒/良好/にぶ い褐	口縁部は肥厚。口唇部から口縁部は波状文、頸部に縞状文か。内面はヘラ磨き。

鴨上1遺跡B区2面 511号住居遺物観察表

採掘 PL.No.	No.	種類 種類	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
第124図	1	須恵器 蓋	埋没土 揃み部	口 底	— —	高 揃	— 3.2	細砂粒/還元焰/灰 白	ロクロ整形、回転右回り。揃みは貼付。天井部中央は回転ヘラ削り。
第124図	2	土師器 甕	掘り方 口縁部片	口 底	13.8 —	高 —	— —	細砂粒/良好/明赤 褐	口縁部は横ナデ。

鴨上1遺跡B区2面 512号住居遺物観察表

採掘 PL.No.	No.	種類 種類	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
第126図	1	須恵器 杯	埋没土、表採 口縁部～底部 1/4	口 底	13.0 7.0	高 —	4.0 —	細砂粒/還元焰/灰 白	ロクロ整形、回転右回り。底部は回転糸切り無調整。
第126図 PL.80	2	須恵器 杯	カマド床直上 2/3	口 底	13.1 7.4	高 —	3.9 —	細砂粒/還元焰/灰 白	ロクロ整形、回転右回り。底部は回転糸切り無調整。
第126図	3	須恵器 杯	埋没土 底部片	口 底	— 6.8	高 —	— —	細砂粒/還元焰/灰 白	ロクロ整形、回転右回り。底部は回転糸切り無調整。
第126図	4	須恵器 杯	埋没土 底部片	口 底	— 8.0	高 —	— —	細砂粒・黒色粒/ 還元焰/黄灰	ロクロ整形、回転右回り。底部は回転糸切り無調整。底部は疑似高台状を呈す。

挿入 PL.No.	No.	種類	出土位置 残存率	計測値	胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考	
第133図 PL.81	2	須恵器 椀	北部床直上、床 上11cm 1/2	口 底 13.4 7.0 高 4.9 6.6	— — 白	細砂粒/還元焼/灰 白	ロクロ整形、回転右回り。底部回転糸切り後高台を貼付。	
第133図 PL.81	3	須恵器 椀	南西部床直上 1/2	口 底 15.2 7.3 高 6.1 6.9	— — 灰	細砂粒/還元焼/黄 灰	ロクロ整形、回転右回り。底部回転糸切り後高台を貼付。	
第133図	4	須恵器 椀	床下土坑1床直上 底部～体部片	口 底 — 高 — 6.6	— — 白	細砂粒/還元焼/灰 白	ロクロ整形、回転右回り。底部回転糸切り後高台を貼付。	内面は還元焼 焼成。
第133図	5	須恵器 椀	床下土坑1床直上 、埋没上 底部～体部片	口 底 7.3 高 — 6.2	— — 白	細砂粒/還元焼/灰 白	ロクロ整形、回転右回り。底部回転糸切り後高台を貼付。	
第133図	6	土師器 甕	床下土坑1床直上 口縁部～胴部上 位小片	口 底 17.0 高 — —	— — —	細砂粒/良好/橙	口縁部から胴部は横ナデ、胴部はへら削り。内面は胴部に 木口が残るへらナデ。	
第133図	7	土師器 甕	中央部床直上、 床上8cm 口縁部～胴部上 位小片	口 底 18.0 高 — —	— — —	細砂粒/良好/赤 い橙	口縁部から胴部は横ナデ、胴部はへら削り。内面は胴部が へらナデ。	
第133図	8	須恵器 甕	北西部床土8cm 胴部片	口 底 — 高 — —	— — 灰	細砂粒/還元焼/灰 白	内面は平行引き後一部に回転へらナデ、内面は無文のアテ 痕が残る。	

鴨上1遺跡B区2面 526号住居建物遺物観察表

挿入 PL.No.	No.	種類	出土位置 残存率	計測値	胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考	
第136図 PL.81	1	土師器 杯	掘り方 2/3	口 脚 10.7 9.0 高 最 6.1 11.8	— — 赤褐色	細砂粒/良好/赤い 赤褐色	口縁部は横ナデ、体部はナデ、底部はへら削り。内面は体 部から口縁部に斜放射状へら磨き、口縁部は部面磨滅のため 単位不明。	内面は漆塗 か？
第136図 PL.81	2	土師器 高杯	カマド床直上 ほぼ中央	口 脚 13.6 9.0 高 — 11.2	— — 灰	細砂粒/良好/橙	杯身と脚部は接合か、杯身は口縁部が横ナデ、体部から 底部はナデ、脚部は基部まで横ナデ。内面は杯身と体部 に斜放射状へら磨き。	
第136図 PL.81	3	礫石器 磨石	北壁中央床土 11cm 完形	長 幅 15.0 5.2 厚 重 6.7 769.9	— — 灰	粗粒輝石安山岩	棒状の部門隙を利用する。表面のほぼ全面に磨面が認めら れる。表面の縁辺部に最打痕が散在する。	
第136図 PL.81	4	礫石器 磨石	中央部西寄り床 直上 完形	長 幅 15.0 7.9 厚 重 5.7 921.5	— — 灰	粗粒輝石安山岩	円隙を利用する。表面のほぼ全面と左側面に磨面が認めら れる。裏面の下半部が赤化しており受熱の可能性ある。	

鴨上1遺跡B区2面 503号掘立柱建物遺物観察表

挿入 PL.No.	No.	種類	出土位置 残存率	計測値	胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考	
第139図 PL.81	1	剥片石器 石匙	P5埋没上 2/3	長 幅 4.7 (5.6) 厚 重 1.2 24.4	— — 黒色頁岩	— — 黒色頁岩	表裏面に素材剥片段階の剥離面を大きく残す。横長剥片を 素材とし、素材剥片の形態を大きく変えることなく積み 次に二次加工が集中する。下部末端に微細剥離痕が集中する。 自然面打面であり円隙を利用する。	横型

鴨上1遺跡B区2面 501号粘土坑遺物観察表

挿入 PL.No.	No.	種類	出土位置 残存率	計測値	胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考	
第141図 PL.81	1	土師器 杯	床上14cm 一部欠損	口 底 12.1 — 高 — 4.7	— — 赤褐色	細砂粒/良好/明赤 褐色	口縁部は横ナデ、体部上半はナデ、下半から底部はへら削り 。内面は体部に斜放射状へら磨き。	
第141図	2	土師器 杯	埋没上 1/2	口 底 13.8 — 高 — 6.1	— — 灰	細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部ナデ、底部はへら削り。内面は体部 に斜放射状へら磨き。	
第141図	3	土師器 杯	床上15cm 1/4	口 底 12.8 — 高 — 5.9	— — 赤褐色	細砂粒/良好/明赤 褐色	内面は黒色処理。口縁部は横ナデ、体部は上から中位が ナデ、下位から底部はへら削り。内面は体部に斜放射状へ ら磨き。	
第141図	4	土師器 杯	床直上 1/4	口 底 15.0 — 高 — 7.2	— — 赤褐色	細砂粒/良好/赤 い褐色	内面は黒色処理。口縁部は横ナデ、体部は上から中位が ナデ、下位から底部はへら削り。内面は体部に斜放射状へ ら磨き。	
第141図 PL.81	5	土師器 杯	床直上 口縁部一部欠損	口 底 16.0 — 高 — 7.7	— — 灰	細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部ナデ、底部はへら削り。内面は体部 に斜放射状へら磨き。	
第141図	6	土師器 杯	埋没上 1/4	口 底 11.0 — 高 最 12.0	— — 赤褐色	細砂粒/良好/明赤 褐色	内面は黒色処理。口縁部は横ナデ、体部はナデ、底部はへ ら削り。内面は体部から口縁部に斜放射状へら磨き。	
第141図	7	土師器 杯	床直上、埋没上 2/3	口 底 12.8 (5.0) 高 — 5.3	— — 灰	細砂粒/良好/灰黄 褐色	内面は黒色処理。口縁部は横ナデ、体部はナデ、底部はへ ら削り。内面は体部に斜放射状へら磨き、器面磨滅のため 単位不明。	
第141図 PL.81	8	土師器 高杯	床上14cm 4/5	口 脚 13.2 9.2 高 — 9.3	— — 灰	細砂粒/良好/橙	杯身内面は黒色処理。杯身口縁部は横ナデ、底部はナ デ、脚部は上から基部まで横ナデ。内面は杯身口縁部 に斜放射状へら磨き。	
第141図 PL.81	9	土師器 高杯	埋没上 1/2	口 脚 12.4 9.4 高 — 9.8	— — 灰	細砂粒/良好/橙	杯身内面は黒色処理。杯身口縁部は横ナデ、体部はナ デ、底部はへら削り。胴部は上から基部まで横ナデ。内 面は杯身口縁部に斜放射状へら磨き。	
第141図 PL.81	10	土師器 埴	埋没上 口縁部と胴部一 部欠損	口 底 13.2 — 高 最 16.2 18.7	— — 赤褐色	細砂粒/良好/明赤 褐色	口縁部と胴部上半は放射状へら磨き、胴部下半から底部は へら削り。内面は口縁部から胴部上位にへらナデ、中位か ら底部は不磨明。	

遺物観察表

挿入 PL.No.	No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値	胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
第141図 PL.82	11	土師器 甕	埋没上 3/4	口 15.2 底 7.5	高 27.3 胴 23.2	細砂粒/良好/橙	口縁部から頸部は横ナデ、胴部と底部はへら削り。内面は底部から胴部がへらナデか。
第141図	12	土師器 甕	床直上、床下 13cm 口縁部～胴部上 半片	口 16.0 底 —	高 — —	細砂粒・粗砂粒/ 良好/にぶい橙	口縁部は横ナデ、胴部はへら削り。内面は胴部がへらナデ。
第141図	13	土師器 甕	埋没上 口縁部～胴部上 半片	口 18.0 底 —	高 — —	細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、胴部はへら削り。内面は胴部がへらナデ。

嶋上1 遺跡B区2面 507号土坑遺物観察表

挿入 PL.No.	No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値	胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
第142図 PL.82	1	土師器 杯	床直上、床下 10cm ほぼ完成	口 12.5 底 —	高 4.9 —	細砂粒/良好/赤褐	口縁部は横ナデ、体部は上半がナデ、下半から底部はへら削り。内面は体部に斜放射状へら磨き。
第142図	2	土師器 杯	埋没上 1/3	口 13.0 底 —	高 4.8 —	細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部は上半がナデ、下半から底部はへら削り。内面は体部に斜放射状へら磨き。
第142図 PL.82	3	土師器 杯	床下31cm 完成	口 11.2 底 4.2	高 4.9 胴 11.8	細砂粒/良好/明赤褐	口縁部は横ナデ、体部はナデ、底部はへら削り。内面は体部から口縁部に斜放射状へら磨き。
第142図 PL.82	4	土師器 杯	床下38cm 1/3	口 11.0 底 —	高 5.5 胴 11.8	細砂粒/良好/にぶい橙	口縁部は上半が横ナデ、下半はナデ、体部から底部はへら削り。内面は体部から口縁部に斜放射状へら磨き。
第142図	5	土師器 杯	床下7～19cm 1/3	口 9.9 底 —	高 5.5 胴 11.0	細砂粒/良好/にぶい赤褐	口縁部は横ナデ、体部はナデ、底部はへら削り。内面は体部から口縁部に斜放射状へら磨き。
第142図 PL.82	6	土師器 台付甕	床直上 脚部	口 — 底 —	高 — 胴 7.0	細砂粒/良好/にぶい赤褐	脚部は胴部に貼付。内外面とも横ナデ。
第142図 PL.82	7	土師器 甕	床下18～35cm 口縁部～胴部上 半片	口 18.0 底 —	高 — —	細砂粒/良好/浅黄	口縁部から頸部は横ナデ、胴部はへら削り。内面は胴部がへらナデ。

嶋上1 遺跡B区2面 508号土坑遺物観察表

挿入 PL.No.	No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値	胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
第142図	8	土師器 甕	床下8cm 口縁部～胴部上 位半片	口 23.2 底 —	高 — —	細砂粒/良好/にぶい赤褐	外面頸部に輪積痕が残る。口縁部から頸部は横ナデ、胴部はへら削り。内面は頸部から胴部がへらナデ。

嶋上1 遺跡B区2面 509号土坑遺物観察表

挿入 PL.No.	No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値	胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
第142図	9	土師器 杯	埋没上 口縁部～体部上 半小片	口 16.0 底 —	高 — —	細砂粒/良好/にぶい赤褐	口唇端部は平坦面をつくる。口縁部は横ナデ、体部はナデ、内面は体部に斜放射状へら磨き。
第142図	10	土師器 甕	埋没上 底部周囲片	口 — 底 8.9	高 — —	細砂粒/良好/にぶい赤褐	胴部下位は外面がへら削り、内面はへらナデ。

嶋上1 遺跡B区2面 692号ビット遺物観察表

挿入 PL.No.	No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値	胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
第147図	1	須恵器 甕	埋没上 底部～体部下位 片	口 8.0 底 8.0	高 台 7.8	細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形、回転右回り。底部回転糸切り後高台を貼付。

嶋上1 遺跡B区2面 798号ビット遺物観察表

挿入 PL.No.	No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値	胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
第147図	2	須恵器 甕	埋没上 口縁部片	口 16.8 底 —	高 — —	細砂粒/還元焰/灰	ロクロ整形。

嶋上1 遺跡B区2面 840号ビット遺物観察表

挿入 PL.No.	No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値	胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
第147図 PL.82	3	土師器 杯	床下48cm、埋没上 2/3	口 12.5 底 6.1	高 4.1 —	細砂粒・粗砂粒/ 良好/にぶい赤褐	口縁部は横ナデ、体部は上半がナデ、下半がへら削り、底部は手持ちへら削り。

嶋上1 遺跡B区2面 遺構外出土遺物観察表

挿入 PL.No.	No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値	胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
第149図	1	土師器 杯	埋没上 口縁部片	口 14.8 底 —	高 — —	細砂粒/良好/橙	口縁部は横ナデ、体部はナデ。内面にやや複雑な斜放射状へら磨き。
第149図	2	土師器 表採 口縁部片	表採 口縁部片	口 14.8 底 —	高 — —	細砂粒/還元焰/灰褐	ロクロ整形、回転右回りか。
第149図	3	土師器 高杯	表土 杯身底部～脚 部上位	口 — 底 —	高 — —	細砂粒/良好/にぶい赤褐	杯身内面は黒色処理。杯身と脚部は接合。杯身底部から脚部上位は横ナデ。

種 別 PL.No.	No.	種 類	出土位置 残存率	計測値	胎土/焼成/色調 石材・素材等	成 形 ・ 整 形 の 特 徴	備 考
第14900 PL.82	4	須恵器 蓋	埋没土 完形	口 11.2 高 3.3 — 横 1.9	— 縹砂粒/還元焰/灰 — 白	— ロクロ整形、回転右回り。揃みは貼付。天井部は中程まで — 回転ヘラ削り。	—
第14900	5	須恵器 杯	— 口縁部片	— 口 11.8 高 — — 底 —	— 縹砂粒/還元焰/灰 — —	— ロクロ整形。	—
第14900	6	須恵器 杯	カクラン 口縁部片	— 口 12.8 高 — — 底 —	— 縹砂粒/還元焰/灰 — —	— ロクロ整形。	—
第14900	7	須恵器 杯	— 底部片	— 口 — 高 — — 底 7.0 —	— 縹砂粒/還元焰/灰 — 黄褐	— ロクロ整形、回転右回り。底部は回転糸切り無調整。	—
第14900	8	須恵器 椀	— 底部片	— 口 — 高 — — 底 6.8 台 6.2	— 縹砂粒/還元焰/灰 — 白	— ロクロ整形、回転右回り。底部回転糸切り後高台を貼付。	—
第14900	9	須恵器 椀	埋没土 底部片	— 口 — 高 — — 底 8.0 台 8.6	— 縹砂粒/還元焰/灰 — 白	— ロクロ整形、回転右回り。底部回転糸切り後高台を貼付。	—
第14900	10	須恵器 鉢	— 口縁部片	— 口 13.7 高 — — 底 —	— 縹砂粒/良好/浅黄	— 口縁部は横ナデ、体部はヘラナデ。	—
第14900	11	須恵器 土師器 口ク口費	埋没土 口縁部1/4	— 口 21.0 高 — — 底 —	— 縹砂粒/良好/橙	— ロクロ整形。胴部にナデがみられる。	—
第14900	12	須恵器 甕	— 口縁部片	— 口 26.0 高 — — 底 —	— 縹砂粒・黒色粒/ — 還元焰/灰	— ロクロ整形、回転右回りか。	—
第14900 PL.82	13	須恵器 甕	カクラン 口縁部片	— 口 — 高 — — 底 —	— 縹砂粒/還元焰/灰	— ロクロ整形。外面に5条1単位の波状文が3段遡る。	—
第14900	14	須恵器 甕	— 口縁部片	— 口 — 高 — — 底 —	— 縹砂粒/還元焰/灰 — 白	— 外面は平行印き痕が残る。内面はヘラナデ。	—

茅畑遺跡3面 遺構外遺物観察表

種 別 PL.No.	No.	種 類	出土位置 残存率	計測値	胎土/焼成/色調 石材・素材等	成 形 ・ 整 形 の 特 徴	備 考
第15000 PL.82	1	縄文土器 深鉢	埋没土 胴部片	— 口 — 高 — — 底 —	— A / - / -	— 粗いL縄文を横位に施し、細い浮線文を縦横に貼付して — 空枠状の区画文を構成。	— 諸磯B式
第15000 PL.82	2	縄文土器 深鉢	埋没土 胴部片	— 口 — 高 — — 底 —	— A / - / -	— 横位の浮線文を数条施した後に、粗いL縄文を横位に全面 — 施す。内面は粗い横線推定。	— 諸磯B式
第15000 PL.82	3	縄文土器 深鉢	埋没土 胴部片	— 口 — 高 — — 底 —	— A / - / -	— 粗いR L縄文を横位に施し、浮線文を横位半渦巻状に施 — す。	— 諸磯B式
第15000 PL.82	4	縄文土器 深鉢	埋没土 胴部片	— 口 — 高 — — 底 —	— A / - / -	— 粗いL縄文を横位に施し、浮線文を横位に施す。	— 諸磯B式
第15000 PL.82	5	縄文土器 深鉢	埋没土 口縁部片	— 口 — 高 — — 底 —	— A / - / -	— 波状口縁。縄文を施すのが全体不詳。平截竹管の集合浮 — 線文により対弧状のモチーフを構成。	— 諸磯B式
第15000 PL.82	6	縄文土器 深鉢	埋没土 胴部片	— 口 — 高 — — 底 —	— B / - / -	— 平截竹管の集合波線文を縦位に施文。	— 諸磯C式
第15000 PL.82	7	縄文土器 深鉢	— 胴部片	— 口 — 高 — — 底 —	— C / - / -	— 胴部下にL R及びR L縄文を横位施し、上手には平截 — 竹管の集合結節波線文により横位半渦巻状のモチーフを構 — 成し、胴部に三角形の印短文を施す。	— 横ヶ峰式
第15000 PL.82	8	縄文土器 深鉢	— 口縁部片	— 口 — 高 — — 底 —	— B / - / -	— 小波状口縁。R L縄文を横位施し、部分的に結節波線文 — を縦位斜位に施す。	— 縄文前期末
第15000 PL.82	9	縄文土器 深鉢	— 胴部片	— 口 — 高 — — 底 —	— D / - / -	— R LとL Rの結束羽状縄文を横位多段に施文。	— 縄文前期末
第15000 PL.82	10	縄文土器 深鉢	埋没土 口縁部片	— 口 — 高 — — 底 —	— E / - / -	— 口外縁部に竹管状工具による刻目を施す。以下に横位や逆 — U字状の沈線文を施し、L R縄文を充填施す。	— 加曾利E4式
第15000 PL.82	11	縄文土器 深鉢	埋没土 胴部片	— 口 — 高 — — 底 —	— F / - / -	— 沈線懸垂文とL R縄文を縦位に施文。	— 加曾利E4式
第15000 PL.82	12	縄文土器 深鉢	埋没土 胴部片	— 口 — 高 — — 底 —	— F / - / -	— 沈線懸垂文とL R縄文を縦位に施文。	— 加曾利E4式
第15000 PL.83	13	縄文土器 深鉢	埋没土 胴部片	— 口 — 高 — — 底 —	— E / - / -	— 深く明確な沈線区画文を施し、区内内外にR L縄文を充填 — 施文。	— 称名寺1式
第15000 PL.83	14	縄文土器 注口土器	埋没土 胴部片	— 口 — 高 — — 底 —	— G / - / -	— 細い隆帯文の内側に沿って沈線文を施す。内外面共に丁寧 — な磨き。	— 堀之内2式
第15100 PL.83	15	縄文土器 深鉢	— 口縁部片	— 口 — 高 — — 底 —	— A / - / -	— 捻転状突起を持つ波状口縁。横位沈線文と斜線文を施す。 — 内面は丁寧な横位磨き。	— 加曾利B2式
第15100 PL.83	16	縄文土器 深鉢	P9埋没土 胴部片	— 口 — 高 — — 底 —	— A / - / -	— 横線区画文間に幾何工具による刻目を施す。	— 加曾利B2式
第15100 PL.83	17	縄文土器 深鉢	P1245埋没土 胴部片	— 口 — 高 — — 底 —	— A / - / -	— 胴上半部に横線文と羽状の斜線文を施す。内面横位磨き。	— 加曾利B2式
第15100 PL.83	18	割片石器 石	ローム層 ほぼ完形	長 6.3 厚 0.9 幅 2.5 重 9.4	— / - / 輝緑凝灰岩	— 先端部を中心に内面加工により整形する。先端部欠損。	—

嶋上1遺跡A区3面 2号住居遺物観察表

種 別 PL.No.	No.	種 類	出土位置 残存率	計測値	胎土/焼成/色調 石材・素材等	成 形 ・ 整 形 の 特 徴	備 考
第15400 PL.83	1	弥生土器 甕	南部東寄り床直上 口縁部～頸部完 存	口 14.6 高 — — 底 —	— A / - / -	— 縹濁波状文を複合口縁部に1帯、口縁～頸部に2帯施す。 — 括れ部に同工具の2進止め隆帯文を、胴部に波状文を施文。 — 施文具6周11mm、外面頸部に煤状炭化物付着、内面丁寧な — 横位磨き。	— 樽式
第15400 PL.83	2	弥生土器 甕	東南南寄り床直上 口縁部～頸部完 存	口 14.7 高 — — 底 —	— A / - / -	— 複合口縁部に指痕の押さえ痕が残存。縹濁波状文を口 — 縁～頸部に3帯施す。括れ部に同工具の2進止め隆帯文を、 — 胴部に波状文を施文。施文具5～8周11mm。内面丁寧な横 — 位磨き。	— 樽式

遺物観察表

種 別 PL.No.	No.	種 類 器 種	出土位置 残 存 率	計測値	胎土/焼成/色調 石材・素材等	成 形・整 形 の 特 徴	備 考
第15489 PL.83	3	赤生土器 台付甕	埋設上 口縁部片	口 底 — 高 — — (7.0)	B / - / -	単口縁で器厚が薄い。外面横線で後に斜位刷毛目、内面横刷毛目。	
第15489 PL.83	4	赤生土器 甕	P 5 埋設上 胴下半～底部 1/8	口 底 — 高 — — (7.0)	A / - / -	内外面縦位置磨き。内面やや鈍熱風化。	樽式
第15489 PL.83	5	赤生土器 台付甕	P 3 床土上12cm 台部上半完存	口 底 — 高 — —	A / - / -	胴部外面縦位置磨き、内面横位置で。	樽式
第15506 PL.83	6	赤生土器 甕	南部東寄り床土上 9cm、埋設上 胴下半～底部 1/8	口 底 — 高 — — (9.4)	A / - / -	底部外面に玄米と想定される任意が十数点あり。外面横位置で後縦・斜位置磨き、内面横位置で。外周一部に煤炭灰化物付着。	樽式
第15506 PL.83	7	赤生土器 甕	南西部床直上～ 床土29cm 胴部片	口 底 — 高 — —	A / - / -	胴部に縞線波状文を複数箇所に施す。施文具9面17cm。外面横位置磨き。内面やや風化。一部に煤炭灰化物付着。	樽式
第15506 PL.83	8	赤生土器 瓢箪	東部床直上 口縁部1/6	口 底 (8.4) 高 — —	A / - / -	外面縦位置磨き。内面やや粗雑な横位置磨き。	東海系
第15506 PL.83	9	赤生土器 甕	東部床直上 底部1/6	口 底 (4.9) 高 — —	A / - / -	外面縦位置磨き、内面横位置で。	樽式
第15506 PL.83	10	赤生土器 甕	埋設上 底部1/6	口 底 (4.8) 高 — —	A / - / -	外面縦・斜位置磨き。内面磨き。外面は焼べ焼き状の黒色。	樽式
第15506 PL.83	11	赤生土器 高杯	埋設上 口縁部片	口 底 — 高 — —	A / - / -	内外面赤色塗彩。	樽式
第15506 PL.83	12	赤生土器 高杯	P 1 埋設上 口縁部片	口 底 (14.5) 高 — —	A / - / -	内外面縦位置磨き。	樽式
第15506 PL.83	13	赤生土器 高杯	南部床直上 胴部上半完存	口 底 — 高 — —	A / - / -	胴部外面縦位置磨き、内面横位置で。	樽式
第15506 PL.83	14	赤生土器 高杯	P 1 埋設上 胴部上半完存	口 底 — 高 — —	A / - / -	胴部外面縦位置磨き。	樽式
第15506 PL.83	15	赤生土器 高杯	南西隅床土10cm 胴部上半完存	口 底 — 高 — —	A / - / -	杯部内面・胴部外面縦位置磨き。	樽式
第15506 PL.83	16	赤生土器 高杯	南部西寄り床直上 胴部上半完存	口 底 — 高 — —	A / - / -	杯部内面縦位置磨き。胴部外面縦位置磨き、内面横位置で。	樽式
第15506 PL.83	17	赤生土器 蓋	P 3 埋設上 胴部完存	口 — 高 摘 径 (2.8)	A / - / -	外面縦位置で、内面横位置で。	樽式
第15506 PL.83	18	赤生土器 紡輪	西壁南寄り床直上 完存	径 3.4 厚 1.4 重 16.6	A / - / -	上下面共に縞線状工具による刺突文を施す。径約6mmの軸穴孔が穿孔されている。	樽式附

鴨上1遺跡A区3面 3号住居遺物観察表

種 別 PL.No.	No.	種 類 器 種	出土位置 残 存 率	計測値	胎土/焼成/色調 石材・素材等	成 形・整 形 の 特 徴	備 考
第16189 PL.83	1	赤生土器 甕	2・3号住居埋設 上 口縁部～胴部上 2/3	口 底 (10.4) 高 — —	A / - / -	口縁～胴部に1帯縞線波状文を施す。口縁部に縞線波状文を施す。括れ部に4～5連止め縞線状文を、胴部に波状文を施す。施文具8面18cm。外面口縁部に煤炭灰化物付着、内面丁寧な横位置磨き。	樽式
第16189 PL.83	2	赤生土器 甕	北東隅ベッド状 遺構床土6～ 15cm 口縁部～胴部完 存	口 底 (15.8) 高 — —	A / - / -	縞線波状文を複合口縁部に1帯、口縁～胴部に2帯施す。括れ部に同一工具の3連止め縞線状文を、胴部に波状文を施す。施文具6～8面15～18cm。外面胴部に煤炭灰化物付着、内面丁寧な横位置磨き。	樽式
第16189 PL.83	3	赤生土器 甕	北西隅ベッド状 遺構床土43cm、 2号住居埋設上 口縁部1/8	口 底 (13.7) 高 — —	A / - / -	縞線波状文を複合口縁部と口縁～胴部に1帯施す。括れ部には3連止め縞線状文を施す。施文具8面15cm。内面丁寧な横位置磨き。	樽式
第16189 PL.83	4	赤生土器 甕	中央部床土6cm、 埋設上 口縁部1/4	口 底 (16.0) 高 — —	A / - / -	縞線波状文を複合口縁部に1帯、口縁～胴部に2帯施す。括れ部には縞線状文を施す。施文具8面16cm。内面丁寧な横位置磨き。	樽式
第16189 PL.83	5	赤生土器 甕	南西部床直上、 2号住居埋設上 口縁部1/8	口 底 (16.0) 高 — —	A / - / -	複合口縁。外面縦位、内面横位のやや粗い磨き。	樽式
第16189 PL.83	6	赤生土器 甕	西部北寄り床直上 ～床土10cm、 2号住居埋設上、 埋設上 胴部2/3	口 底 — 高 — —	A / - / -	括れ部に3連止め縞線波状文を、胴部上半に波状文を5帯施す。施文具8面15cm。外面一部に煤炭灰化物付着。内面丁寧な横位置磨き。	樽式
第16189 PL.83	7	赤生土器 甕	西部床直上 胴部1/4	口 底 — 高 — —	A / - / -	括れ部に縞線波状文を、胴部に波状文を複数帯施す。施文具8面15cm。外面一部に煤炭灰化物付着。外面胴部下半横位置磨き。内面横位置で後丁寧な横位置磨き。	樽式
第16189 PL.83	8	赤生土器 台付甕	北西部ベッド状 遺構床土9cm 台部欠損	口 底 11.7 高 — —	A / - / -	縞線波状文を複合口縁部に1帯、部分的ながら口縁～胴部に1帯施す。括れ部に3連止め縞線状文を、胴部上半に波状文を1帯施す。施文具10面12cm。外面下半及び内面共に横位置磨き。	樽式
第16189 PL.83	9	赤生土器 甕	P 6 床土上17cm 口縁部1/6	口 底 (15.8) 高 — —	C / - / -	外面縦位置で後一帯横位置磨き。内面横位置で後粗い横位置磨き。	赤生後期前期

採 掘 PL.No.	No.	種 類 器 種	出土位置 残存率	計測値	胎土/焼成/色調 石材・素材等	成 形 ・ 整 形 の 特 徴	備 考	
第161図 PL.83	10	赤生土器 甕	西部中央床直上 完存	口 9.0 高 19.7 底 6.9 一	A/-/-	外面は口縁～頸部縦位磨き。肩～底部横位磨き。内面 口縁～頸部縦位磨き。外面の口縁～頸部及び体部下平～ 底部に煤状灰化物付着。		
第161図 PL.83	11	赤生土器 甕	P 6 床直上14cm 口縁部片	口 (11.4) 高 一 底 一	A/-/-	外面縦位、内面横位の磨き。	樽式	
第161図 PL.83	12	赤生土器 甕	P 6 床直上17～ 19cm 口縁部1/8	口 (12.0) 高 一 底 一	A/-/-	外面縦位、内面横位の磨き。	樽式	
第161図 PL.84	13	赤生土器 甕	埋没土 口縁部片	口 一 高 一 底 一	A/-/-	複合口縁。口外唇及び口縁部に炭状工具による縦位の筋 目を施す。内面横位磨き。	樽式	
第161図 PL.84	14	赤生土器 甕	埋没土 底部完存	口 一 高 一 底 6.2 一	A/-/-	内外面共に横位磨き。	樽式	
第161図 PL.84	15	赤生土器 甕	北部中央床直上 14cm 底部完存	口 一 高 一 底 5.7 一	A/-/-	内外面共に横・斜位磨き。	樽式	
第161図 PL.84	16	赤生土器 鉢	南西部床直上 ほぼ完存	口 10.9 高 4.2 底 5.3 一	A/-/-	外面縦位、内面横・斜位の磨き。外面やや風化。	樽式	
第161図 PL.84	17	赤生土器 高杯	南西部床直上～ 埋没土 杯部完存	口 12.8 高 一 底 一	A/-/-	杯部内外面共に横位磨き。	樽式	
第161図 PL.84	18	赤生土器 高杯	北西隅ベッド状 遺構床直上 完存(脚部一部 欠損)	口 11.6 高 9.2 底 8.9 一	A/-/-	杯部内外面共に横位磨き。脚部外面上～下位縦位・基部 横位の磨き。内面横位の撫で。	樽式	
第161図 PL.84	19	赤生土器 高杯	北東部床直上 脚部完存	口 一 高 一 底 12.4 一	A/-/-	脚部外面縦位磨き、内面螺旋状の横位撫で。	樽式	
第161図 PL.84	20	赤生土器 高杯	西部～北西部 ベッド状遺構床 上14～44cm。 埋没土 脚部完存(杯部 欠損)	口 一 高 一 底 15.0 一	A/-/-	杯部と脚部との結合部位に錆的な粘土塊を押し当てた痕跡 が残存。脚部の透かし孔は5カ所。外面縦・横位の磨 き。内面螺旋状の横位撫で。		
第161図 PL.84	21	赤生土器 高杯	西部床直上 5cm 脚部完存	口 一 高 一 底 9.9 一	A/-/-	脚部外面縦位磨き、内面横位撫で。	樽式	
第161図 PL.84	22	赤生土器 高杯	埋没土 脚部上半完存	口 一 高 一 底 一	A/-/-	杯部内外面共に横位磨き。脚部外面縦位磨き、内面螺 旋状の横位撫で。	樽式	
第161図 PL.84	23	赤生土器 高杯	南部床上23cm 脚部上半完存	口 一 高 一 底 一	A/-/-	杯部内外面共に横位磨き。脚部外面縦位の丁寧な磨き、 内面横位撫で。	樽式	
第161図 PL.84	24	赤生土器 高杯	北部中央床直上 台部上半完存	口 一 高 一 底 一	A/-/-	杯部内面縦位、脚部外面縦位の磨き。	樽式	
第161図 PL.84	25	赤生土器 埴土 勾玉	埋没土 完存	長 (3.0) 厚 (3.0) 幅 1.9 重 10.9	A/-/-	下半部が残存。全体的に磨きかけの撫で。	樽式期	
第161図	26	灰器 杯蓋	表土 口縁部片	口 13.8 高 一 底 一	一	細砂粒/還元釉/灰 白	口ロク整形、回転右回り。天井部中ほどは回転へう削り。	
第161図 PL.84	27	石製品 砥石	南西部床直上 8cm 不明	長 (10.8) 厚 (10.0) 幅 (7.2) 重 726.2	一	粗粒輝石安山岩	正面は研ぎ減りにより内湾する。右翼は粗粒であり荒砥と とらえられる。	

鳴上1遺跡A区3面 4号住居遺物観察表

採 掘 PL.No.	No.	種 類 器 種	出土位置 残存率	計測値	胎土/焼成/色調 石材・素材等	成 形 ・ 整 形 の 特 徴	備 考
第166図 PL.84	1	赤生土器 甕	南東部床直上 6cm 口縁部一隅部上 1/4	口 (13.9) 高 一 底 一	A/-/-	口縁～頸部及び胴上半部に縦面波状文を各3帯施す。括れ 部に同工数の2～3連止め横状文を施す。施文長6筋8～ 12cm。外面全体に煤状灰化物付着。内面丁寧な横位磨き。	樽式
第166図 PL.84	2	赤生土器 甕	北東直下中央部 床直上 口縁部片	口 一 高 一 底 一	A/-/-	胴部上半に粗粒な縦面波状文を複数帯施す。施文長6筋 17cm。外面胴上半部縦位、下半部縦位磨き。内面横・斜 位磨き。外面胴上半部、内面下半部に煤状灰化物付着。	樽式
第166図 PL.84	3	赤生土器 甕	P24床直上15cm 口縁部完存	口 6.9 高 一 底 一	A/-/-	複合口縁。頸部に1～2連止めの細面波状文を1帯施す。 施文長5筋10cm。外面口縁部縦位撫で、内面横位磨き。	樽式
第166図 PL.84	4	赤生土器 甕	埋没土 口縁部片	口 一 高 一 底 一	A/-/-	外面は複合口縁部縦位撫で、以下縦位磨き。内面横位磨 き。	樽式
第166図 PL.84	5	赤生土器 甕	P 6 埋没土 口縁部1/4	口 (21.0) 高 一 底 一	A/-/-	複合口縁部上面に棒状工具による2列の連続刻目を施す。 外面やや風化。内面横位磨き。内外面共に浅黄褐色。	樽式
第166図 PL.84	6	赤生土器 甕	砂1埋没土 口縁部片	口 (18.0) 高 一 底 一	A/-/-	複合口縁。外面横位撫で、内面縦位磨き。	樽式
第166図 PL.84	7	赤生土器 鉢	南部中央床直上 12cm 口縁部1/2底部 完存	口 (14.0) 高 6.6 底 6.1 一	D/-/-	外面縦位撫で後、横位撫で。内面縦位撫で。内外面共 にやや乾熱風化。	樽式
第166図 PL.84	8	赤生土器 高杯	中央～北部床直 上、埋没土 口縁部1/2	口 (21.0) 高 一 底 一	A/-/-	内外面共に横位磨き。	樽式
第166図 PL.84	9	赤生土器 高杯	南部中央床直 上、埋没土 口縁部1/5	口 (17.5) 高 一 底 一	A/-/-	外面横位磨き。内面上部横位、下半部斜位磨き。	樽式

遺物観察表

採掘 PL.No.	No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
				口 底	高 —	厚 —			
第1666E PL.84	10	赤生土器 高杯	南部中央床上13cm 杯部下半～脚部 上半完存	口 底	— —	— —	A/-/-	杯部内外面共に横位磨き。脚部外面縦位磨き、内面横位磨き。	
第1666E PL.84	11	赤生土器 高杯	P6床上20cm 脚部上半完存	口 底	— —	— —	A/-/-	外面縦位磨き、内面横位磨き。	樽式
第1666E PL.84	12	赤生土器 高杯	中央部床上19cm 脚部上半完存	口 底	— —	— —	A/-/-	4単位の透かし孔。脚部外面縦・斜位磨き、内面横位磨き。	
第1666E PL.84	13	赤生土器 紡輪	P6床上24cm 完存	径	4.4	1.5 43.8	A/-/-	脚部周囲部1/2は割落破損。径約10mmの軸穴が穿孔されている。	樽式期

鴨上1遺跡B区3面 505号住居遺物観察表

採掘 PL.No.	No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
				口 底	高 —	厚 —			
第1718E PL.84	1	赤生土器 甕	妙1床直上 口縁部1/4	口 底	(16.0)	高 —	A/-/-	縹緋波状文を複合口縁部に1帯、口縁～脚部上半にかけて4帯以上施す。施文具10面16mm。内面丁寧な横位磨き。内外面共にやや乾熱風化。	樽式
第1718E PL.84	2	赤生土器 甕	西壁直下中央部 床直上、埋没上 口縁部1/6	口 底	(16.0)	高 —	A/-/-	縹緋波状文を複合口縁部に1帯、口縁～頸部に3帯施す。施文具7面12mm。内面丁寧な横位磨き。	樽式
第1718E PL.84	3	赤生土器 甕	北西部床上10cm 口縁部片	口 底	—	高 —	A/-/-	縹緋波状文を複合口縁部に1帯、口縁～頸部に複数帯施す。施文具7面15mm。内面丁寧な横位磨き。	樽式
第1718E PL.84	4	赤生土器 小型台付甕	東部床上14cm、 西部床直上、埋 没上 口縁部～底部 3/4	口 底	9.8 7.2	11.6 —	A/-/-	口縁部に粗雑な縹緋波状文を1帯、頸部に2連止み縹緋文を施す。施文具7～8面11～13mm。外面割上半部縦位、下半部縦位の磨き状磨き。内面口縁～頸部縦位の磨き。	樽式
第1718E PL.84	5	赤生土器 甕	南東部床上 23cm、南西部床 上8cm、埋没上 口縁部1/4	口 底	(18.0)	高 —	A/-/-	2段の複合口縁部に篋状工具による縦位の連続刻目を施す。外面縦刷毛目、内面横位磨き。	樽式
第1718E PL.84	6	赤生土器 甕	南東部床上27cm 底部完存	口 底	—	高 7.0	A/-/-	外面縦位磨き、内面横位磨き。	樽式
第1718E PL.84	7	赤生土器 甕	中央部南寄り床 上21cm 底部完存	口 底	—	高 4.0	A/-/-	内外面共に丁寧な磨き。	樽式
第1718E PL.84	8	赤生土器 高杯	中央東寄り床上 14cm 製部片	口 底	—	高 —	A/-/-	杯部内外面と脚部外面赤色塗彩。脚部内面縦位横位の磨き。	樽式
第1718E PL.84	9	赤生土器 高杯	P9床上44cm 脚部上半完存	口 底	—	高 —	A/-/-	杯部内面斜位、脚部外面縦位の磨き。脚部内面横位磨き。	樽式
第1718E PL.84	10	須恵器 杯	埋没上 口縁部片	口 底	13.4	高 —	—	細砂粒/還元焰/灰 口ロコ整形。	
第1718E PL.84	11	須恵器 杯	埋没上 底部片	口 底	—	高 7.2	—	細砂粒/還元焰/灰 口ロコ整形、回転右回り。底部は回転糸切り無調整。	
第1718E PL.84	12	須恵器 鉢	埋没上 口縁部片	口 底	11.8	高 —	—	細砂粒/還元焰/灰 口ロコ整形。	
第1718E PL.84	13	須恵器 長頸壺	埋没上 底部1/4	口 底	—	高 6.4	6.8	細砂粒・粗砂粒/ 還元焰/灰 口ロコ整形、回転方向不詳。底部はヘラナデ、高台は貼付。	

鴨上1遺跡B区3面 508号住居遺物観察表

採掘 PL.No.	No.	種類 器種	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
				口 底	高 —	厚 —			
第1762E PL.84	1	赤生土器 甕	南隅床直上、埋 没上 口縁部完存	口 底	14.0	高 —	A/-/-	やや乱雑な縹緋波状文を複合口縁部に1帯、口縁～頸部に3～4帯施す。括弧部には縹緋文を施文。施文具5面10mm。外面口縁部に煤状炭化物付着。内面丁寧な横位磨き。	樽式
第1762E PL.84	2	赤生土器 甕	南隅床直上 口縁部完存	口 底	14.1	高 —	A/-/-	やや粗雑な縹緋波状文を複合口縁部～頸部にかけて3帯施す。括弧部には縹緋文を施文。施文具6面19mm。外面頸部に煤状炭化物付着。内面丁寧な横位磨き。	樽式
第1762E PL.84	3	赤生土器 甕	貯蔵穴埋没上 口縁部片	口 底	(9.0)	高 —	A/-/-	縹緋波状文を複合口縁部～頸部にかけて施す。内面丁寧な横位磨き。	樽式
第1762E PL.84	4	赤生土器 甕	南隅四隅床上10 cm 底部完存	口 底	—	高 6.2	A/-/-	内外面共に横位磨き。内面に煤状炭化物付着。	樽式
第1762E PL.84	5	赤生土器 甕	埋没上 口縁部片	口 底	—	高 —	A/-/-	やや粗雑な縹緋波状文を複合口縁部～頸部にかけて施す。内面丁寧な横位磨き。	樽式
第1762E PL.85	6	赤生土器 甕	上土2埋没上 口縁部片	口 底	—	高 —	A/-/-	縹緋波状文を複合口縁部と口縁～頸部に各1帯施す。括弧部には縹緋文を施文。施文具9面16mm。内面丁寧な横位磨き。	樽式
第1762E PL.85	7	赤生土器 台付甕	埋没上 脚部1/2	口 底	—	高 —	A/-/-	脚部外面縦位磨き、内面横位磨き。	樽式

種 別 PL.No.	No.	種 類 器 種	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備 考
				口 底	(計測値)	高 —			
第17609 PL.85	8	赤生土器 壺	南隅床土7cm、 埋没土 口縁部～胴部 1/3	口 底	(19.8)	高 —	A / - / -	複合口縁。括れ部に3～5進止め彫刻状文を施し、以下の胴部上半に帯彫刻状文と2帯の波状文を施す。施文具は、羽状文が13部22cm、扇状文・波状文が11部15cm。外面口縁～胴部縦位刷毛目後直磨で、胴部下半横位直磨で後横位直磨き。内面磨き状の横位直磨で、胴部下半に煤状炭化物付着。	樽式
第17609 PL.85	9	赤生土器 壺	P20床土17cm、 貯蔵穴床土39cm 口縁部1/4	口 底	(18.0)	高 —	A / - / -	複合口縁部に棒状工具による縦位の連続刻目文を3帯に施す内外面共に横位直磨き。器色は浅黄褐色。	樽式
第17609 PL.85	10	赤生土器 壺	土坑2埋没土 胴部片	口 底	—	高 —	A / - / -	外面横位直磨き、内面横位直磨で。	樽式
第17609 PL.85	11	赤生土器 壺	土坑2埋没土 底部完存	口 底	—	高 —	A / - / -	外面横位直磨き、内面横位直磨で。	樽式
第17609 PL.85	12	赤生土器 壺	伊2床直上 胴部片	口 底	—	高 —	D / - / -	胴部に帯彫刻状文・波状文・横線文を施す。施文具12部22cm。内外面横位直磨き。破片下部に二次的被熱による黒化と煤の吸着あり。	樽式
第17609 PL.85	13	赤生土器 高杯	北隅床直上 ほぼ完存	口 底	10.7 12.2	高 —	A / - / -	胴部は上下2段に各4単位の透かし孔を交互に穿つ。杯部内外面共に横位直磨き。胴部外面縦位と底部横位の直磨き、内面横位直磨で、胴部内外面に煤状炭化物付着。	樽式
第17609 PL.85	14	赤生土器 高杯	北西壁直下中央 部床直上 胴部完存	口 底	9.8	高 —	A / - / -	胴部外面縦位直磨き、内面横位直磨で。外面下半部に煤状炭化物付着。	樽式
第17609 PL.85	15	赤生土器 高杯	土坑2埋没土 胴部完存	口 底	—	高 —	A / - / -	胴部外面縦位直磨き、内面横位直磨で。	樽式
第17609 PL.85	16	赤生土器 ミニチュア 土器	土坑2埋没土 ほぼ完存	口 底	2.8 2.0	高 —	A / - / -	手捏むによるミニチュアの裏形土器で、内外面に指押え痕が残存。	樽式期
第17609 PL.85	17	赤生土器 紡輪	P18床土57cm 完存	径	4.4	厚 25.4	A / - / -	上下面共に丁寧な直磨き。径約5mmの軸穴が穿孔されている。	樽式期
第17609 PL.85	18	赤生土器 紡輪	北西隅ベッド状 遺構床直上 完存	径	4.6	厚 39.5	A / - / -	上下面共に丁寧な直磨き。径約6mmの軸穴が穿孔されている。	樽式期
第17609 PL.85	19	赤生土器 土玉	伊1床直上 完存	径	1.1	— 重	A / - / -	数珠玉状の土製品。孔径0.2×直径1.0cm。	樽式期

鳴上1遺跡B区3面 514号住居遺物観察表

種 別 PL.No.	No.	種 類 器 種	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備 考
				口 底	(計測値)	高 —			
第179 PL.85	1	赤生土器 甕	埋没土 口縁部1/8	口 底	(13.4)	高 —	A / - / -	帯彫の波状文を口縁部に2帯、括れ部に横線文を1～2帯、胴部に波状文を施す。施文具6部12cm。内面丁寧な横位直磨き。	樽式
第179	2	土師器 土杯	埋没土 口縁部片	口 底	10.2	(6.4)	—	細砂粒/良好/明赤褐 口縁部は横ナデ。体部から底部は手持ちヘラ削り。内面は体部から口縁部に斜放射状ヘラ磨き。	樽式
第179	3	土師器 土杯	西部床直上、埋 没土	口 底	11.4	—	5.4	細砂粒/良好/明赤褐 口縁部は横ナデ。体部は七分がナデ、下半から底部は手持ちヘラ削り。内面は体部から口縁部に斜放射状ヘラ磨き。	樽式
第179	4	土師器 甕	埋没土 口縁部片	口 底	12.4	—	—	細砂粒/良好/橙 口縁部は横ナデ、体部ヘラ削り。内面体部は斜放射状ヘラ磨き。	樽式
第179	5	土師器 甕	埋没土 口縁部片	口 底	13.8	—	—	細砂粒/良好/赤褐 口縁部は横ナデ。体部と底部はヘラ削り。内面はヘラ磨きか。器面磨滅のため単位不明。	樽式
第179	6	土師器 甕	埋没土 口縁部片	口 底	16.8	—	—	細砂粒/良好/明赤褐 口縁部から胴部は横ナデ、胴部はヘラナデ。内面は胴部がヘラナデ。	樽式
第179 PL.85	7	須恵器 甕	埋没土 底部	径	6.0 5.8	厚 —	0.9	細砂粒/還元焼/黄灰 表裏ともナデ。中央の孔径0.7cm、周囲の孔径0.4cm。	樽式

鳴上1遺跡B区3面 515号住居遺物観察表

種 別 PL.No.	No.	種 類 器 種	出土位置 残存率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備 考
				口 底	(計測値)	高 —			
第18209 PL.85	1	赤生土器 甕	P7埋没土 口縁部1/5	口 底	(12.2)	高 —	A / - / -	帯彫の波状文を複合口縁部に1帯、口縁～胴部に3帯施す。括れ部に2進止め彫刻状文を、胴部に波状文を施す。施文具11部13cm。内外面共に被熱風化。	樽式
第18209 PL.85	2	赤生土器 台付甕	P7埋没土 口縁部片	口 底	—	高 —	A / - / -	帯彫の波状文を複合口縁部及び口縁～胴部に1帯施す。括れ部に2進止め彫刻状文を、胴部に波状文を施す。施文具9部12cm。外面一部に煤状炭化物付着。内面丁寧な横位直磨き。	樽式
第18209 PL.85	3	赤生土器 甕	P9・10埋没土 口縁部1/5	口 底	(21.4)	高 —	A / - / -	複合口縁部に棒状工具による縦位の連続刻目文を2帯施す。内面横位直磨き。	樽式
第18209 PL.85	4	赤生土器 壺	P10埋没土、表 探 口縁部1/4	口 底	(13.0)	高 —	A / - / -	複合口縁。外面横位直磨で、内面丁寧な横位直磨き。	樽式
第18209 PL.85	5	赤生土器 壺	西隅床直上 胴部～底部2/3	口 底	—	高 —	A / - / -	内外面共に丁寧な横位直磨き。	樽式
第18209 PL.85	6	赤生土器 高杯	埋没土 胴部1/2	口 底	—	高 —	F / - / -	丸棒状の長い脚部を持つ。縦位の丁寧な直磨き。器色は明赤褐色。	樽式

遺物観察表

鴨上1遺跡B区3面 516号住居遺物観察表

種別 PL.No.	no.	種類	出土位置 残存率	計測値	胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
第18509 PL.85	1	赤生土器 甕	埋没土 口縁～胴部1/3	口 底 (16.2) 高 — —	A/—/—	縞縞波状文を複合口縁部に1帯、口縁～胴部に3帯施文し、胴上半部にも施す。括れ部に3連止め縞状文を施文。施文具8面18cm。内面横位施磨き。	樽式
第18509 PL.85	2	赤生土器 小型甕	埋没土 口縁～胴部1/3	口 底 (11.6) 高 — —	A/—/—	縞縞波状文を複合口縁部と口縁～胴部および胴上半部に各1帯施文。括れ部に3連止め縞状文を施文。施文具7面10cm。外面やや被熱風化。内面横位施磨き。	樽式
第18509 PL.85	3	赤生土器 小型甕	北西隅床直上、 埋没土 口縁部～胴部 1/2	口 底 9.6 高 — —	A/—/—	やや歪んだ器形。縞縞波状文を口縁部2帯、胴上半部に3帯施す。括れ部に2連止め縞状文を施文。施文具5面6cm。内外面共にやや被熱風化。内面横位施磨き。	樽式
第18509 PL.85	4	赤生土器 小型甕	北西隅床直上、 埋没土 口縁部～底部 1/2	口 底 9.2 高 — —	A/—/—	やや乱雑な縞縞波状文を複合口縁部と口縁～胴部に各1帯、胴上半部に3帯施す。括れ部に2連止め縞状文を施文。施文具7面9cm。外面胴下半部縦位施磨き。内面横位施磨き。内外面共にやや被熱風化。	樽式
第18509 PL.86	5	赤生土器 小型甕	北西隅床直上、 埋没土 口縁部～胴上半 1/4	口 底 (12.6) 高 — —	A/—/—	縞縞波状文を複合口縁部と口縁～胴部に各1帯、胴上半部に3帯施す。括れ部に2連止め縞状文を施文。施文具6面12cm。外面胴下半部縦位施磨き。内面横位施磨き。外面胴下半部と内面口縁部の一部に煤状炭化物付着。	樽式
第18509 PL.86	6	赤生土器 小型甕	北西隅床直上、 埋没土 口縁～胴部1/3	口 底 (11.8) 高 — —	A/—/—	縞縞波状文を低平な複合口縁部と口縁～胴部に各1帯、胴上半部に複数帯施す。括れ部に3連止め縞状文を施文。施文具8面12cm。外面胴下半部縦位施磨き。内面丁寧な横位施磨き。外面口縁部の一部に煤状炭化物付着。	樽式
第18509 PL.86	7	赤生土器 甕	北西隅床直上、 埋没土 胴部～胴上半部 片	口 底 — 高 — —	G/—/—	括れ部に3連止めの縞縞波状文を施文。施文具10面12cm。胴部～胴部にかけてR1縞文を横位多段に施文。内外面共に横位施磨き。	樽式と吉ヶ谷 津式の折衷
第18509 PL.86	8	赤生土器 甕	北西隅床直上、 埋没土 胴部片	口 底 — 高 — —	G/—/—	7と同一個体。R1縞文を横位多段に施文後、縞縞工具による同突文を付したボタン状貼付文を施す。	樽式と吉ヶ谷 津式の折衷
第18509 PL.86	9	赤生土器 甕	中央部床直上 底部完存	口 底 3.4 高 — —	A/—/—	外面磨き状の横位施磨で、内面横位施磨で。	樽式
第18509 PL.86	10	赤生土器 高杯	伊味直上、埋没土 上、掘り方埋没土 杯部3/4	口 底 12.2 高 — —	A/—/—	内外面共に赤色塗彩およびやや被熱風化。	樽式
第18509 PL.86	11	赤生土器 高杯	埋没土 口縁部片	口 底 — 高 — —	A/—/—	複合口縁。内外面共にやや被熱風化。	吉ヶ谷津式
第18509 PL.86	12	赤生土器 高杯	埋没土 口縁部片	口 底 — 高 — —	A/—/—	内外面共に丁寧な横位施磨き。	樽式
第18509 PL.86	13	赤生土器 高杯	中央～北西部床直上、埋没土 胴部ほぼ完存	口 底 9.6 高 — —	A/—/—	外面縦位施磨き。内面横位施磨で。	樽式
第18509 PL.86	14	赤生土器 紡輪	北東部床直上 完存	径 4.6 厚 重 28.2	A/—/—	上下面共に丁寧な磨き。径約6mmの軸穴が穿孔されている。	樽式期
第18509 PL.86	15	赤生土器 紡輪	北東部床直上 1/2	径 5.1 厚 重 19.1	A/—/—	上下面共に丁寧な磨き。下面側は輪切り状に欠損。径約6mmの軸穴が穿孔されている。	樽式期
第18509 PL.86	16	割片石器 石礫	北部中央床 16cm 完形	長幅 3.9 厚 重 1.8 0.5 2.1	—/—/流紋岩	押圧割離により整形する。	凸基有蓋蓋

鴨上1遺跡B区3面 517号住居遺物観察表

種別 PL.No.	no.	種類	出土位置 残存率	計測値	胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
第18809 PL.86	1	赤生土器 甕	埋没土 口縁部～胴上半 完存	口 底 (12.8) 高 — —	A/—/—	やや乱雑な縞縞波状文を低平な複合口縁部に1帯、口縁～胴部に2帯施す。括れ部に2連止め縞状文を、胴上半部に波状文を3帯施文。施文具5面7cm。外面やや被熱風化。内面丁寧な横位施磨き。	樽式
第18809 PL.86	2	赤生土器 甕	北東部床直上 口縁部～胴上半 完存	口 底 13.3 高 — —	A/—/—	縞縞波状文を複合口縁部に1帯、口縁～胴部に2帯施す。括れ部に3連止め縞状文を、胴上半部に波状文を複数帯施文。施文具13面14cm。内面横位施磨き。	樽式
第18809 PL.86	3	赤生土器 甕	中央部北寄り 床に6・14cm、 515号住居床直上 口縁部～胴上半 3/4	口 底 14.0 高 — —	A/—/—	縞縞波状文を複合口縁部及び口縁～胴部に各1帯施す。括れ部に3連止め縞状文を、胴上半部に波状文を1帯施文。施文具9面11cm。外面やや被熱風化。内面丁寧な横位施磨き。	樽式
第18809 PL.86	4	赤生土器 小型甕	中央部～西壁床 上10～17cm、 埋没土 胴部～底部完存	口 底 5.1 高 — —	A/—/—	括れ部に3連止め縞縞波状文を、胴上半部に波状文を1帯施文。口縁～胴部は波状文を複数帯施文。施文具9面11cm。内外面共に横位施磨き。外面やや被熱風化。	樽式
第18809 PL.86	5	赤生土器 甕	北東部床直上 胴上半部1/3	口 底 — 高 — —	A/—/—	括れ部に3連止め縞縞波状文を、胴上半部に羽状文を3帯施文。施文具8面10cm。内外面共に横位施磨き。外面全体及び内面一部に煤状炭化物付着。	樽式
第18809 PL.86	6	赤生土器 甕	埋没土 胴部片	口 底 — 高 — —	A/—/—	縞縞波状文を胴上半部に3帯、口縁～胴部は複数帯施文か、括れ部に2連止め縞状文を施文。施文具5面9～11cm。内面横位施磨き。内外面共に煤状炭化物付着。	樽式

種 別 PL.No.	No.	種 類 器 種	出土位置 残 存 率	計測値	胎土/焼成/色調 石材・素材等	成 形 ・ 整 形 の 特 徴	備 考	
第1888号 PL.86	7	赤生土器 台付甕	P4埋没上 口縁部1/8	口 底 — 高 — — — — —	(11.2) 高 — — — — —	A / - / -	括れ部に帯幅襷文を施文。施文具8歯10mm。外面横位襷で、内面横位襷磨き。	樽式
第1888号 PL.86	8	赤生土器 台付甕	埋没上 胴上部ほぼ底完	口 底 — 高 — 10.6 高 —	(10.6) 高 — — — — —	A / - / -	内面底部横位襷磨き。胴部外面縦位襷磨き、内面横位刷毛目。胴部外面やや被熱風化。	樽式
第1888号 PL.86	9	赤生土器 甕	中央部北寄り床 上6cm、埋没上 胴下半～底部完	口 底 — 高 — 9.0 高 —	(9.0) 高 — — — — —	D / - / -	外面横位刷毛目後、横位襷磨き。内面横位刷毛目後、粗い横位襷磨き。内面やや風化。	樽式
第1888号 PL.86	10	赤生土器 甕	北西壁直下北寄 り床土20cm、埋 没上 口縁部～頸部 1/2	口 底 (15.1) 高 — — — — —	(15.1) 高 — — — — —	D / - / -	複合口縁。括れ部に2連止め帯幅襷文を、肩部に帯幅羽 状文を施文。施文具9歯15mm。頸部外面縦位襷で、内面 横位襷磨き。	樽式
第1888号 PL.86	11	赤生土器 鉢	北胴床土8cm、 埋没上 口辺～底部1/3	口 底 (13.9) 高 6.4 — (4.7) 高 —	(13.9) 高 6.4 — (4.7) 高 —	A / - / -	外面口辺部・底部横位、体部縦位の襷磨き。内面縦位襷磨き。	樽式
第1888号 PL.86	12	赤生土器 高杯	北西壁直下北寄 り床土13cm 杯下半～結合部 完	口 底 — 高 — — — — —	(11.2) 高 — — — — —	A / - / -	杯部内外面共に丁寧な横位襷磨き。結合部外面縦位襷磨き、 内側に胴状の粘土塊を押し込んだ成形痕あり。	樽式
第1888号 PL.86	13	赤生土器 高杯	南部床直上 胴部ほぼ完	口 底 — 高 — 11.3 高 —	(11.3) 高 — — — — —	A / - / -	外面縦位襷磨き、内面横位襷で。	樽式
第1888号 PL.86	14	赤生土器 高杯	南内溝直上17cm 胴部完	口 底 — 高 — 10.2 高 —	(10.2) 高 — — — — —	A / - / -	外面丁寧な横位襷磨き、内面横位襷で。	樽式
第1888号 PL.86	15	赤生土器 器台	北部床土15cm 胴部完	口 底 — 高 — 10.7 高 —	(10.7) 高 — — — — —	A / - / -	胴部4単位の透かし孔。外面上半部縦位、下半部横位の襷 磨き。内面横位襷で。外面やや被熱風化。全体的に僅か な煤状炭化物付着。	樽式
第1888号 PL.86	16	赤生土器 紡輪	北西壁直下北寄 り床直上	径 4.7 厚 1.0 4.7 26.4	(4.7) 厚 1.0 (4.7) 26.4	A / - / -	片面の中央孔部周囲に細かい刺突文を施す。上下面共に丁 草な襷磨き及び煤状炭化物付着。径約7mmの軸六孔が穿孔 されている。	樽式期
第1888号 PL.86	17	赤生土器 紡輪	南内溝ベッド状 遺構床直上	径 5.0 厚 1.0 5.0 30.6	(5.0) 厚 1.0 (5.0) 30.6	A / - / -	上下面共に襷磨き。径約6mmの軸六孔が穿孔されている。	樽式期

鴨上1遺跡B区3面 518号住居遺物観察表

種 別 PL.No.	No.	種 類 器 種	出土位置 残 存 率	計測値	胎土/焼成/色調 石材・素材等	成 形 ・ 整 形 の 特 徴	備 考	
第1949号 PL.87	1	赤生土器 ほぼ底完	北壁中央直下床 土16cm ほぼ底完	口 底 13.4 高 17.6 — 7.2 高 —	(13.4) 高 17.6 — (7.2) 高 —	A / - / -	帯幅波状文を複合口縁部と口縁～頸部に1帯施す。括れ部 に3連止め襷文を、胴上半部に波状文を3帯施す。施文 具8歯15mm。内外面共に横位襷磨き。やや被熱風化。	樽式
第1949号 PL.87	2	赤生土器 甕	中央部南東寄り 床土6・9cm、 埋没上 口縁～頸部2/3	口 底 16.5 高 — — — — —	(16.5) 高 — — — — —	A / - / -	やや乱雑な帯幅波状文を複合口縁部に1帯、口縁～頸部に 3帯施す。括れ部に3連止め襷文を施文。施文具6歯 15mm。内外面共に被熱風化。煤状炭化物付着。	樽式
第1949号 PL.87	3	赤生土器 甕	埋没上 口縁部1/4	口 底 (15.0) 高 — — — — —	(15.0) 高 — — — — —	A / - / -	帯幅波状文を複合口縁部に1帯、口縁～頸部に3帯施す。 括れ部には襷文を施文。施文具8歯15mm。内面丁寧な横 位襷磨き。外面やや被熱風化。	樽式
第1949号 PL.87	4	赤生土器 小型甕	土坑4床土30cm 完	口 底 9.3 高 9.5 — 5.2 高 —	(9.3) 高 9.5 — (5.2) 高 —	A / - / -	やや乱雑な帯幅波状文を複合口縁部・口縁～頸部・胴上半 部に各1帯施す。括れ部には3連止め襷文を施文。施文 具8歯10mm。内面横位襷磨き。外面やや被熱風化。	樽式
第1949号 PL.87	5	赤生土器 甕	埋没上 口縁部1/8	口 底 — 高 — — — — —	(14.9) 高 — — — — —	A / - / -	やや乱雑な帯幅波状文を口縁～頸部に2帯施す。括れ部 に襷文を施文。施文具8歯15mm。内面横位襷磨き、外面被 熱風化。	樽式
第1950号 PL.87	6	赤生土器 甕	中央部床土20・ 35cm 口縁部～胴部 1/2	口 底 — 高 — — — — —	(14.9) 高 — — — — —	A / - / -	外面頸部縦位、胴部横・斜位の襷で。内面横位襷磨き。 内外面胴部の一部に煤状炭化物付着。	樽式期
第1950号 PL.87	7	赤生土器 小型台付甕	埋没上 ほぼ底完	口 底 9.9 高 — 7.6 高 —	(9.9) 高 — (7.6) 高 —	A / - / -	やや乱雑な帯幅波状文を複合口縁部と胴上半部に各1帯施 す。括れ部には5連止め襷文を施文。施文具9歯16mm。 内面横位襷磨き。一部に煤状炭化物付着。外面被熱風化。 胴部外面縦・横位襷磨き、内面横位襷で。	樽式
第1950号 PL.87	8	赤生土器 小型台付甕	埋没上 口縁部～胴上半 1/5	口 底 (10.0) 高 — — — — —	(10.0) 高 — — — — —	A / - / -	括れ部に3連止め帯幅襷文を、胴上半部にやや乱雑な波 状文を2帯施す。施文具7歯11mm。外面複合口縁部横位襷 で、頸部縦刷毛目。内面横位襷磨き。下半部やや被熱風化。	樽式
第1950号 PL.87	9	赤生土器 小型台付甕	埋没上 口縁部片	口 底 — 高 — — — — —	(10.0) 高 — — — — —	A / - / -	やや乱雑な帯幅波状文を口縁～頸部及び胴部上半部に各1帯 施す。括れ部には2連止め襷文を施文。施文具7歯11mm。 内外面共に横位襷磨き。	樽式
第1950号 PL.87	10	赤生土器 台付甕	埋没上 底部～胴部ほぼ 完	口 底 — 高 — (7.8) 高 —	(7.8) 高 — — — — —	A / - / -	胴部外面縦位襷磨き、内面横位襷で。結合部外面に煤 状炭化物付着。	樽式
第1950号 PL.87	11	赤生土器 台付甕	埋没上 胴上部1/2	口 底 — 高 — (10.0) 高 —	(10.0) 高 — — — — —	A / - / -	胴部外面上半部縦位、下半部横位の襷磨き。内面横位襷 で。外面一部に煤状炭化物付着。	樽式
第1950号 PL.87	12	赤生土器 台付甕	埋没上 胴上部ほぼ完	口 底 — 高 — (9.2) 高 —	(9.2) 高 — — — — —	A / - / -	胴部外面上半部縦位、下半部横位の襷磨き。内面被熱風 化。	樽式
第1950号 PL.87	13	赤生土器 台付甕	埋没上 胴上部1/4	口 底 — 高 — (8.6) 高 —	(8.6) 高 — — — — —	A / - / -	胴部外面縦位、内面横位の襷磨き。	樽式

遺物観察表

種 別 PL.No.	No.	種 類 器 種	出土位置 残 存 率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成 形 ・ 整 形 の 特 徴	備 考	
				口 底	— 高	— 重				
第19596 PL. 14	14	弥生土器 台付甕	中央部東寄り床 上11cm 底部～脚台部分 完存	口 底	— 高	— 重	A / - / -	外面縦位磨磨き、内面やや粗雑な横位磨。脚台部外面縦位磨き、内面横位磨。		
第19596 PL. 15	15	弥生土器 甕	中央部床直上16cm 底部完存	口 底	— 高	— 重	A / - / -	内外共に横位磨。	樽式	
第19596 PL. 16	16	弥生土器 甕	埋没上 頸部片	口 底	— 高	— 重	F / - / -	胴部に4 連止め縹縹状文と波状文を施す。施文具8 箇14cm。内面横位磨。	樽式	
第19596 PL. 17	17	弥生土器 小型甕	埋没上、貯蔵穴 埋没上 胴下半～底部完 存	口 底	— 高	— 重	A / - / -	外面横位磨磨き、内面横位磨。	樽式	
第19596 PL. 18	18	弥生土器 鉢	中央部北寄り床 上33cm 完存	口 底	11.7 高	5.1 重	A / - / -	内外共に横位磨。	樽式	
第19596 PL. 19	19	弥生土器 片口	埋没上 片口片	口 底	— 高	— 重	A / - / -	内面接合部に押さえ痕。内外共にやや風化。	樽式	
第19596 PL. 20	20	弥生土器 器台	埋没上 脚台部分	口 底	— 高	— 重	A / - / -	外面斜位磨磨き、内面横位磨。		
第19596 PL. 21	21	弥生土器 紡輪	北側隅ベッド状 遺構床直上7cm 完存	径	4.8 厚	1.4 40.8 重	A / - / -	上下面共に磨磨き。両面共に中央孔部を挟んでシメトリーに2ないし3箇の刺突文を施す。径約7mmの軸穴が穿孔されている。	樽式附	
第19596 PL. 22	22	須恵器 土師器	埋没上 口縁部片	口 底	16.8 高	— 重	—	細砂粒/還元焰/灰 ロクロ整形。		
第19596 PL. 23	23	土師器 器台	埋没上 脚部	口 底	— 高	9.4 重	—	細砂粒/良好/赤い黄橙	器台端部は平坦面をつくる。外面は放射状へら磨き、内面はへらナデ。	
第19596 PL. 24	24	土師器 器台	埋没上 底部	口 底	— 高	— 重	—	細砂粒/良好/橙	脚台上下2段に透孔が各4方所。脚台端部は平坦面をつくる。外面は放射状へら磨き、内面はへらナデ。	
第19596 PL. 25	25	鉄製品 薄鉄板	東部隅ベッド状 遺構東端直上 破片	長 幅	2.1 1.8 厚 重	0.4 1.20 +0.58 重	- / - / -	幅1.3cm程の薄い鉄板、平直で刃等の形状も見られない。2破片とも同一個体と考えられるが両端とも劣化破損し直接接合はできない。		

鳴上1遺跡B区3面 519号住居遺物観察表

種 別 PL.No.	No.	種 類 器 種	出土位置 残 存 率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成 形 ・ 整 形 の 特 徴	備 考
口 底	— 高	— 重							
第19608 PL. 1	1	土師器 鉢	埋没上 底部～体部下位	口 底	3.6 高	— 重	—	細砂粒/良好/橙	底部はへら削り。体部は内外面ともへらナデ。

鳴上1遺跡B区3面 521号住居遺物観察表

種 別 PL.No.	No.	種 類 器 種	出土位置 残 存 率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成 形 ・ 整 形 の 特 徴	備 考	
口 底	— 高	— 重								
第19898 PL. 1	1	弥生土器 甕	南部床直上 口縁部1/4	口 底	(13.4) 高	— 重	A / - / -	複合口縁、やや乱雑な縹縹波状文を口縁～頸部に3帯施す。括れ部に2連止め縹縹状文を施文。施文具7箇11cm。外面縦位磨。内面横位磨。	樽式	
第19898 PL. 2	2	弥生土器 台付甕	北部床直上 口縁部1/4	口 底	(14.8) 高	— 重	A / - / -	複合口縁、乱雑な縹縹波状文を口縁～頸部に2帯、胴部上半に2帯施す。括れ部に4連止め縹縹状文を5単位に施文。施文具7箇11cm。外面やや焼熱風化、内面横位磨。	樽式	
第19898 PL. 3	3	弥生土器 台付甕	北部床直上 ほぼ完成	口 底	18.2 11.5 高	21.1 重	A / - / -	複合口縁、縹縹波状文を口縁～頸部および胴部上半に2帯施す。括れ部に4連止め縹縹状文を5単位に施文。施文具9箇12cm。外面胴部下半及び内面横位磨。脚台部外面縦位磨磨き、内面横位磨。内外共にやや焼熱風化。	樽式	
第19900 PL. 4	4	弥生土器 台付甕	東部床直上 脚台部4/5	口 底	— 高	— 重	A / - / -	外面横・縦位磨磨き、内面横位磨。外面一部に煤炭灰化物付着。		
第19900 PL. 5	5	弥生土器 小型甕	埋没上 口縁部1/4	口 底	(9.8) 高	— 重	A / - / -	複合口縁、乱雑な縹縹波状文を口縁～頸部と胴部上位に各1帯施す。括れ部に2連止め縹縹状文を施文。施文具9箇12cm。内面口唇下7mmに粗理地み込みあり。外面やや焼熱風化、内面横位磨。	樽式	
第19900 PL. 6	6	弥生土器 甕	南部床直上 底部1/6	口 底	(10.3) 高	— 重	C / - / -	外面縦位磨磨き、内面横位磨。外面一部に煤炭灰化物付着。	樽式	
第19900 PL. 7	7	弥生土器 高杯	東部床直上～床 上7cm 杯部ほぼ完成	口 底	13.8 高	— 重	A / - / -	外面縦・斜位磨磨き、内面やや粗い横位磨。		
第19900 PL. 8	8	弥生土器 紡輪	東部床直上10cm 完形	径	3.8 厚	1.3 25.5 重	A / - / -	片面に五芒星状の磨磨き。各面共に丁寧な磨磨きで光沢を帯びる。径約8mmの軸穴が穿孔されている。	樽式附	
第19900 PL. 9	9	弥生土器 紡輪	東部床直上 完形	径	4.3 厚	1.6 31.2 重	A / - / -	各面共に丁寧な磨磨き。焼熱によると想定されるひび割れあり。径約7mmの軸穴が穿孔されている。	樽式附	
第19900 PL. 10	10	土師器 甕	中央部北西寄り 底部～胴部	口 底	— 高	13.8 重	—	細砂粒/良好/明黄橙	底部はへら削り。胴部はへら削り後へら磨き、器面磨減のため単位不明。内面は底部から胴部へらナデ。	
第19900 PL. 11	11	礫石器 磨石	中央部北西寄り 切床直上	長 幅	11.7 6.2 厚 重	5.4 540.4 重	- / - / 粗粒輝石安山岩	凸凹を利用する。表面、右側面、左側面のほぼ全面に磨面が認められる。右側面のほぼ全面がわずかに赤化しており受熱の可能性がある。		
第19900 PL. 12	12	礫石器 磨石	中央部北西寄り 切床直上 完形	長 幅	14.3 6.9 厚 重	3.8 626.4 重	- / - / 粗粒輝石安山岩	凸凹を利用する。表面裏面のほぼ全面に磨面が認められる。表面裏面ともに両側面との境界付近に稜が形成される。表面右側から右側面を経て裏面にかけてやや赤化しており受熱の可能性がある。		

採掘 PL.No.	No.	種類 残存率	出土位置 残存率	計測値	胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
第19906 PL.88	13	礮石器 四石	中央部南寄り床 上4cm	長 幅 7.9 8.2 厚 重 3.3 249.5	-/-/粗粒輝石安 山石	巻円鏢を利用する。表面の中央に面斗状の凹みが認められる。	
第19906 PL.88	14	礮石器 磨製石斧	埋没土 2/3	長(12.0)厚 (5.2)重(2.8) 222.3	-/-/変質玄武岩	先端の刃部付近を中心に研磨後の割れ痕が集中しており、器種の転用を意図した可能性がある。	

船上1遺跡B区3面 522号住居遺物観察表

採掘 PL.No.	No.	種類 残存率	出土位置 残存率	計測値	胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考
第20206 PL.88	1	赤生土器 甕	初床直上～埋没土 口縁～底部2/3	口 底 (12.0) 6.7 高 — 17.0	A/-/-	縞帯波状文を口縁～頸部および胴部上半に2帯施す。括れ部に2道止め縞状文を施すが、単位不明。施文員8角12cm。外面胴部下半斜位、内面横位施磨き。外面胴部の一部に煤状炭化物付着。	樽式
第20206 PL.88	2	赤生土器 甕	東部床直上 口縁～胴部上位 完存	口 底 15.1 高 — —	A/-/-	複合口縁。やや乱雑な縞帯波状文を口縁～頸部に4帯、胴部上位に2帯施す。括れ部の縞状文施文無し。施文員6角10cm。内外面共にやや被熱風化。外面一部に煤状炭化物付着。	樽式
第20206 PL.88	3	赤生土器 甕	北西部床直上 口縁～胴部1/6	口 底 (14.3) 高 — —	A/-/-	複合口縁。縞帯波状文を口縁～頸部に3帯、胴部上位に2帯施す。括れ部に縞状文を施文。施文員10角13cm。内面丁寧な横位施磨き。	樽式
第20206 PL.88	4	赤生土器 甕	中央部北東寄り 床直上 口縁～胴部上位 完存	口 底 — 高 — —	A/-/-	括れ部に縞帯波状文を、胴部上半にやや乱雑な波状文を4～5帯施す。施文員7角10cm。内外面共に丁寧な横位施磨き。	樽式
第20206 PL.88	5	赤生土器 甕	埋没土 口縁1/3	口 底 (14.0) 高 — —	A/-/-	複合口縁。頸部に縞帯波状文を1帯施し、括れ部に縞状文を施文。内面横位施磨き。一部に煤状炭化物付着。	樽式
第20206 PL.88	6	赤生土器 甕	埋没土 底部1/2	口 底 6.0 高 — —	A/-/-	底部外面を含め、内外面共に横位施磨き。	樽式
第20206 PL.88	7	赤生土器 甕	北部東寄り床 直上 口縁～胴部上位 完存	口 底 17.8 高 — —	A/-/-	無文。外面口縁横位・頸部縦位・胴部横位施磨き。内面口縁縦位・胴部横位施磨き、胴部縦位施磨き。	樽式
第20206 PL.88	8	赤生土器 甕	土坑1床直上 口縁～胴部完存	口 底 8.6 高 — —	H/-/-	無文。外面口縁～頸部横・縦位施磨き、胴部横・縦位施磨きで状の施磨き。内面口縁～頸部やや粗い横位施磨き、胴部縦位の指押さえ施す。	東海系
第20206 PL.88	9	赤生土器 甕	東部床直上 胴部片	口 底 — 高 — —	C/-/-	括れ部に縞帯波状文を、胴部上半にやや乱雑な波状文を4帯施す。施文員11角18cm。内面横位施磨き、内外面共にやや風化。	樽式
第20206 PL.88	10	赤生土器 甕	埋没土 胴部片	口 底 — 高 — —	B/-/-	2段の複合口縁。外面縦位・内面横位施磨き、外面やや風化。	樽式
第20206 PL.88	11	赤生土器 甕	初床直上 胴部1/3	口 底 — 高 — —	E/-/-	体部上半に縞帯垂下文をスリット状に施文し、各半位間に波状文を充填的に施す。弧線文で区別された体部下半には2種類の附加条第1種L・R・L・LとR・L・R・Rを交互に縦位施文し、羽状を構成。内面横位施磨き。	土王台式
第20206 PL.88	12	赤生土器 高杯	ベッド状遺構床 直上 杯部のみ	口 底 17.1 高 — —	C/-/-	内外面共に横位施磨き、やや風化。	樽式
第20306 PL.88	13	赤生土器 高杯	東部床直上 口縁部1/8	口 底 (19.0) 高 — —	C/-/-	外面横位、内面横・斜位の丁寧な施磨き。	樽式
第20306 PL.88	14	赤生土器 高杯	埋没土 口縁部1/8	口 底 (18.0) 高 — —	C/-/-	外面横位・内面縦位の丁寧な施磨き。	樽式
第20306 PL.88	15	赤生土器 高杯	北部床直上 胴部完存	口 底 9.5 高 — —	A/-/-	胴部外面縦位施磨き後、胴部横位施磨き。内面横位施磨き、一部縦位施磨き。	樽式
第20306 PL.88	16	赤生土器 甕	埋没土 胴部3/4	口 底 (8.9) 高 — —	C/-/-	4力所に径9mm前後の透かし孔を施す。外面縦位施磨き。内面横位施磨き後、胴部縦位施磨き。	
第20306 PL.88	17	赤生土器 紡輪	東部床上58cm ほぼ正円	径 8.6 厚 重 259.4	C/-/-	上面一部欠損。各面共に丁寧な施磨き。径約10mmの轄穴孔が穿孔されている。	樽式剛
第20306 PL.88	18	須恵器 杯	埋没土 底部一体部片	口 底 6.0 高 — —	—	細砂粒/還元焼/灰	ロクロ整形、回転右回り。底部は回転糸切り無調整。
第20306 PL.88	19	須恵器 杯	埋没土 底部一体部片	口 底 8.2 高 — —	—	細砂粒/還元焼/灰	ロクロ整形、回転右回り。底部は回転ヘラ削り。
第20306 PL.88	20	須恵器 杯	埋没土 底部一体部片	口 底 8.0 高 — —	—	細砂粒/還元焼/灰	ロクロ整形、回転右回り。底部は回転糸切り無調整。
第20306 PL.88	21	須恵器 杯	埋没土 底部一体部片	口 底 9.6 高 — —	—	細砂粒/還元焼/灰	ロクロ整形、回転右回り。底部は回転回転ヘラ起し後回転ヘラナデ。
第20306 PL.88	22	須恵器 輪	埋没土 胴部一体部片	口 底 8.7 高 — —	—	細砂粒/還元焼/灰	ロクロ整形、回転右回り。底部回転糸切り後高台を貼付。
第20306 PL.88	23	土師器 甕	埋没土 胴部上位小片	口 底 — 高 — —	—	細砂粒/良好/浅黄橙	外面はハゲ目(1cmあたり6本)、内面はヘラナデ。
第20306 PL.88	24	土師器 杯	土坑4床直上 口縁部一体部片	口 底 15.0 高 — —	—	細砂粒/良好/にぞい黄橙	口縁部は横ナデ、「体部」はナデか、器面磨滅のため不詳明。
第20306 PL.88	25	石製品 火打石	埋没土 完形	長 幅 2.2 2.7 厚 重 0.9 5.4	-/-/石英	裏面に自然面を大きく残し内鏢を利用する。表面には大きな割れ面が認められ剥片素材の可能性がある。上側縁と両側縁に微細縦線彫りつぶれが集中する。	
第20306 PL.88	26	鉄製品 不詳	埋没土 破片	長 幅 3.0 2.5 厚 重 2.2 3.87	-/-/-	形状の鉄板を折り曲げて半輪状に加工した鉄製品の破片。象の葉等を組み取る農具に似ているが破片のため断定はできない。	

遺物観察表

鴨上1 遺跡 B区 3面 524号住居遺物観察表

種 別 Pl.No.	No.	種 類	出土位置 残存率	計測値	胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考	
第204図 PL.88	1	赤生土器 甕	床上16～33cm 中央～胴部1/3	口 底 (12.6) 高 — —	A / - / -	複合口縁。縹緋波状文を口縁～頸部に3帯。胴部上位に2帯施す。括れ部に3連止め縹緋文を施文。施文具7面11mm。外面胴部・内面口縁～胴部共に丁寧な横位磨き。	樽式	
第204図 PL.88	2	赤生土器 甕	中央～北西部床 上31cm 胴部片	口 底 — 高 — —	A / - / -	括れ部に縹緋波状文を、胴部上位にやや乱雑な波状文を3帯施す。施文具7面10mm。内外面被熱風化。	樽式	
第204図 PL.88	3	赤生土器 甕	南西部床直上 胴部片	口 底 — 高 — —	A / - / -	やや乱雑な縹緋波状文を胴部上位に4帯施す。施文具7面11mm。外面煤状炭化物付着。内面横位磨き。	樽式	
第204図 PL.88	4	赤生土器 甕	中央部床直上 胴部片	口 底 — 高 — —	A / - / -	やや乱雑な縹緋波状文を胴部に施文し、胴部上位に2～3帯施す。括れ部に2連止め縹緋文を施文。施文具8面10mm。外面胴部被熱風化。煤状炭化物付着。内面やや粗い横・斜位横位磨き。	樽式	
第204図 PL.88	5	赤生土器 甕	埋没土 口縁片	口 底 — 高 — —	A / - / -	複合口縁。無文。内外面共に横位磨き。	樽式	
第204図 PL.88	6	赤生土器 小型台付 甕	南西部床直上 頸部～胴部1/2、 脚台部完存	口 底 7.0 — —	A / - / -	括れ部下位に縹緋波状文を、胴部上位に波状文を2帯施す。外面脚台部縦位磨きで、内面横位磨き。	樽式	
第204図 PL.89	7	赤生土器 甕	床上20～45cm 口縁～胴部下位 1/3	口 底 — 高 — —	A / - / -	縹緋波状文を口縁～頸部に複数帯、胴部上位に4帯施す。括れ部に2連止め縹緋文を施文。施文具7面13mm。外面胴部・内面口縁～胴部共に丁寧な横位磨き。	樽式	
第205図 PL.88	8	赤生土器 甕	床上16～45cm 胴部1/6	口 底 — 高 — —	A / - / -	肩部に間隔を開けて縹緋波状文を施文し、斜格子文を充填的に施す。垂下文と波状文の交差点に刺交を施した円形彫付文を付す。外面横位磨き。内面横位磨き。	樽式	
第204図	9	土師器 甕	中央部北寄り床 上15cm 底部	口 底 6.3 — —	— / — / —	細砂粒/良好/橙	内外面とも丁寧なヘラ磨き。	

鴨上1 遺跡 B区 3面 527号住居遺物観察表

種 別 Pl.No.	No.	種 類	出土位置 残存率	計測値	胎土/焼成/色調 石材・素材等	成形・整形の特徴	備考	
第206図 PL.89	1	赤生土器 甕	西部床直上 口縁～胴部上半 完存	口 底 12.8 高 — —	A / - / -	複合口縁。縹緋波状文を口縁～頸部および胴部上半に2帯施す。括れ部に3連止め縹緋文を3単位に施文。施文具10面13mm。外面被熱風化。内面横位磨き。外外面共に一部に煤状炭化物付着。	樽式	
第206図 PL.89	2	赤生土器 甕	北西部床直上 口縁～胴部上半 完存	口 底 12.6 高 — —	A / - / -	複合口縁。縹緋波状文を口縁～頸部および胴部上半に2帯施す。括れ部に3連止め縹緋文を3単位に施文。施文具10面17mm。外面被熱風化・煤状炭化物付着。内面横位磨き。	樽式	
第206図 PL.89	3	赤生土器 甕	西部床直上 口縁～胴部完存	口 底 14.4 高 — —	A / - / -	複合口縁部に指頭状の押圧痕。やや乱雑な縹緋波状文を口縁～頸部に2帯施す。施文具10面15mm。外面横位磨きで、内面横位磨き。	樽式	
第206図 PL.89	4	赤生土器 甕	南西部ベッド状 遺構床直上 口縁部片	口 底 — 高 — —	A / - / -	複合口縁。無文の甕。内外面共にやや被熱風化。外面口縁に煤状炭化物付着。	樽式	
第207図 PL.89	5	赤生土器 小型甕	表土 口縁部1/2	口 底 (9.0) 高 — —	D / - / -	複合口縁。縹緋波状文を口縁部と胴部に各1帯施す。括れ部に縹緋文を施文。施文具13面13mm。外面やや被熱風化。内面煤状炭化物付着。	樽式	
第207図 PL.89	6	赤生土器 小型甕	埋没土 口縁1/3	口 底 (7.4) 高 — —	A / - / -	外面縦位磨きで、内面赤色塗彩。	樽式	
第207図 PL.89	7	赤生土器 甕	西部床直上 口縁部1/5	口 底 (18.4) 高 — —	C / - / -	複合口縁。内外面共に風化。内面一部に赤色塗彩残る。	樽式	
第207図 PL.89	8	赤生土器 甕	南西部床直上 ～埋没土 胴部1/2	口 底 — 高 — —	F / - / -	括れ部に4連止め縹緋波状文を施す。肩部に波状文を2帯施文し、垂下文を施す。施文具9面13mm。外面被熱風化・煤状炭化物付着。内面やや散漫な横位磨き。	樽式	
第207図 PL.89	9	赤生土器 高杯	埋没土 脚部1/3	口 底 (10.9) 高 — —	A / - / -	外面横位磨きで後、縦位磨き。内面横位磨き。	樽式	
第207図 PL.89	10	赤生土器 高杯	西壁床上8cm 脚部1/3	口 底 (12.2) 高 — —	A / - / -	外面縦位磨き。一部横磨き。内面横位磨き。	樽式	
第207図 PL.89	11	赤生土器 甕	西部中央床直上 脚部完存	口 底 10.2 高 — —	C / - / -	2個1単位の透かし孔を2単位施す。外面縦位磨き。内面横位磨き。内外面共に風化。	樽式	
第207図 PL.89	12	赤生土器 甕	埋没土 脚部完存	口 底 10.8 高 — —	A / - / -	透かし孔を4カ所に施す。外面縦位磨き。内面削り状の横位磨き。	樽式	
第207図 PL.89	13	赤生土器 蓋	P1埋没土 揃部完存	口 底 3.6 高 — —	A / - / -	外面揃部上面削り。蓋身部やや粗い縦位磨き。内面やや風化。	樽式	
第207図 PL.89	14	赤生土器 紡輪	埋没土 1/2	径 (4.3) 厚 1.3 重 13.4	C / - / -	各面共に丁寧な磨き。推定径約7mmの軸穴が穿孔されている。	樽式刷	
第207図	15	土師器 高杯	北西部床上36cm (断面より採取) 脚部上位片	口 底 — 高 — —	— / — / —	細砂粒/良好/明黄褐	杯身部と脚部は接合か。脚部は縦位のヘラ磨き。内面はヘラナデ。	
第207図	16	土師器 甕	北西部床上35cm 底部～胴部下位 片	口 底 10.2 高 — —	— / — / —	細砂粒/良好/ぶい橙	底部と胴部はヘラ磨き。内面はヘラナデ。	

鴨上1遺跡B区3面 遺構外遺物観察表

採 取 Pl.No.	No.	種 類 器 種	出土位置 残 存 率	計測値			胎土/焼成/色調 石材・素材等	成 形 ・ 整 形 の 特 徴	備 考
第208段 Pl.89	1	陶文土器 鉢?	表探 口縁部片	口 底	— —	高 —	A / — / —	口縁部に4本の細い横線文を施す。内外面共に横位磨き。	縄文晩期
第208段 Pl.89	2	陶文土器 深鉢?	表探 口縁部1/6	口 底	— —	(20.0) 高 —	A / — / —	無文土器。外面磨き状の横位磨で、内面横位磨き。	縄文晩期
第208段 Pl.89	3	赤生土器 甕	表探 口縁部1/8	口 底	— —	高 —	A / — / —	やや乱雑な櫛歯状文を複合口縁部に1帯。口縁～頸部に複数帯他文。施文員12箇、28mm。内面横位磨き、外面やや焼熱風化。	樽式
第208段 Pl.89	4	赤生土器 高杯	表探 杯部下半完存	口 底	— —	高 —	A / — / —	外面縦位磨き、内面横・斜位磨き。結合部は突起状の接合痕残存。	樽式

写真図版



1. 茅畑遺跡西部全景(北東から)



2. 茅畑遺跡西部全景(南西から)



1. 茅畑遺跡東部全景(東から)



2. 茅畑遺跡東部全景(南西から)



1. 鳴上I遺跡A区全景(北東から)



2. 鳴上I遺跡B区全景(南西から)



1. 鳴上I遺跡A区より茅畑遺跡を望む(南西から)



2. 鳴上I遺跡B区より茅畑遺跡を望む(南西から)



1. 茅畑遺跡1号溝全景(南から)



3. 茅畑遺跡3号溝全景(南西から)



2. 茅畑遺跡2号溝全景(北から)



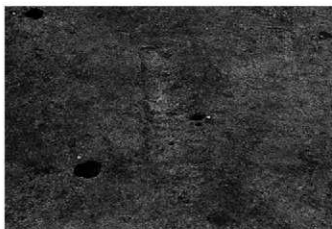
5. 茅畑遺跡5号溝全景(南から)



4. 茅畑遺跡4号溝全景(南から)



1. 茅畑遺跡6号溝全景(西から)



2. 茅畑遺跡7号溝全景(南から)



3. 茅畑遺跡8号溝全景(南から)



4. 茅畑遺跡9号溝全景(南西から)



5. 茅畑遺跡10号溝全景(南から)



6. 茅畑遺跡2号道路北側(東から)



7. 茅畑遺跡2号道路南側(東から)



1. 茅畑遺跡2号道路部分(南から)



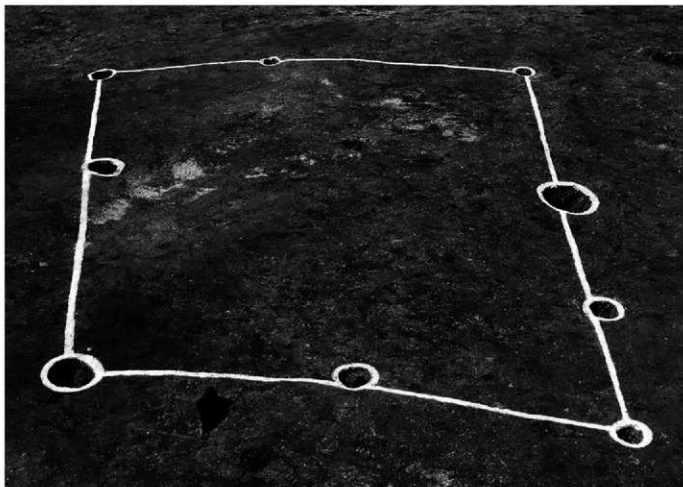
2. 茅畑遺跡1号畑全景(南から)



3. 茅畑遺跡2号畑全景(南から)



4. 茅畑遺跡3号畑全景(西から)



5. 鳴上I遺跡A区1号掘立柱建物全景(東から)



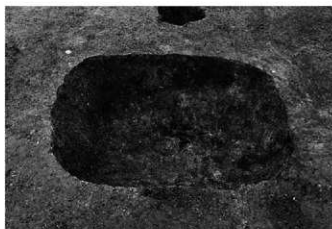
1. 鳴上1遺跡A区1号溝全景(南東から)



2. 鳴上1遺跡A区2号溝全景(南から)



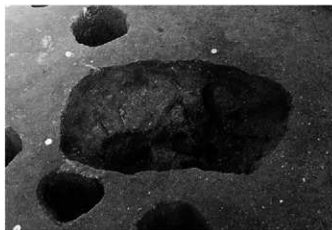
3. 鳴上1遺跡A区1号土坑全景(南から)



4. 鳴上1遺跡A区2号土坑全景(南から)



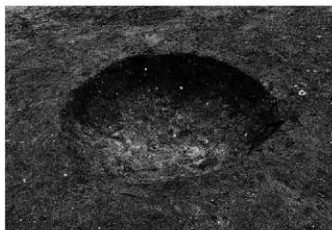
5. 鳴上1遺跡A区3号土坑全景(南から)



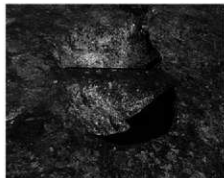
6. 鳴上1遺跡A区4号土坑全景(南西から)



7. 鳴上1遺跡A区5号土坑全景(北から)



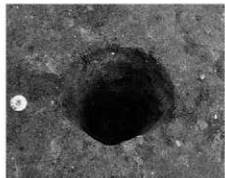
8. 鳴上1遺跡A区6号土坑全景(北から)



1. 7号土坑土層断面(南から)



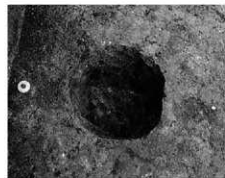
2. 7号ピット全景(南から)



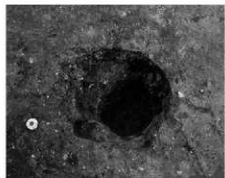
3. 8号ピット全景(南から)



4. 10号ピット全景(南から)



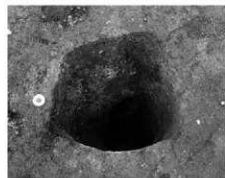
5. 12号ピット全景(南から)



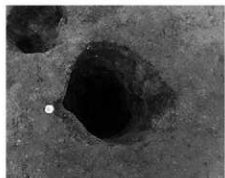
6. 18号ピット全景(南から)



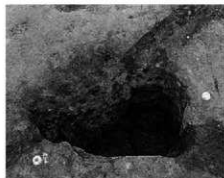
7. 19号ピット全景(南から)



8. 27号ピット全景(南から)



9. 30号ピット全景(南から)



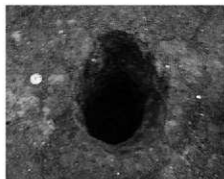
10. 32号ピット全景(南から)



11. 37号ピット全景(南から)



12. 41号ピット全景(南から)



13. 44号ピット全景(南から)



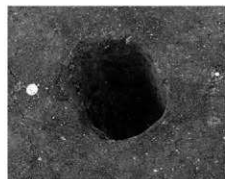
14. 52号ピット全景(南から)



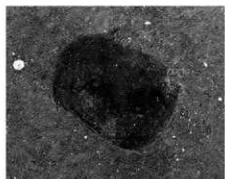
15. 60号ピット全景(南から)



1. 62号ビット全景(南から)



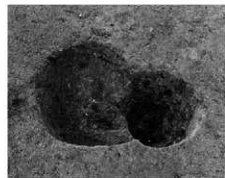
2. 64号ビット全景(南から)



3. 70号ビット全景(南から)



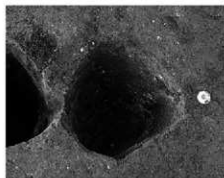
4. 72号ビット全景(南から)



5. 90・91号ビット全景(南から)



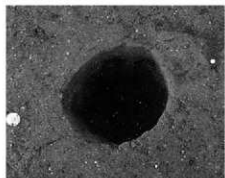
6. 94号ビット全景(南から)



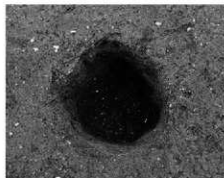
7. 95号ビット全景(南から)



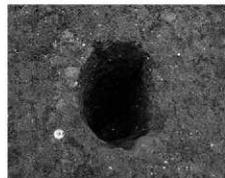
8. 98号ビット全景(南から)



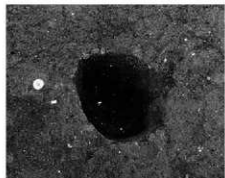
9. 100号ビット全景(南から)



10. 110号ビット全景(南から)



11. 111号ビット全景(南から)



12. 112号ビット全景(南から)



13. 120号ビット断面(西から)



14. 123号ビット全景(南から)



15. 127号ビット全景(南から)



1. 128号ピット全景(南から)



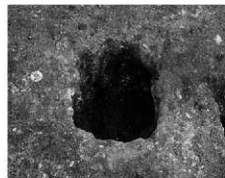
2. 138号ピット全景(東から)



3. 144号ピット全景(西から)



4. 156号ピット全景(南から)



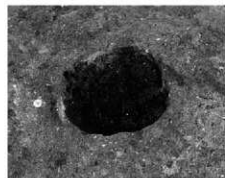
5. 157号ピット全景(南から)



6. 162号ピット全景(南から)



7. 169号ピット全景(南から)



8. 171号ピット全景(南から)



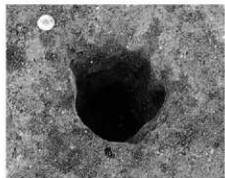
9. 176号ピット全景(南から)



10. 177号ピット全景(南から)



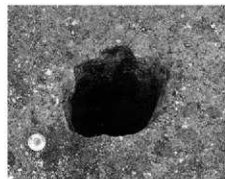
11. 179号ピット全景(南から)



12. 184号ピット全景(南から)



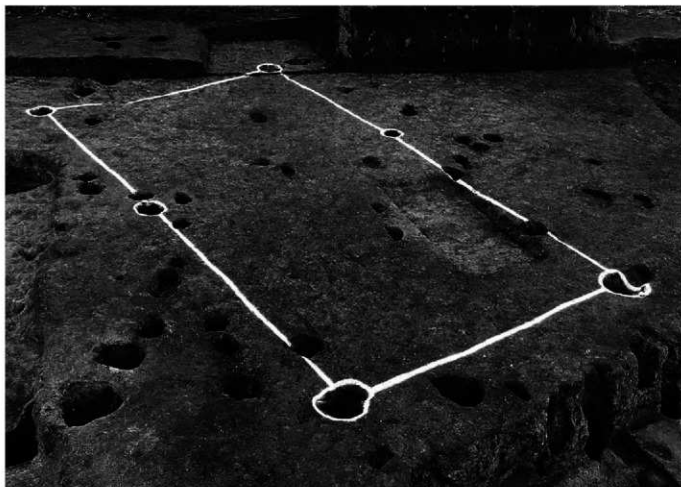
13. 186号ピット全景(南から)



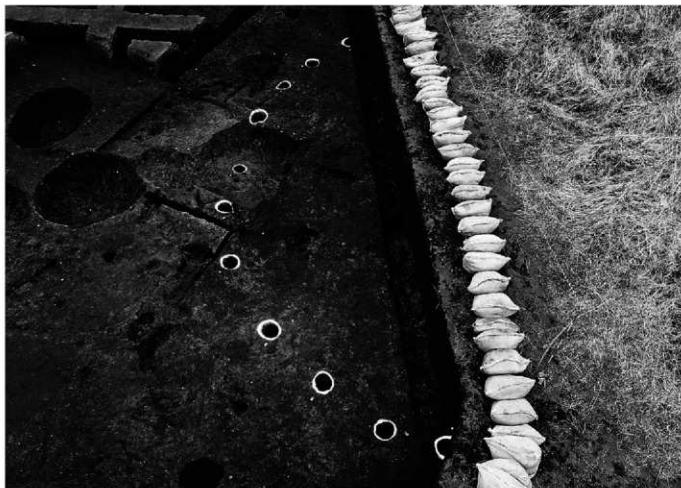
14. 188号ピット全景(南から)



15. 194号ピット全景(南から)



1. 鳴上I遺跡B区501号掘立柱建物全景(西から)



2. 鳴上I遺跡B区501号柱穴列全景(西から)



1. 鳴上I遺跡B区502号柱穴列全景(南西から)



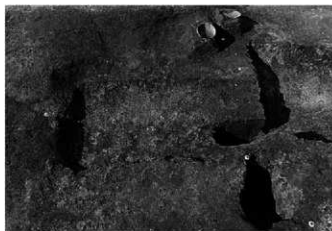
2. 鳴上I遺跡B区501号土坑全景(南から)



3. 鳴上I遺跡B区502号土坑全景(南から)



4. 鳴上I遺跡B区503号土坑全景(南から)



5. 鳴上I遺跡B区504号土坑全景(南から)



6. 鳴上I遺跡B区505号土坑全景(南から)



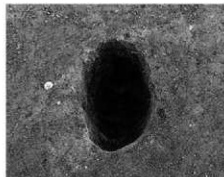
7. 谷地地形全景(南東から)



1. 502号ピット全景(南から)



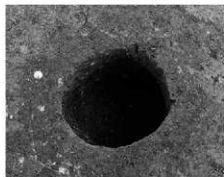
2. 512号ピット全景(南から)



3. 514号ピット全景(南から)



4. 528号ピット全景(南から)



5. 530号ピット全景(南から)



6. 536号ピット全景(南から)



7. 546号ピット全景(南から)



8. 548号ピット全景(南から)



9. 551号ピット全景(南から)



10. 552号ピット全景(南から)



11. 564号ピット全景(南から)



12. 565号ピット全景(南から)



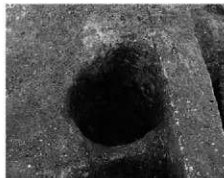
13. 568号ピット全景(南から)



14. 572号ピット全景(南から)



15. 575号ピット全景(南から)



1. 589号ピット全景(南から)



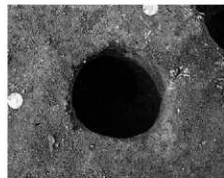
2. 590号ピット全景(南から)



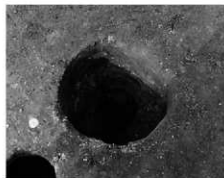
3. 595号ピット全景(南から)



4. 596号ピット全景(南から)



5. 597号ピット全景(南から)



6. 598号ピット全景(南から)



7. 600号ピット全景(南から)



8. 603号ピット全景(南から)



9. 606号ピット土層断面(南から)



10. 613号ピット全景(南から)



11. 614号ピット全景(南から)



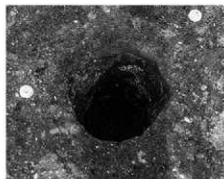
12. 616号ピット全景(南から)



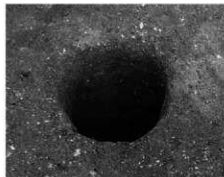
13. 617号ピット全景(南から)



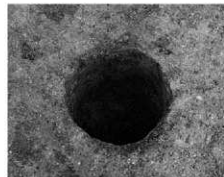
14. 622号ピット全景(南から)



15. 631号ピット全景(南から)



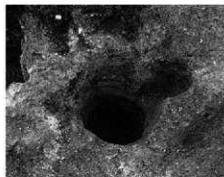
1. 632号ピット全景(南から)



2. 633号ピット全景(南から)



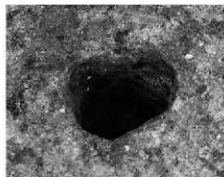
3. 634号ピット全景(南から)



4. 638号ピット全景(東から)



5. 639号ピット全景(東から)



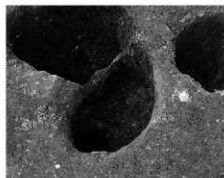
6. 646号ピット全景(北から)



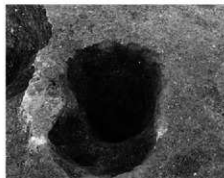
7. 657・658号ピット全景(北から)



8. 660号ピット全景(西から)



9. 667号ピット全景(東から)



10. 671号ピット全景(南から)



11. 681号ピット全景(南から)



12. ピット群(北から)



1. 茅畑遺跡1号住居全景(西から)



2. 茅畑遺跡1号住居掘り方全景(西から)



3. 茅畑遺跡1号住居1号カマド全景(西から)



4. 茅畑遺跡1号住居1号カマド掘り方全景(西から)



5. 茅畑遺跡1号住居1号カマド掘り方遺物出土状態(西から)



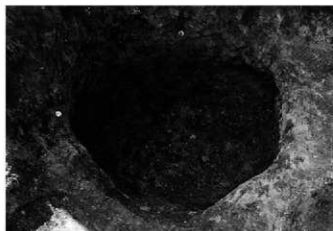
6. 茅畑遺跡1号住居2号カマド土層断面(南東から)



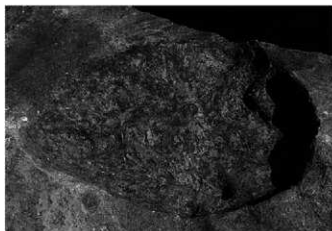
7. 茅畑遺跡1号住居2号カマド掘り方土層断面(南から)



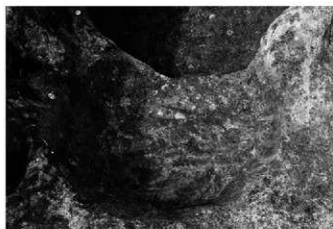
8. 茅畑遺跡1号住居貯蔵穴全景(北西から)



1. 茅畑遺跡1号住居床下土坑1全景(東から)



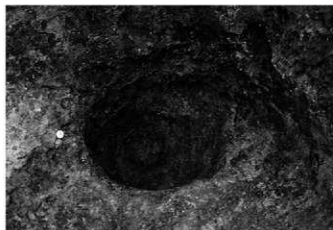
2. 茅畑遺跡1号住居床下土坑2全景(南西から)



3. 茅畑遺跡1号住居床下土坑3全景(東から)



4. 茅畑遺跡1号住居床下土坑5全景(東から)



5. 茅畑遺跡1号住居床下土坑6全景(西から)



6. 茅畑遺跡1号住居床下土坑7全景(西から)



7. 茅畑遺跡1号住居床下土坑8全景(西から)



8. 茅畑遺跡4号住居全景(西から)



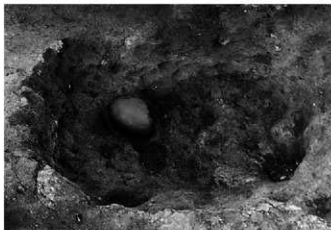
1. 茅畑遺跡4号住居掘り方全景(西から)



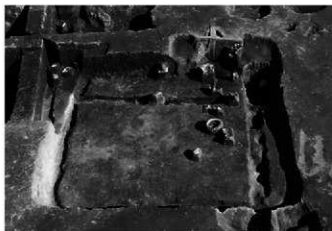
2. 茅畑遺跡4号住居カマド全景(西から)



3. 茅畑遺跡4号住居カマド掘り方全景(西から)



4. 茅畑遺跡4号住居貯蔵穴全景(北から)



5. 茅畑遺跡4号住居遺物出土状態全景(西から)



6. 茅畑遺跡4号住居カマド遺物出土状態(西から)



7. 茅畑遺跡5号住居全景(西から)



8. 茅畑遺跡5号住居掘り方全景(西から)



1. 茅畑遺跡5号住居カマド全景(西から)



2. 茅畑遺跡5号住居カマド掘り方全景(西から)



3. 茅畑遺跡5号住居遺物出土状態全景(西から)



4. 茅畑遺跡5号住居遺物出土状態(西から)



5. 茅畑遺跡5号住居カマド遺物出土状態(西から)



6. 茅畑遺跡5号住居カマド掘り方遺物出土状態(東から)



7. 茅畑遺跡6号住居全景(西から)



8. 茅畑遺跡6号住居掘り方全景(西から)



1. 茅畑遺跡6号住居カマド全景(西から)



2. 茅畑遺跡6号住居貯蔵穴全景(西から)



3. 茅畑遺跡6号住居土坑1全景(北から)



4. 茅畑遺跡6号住居壁穴1全景(東から)



5. 茅畑遺跡6号住居遺物出土状態(西から)



6. 茅畑遺跡6号住居貯蔵穴遺物出土状態(西から)



7. 茅畑遺跡6号住居カマド遺物出土状態(西から)



8. 茅畑遺跡6号住居カマド遺物出土状態(西から)



1. 茅畑遺跡1号古墳全景(南から)



2. 茅畑遺跡1号古墳周堀西土層断面(南から)



3. 茅畑遺跡1号古墳周堀中央土層断面(南から)



4. 茅畑遺跡1号古墳周堀東土層断面(南から)



5. 茅畑遺跡1号古墳主体部全景(南から)



1. 茅畑遺跡1号古墳主体部奥壁裏込(東から)



2. 茅畑遺跡1号古墳主体部舗石出土状態(南から)



3. 茅畑遺跡1号古墳前底部全景(南から)



4. 茅畑遺跡1号古墳前底部遺物出土状態(南から)



5. 茅畑遺跡1号古墳石室全景(南から)



1. 茅畑遺跡1号古墳石室北側(北から)



2. 茅畑遺跡1号古墳石室部(抜き取り痕)(北から)



3. 茅畑遺跡1号古墳石室全景(北西から)



4. 茅畑遺跡1号古墳石室床面(鋪石面)(南から)



5. 茅畑遺跡1号古墳羨門(南から)



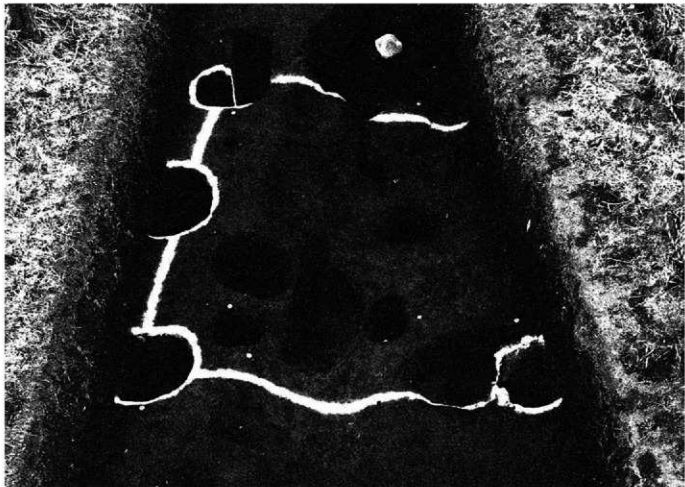
6. 茅畑遺跡1号古墳羨門(南から)



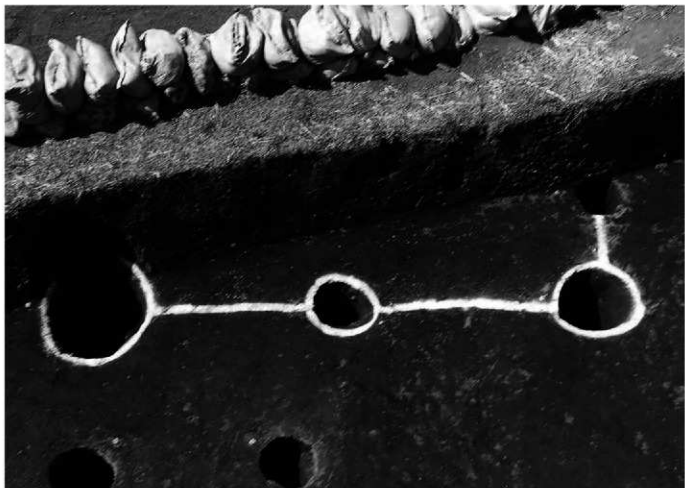
7. 茅畑遺跡1号古墳羨門(抜き取り痕)(南から)



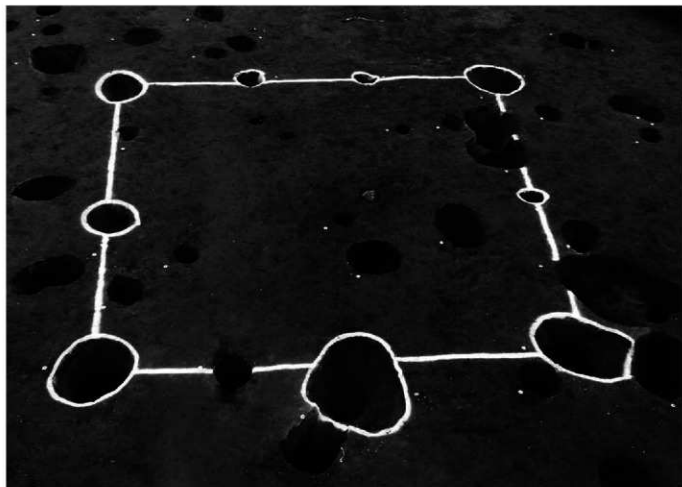
8. 茅畑遺跡1号古墳基石跡(南から)



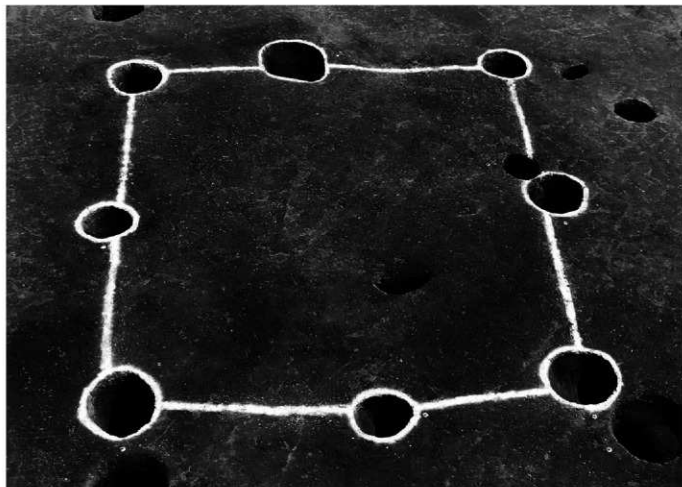
1. 茅畑遺跡4号掘立柱建物全景(北から)



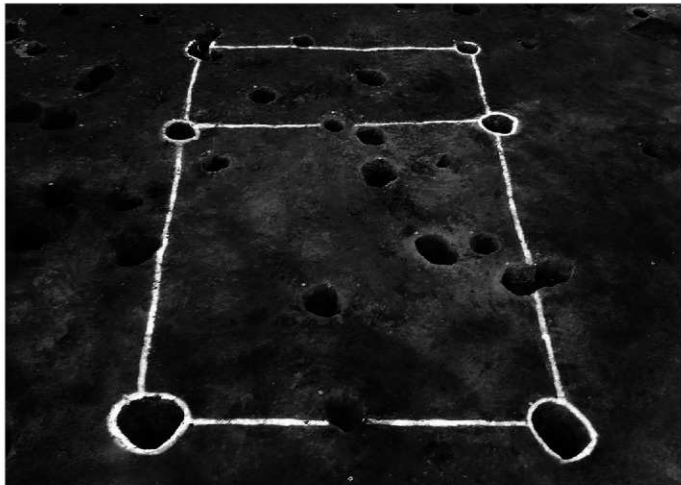
2. 茅畑遺跡11号掘立柱建物全景(東から)



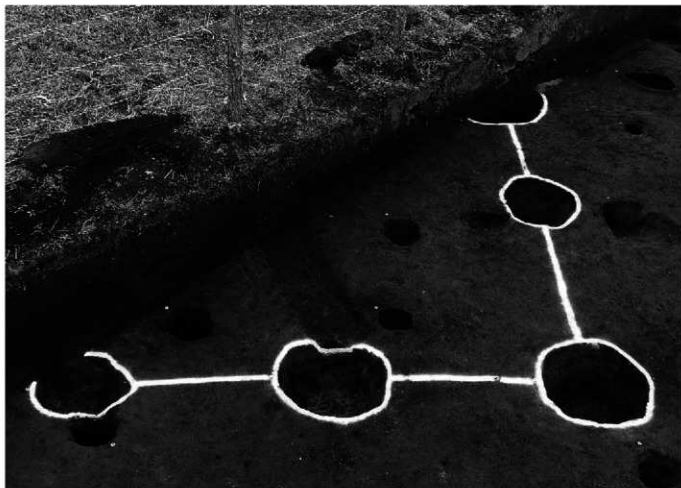
1. 茅畑遺跡17号掘立柱建物全景(西から)



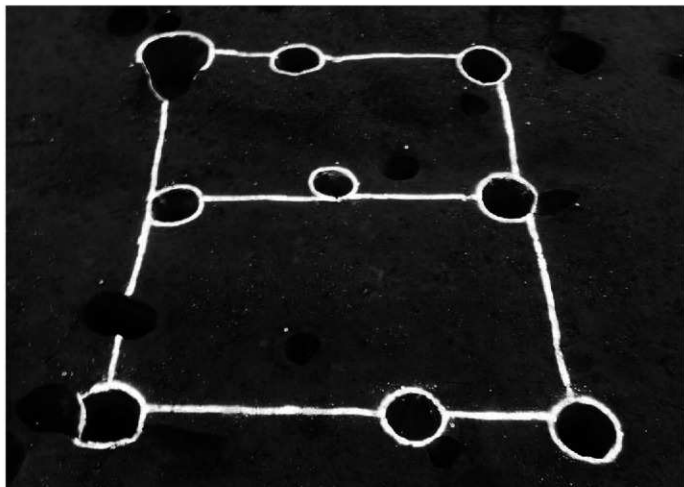
2. 茅畑遺跡18号掘立柱建物全景(西から)



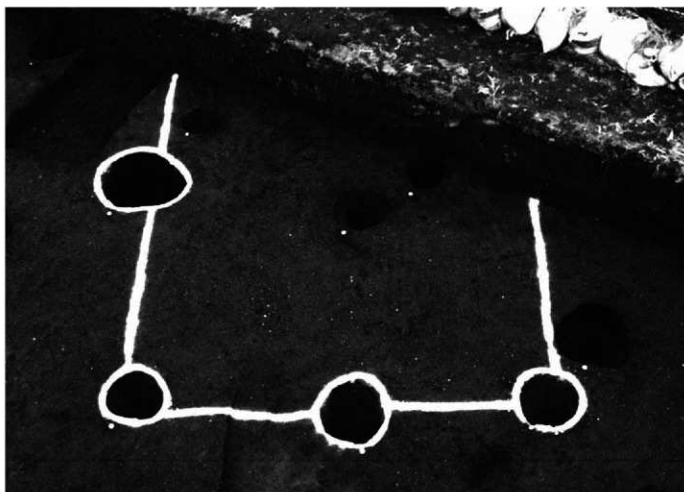
1. 茅畑遺跡21号掘立柱建物全景(南西から)



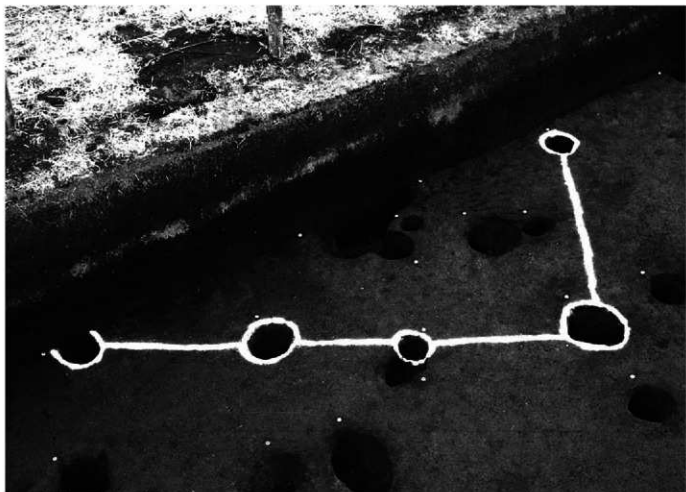
2. 茅畑遺跡25号掘立柱建物全景(南から)



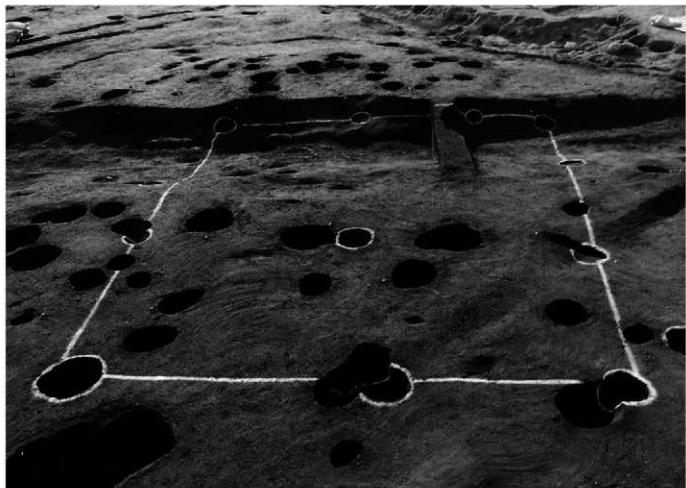
1. 茅畑遺跡27号掘立柱建物全景(南から)



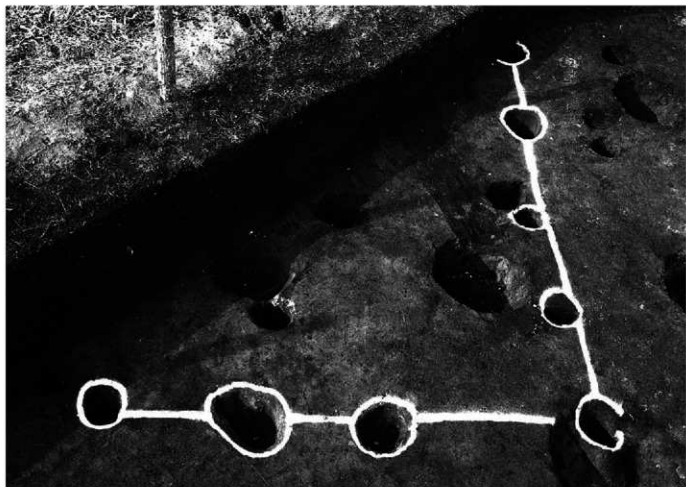
2. 茅畑遺跡28号掘立柱建物全景(北西から)



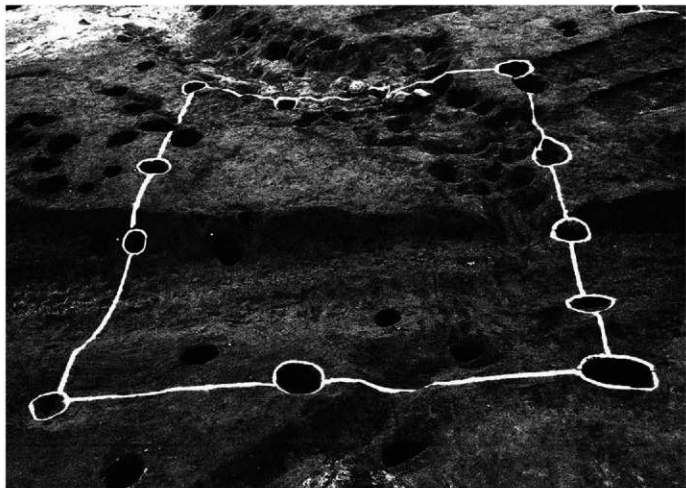
1. 茅畑遺跡29号掘立柱建物全景(南から)



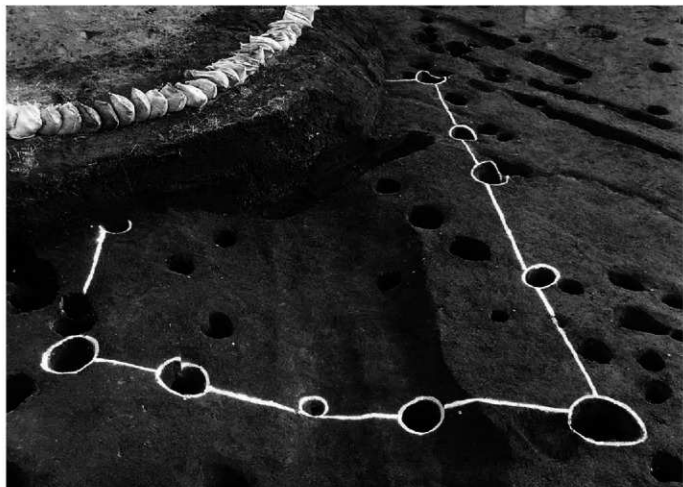
2. 茅畑遺跡43号掘立柱建物全景(東から)



1. 茅畑遺跡47号掘立柱建物全景(南から)



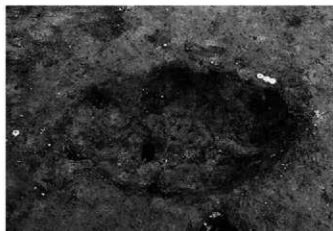
2. 茅畑遺跡48号掘立柱建物全景(東から)



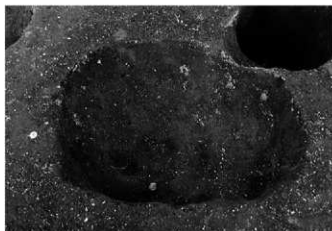
1. 茅畑遺跡49号掘立柱建物全景(北から)



2. 茅畑遺跡1号道路全景(南から)



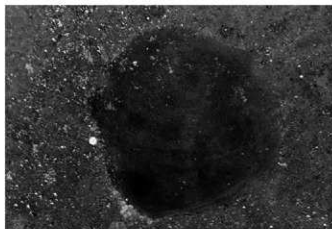
1. 茅畑遺跡1号土坑全景(南西から)



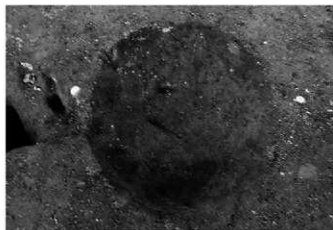
2. 茅畑遺跡2号土坑全景(西から)



3. 茅畑遺跡3号土坑土層断面(西から)



4. 茅畑遺跡4号土坑全景(西から)



5. 茅畑遺跡5号土坑全景(西から)



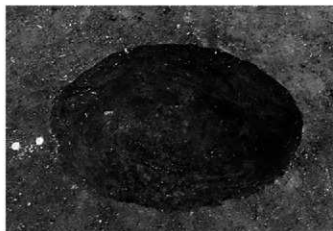
6. 茅畑遺跡7号土坑全景(西から)



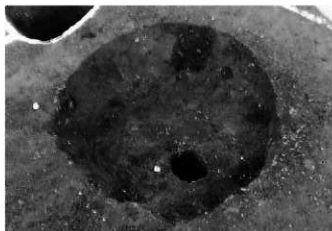
7. 茅畑遺跡8号土坑全景(南西から)



8. 茅畑遺跡9号土坑土層断面(西から)



1. 茅畑遺跡11号土坑全景(西から)



2. 茅畑遺跡12号土坑全景(西から)



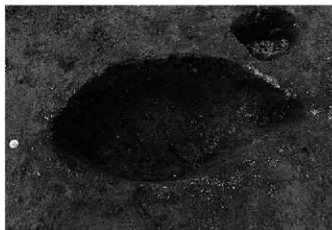
3. 茅畑遺跡13号土坑全景(南から)



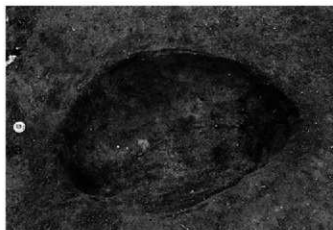
4. 茅畑遺跡14号土坑土層断面(東から)



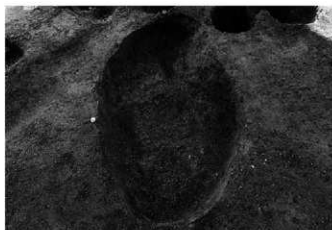
5. 茅畑遺跡15号土坑全景、遺物出土状態(西から)



6. 茅畑遺跡18号土坑全景(西から)



7. 茅畑遺跡19号土坑全景(南西から)



8. 茅畑遺跡20号土坑全景(南東から)



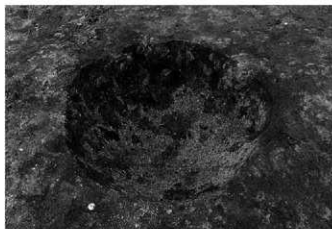
1. 茅畑遺跡21号土坑全景(西から)



2. 茅畑遺跡27号土坑全景(西から)



3. 茅畑遺跡28号土坑全景(南から)



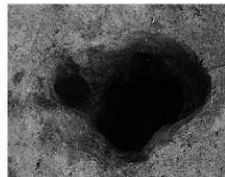
4. 茅畑遺跡29号土坑全景(西から)



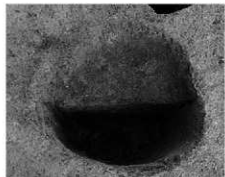
5. 茅畑遺跡ピット群全景(南から)



1. 32号ピット全景(西から)



2. 55号ピット全景(南西から)



3. 72号ピット全景(西から)



4. 119号ピット全景(西から)



5. 122号ピット全景(南西から)



6. 132号ピット全景(西から)



7. 148号ピット全景(南西から)



8. 151号ピット全景(西から)



9. 156号ピット全景(西から)



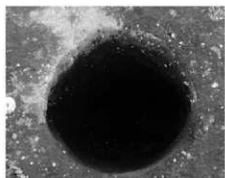
10. 159号ピット全景(南東から)



11. 197号ピット全景(南西から)



12. 238号ピット全景(南西から)



13. 240号ピット全景(南西から)



14. 241号ピット全景(南西から)



15. 244号ピット全景(南西から)



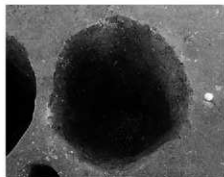
1. 245号ピット全景(南西から)



2. 251号ピット全景(南西から)



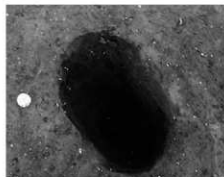
3. 254号ピット全景(南西から)



4. 255号ピット全景(南西から)



5. 292号ピット全景(西から)



6. 303号ピット全景(南西から)



7. 316号ピット全景(南西から)



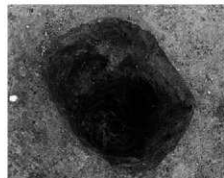
8. 356号ピット全景(西から)



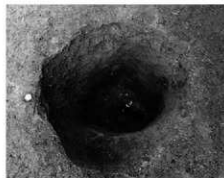
9. 382号ピット全景(南から)



10. 383号ピット全景(南西から)



11. 387号ピット全景(南西から)



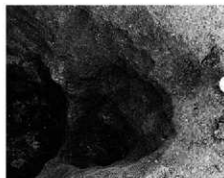
12. 400号ピット全景(西から)



13. 409号ピット全景(西から)



14. 463号ピット全景(南西から)



15. 464号ピット全景(南西から)



1. 465・466号ピット全景(南東から)



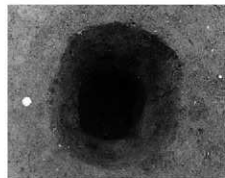
2. 548号ピット全景(西から)



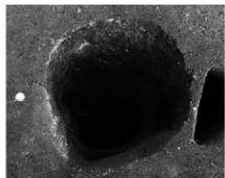
3. 594号ピット全景(西から)



4. 605号ピット全景(南西から)



5. 608号ピット全景(南西から)



6. 659号ピット全景(西から)



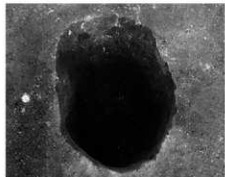
7. 673号ピット全景(西から)



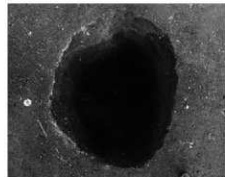
8. 674号ピット全景(西から)



9. 679号ピット全景(北から)



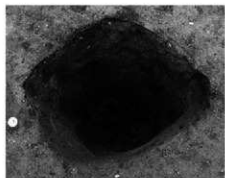
10. 690号ピット全景(西から)



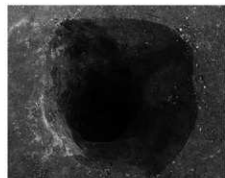
11. 692号ピット全景(西から)



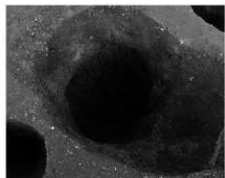
12. 700号ピット全景(西から)



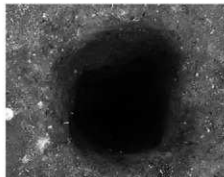
13. 707号ピット全景(南西から)



14. 741号ピット全景(西から)



15. 766号ピット全景(東から)



1. 790号ピット全景(西から)



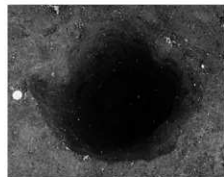
2. 800号ピット全景(南東から)



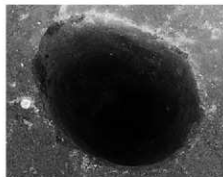
3. 808号ピット全景(西から)



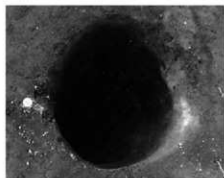
4. 809号ピット全景(西から)



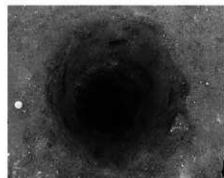
5. 815号ピット全景(北西から)



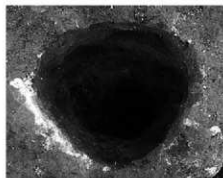
6. 858号ピット全景(西から)



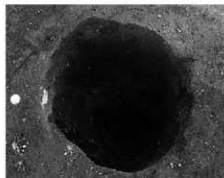
7. 873号ピット全景(南東から)



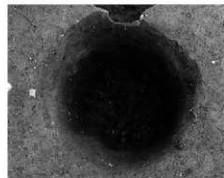
8. 952号ピット全景(西から)



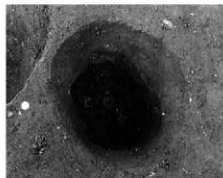
9. 1010号ピット全景(西から)



10. 1023号ピット全景(西から)



11. 1030号ピット全景(西から)



12. 1032号ピット全景(南東から)



13. 1062号ピット全景(南から)



14. 1131号ピット全景(北西から)



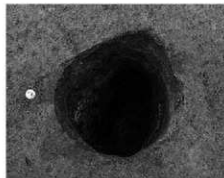
15. 1132号ピット全景(北西から)



1. 1133号ピット全景(北西から)



2. 1245号ピット全景(南から)



3. 1275号ピット全景(南から)



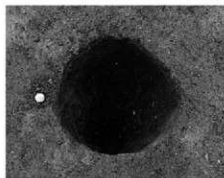
4. 1276号ピット全景(南から)



5. 1279号ピット全景(南から)



6. 1281号ピット全景(南から)



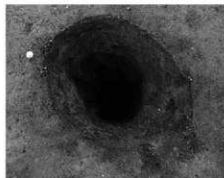
7. 1294号ピット全景(南から)



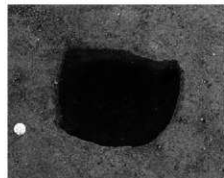
8. 1316号ピット全景(南から)



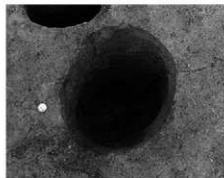
9. 1317号ピット全景(南から)



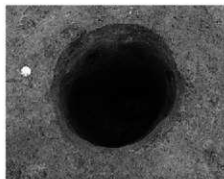
10. 1318号ピット全景(南から)



11. 1359号ピット全景(南から)



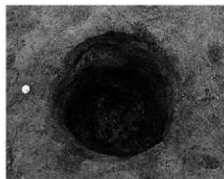
12. 1388号ピット全景(南から)



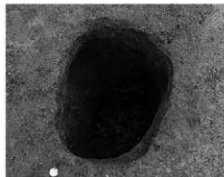
13. 1432号ピット全景(南から)



14. 1436号ピット全景(南から)



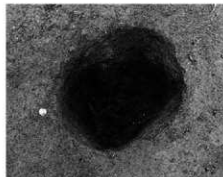
15. 1441号ピット全景(南から)



1. 1459号ピット全景(南から)



2. 1468号ピット全景(南から)



3. 1490号ピット全景(南から)



4. 1511号ピット全景(南から)



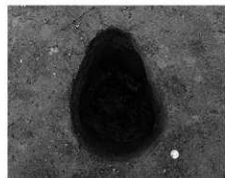
5. 1560号ピット全景(南から)



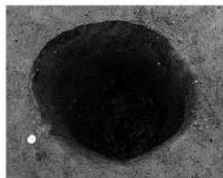
6. 1596号ピット土層断面(南から)



7. 1708号ピット全景(南から)



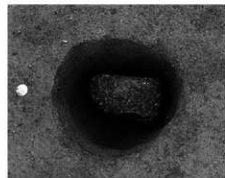
8. 1737号ピット全景(南から)



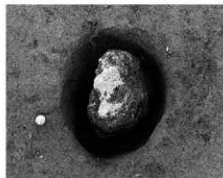
9. 1739号ピット全景(南から)



10. 1754号ピット全景(南から)



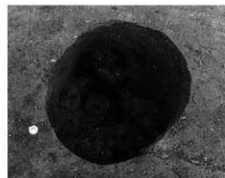
11. 1774号ピット全景(南から)



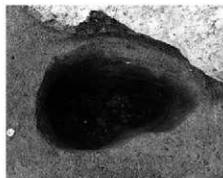
12. 1777号ピット全景(南から)



13. 1790号ピット全景(南から)



14. 1843号ピット全景(南から)



15. 1862号ピット全景(南西から)



1. 鳴上I遺跡A区1号住居全景(西から)



2. 鳴上I遺跡A区1号住居掘り方全景(西から)



3. 鳴上I遺跡A区1号住居カマド全景(西から)



4. 鳴上I遺跡A区1号住居掘り方床下土坑(南から)



5. 鳴上I遺跡B区501号住居全景(北西から)



6. 鳴上I遺跡B区501号住居掘り方全景(西から)



7. 鳴上I遺跡B区501号住居カマド検出状況(西から)



8. 鳴上I遺跡B区501号住居床下土坑全景(南から)



1. 鳴上1遺跡B区502号住居全景(西から)



2. 鳴上1遺跡B区502号住居掘り方全景(西から)



3. 鳴上1遺跡B区502号住居カマド掘り方全景(西から)



4. 鳴上1遺跡B区503号住居全景(西から)



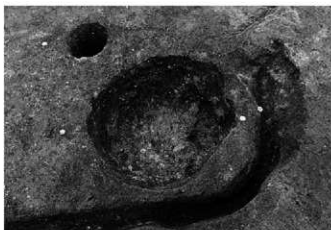
5. 鳴上1遺跡B区503号住居掘り方全景(西から)



6. 鳴上1遺跡B区503号住居カマド全景(西から)



7. 鳴上1遺跡B区503号住居カマド掘り方全景(西から)



8. 鳴上1遺跡B区503号住居貯蔵穴全景(南から)



1. 鳴上I遺跡B区503号住居床下土坑1・4・5全景(西から)



2. 鳴上I遺跡B区503号住居P1全景(南から)



3. 鳴上I遺跡B区503号住居遺物出土状態全景(西から)



4. 鳴上I遺跡B区504号住居掘り方全景(西から)



5. 鳴上I遺跡B区504号住居遺物出土状態(西から)



6. 鳴上I遺跡B区504号住居カマド全景(西から)



7. 鳴上I遺跡B区504号住居カマド掘り方全景(西から)



8. 鳴上I遺跡B区506号住居全景(西から)



1. 鳴上1遺跡B区506号住居掘り方全景(西から)



2. 鳴上1遺跡B区506号住居カマド土層断面(東から)



3. 鳴上1遺跡B区506号住居貯蔵穴全景(西から)



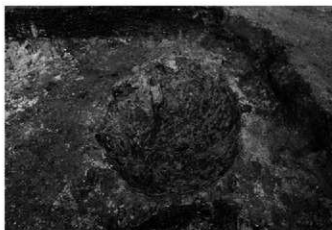
4. 鳴上1遺跡B区506号住居床下土坑1全景(南から)



5. 鳴上1遺跡B区506号住居床下土坑2土層断面(南から)



6. 鳴上1遺跡B区506号住居床下土坑3土層断面(南から)



7. 鳴上1遺跡B区506号住居床下土坑4土層全景(南から)



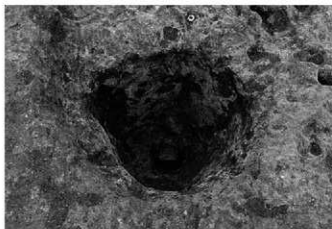
8. 鳴上1遺跡B区507号住居全景(東から)



1. 鳴上I遺跡B区507号住居掘り方全景(東から)



2. 鳴上I遺跡B区507号住居カマド全景(東から)



3. 鳴上I遺跡B区507号住居貯蔵穴全景(東から)



4. 鳴上I遺跡B区507号住居床下土坑1全景(西から)



5. 鳴上I遺跡B区507号住居床下土坑2全景(西から)



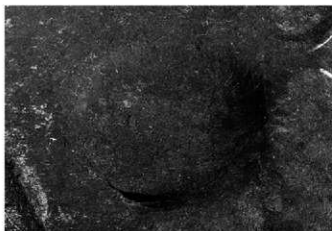
6. 鳴上I遺跡B区507号住居P1全景(東から)



7. 鳴上I遺跡B区507号住居カマド遺物出土状態(東から)



8. 鳴上I遺跡B区507号住居全景(西から)



1. 鳴上1遺跡B区509号住居貯蔵穴全景(南から)



2. 鳴上1遺跡B区509号住居カマド全景(西から)



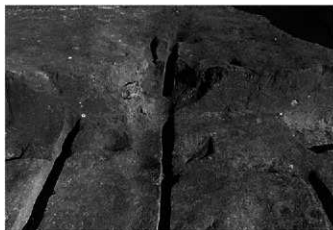
3. 鳴上1遺跡B区509号住居カマド掘り方全景(西から)



4. 鳴上1遺跡B区510号住居全景(西から)



5. 鳴上1遺跡B区510号住居掘り方全景(西から)



6. 鳴上1遺跡B区510号住居カマド全景(西から)



7. 鳴上1遺跡B区510号住居貯蔵穴全景(西から)



8. 鳴上1遺跡B区510号住居カマド掘り方全景(西から)



1. 鳴上I遺跡B区511号住居全景(西から)



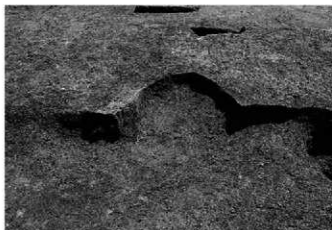
2. 鳴上I遺跡B区511号住居掘り方全景(西から)



3. 鳴上I遺跡B区512号住居全景(西から)



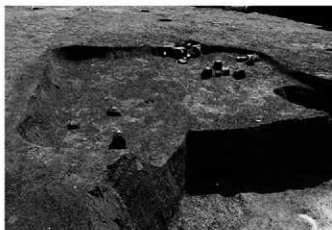
4. 鳴上I遺跡B区512号住居貯蔵穴全景(西から)



5. 鳴上I遺跡B区512号住居カマド全景(西から)



6. 鳴上I遺跡B区512号住居カマド土層断面(南から)



7. 鳴上I遺跡B区512号住居遺物出土状態全景(西から)



8. 鳴上I遺跡B区512号住居カマド付近遺物出土状態(西から)



1. 鳴上1遺跡B区513号住居全景(西から)



2. 鳴上1遺跡B区513号住居掘り方全景(西から)



3. 鳴上1遺跡B区513号住居カマド掘り方全景(西から)



4. 鳴上1遺跡B区513号住居カマド遺物出土状態(西から)



5. 鳴上1遺跡B区520号住居全景(東から)



6. 鳴上1遺跡B区520号住居P1土層断面(南から)



7. 鳴上1遺跡B区520号住居土坑1土層断面(西から)



8. 鳴上1遺跡B区520号住居土坑2土層断面(南から)



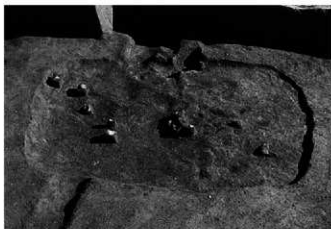
1. 鳴上I遺跡B区520号住居土坑3 全景(南から)



2. 鳴上I遺跡B区523号住居全景(北東から)



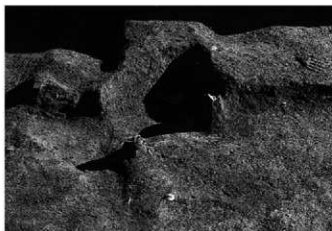
3. 鳴上I遺跡B区523号住居土層断面(北東から)



4. 鳴上I遺跡B区525号住居全景(北東から)



5. 鳴上I遺跡B区525号住居掘り方全景(西から)



1. 鳴上1遺跡B区525号住居カマド全景(西から)



2. 鳴上1遺跡B区525号住居カマド掘り方全景(西から)



3. 鳴上1遺跡B区525号住居床下土坑1全景(南から)



4. 鳴上1遺跡B区526号住居全景(南東から)



5. 鳴上1遺跡B区526号住居掘り方全景(東から)



6. 鳴上1遺跡B区526号住居カマド全景(東から)



7. 鳴上1遺跡B区526号住居カマド掘り方全景(東から)



8. 鳴上1遺跡B区526号住居貯蔵穴全景(南東から)



1. 鳴上I遺跡B区502号掘立柱建物全景(南から)



2. 鳴上I遺跡B区503号掘立柱建物全景(南から)



1. 鳴上1遺跡B区501号粘土採掘坑全景(南から)



2. 鳴上1遺跡B区501号粘土採掘坑遺物出土状態(南から)



3. 鳴上1遺跡B区506号土坑全景(南から)



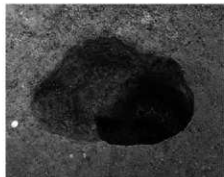
4. 鳴上1遺跡B区507号土坑全景(西から)



5. 鳴上1遺跡B区508号土坑全景(西から)



1. 509号土坑全景(北から)



2. 685号ピット全景(南から)



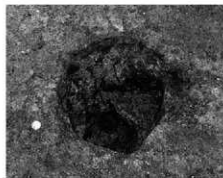
3. 686号ピット全景(南から)



4. 692号ピット全景(南から)



5. 697号ピット全景(南から)



6. 704号ピット全景(南から)



7. 715号ピット全景(南から)



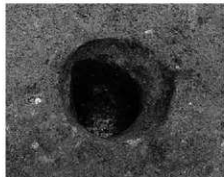
8. 725号ピット全景(南から)



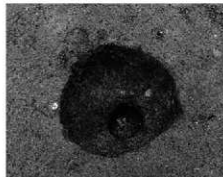
9. 726号ピット全景(南から)



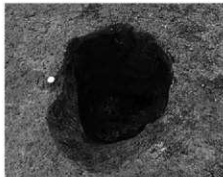
10. 733号ピット全景(南から)



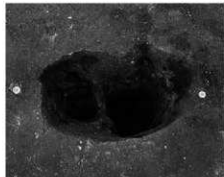
11. 734号ピット全景(南から)



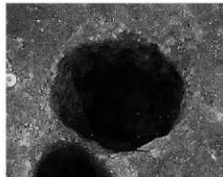
12. 735号ピット全景(南から)



13. 739号ピット全景(南から)



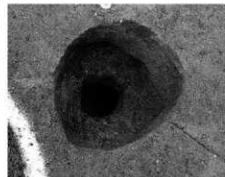
14. 751号ピット全景(南から)



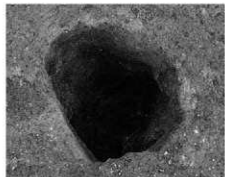
15. 761号ピット全景(南から)



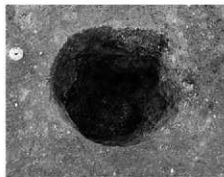
1. 765号ピット全景(南から)



2. 776号ピット全景(東から)



3. 791号ピット全景(北から)



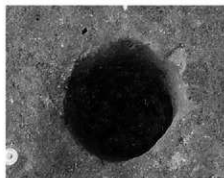
4. 799号ピット全景(南から)



5. 800号ピット全景(南から)



6. 801号ピット全景(南から)



7. 803号ピット全景(南から)



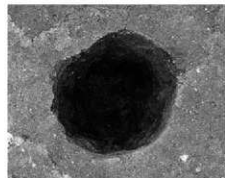
8. 804号ピット全景(南から)



9. 808号ピット全景(南から)



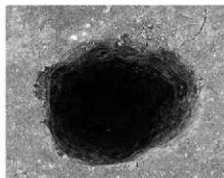
10. 812号ピット全景(南から)



11. 815号ピット全景(南から)



12. 819号ピット全景(南から)



13. 833号ピット全景(南から)



14. 837号ピット全景(南東から)



15. 840号ピット全景(北から)



1. 鳴上I遺跡A区2号住居全景(東から)



2. 鳴上I遺跡A区2号住居掘り方全景(南から)



3. 鳴上I遺跡A区2号住居ベッド状遺構(北から)



4. 鳴上I遺跡A区2号住居P1全景(東から)



5. 鳴上I遺跡A区2号住居P3全景(東から)



6. 鳴上I遺跡A区2号住居P12全景(西から)



7. 鳴上I遺跡A区2号住居遺物出土状態(東から)



8. 鳴上I遺跡A区2号住居拡張部分遺物出土状態(南東から)



1. 鳴上1遺跡A区3号住居全景(北から)



2. 鳴上1遺跡A区3号住居掘り方全景(南東から)



3. 鳴上1遺跡A区3号住居北東隅ベッド状遺構(西から)



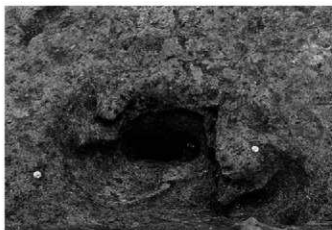
4. 鳴上1遺跡A区3号住居南東隅ベッド状遺構(東から)



5. 鳴上1遺跡A区3号住居南西隅ベッド状遺構(北から)



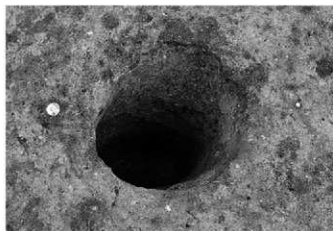
6. 鳴上1遺跡A区3号住居北西隅ベッド状遺構(東から)



7. 鳴上1遺跡A区3号住居出入口施設(P6)(南から)



8. 鳴上1遺跡A区3号住居壁穴1、P15(南から)



1. 鳴上I遺跡A区3号住居P 4 全景(南から)



2. 鳴上I遺跡A区3号住居P 8 全景(南東から)



3. 鳴上I遺跡A区3号住居貯蔵穴1 全景(西から)



4. 鳴上I遺跡A区3号住居貯蔵穴1 周堤(東から)



5. 鳴上I遺跡A区3号住居貯蔵穴2 全景(西から)



6. 鳴上I遺跡A区3号住居炉1 全景(南から)



7. 鳴上I遺跡A区3号住居炉2 全景(南から)



8. 鳴上I遺跡A区3号住居遺物出土状態(東から)



1. 鳴上1遺跡A区4号住居全景(南から)



2. 鳴上1遺跡A区4号住居掘り方全景(南から)



3. 鳴上1遺跡A区4号住居ベッド状遺構(北から)



4. 鳴上1遺跡A区4号住居粘土・焼土出土状態(北から)



5. 鳴上1遺跡A区4号住居P 4全景(南東から)



6. 鳴上1遺跡A区4号住居P 1・5全景(南から)



7. 鳴上1遺跡A区4号住居P 6全景(南から)



8. 鳴上1遺跡A区4号住居P13全景(南から)



1. 鳴上I遺跡A区4号住居P14全景(北西から)



2. 鳴上I遺跡A区4号住居P15全景(北東から)



3. 鳴上I遺跡A区4号住居P19全景(南から)



4. 鳴上I遺跡A区4号住居P20全景(南から)



5. 鳴上I遺跡A区4号住居P1(東から)



6. 鳴上I遺跡A区4号住居P2(東から)



7. 鳴上I遺跡A区4号住居遺物出土状態(南から)



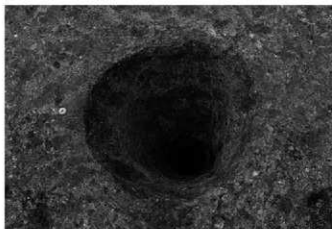
8. 鳴上I遺跡A区4号住居炭化物出土状態(西から)



1. 鳴上1遺跡B区505号住居全景(南東から)



2. 鳴上1遺跡B区505号住居掘り方全景(北西から)



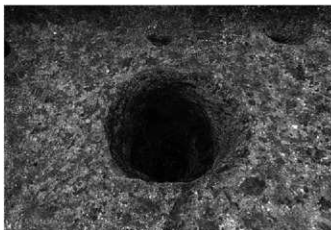
3. 鳴上1遺跡B区505号住居P3全景(南から)



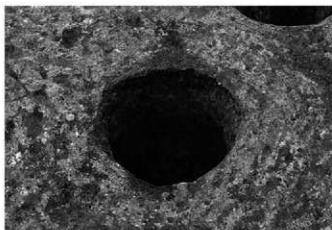
4. 鳴上1遺跡B区505号住居P10全景(西から)



5. 鳴上1遺跡B区505号住居土坑1全景(南から)



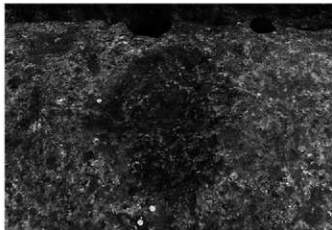
6. 鳴上1遺跡B区505号住居土坑2全景(南から)



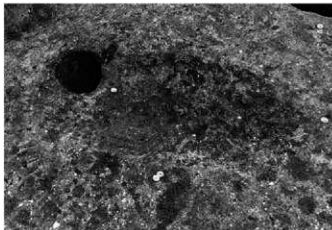
7. 鳴上1遺跡B区505号住居土坑3全景(南から)



8. 鳴上1遺跡B区505号住居土坑4全景(南東から)



1. 鳴上I遺跡B区505号住居跡1(西から)



2. 鳴上I遺跡B区505号住居跡2(西から)



3. 鳴上I遺跡B区505号住居遺物出土状態(西から)



4. 鳴上I遺跡B区508号住居全景(南東から)



5. 鳴上I遺跡B区508号住居掘り方全景(北東から)



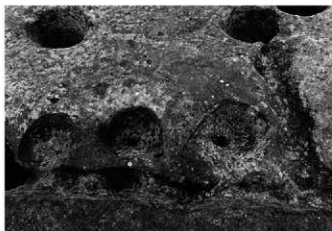
6. 鳴上I遺跡B区508号住居東隅ベッド状遺構(北西から)



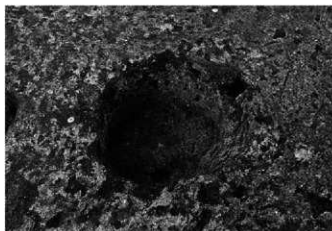
7. 鳴上I遺跡B区508号住居西隅ベッド状遺構(東から)



8. 鳴上I遺跡B区508号住居貯蔵穴全景(北西から)



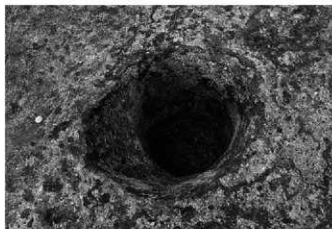
1. 鴨上1遺跡B区508号住居P19・30全景(南東から)



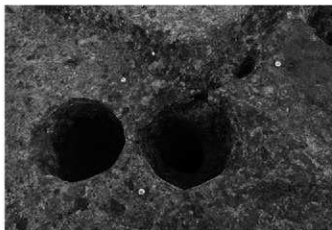
2. 鴨上1遺跡B区508号住居土坑1全景(南東から)



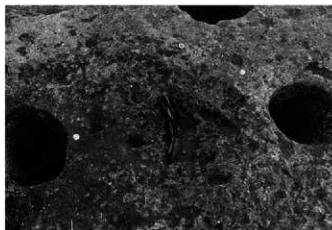
3. 鴨上1遺跡B区508号住居土坑2全景(南東から)



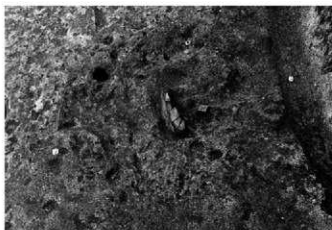
4. 鴨上1遺跡B区508号住居土坑3全景(南東から)



5. 鴨上1遺跡B区508号住居土坑4全景(西から)



6. 鴨上1遺跡B区508号住居炉1全景(北西から)



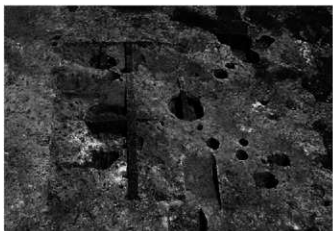
7. 鴨上1遺跡B区508号住居炉2全景(北東から)



8. 鴨上1遺跡B区508号住居遺物出土状態全景(南西から)



1. 鳴上I遺跡B区514号住居全景(南東から)



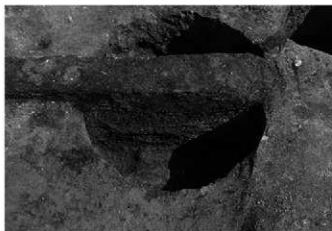
2. 鳴上I遺跡B区514号住居掘り方全景(南西から)



3. 鳴上I遺跡B区514号住居床下土坑1土層断面(南西から)



4. 鳴上I遺跡B区514号住居床下土坑2土層断面(南東から)



5. 鳴上I遺跡B区514号住居床下土坑3土層断面(北西から)



6. 鳴上I遺跡B区514号住居P 1全景(南東から)



7. 鳴上I遺跡B区514号住居P 2全景(南東から)



8. 鳴上I遺跡B区514号住居P 3全景(南東から)



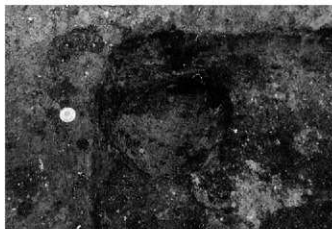
1. 鳴上I遺跡B区514号住居P4全景(南東から)



2. 鳴上I遺跡B区514号住居P5全景(南から)



3. 鳴上I遺跡B区514号住居P11全景(南東から)



4. 鳴上I遺跡B区514号住居P12全景(南東から)



5. 鳴上I遺跡B区515号住居全景(南西から)



6. 鳴上I遺跡B区515号住居掘り方全景(南東から)



7. 鳴上I遺跡B区515号住居P1全景(南東から)



8. 鳴上I遺跡B区515号住居P2全景(南東から)



1. 鳴上I遺跡B区515号住居P3全景(南東から)



2. 鳴上I遺跡B区515号住居P7全景(南東から)



3. 鳴上I遺跡B区515号住居P9土層断面(北西から)



4. 鳴上I遺跡B区515号住居P4全景(南西から)



5. 鳴上I遺跡B区516号住居全景(南から)



6. 鳴上I遺跡B区516号住居掘り方全景(南から)



7. 鳴上I遺跡B区516号住居土坑1土層断面(南から)



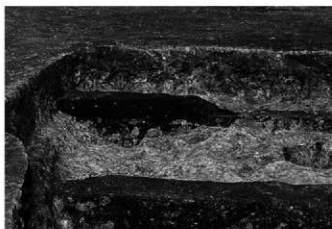
8. 鳴上I遺跡B区516号住居土坑2土層断面・炉全景(南から)



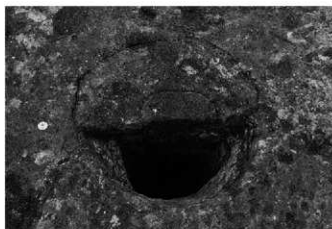
1. 鳴上1遺跡B区517号住居全景(南東から)



2. 鳴上1遺跡B区517号住居掘り方全景(南東から)



3. 鳴上1遺跡B区517号住居ベッド状遺構土層断面(南東から)



4. 鳴上1遺跡B区517号住居P1土層断面(南東から)



5. 鳴上1遺跡B区517号住居P2土層断面(南東から)



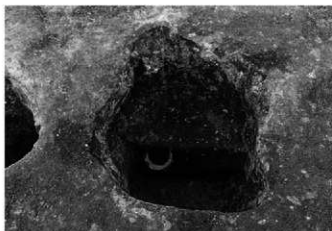
6. 鳴上1遺跡B区517号住居P3土層断面(南東から)



7. 鳴上1遺跡B区517号住居P4土層断面(南東から)



8. 鳴上1遺跡B区517号住居P11土層断面(南東から)



1. 鳴上I遺跡B区517号住居土坑土層断面(南東から)



2. 鳴上I遺跡B区517号住居土坑土層断面(南東から)



3. 鳴上I遺跡B区517号住居炭化物出土状態(北東から)



4. 鳴上I遺跡B区517号住居炭化物出土状態(北東から)



5. 鳴上I遺跡B区517号住居遺物出土状態全景(南西から)



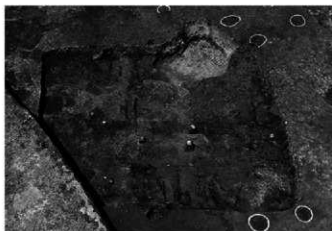
6. 鳴上I遺跡B区517号住居遺物出土状態全景(北東から)



7. 鳴上I遺跡B区517号住居遺物出土状態(北東から)



8. 鳴上I遺跡B区517号住居遺物出土状態(北西から)



1. 鴨上1遺跡B区518号住居全景(東から)



2. 鴨上1遺跡B区518号住居掘り方全景(東から)



3. 鴨上1遺跡B区518号住居東壁炭化材出土状態(北から)



4. 鴨上1遺跡B区518号住居北壁炭化材出土状態(東から)



5. 鴨上1遺跡B区518号住居貯蔵穴全景(西から)



6. 鴨上1遺跡B区518号住居土坑1全景(南から)



7. 鴨上1遺跡B区518号住居土坑2土層断面(南から)



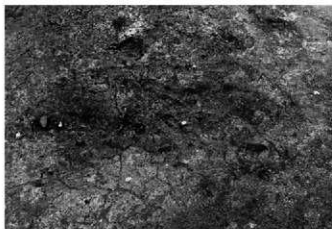
8. 鴨上1遺跡B区518号住居土坑3土層断面(南から)



1. 鳴上I遺跡B区518号住居土坑4掘り方全景(南から)



2. 鳴上I遺跡B区518号住居坑1全景(東から)



3. 鳴上I遺跡B区518号住居坑2全景(北から)



4. 鳴上I遺跡B区518号住居P1土層断面(南から)



5. 鳴上I遺跡B区518号住居P2掘り方全景(南から)



6. 鳴上I遺跡B区518号住居P3全景(南から)



7. 鳴上I遺跡B区518号住居P4全景(北から)



8. 鳴上I遺跡B区518号住居P5土層断面(西から)



1. 鳴上1遺跡B区518号住居P6土割断面(南から)



2. 鳴上1遺跡B区518号住居P1遺物出土状態(北から)



3. 鳴上1遺跡B区519号住居全景(南から)



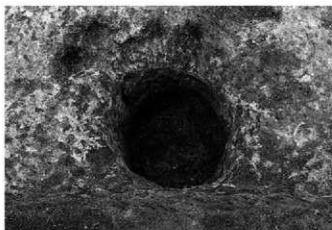
4. 鳴上1遺跡B区519号住居全景(東から)



5. 鳴上1遺跡B区521号住居全景(北西から)



6. 鳴上1遺跡B区521号住居掘り方全景(北西から)



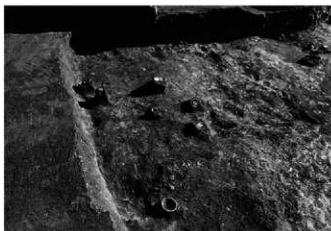
7. 鳴上1遺跡B区521号住居土坑2全景(北から)



8. 鳴上1遺跡B区521号住居P1全景(北から)



1. 鳴上I遺跡B区521号住居炭化材出土状態全景(北西から)



2. 鳴上I遺跡B区521号住居遺物出土状態(北西から)



3. 鳴上I遺跡B区522号住居全景(南から)



4. 鳴上I遺跡B区522号住居掘り方全景(南から)



5. 鳴上I遺跡B区522号住居ベッド状遺構土層断面(西から)



6. 鳴上I遺跡B区522号住居印痕状態(西から)



7. 鳴上I遺跡B区522号住居土坑4全景(南から)



8. 鳴上I遺跡B区522号住居跡全景(南から)



1. 鳴上1遺跡B区522号住居遺物出土状態全景(南から)



2. 鳴上1遺跡B区522号住居跡輸出土状態(西から)



3. 鳴上1遺跡B区524号住居全景(南から)



4. 鳴上1遺跡B区524号住居遺物出土状態(西から)



5. 鳴上1遺跡B区527号住居全景(南から)



6. 鳴上1遺跡B区527号住居P1全景(西から)



7. 鳴上1遺跡B区527号住居遺物出土状態(西から)



8. 鳴上1遺跡B区527号住居遺物出土状態(西から)



1. 茅畑遺跡 旧石器時代1号調査坑土層断面(北から)



2. 茅畑遺跡 旧石器時代4号調査坑土層断面(南から)



3. 茅畑遺跡 旧石器時代5号調査坑土層断面(東から)



4. 茅畑遺跡 旧石器時代7号調査坑土層断面(西から)



5. 茅畑遺跡 旧石器時代9号調査坑土層断面(西から)



6. 茅畑遺跡 旧石器時代15号調査坑土層断面(東から)



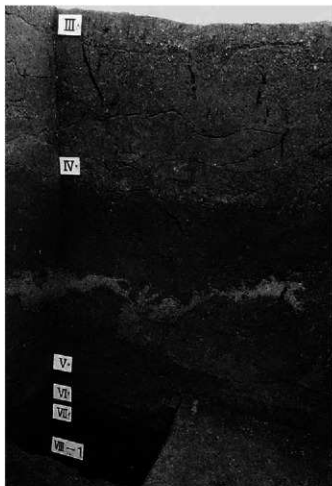
7. 茅畑遺跡 基本土層7断面(南から)



8. 茅畑遺跡 基本土層6断面(東から)



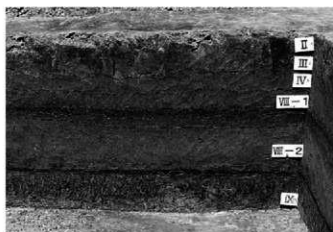
1. 鴨上1遺跡A区 旧石器時代1号調査坑土層断面(南から)



2. 鴨上1遺跡A区 旧石器時代4号調査坑土層断面(西から)



3. 鴨上1遺跡B区 旧石器時代7号調査坑土層断面(西から)



4. 鴨上1遺跡B区 旧石器時代11号調査坑土層断面(南から)



5. 鴨上1遺跡B区 旧石器時代15号調査坑土層断面(東から)



6. 鴨上1遺跡A区 基本土層2断面(東から)

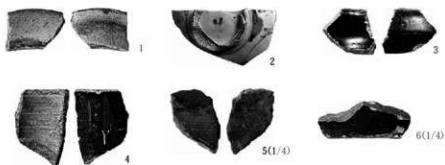


7. 鴨上1遺跡B区 基本土層1断面(北西から)

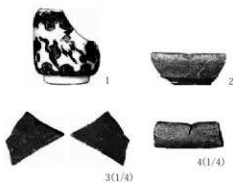
茅畑道跡1面 3号溝



茅畑道跡1面 道橋外出土遺物



鳴上1道跡A区1面 1号溝



鳴上1道跡A区1面 道橋外出土遺物



鳴上1道跡B区1面 道橋外出土遺物



茅畑道跡2面 1号住居



茅畑遺跡2面 1号住居



茅畑遺跡2面 4号住居



茅畑遺跡2面 5号住居



24(1/2)



23(1/6)



4



6



8



13



16



24



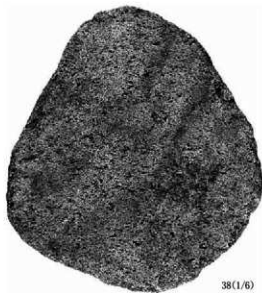
27



36(1/2)



37(1/2)



38(1/6)

茅烟道跡 2面 1号古墳



6(1/2)



7(1/2)



8(1/2)



9(1/2)



10(1/2)



11(1/2)



12(1/2)



13(1/2)



14(1/2)

茅畑遺跡2面 土坑出土遺物



10上-1



29上-4

茅畑遺跡2面 ビット出土遺物



64ビ-5



358ビ-12



617ビ-15(1/1)

茅畑遺跡2面 遺構外出土遺物



8(1/2)

鳴上1遺跡A区2面 遺構外出土遺物



1

鳴上1遺跡B区2面 501号住居



1



4



6(1/2)

鳴上1遺跡B区2面 503号住居



2



14



15(1/2)

鳴上1遺跡B区2面 504号住居



3



4

鳴上1遺跡B区2面 507号住居



3



4

鳴上1遺跡B区2面 509号住居



1

鳴上1遺跡B区2面 506号住居



6



7



11



12



13(1/2)



14(1/2)

鳴上1 遺跡B区2面 510号住居



6



9



10



13

鳴上1 遺跡B区2面 512号住居



2



10



13



17(1/2)

鳴上I 遺跡B区2面 513号住居



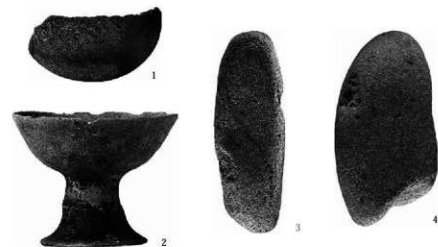
鳴上I 遺跡B区2面 520号住居



鳴上I 遺跡B区2面 525号住居



鳴上I 遺跡B区2面 526号住居



鳴上I 遺跡B区2面 503号掘立柱建物



鳴上I 遺跡B区2面 501号粘土探掘坑



鳴上I 遺跡B区2面 501号粘土探掘坑



11

鳴上I 遺跡B区2面 土坑



507土-1



507土-3



507土-4



507土-6



507土-7

鳴上I 遺跡B区2面 ビット



840ビット-3

鳴上I 遺跡B区2面 遺構外出土遺物



4



13

茅畑遺跡3面 遺構外出土遺物



1



2



3



4



5



6



7



8



9



10



11

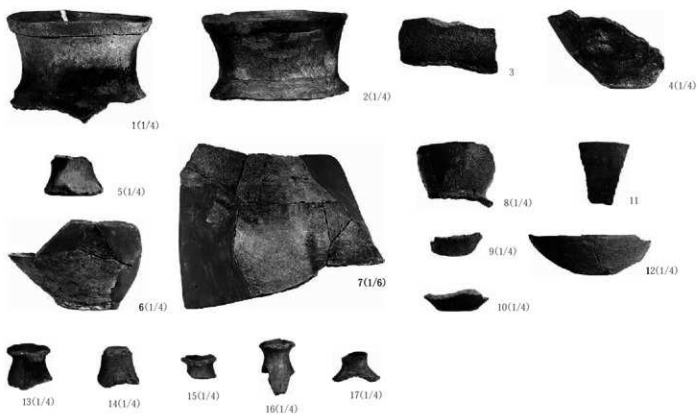


12

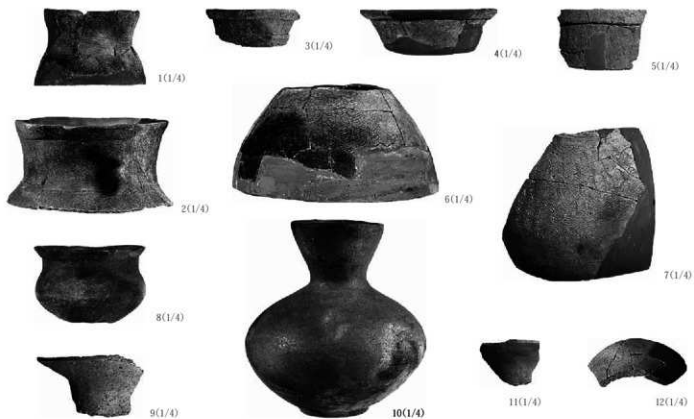
茅畑遺跡3面 遺構外出土遺物



鴨上1遺跡A区3面 2号住居



鴨上1遺跡A区3面 3号住居



PL.84

鳴上1遺跡A区3面 3号住居



鳴上1遺跡A区3面 4号住居



鳴上1遺跡B区3面 505号住居



鳴上1遺跡B区3面 508号住居



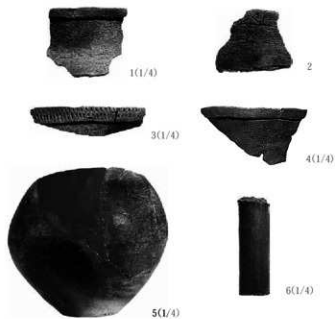
鳴上1遺跡B区3面 508号住居



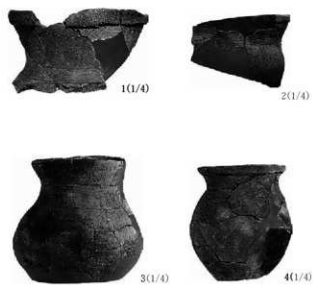
鳴上1遺跡B区3面 514号住居



鳴上1遺跡B区3面 515号住居

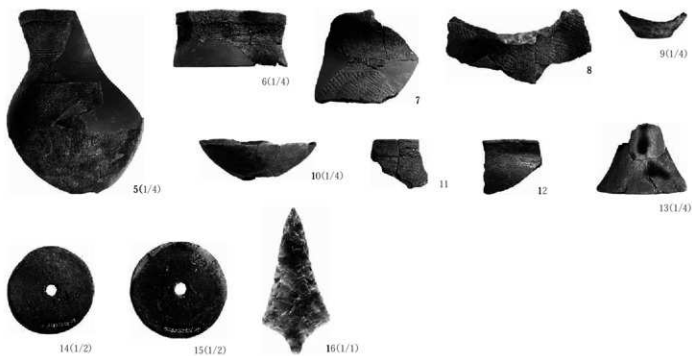


鳴上1遺跡B区3面 516号住居

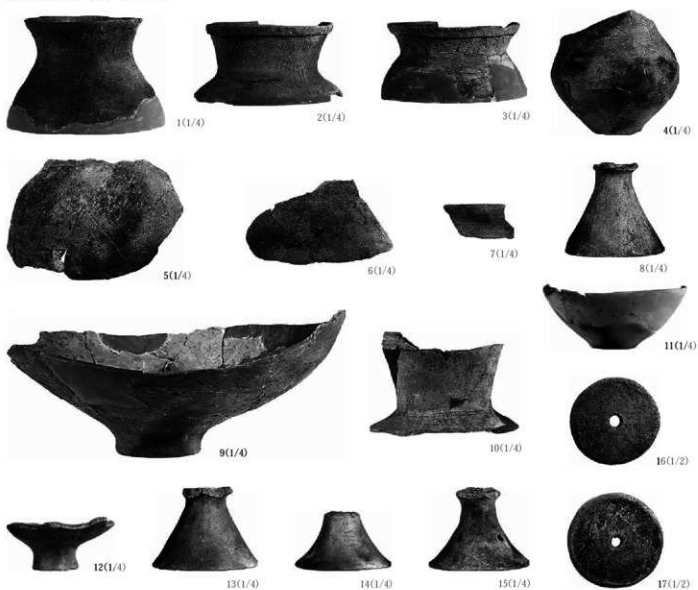


PL.86

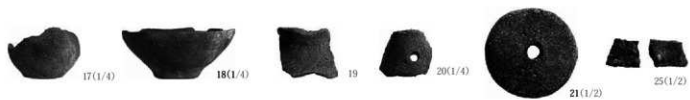
鳴上I遺跡B区3面 516号住居



鳴上I遺跡B区3面 517号住居



鳴上I遺跡B区3面 518号住居

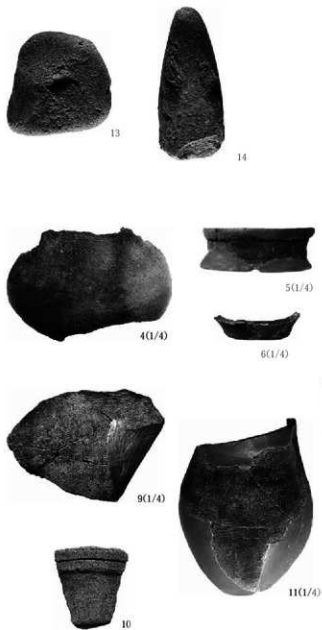


鳴上I遺跡B区3面 521号住居



PL.88

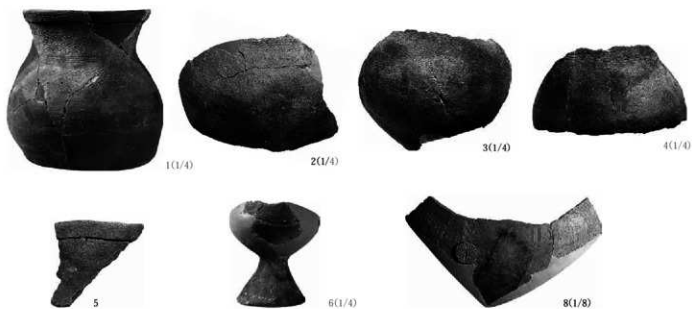
鳴上I遺跡B区3面 521号住居



鳴上I遺跡B区3面 522号住居



鳴上I遺跡B区3面 524号住居



鳴上I 遺跡B区3面 524号住居



鳴上I 遺跡B区3面 527号住居



鳴上I 遺跡B区3面 遺構外出土遺物



発掘調査報告書抄録

書名	ふりがな	かやばたけいせき・しぎあけいちいせき
副書名	書名	茅畑遺跡・鴨上1遺跡
巻次	名	(主)前橋安中富岡緑社会資本総合整備事業(広域・新潟長野)に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書
シリーズ	次	公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団調査報告書
シリーズ番号	番号	621
編著者名	名	都木直人 津島秀章
編集機関	機関	公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団
発行機関	機関	公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団
発行年月日	日	20170116
作成法人ID	ID	21005
郵便番号	番号	377-8555
電話番号	番号	0279-52-2511
住所	所	群馬県渋川市北碓町下箱田784番地2

遺跡名	ふりがな	かやばたけいせき
遺跡名	名	茅畑遺跡
所在地	ふりがな	ぐんまけんたかさきしみさとまちしらかわ
遺跡所在地	地	群馬県高崎市箕郷町白川
市町村コード	コード	10202
遺跡番号	番号	02232
北緯(世界測地系)	緯度	362224
東経(世界測地系)	経度	1404316
調査期間	期間	20150101-20150430
調査面積	面積	6700
調査原因	原因	道路建設
種別	別	集落・墳墓・生産
主な時代	代	縄文/古墳/奈良/平安/中世/近世
遺跡概要	要	縄文・土器/古墳～古代-竪穴住居4+掘立柱建物18+古墳1+道路1+土坑29+ピット1726-土器+石器+金属器/中世～近代-溝10+道路1+畑3+土器+陶磁器
特記事項	項	平安時代の竪穴住居の調査。住居を囲むように多くの掘立柱建物を確認した。東部の丘陵地には古墳が1基確認された。中世から近世にかけて、溝や畑が確認された。
要約	約	榛名山南裾の丘陵地帯に鴨上1遺跡と谷を隔てて、平安時代の集落が営まれている。遺跡の東部に古墳が1基確認されており、墓域と畑に用途が特化されている。平安時代の竪穴住居4軒、掘立柱建物18棟、道路1条、中世～近世の畑や溝を調査した。

遺跡名	ふりがな	しぎあけいちいせき
遺跡名	名	鴨上1遺跡
所在地	ふりがな	ぐんまけんたかさきしみさとまちしらかわ
遺跡所在地	地	群馬県高崎市箕郷町白川
市町村コード	コード	10202
遺跡番号	番号	02230
北緯(世界測地系)	緯度	362221
東経(世界測地系)	経度	1404322
調査期間	期間	20150101-20150430/20160101-20160131
調査面積	面積	6949
調査原因	原因	道路建設
種別	別	集落
主な時代	代	弥生/古墳/奈良/平安/中世/近世
遺跡概要	要	弥生-竪穴住居15-土器+石器+金属器/古墳～古代-竪穴住居16+掘立柱建物2+粘土探掘坑1+焼土1+土坑4+ピット135-土器+石器+金属器/中世～近代-掘立柱建物2+柱穴列2+溝2+土坑12+ピット361-土器+陶磁器+金属器
特記事項	項	弥生時代の竪穴住居、古墳時代から平安時代の竪穴住居の調査。弥生時代の住居からは、ベッド状遺構、炭化材が多く確認され、また、巨大な土製紡輪、文様が施された石製紡輪が出土した。
要約	約	榛名山南裾の丘陵地帯に茅畑遺跡と谷を隔てて、弥生時代の集落、古墳時代から平安時代まで継続的に集落が営まれている。弥生時代の竪穴住居15軒、古墳時代の竪穴住居4件、奈良・平安時代の竪穴住居12軒、中世～近世の掘立柱建物3棟、柱穴列を調査した。

公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団調査報告書 第621集

茅畑遺跡・鳴上 I 遺跡

(主)前橋安中富岡線社会資本総合整備事業(広域・新潟長野)に伴う
埋蔵文化財発掘調査報告書

平成29(2017)年1月8日 印刷

平成29(2017)年1月16日 発行

編集・発行／公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団

〒377-8555 群馬県渋川市北橋町下箱田784番地2

電話(0279)52-2511(代表)

ホームページアドレス <http://www.gunma1bm.org/>

印刷／上海印刷工業株式会社